

平成 23 年度
美濃加茂市市民満足度調査

報告書

平成 24 年 6 月

美濃加茂市

目次

I 調査の概要

| | | |
|---|--------|---|
| 1 | 調査目的 | 1 |
| 2 | 調査方法 | 1 |
| 3 | 調査項目 | 1 |
| 4 | 回収状況 | 1 |
| 5 | 集計方法 | 2 |
| 6 | 報告書の見方 | 3 |

II 調査分析のまとめ

| | | |
|------|-----------------------------|----|
| 1 | 基本属性 | 5 |
| 2 | くらし向き | 8 |
| 3 | 定住意向 | 23 |
| 4 | 第5次総合計画について | 33 |
| 5 | 重要度・満足度調査 | 40 |
| 1. | 重要度・満足度の得点化 | 40 |
| 2. | ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価 | 48 |
| 2.-1 | みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち | 51 |
| 2.-2 | 産業の振興により新たな価値のあるまち | 58 |
| 2.-3 | 安心して暮らせるまち | 62 |
| 2.-4 | 快適でこちよく定住できるまち | 71 |
| 2.-5 | 美しい風景が残るまち | 80 |
| 2.-6 | 市役所の経営方針 | 85 |

参考資料

市民満足度調査 アンケート調査票

I 調査の概要

1 調査目的

美濃加茂市が実施している施策について、市民の意見等を市民満足度調査により聴取し、その傾向や市民ニーズを把握、分析し、今後の市政運営に反映させるための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査方法

| | |
|-----------|--------------------------|
| ①調査地域 | 美濃加茂市全域 |
| ②調査対象 | 美濃加茂市に在住する満 18 歳以上の人 |
| ③抽出方法 | 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法 |
| ④配布数 | 1,500 票 |
| ⑤配布方法 | 郵送配布、郵送回収 |
| ⑥実施期間 | 平成 24 年 2 月 16 日～3 月 7 日 |
| ⑦有効回収数（率） | 577 標本（38.5%） |

3 調査項目

| | |
|----------------|---|
| ①基本属性 | 回答者の性別、年代、居住地域、家族構成、同居している子どもの状況、居住年数、住まいの状況、職業について 8 項目。 |
| ②くらし向き | 今のくらしの状況等を把握する 4 項目。 |
| ③定住意向 | 美濃加茂市の住みよさ等を把握する 3 項目。 |
| ④第 5 次総合計画について | 第 5 次総合計画の施策の中で特に力を入れてほしい分野を把握する 1 項目。 |
| ⑤重要度・満足度調査 | 第 5 次総合計画における共通目標と 4 つの基本目標及び市役所の経営方針に位置づけられ、平成 23 年度に実施した事業のなかから、市民の評価を求めたい事業について 32 項目。 |

4 回収状況

（1）性別回収状況

| 性別 | 配布数 | 回収数 | 回収率 | 有効回収数※ | 有効回収率 |
|--------|---------|-------|-------|--------|-------|
| 男性 | 745 票 | 244 票 | 32.8% | 244 票 | 32.8% |
| 女性 | 755 票 | 315 票 | 41.7% | 315 票 | 41.7% |
| 不明・無回答 | - | 18 票 | - | 18 票 | - |
| 全体 | 1,500 票 | 577 票 | 38.5% | 577 票 | 38.5% |

(2) 年代別回収状況

| 年代 | 配布数 | 回収数 | 回収率 | 有効回収数※ | 有効回収率 |
|--------|---------|-------|-------|--------|-------|
| 10歳代 | 37 票 | 13 票 | 35.1% | 13 票 | 35.1% |
| 20歳代 | 208 票 | 33 票 | 15.9% | 33 票 | 15.9% |
| 30歳代 | 267 票 | 89 票 | 33.3% | 89 票 | 33.3% |
| 40歳代 | 246 票 | 75 票 | 30.5% | 75 票 | 30.5% |
| 50歳代 | 220 票 | 91 票 | 41.4% | 91 票 | 41.4% |
| 60歳代 | 240 票 | 124 票 | 51.7% | 124 票 | 51.7% |
| 70歳代 | 168 票 | 95 票 | 56.5% | 95 票 | 56.5% |
| 80歳代以上 | 114 票 | 42 票 | 36.8% | 42 票 | 36.8% |
| 不明・無回答 | - | 15 票 | - | 15 票 | - |
| 全体 | 1,500 票 | 577 票 | 38.5% | 577 票 | 38.5% |

(3) 地域別回収状況

| 地区 | 配布数 | 回収数 | 回収率 | 有効回収数※ | 有効回収率 |
|--------|---------|-------|-------|--------|-------|
| 太田 | 322 票 | 119 票 | 37.0% | 119 票 | 37.0% |
| 古井 | 440 票 | 167 票 | 38.0% | 167 票 | 38.0% |
| 山之上 | 78 票 | 32 票 | 41.0% | 32 票 | 41.0% |
| 蜂屋 | 191 票 | 72 票 | 37.7% | 72 票 | 37.7% |
| 加茂野 | 250 票 | 84 票 | 33.6% | 84 票 | 33.6% |
| 伊深 | 38 票 | 17 票 | 44.7% | 17 票 | 44.7% |
| 三和 | 20 票 | 9 票 | 45.0% | 9 票 | 45.0% |
| 下米田・牧野 | 161 票 | 60 票 | 37.3% | 60 票 | 37.3% |
| 不明・無回答 | - | 17 票 | - | 17 票 | - |
| 全体 | 1,500 票 | 577 票 | 38.5% | 577 票 | 38.5% |

※有効回収数とは、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数です。

5 集計方法

単純集計に加え、基本属性によるクロス集計を行いました。クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。なお、クロス集計については、質問ごとに特徴的な項目のみ本報告書に掲載しました。

6 報告書の見方

- ・グラフに表示されている n 値とは、標本数のことを示しています。また、() 内の数字は回答数の内訳を示しています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答数の合計と単純集計（全体）の回答数が合致しないことがあります。
- ・くらし向き、定住意向項目のクロス集計の表では、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（その他、わからない、特になし、無回答を除く）
- ・標本誤差については、下記算出式より算出します。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

σ : 標本誤差
 N : 母集団
 n : 標本数
 p : 回答比率
 κ : 信頼率による変数

信頼率による変数 κ は、信頼率 95% では 1.96、信頼率 99% では 2.58 と定義されています。今回のアンケート調査における信頼率を 95% とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなります。

| 標本数 | 回答比率 (%) | | | | |
|-----|------------|------------|------------|------------|-------|
| | 10% or 90% | 20% or 80% | 30% or 70% | 40% or 60% | 50% |
| 577 | ±2.43 | ±3.24 | ±3.72 | ±3.97 | ±4.05 |

これは、ある設問において「A」という回答の割合が 50%であれば、18 歳以上の美濃加茂市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95%の確率で±4.05%の範囲内（45.95%～54.05%）にあることを示しています。

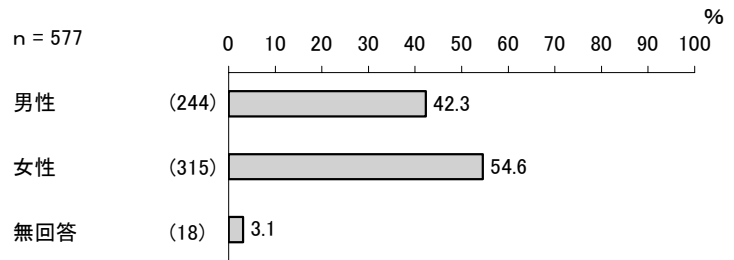
- ・本報告書では、市民意識の変化を確認するために、前回調査との比較を行っています。本報告書における「前回調査」としているのは平成 22 年度「美濃加茂市市民満足度調査」を指します。

II 調査分析のまとめ

1 基本属性

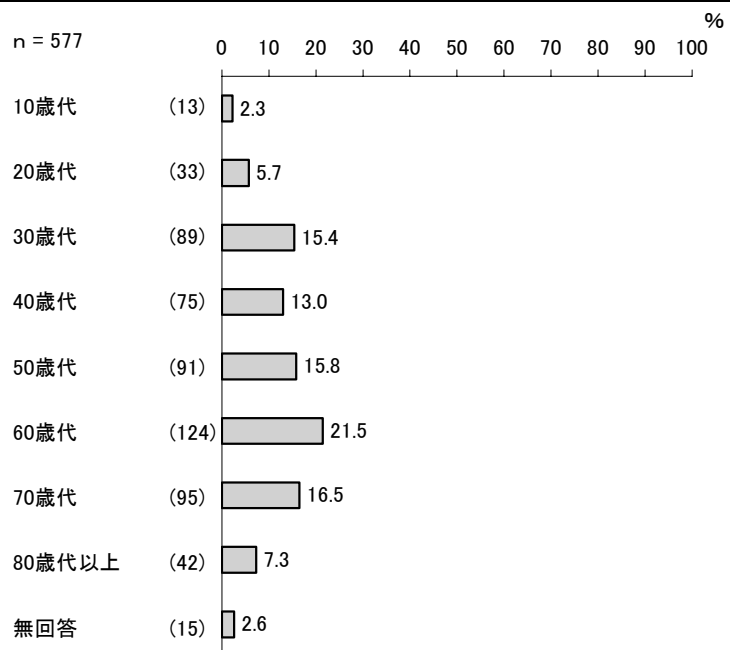
問1. 性別

「男性」の割合が42.3%、「女性」の割合が54.6%となっています。



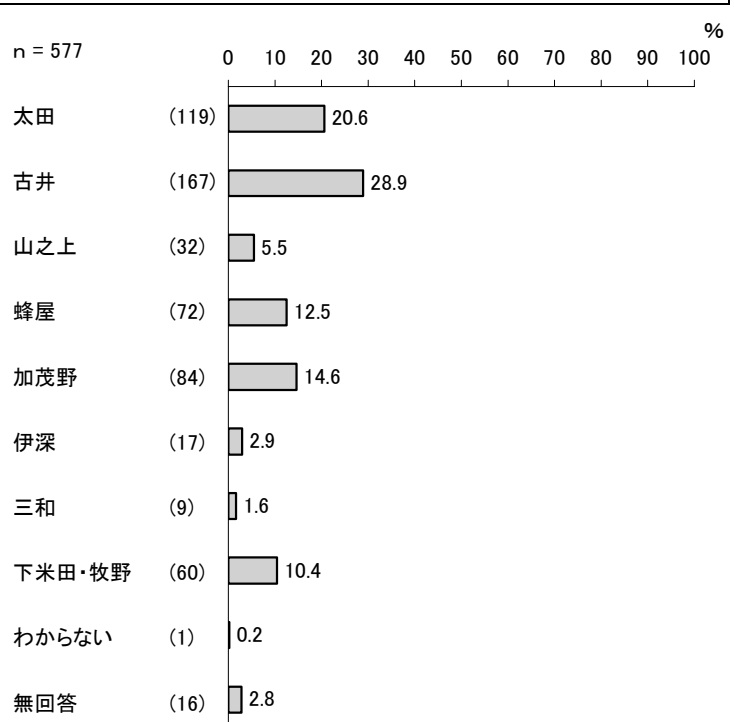
問2. 年代

「60歳代」の割合が21.5%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が16.5%、「50歳代」の割合が15.8%となっています。



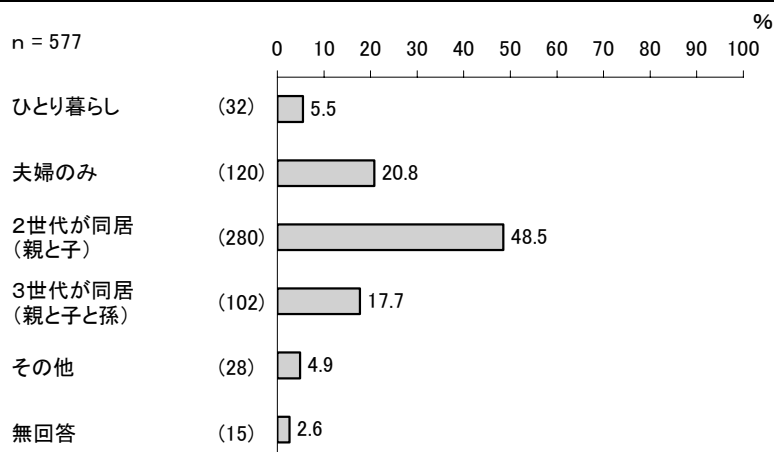
問3. 居住地

「古井」の割合が28.9%と最も高く、次いで「太田」の割合が20.6%、「加茂野」の割合が14.6%となっています。



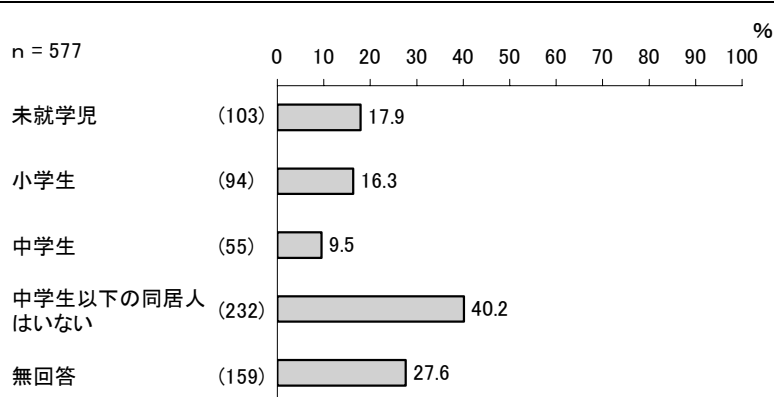
問4. 家族構成

「2世代が同居（親と子）」の割合が48.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が20.8%、「3世代が同居（親と子と孫）」の割合が17.7%となっています。



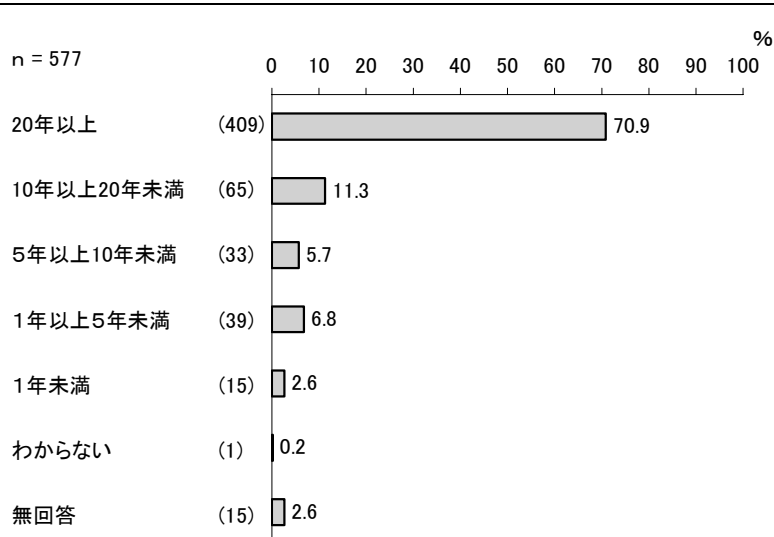
問5. 同居している子どもの状況

「中学生以下の同居人はいない」の割合が40.2%と最も高く、次いで「未就学児」の割合が17.9%、「小学生」の割合が16.3%となっています。



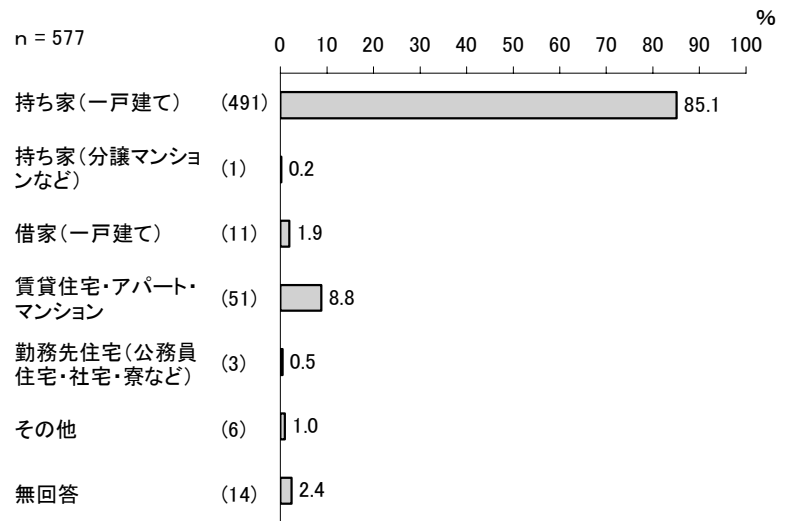
問6. 居住年数

「20年以上」の割合が70.9%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が11.3%、「1年以上5年未満」の割合が6.8%となっています。



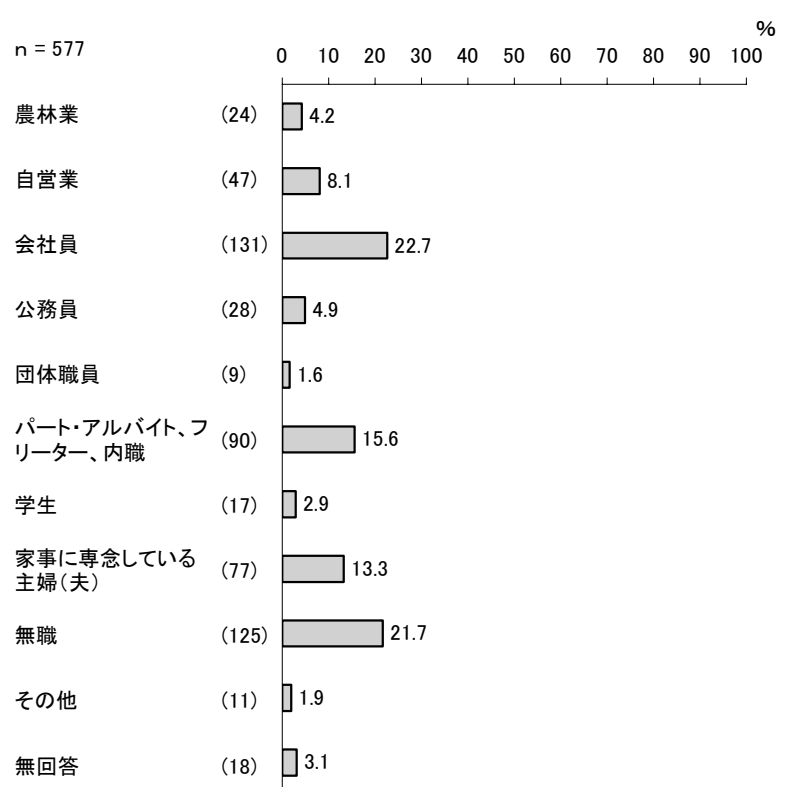
問7. 住まいの状況

「持ち家（一戸建て）」の割合が85.1%と最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート・マンション」の割合が8.8%、「借家（一戸建て）」の割合が1.9%となっています。



問8. 職業

「会社員」の割合が22.7%と最も高く、次いで「無職」の割合が21.7%、「パート・アルバイト、フリーター、内職」の割合が15.6%となっています。

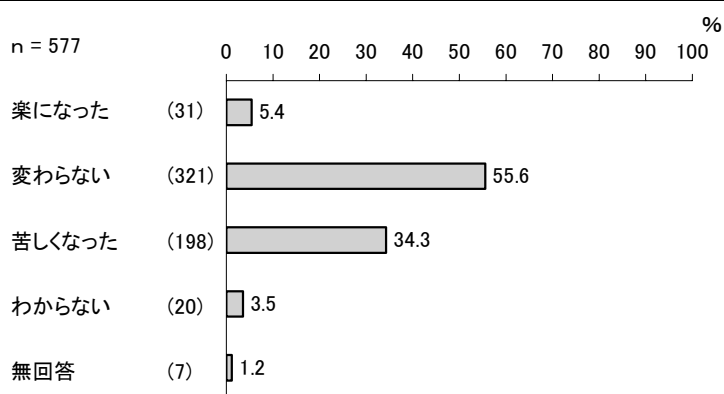


2 暮らし向き

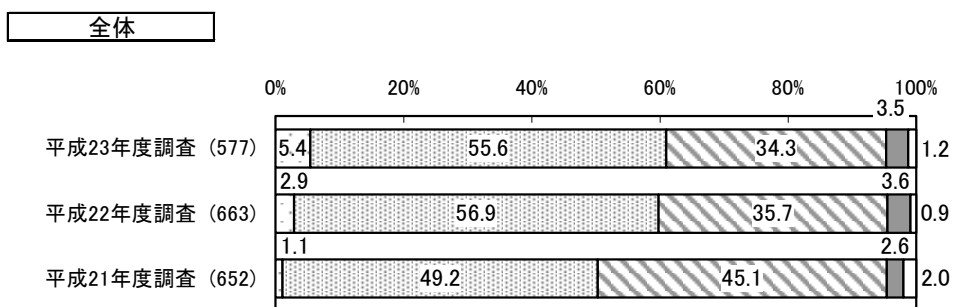
問9. 去年の暮らしとの比較

「変わらない」の割合が55.6%と最も高く、次いで「苦しくなった」の割合が34.3%、「楽になった」の割合が5.4%となっています。

前回調査と比較すると、「楽になった」が年々増加する傾向がみられます。



□ 楽になった ■ 変わらない ▨ 苦しくなった ■ わからない □ 無回答



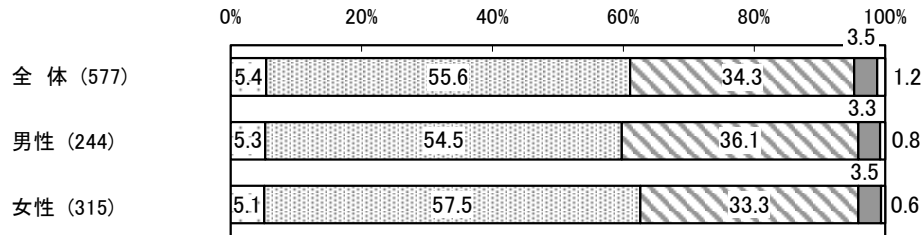
①性別・年代別

性別で見ると、大きな差異はみられません。

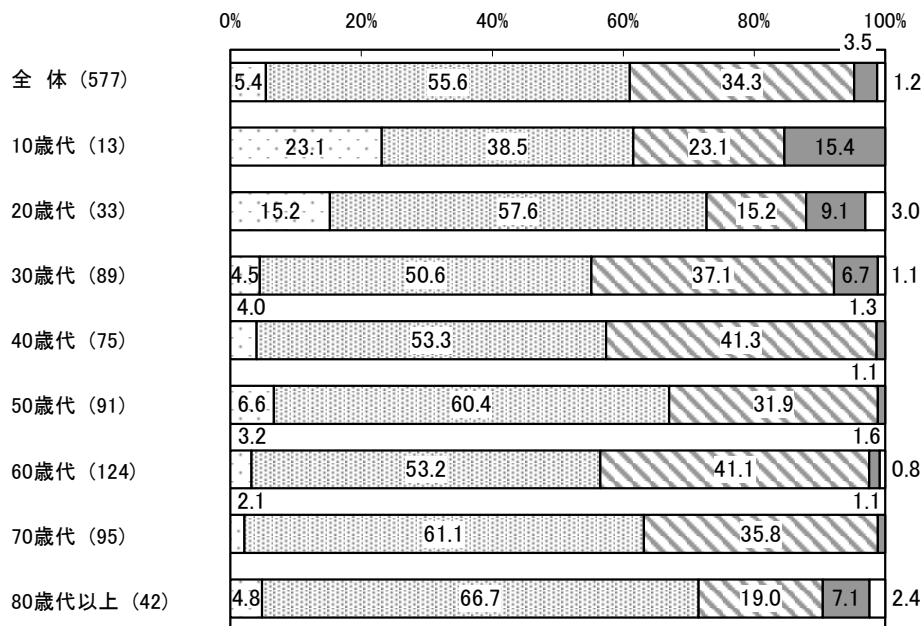
年代別で見ると、10歳代、20歳代で「楽になった」の割合が他に比べて高く、1割を超えています。また、40歳代、60歳代で「苦しくなった」の割合が4割を超えています。

□ 楽になった □ 変わらない □ 苦しくなった □ わからない □ 無回答

性別



年代別

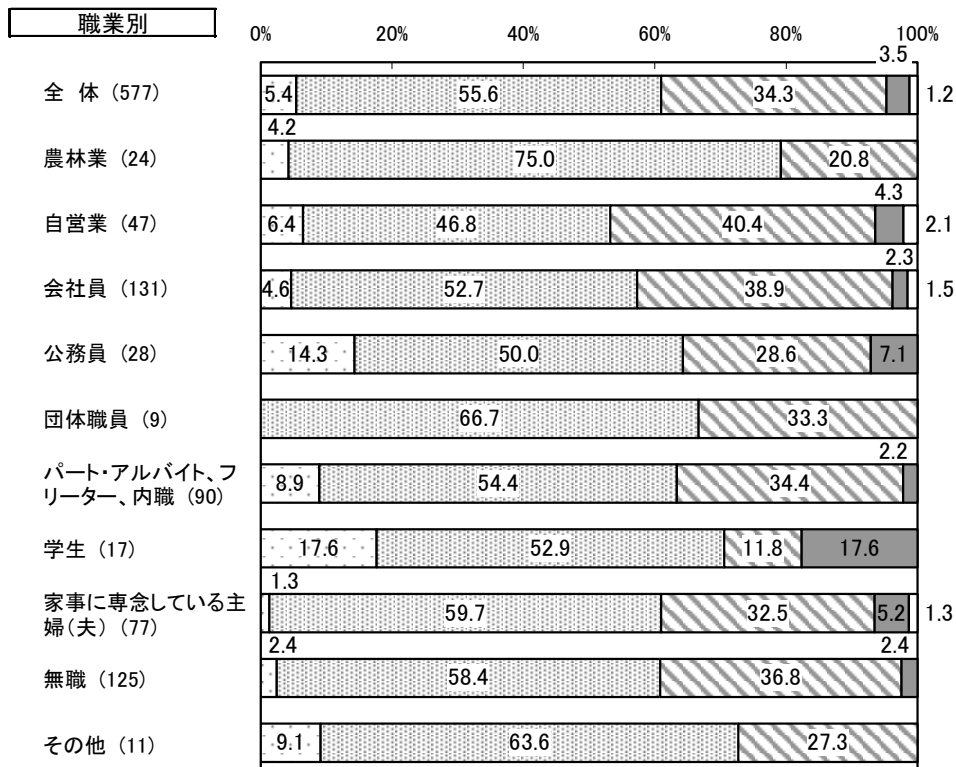
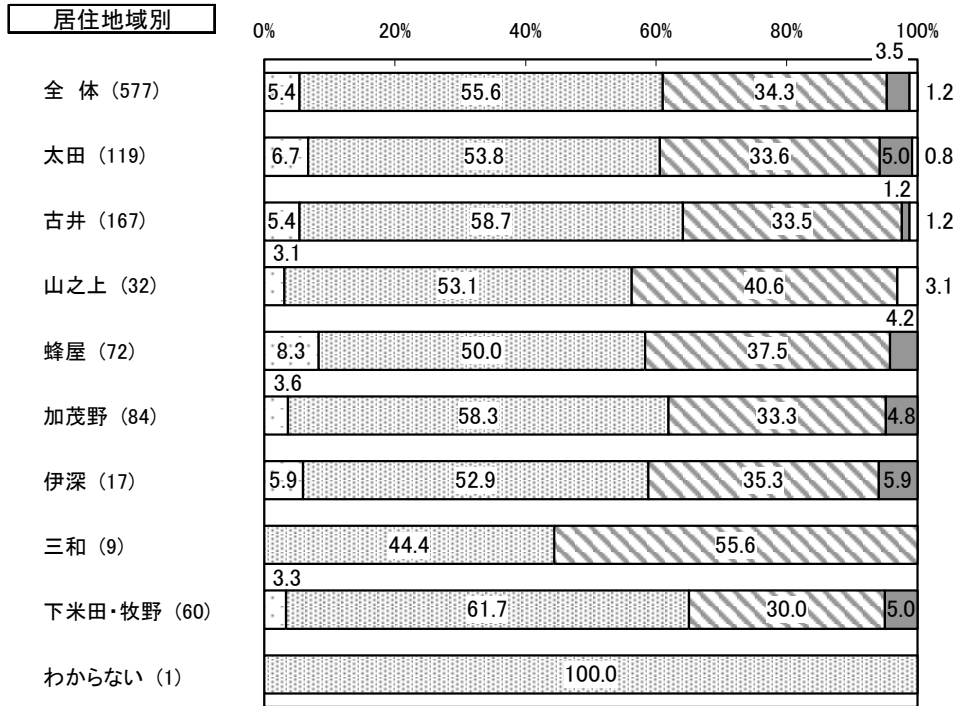


②居住地域別・職業別

居住地域別でみると、山之上、三和で「苦しくなった」の割合が4割を超えています。

職業別でみると、公務員や学生で「楽になった」の割合が他に比べて高く、1割を超えています。また、自営業で「苦しくなった」の割合が4割を超えています。

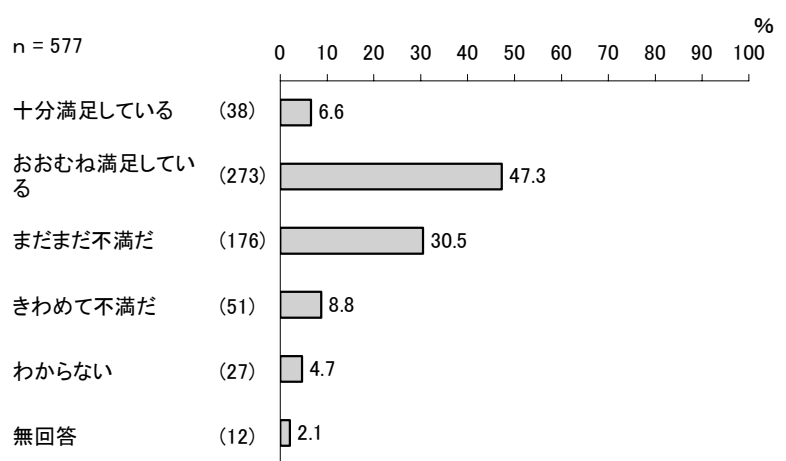
□ 楽になった ■ 変わらない ▨ 苦しくなった ■ わからない □ 無回答



問 10. 今の暮らしについて思うこと

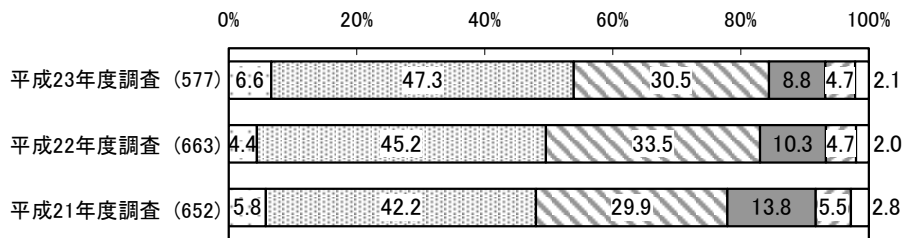
「十分満足している」と「おおむね満足している」をあわせた今の暮らしについて満足している人の割合が 53.9%、「まだまだ不満だ」と「きわめて不満だ」をあわせた今の暮らしについて不満を感じている人の割合が 39.3%となっています。

前回調査と比較すると、「まだまだ不満だ」の割合が 3.0ポイント減少しています。



十分満足している
 おおむね満足している
 まだまだ不満だ
 きわめて不満だ
 わからない
 無回答

全体



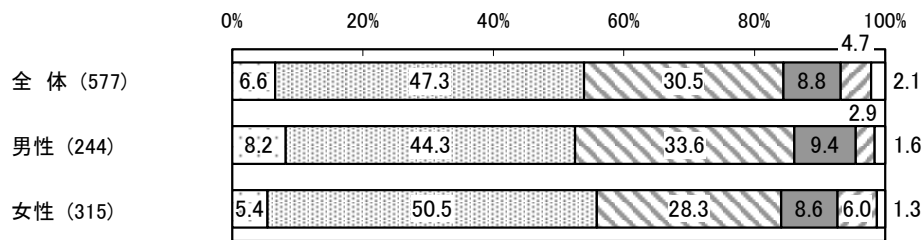
①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

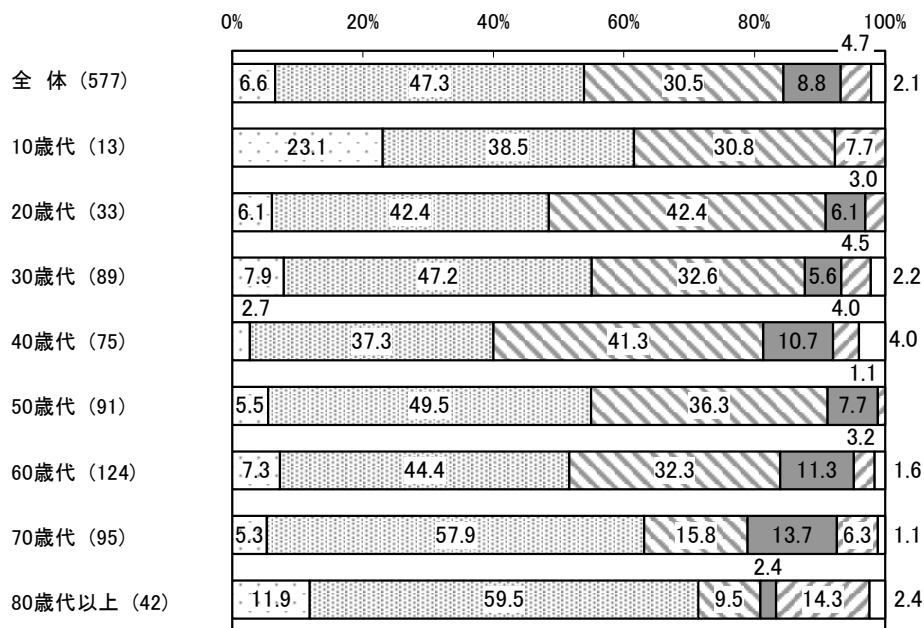
年代別でみると、10歳代、70歳代、80歳代以上では、今の暮らしに満足している人が6割を超えており、不満を感じている人の割合に比べて30ポイント以上高くなっています。一方、40歳代では今の暮らしに不満を感じている人が5割を超えており、満足している人を上回っています。

- 十分満足している ■ おおむね満足している ■ まだまだ不満だ
- きわめて不満だ ■ わからない □ 無回答

性別



年代別

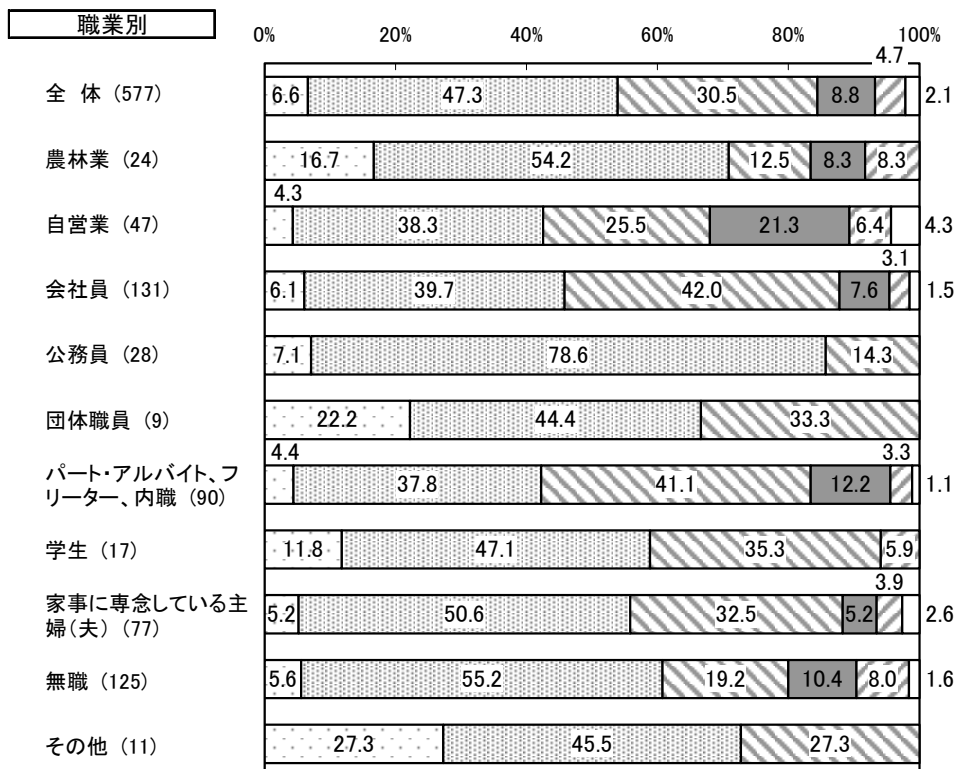
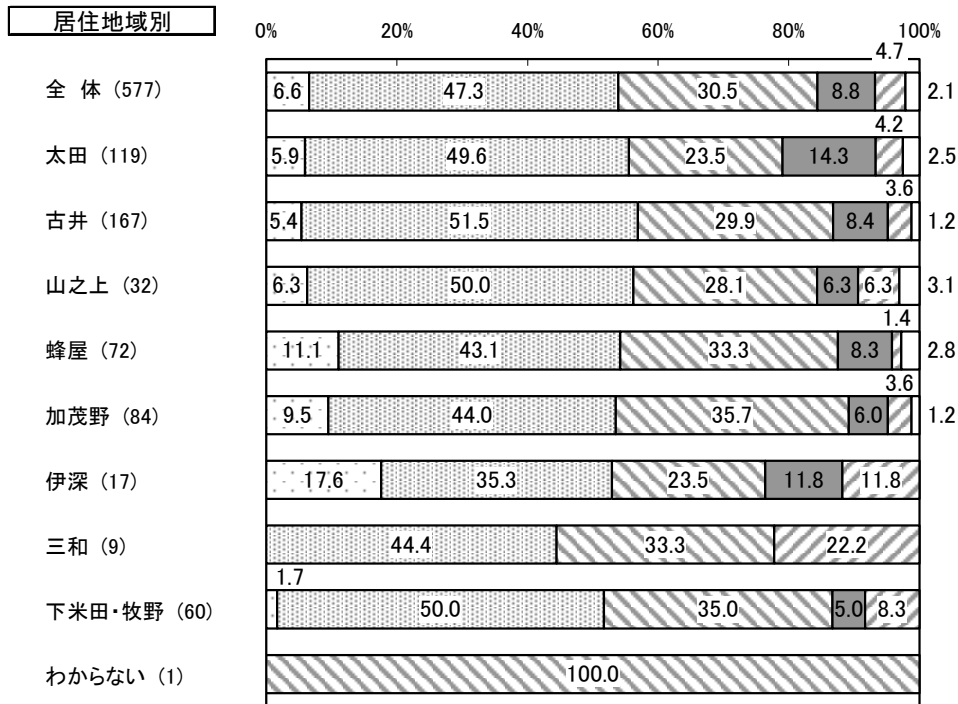


②居住地域別・職業別

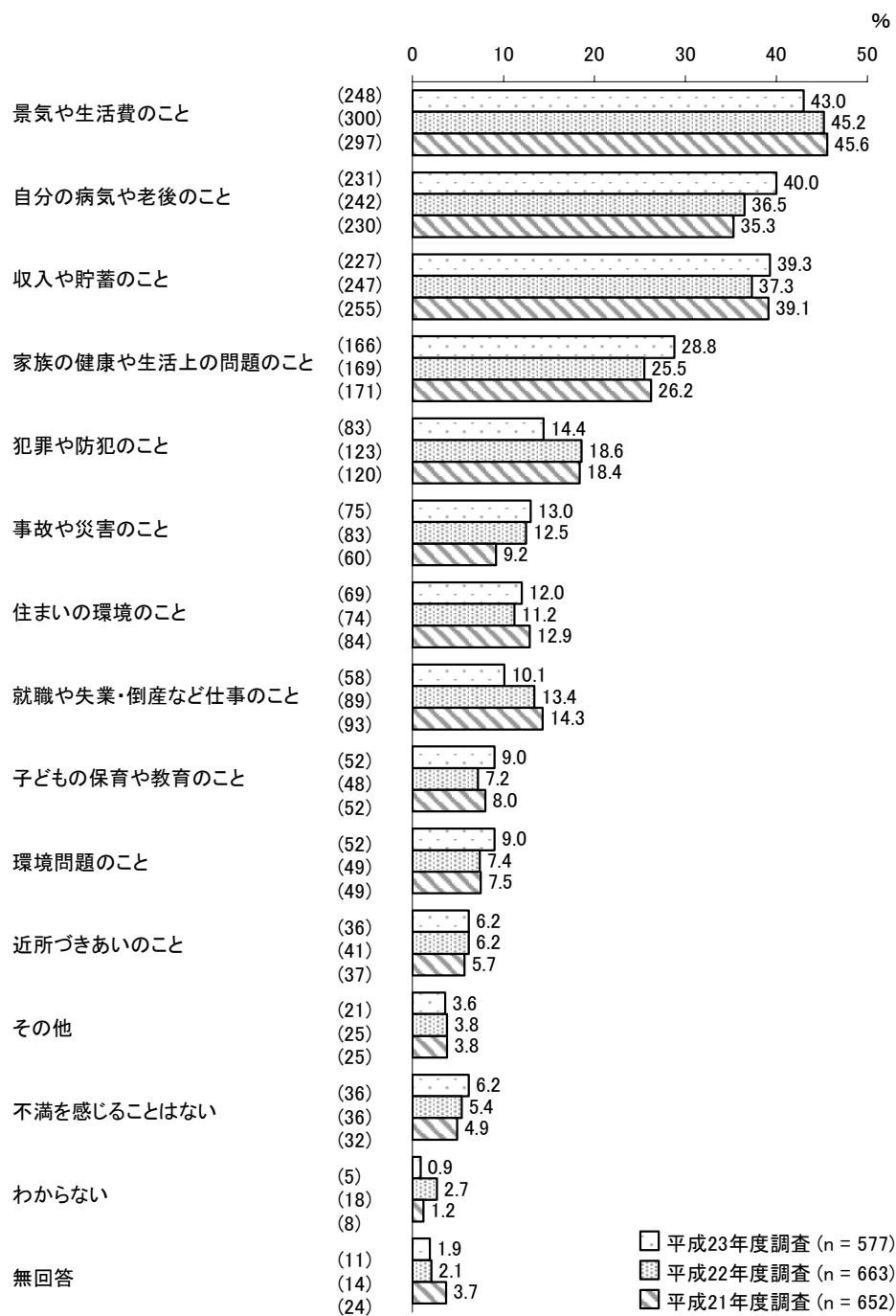
居住地域別でみると、蜂屋、加茂野、下米田・牧野で今の暮らしに不満を感じている人が約4割となっています。

職業別でみると、農林業、公務員で今の暮らしに満足している人が7割を超えています。また、自営業、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で今の暮らしに不満を感じている人が4割を超え、満足している人の割合を上回っています。

十分満足している おおむね満足している まだまだ不満だ
 きわめて不満だ わからない 無回答



問 11. 日ごろの暮らしの中で不満を感じていること



「景気や生活費のこと」の割合が43.0%と最も高く、次いで「自分の病気や老後のこと」の割合が40.0%、「収入や貯蓄のこと」の割合が39.3%となっています。

前回調査と比較すると、「自分の病気や老後のこと」の割合が3.5ポイント、「家族の健康や生活上の問題のこと」の割合が3.3ポイント増加しています。一方、「犯罪や防犯のこと」の割合が4.2ポイント、「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が3.3ポイント減少しています。

①性別・年代別

性別でみると、女性で「自分の病気や老後のこと」の割合が男性に比べて10ポイント以上高くなっています。

年代別でみると、10歳代を除き年代が低くなるにつれ「収入や貯蓄のこと」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年代が高くなるにつれ「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなる傾向がみられます。20歳代、40歳代で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が他に比べて高くなっています。また、30歳代、40歳代で「子どもの保育や教育のこと」の割合が他に比べて高く、特に30歳代では3割を超えています。

単位：%

| | | 有効回答数(件) | 収入や貯蓄のこと | 景気や生活費のこと | 就職や失業・倒産など仕事のこと | 家族の健康や生活上の問題のこと | 自分の病気や老後のこと | 子どもの保育や教育のこと | 近所づきあいのこと |
|-----|--------|----------|----------|-----------|-----------------|-----------------|-------------|--------------|-----------|
| 全 体 | | 577 | 39.3 | 43.0 | 10.1 | 28.8 | 40.0 | 9.0 | 6.2 |
| 性別 | 男性 | 244 | 41.4 | 44.3 | 11.9 | 29.1 | 33.6 | 8.6 | 6.6 |
| | 女性 | 315 | 38.4 | 43.5 | 9.2 | 28.3 | 44.4 | 9.8 | 6.0 |
| 年代別 | 10歳代 | 13 | 30.8 | 38.5 | 15.4 | 23.1 | 7.7 | — | — |
| | 20歳代 | 33 | 63.6 | 54.5 | 24.2 | 12.1 | 18.2 | 9.1 | 6.1 |
| | 30歳代 | 89 | 56.2 | 49.4 | 13.5 | 20.2 | 20.2 | 32.6 | 7.9 |
| | 40歳代 | 75 | 45.3 | 56.0 | 20.0 | 34.7 | 29.3 | 16.0 | 2.7 |
| | 50歳代 | 91 | 45.1 | 42.9 | 12.1 | 37.4 | 36.3 | 3.3 | 4.4 |
| | 60歳代 | 124 | 34.7 | 41.1 | 4.8 | 28.2 | 50.8 | 1.6 | 8.9 |
| | 70歳代 | 95 | 26.3 | 37.9 | 2.1 | 26.3 | 58.9 | 1.1 | 5.3 |
| | 80歳代以上 | 42 | 7.1 | 23.8 | 2.4 | 33.3 | 61.9 | 2.4 | 7.1 |

| | | 住まいの環境のこと | 環境問題のこと | 犯罪や防犯のこと | 事故や災害のこと | その他 | 不満を感じることはない | わからない | 無回答 |
|-----|--------|-----------|---------|----------|----------|-----|-------------|-------|-----|
| 全 体 | | 12.0 | 9.0 | 14.4 | 13.0 | 3.6 | 6.2 | 0.9 | 1.9 |
| 性別 | 男性 | 13.5 | 9.8 | 15.2 | 13.5 | 2.9 | 7.0 | 0.4 | 0.8 |
| | 女性 | 11.1 | 7.3 | 14.3 | 13.0 | 3.8 | 6.0 | 1.3 | 1.3 |
| 年代別 | 10歳代 | 23.1 | — | 15.4 | 7.7 | — | 15.4 | 7.7 | — |
| | 20歳代 | 12.1 | 12.1 | 15.2 | 18.2 | 3.0 | 3.0 | — | — |
| | 30歳代 | 15.7 | 4.5 | 10.1 | 6.7 | 5.6 | 4.5 | — | 2.2 |
| | 40歳代 | 8.0 | 5.3 | 18.7 | 10.7 | 5.3 | 4.0 | 1.3 | — |
| | 50歳代 | 14.3 | 9.9 | 17.6 | 6.6 | 3.3 | 4.4 | — | — |
| | 60歳代 | 12.1 | 12.9 | 14.5 | 15.3 | 3.2 | 7.3 | 1.6 | 1.6 |
| | 70歳代 | 8.4 | 9.5 | 13.7 | 17.9 | 3.2 | 8.4 | — | 2.1 |
| | 80歳代以上 | 11.9 | 4.8 | 9.5 | 26.2 | — | 11.9 | 2.4 | 4.8 |

②居住地域別

居住地域別で見ると、加茂野、伊深で「近所づきあいのこと」の割合が他に比べて高く、1割を超えています。また、蜂屋で「犯罪や防犯のこと」が他に比べて高く、約2割となっています。

単位：％

| | | 有効回答数 (件) | 収入や貯蓄のこと | 景気や生活費のこと | 就職や失業・倒産など 仕事のこと | 家族の健康や生活上 の問題のこと | 自分の病気や老後の こと | 子どもの保育や教育 のこと | 近所づきあいのこと |
|-------|--------|--------------|----------|-----------|---------------------|---------------------|-----------------|------------------|-----------|
| 全 体 | | 577 | 39.3 | 43.0 | 10.1 | 28.8 | 40.0 | 9.0 | 6.2 |
| 居住地域別 | 太田 | 119 | 34.5 | 44.5 | 10.1 | 33.6 | 37.0 | 10.1 | 5.0 |
| | 古井 | 167 | 39.5 | 43.7 | 12.0 | 24.0 | 42.5 | 9.6 | 6.6 |
| | 山之上 | 32 | 40.6 | 28.1 | 12.5 | 31.3 | 40.6 | 6.3 | 3.1 |
| | 蜂屋 | 72 | 43.1 | 47.2 | 5.6 | 29.2 | 33.3 | 11.1 | 4.2 |
| | 加茂野 | 84 | 46.4 | 44.0 | 10.7 | 27.4 | 40.5 | 8.3 | 10.7 |
| | 伊深 | 17 | 17.6 | 41.2 | 17.6 | 11.8 | 41.2 | — | 11.8 |
| | 三和 | 9 | 22.2 | 55.6 | 11.1 | 44.4 | 33.3 | 22.2 | — |
| | 下米田・牧野 | 60 | 40.0 | 45.0 | 6.7 | 31.7 | 43.3 | 6.7 | 5.0 |

| | | 住まいの環境のこと | 環境問題のこと | 犯罪や防犯のこと | 事故や災害のこと | その他 | 不満を感じることは ない | わからない | 無回答 |
|-------|--------|-----------|---------|----------|----------|-----|-----------------|-------|-----|
| 全 体 | | 12.0 | 9.0 | 14.4 | 13.0 | 3.6 | 6.2 | 0.9 | 1.9 |
| 居住地域別 | 太田 | 12.6 | 8.4 | 16.0 | 10.9 | 5.0 | 7.6 | 0.8 | 3.4 |
| | 古井 | 13.2 | 9.0 | 15.0 | 15.0 | 4.2 | 6.6 | 0.6 | 0.6 |
| | 山之上 | 9.4 | 6.3 | 6.3 | 18.8 | — | 12.5 | — | — |
| | 蜂屋 | 5.6 | 5.6 | 20.8 | 12.5 | 2.8 | 6.9 | 2.8 | 1.4 |
| | 加茂野 | 15.5 | 8.3 | 11.9 | 11.9 | 4.8 | 3.6 | — | 1.2 |
| | 伊深 | 11.8 | 17.6 | 11.8 | 11.8 | — | 5.9 | — | 5.9 |
| | 三和 | 22.2 | — | 11.1 | — | — | — | 11.1 | — |
| | 下米田・牧野 | 11.7 | 11.7 | 13.3 | 15.0 | 1.7 | 5.0 | — | — |

③子どもの年代別

子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれ、「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなり、「子どもの保育や教育のこと」の割合が低くなる傾向がみられます。また、小学生、中学生で「犯罪や防犯のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

| | | 有効回答数 (件) | 収入や貯蓄のこと | 景気や生活費のこと | 就職や失業・倒産など 仕事のこと | 家族の健康や生活上 の問題のこと | 自分の病気や老後の こと | 子どもの保育や教育 のこと | 近所づきあいのこと |
|---------|-------------------|--------------|----------|-----------|---------------------|---------------------|-----------------|------------------|-----------|
| 全 体 | | 577 | 39.3 | 43.0 | 10.1 | 28.8 | 40.0 | 9.0 | 6.2 |
| 子どもの年代別 | 未就学児 | 103 | 50.5 | 46.6 | 9.7 | 19.4 | 23.3 | 27.2 | 5.8 |
| | 小学生 | 94 | 47.9 | 48.9 | 7.4 | 30.9 | 25.5 | 29.8 | 5.3 |
| | 中学生 | 55 | 30.9 | 52.7 | 9.1 | 36.4 | 30.9 | 16.4 | 3.6 |
| | 中学生以下の同居人は いない | 232 | 40.5 | 43.1 | 13.8 | 31.9 | 41.8 | 1.3 | 6.9 |

| | | 住まいの環境のこと | 環境問題のこと | 犯罪や防犯のこと | 事故や災害のこと | その他 | 不満を感じることは ない | わからない | 無回答 |
|---------|-------------------|-----------|---------|----------|----------|-----|-----------------|-------|-----|
| 全 体 | | 12.0 | 9.0 | 14.4 | 13.0 | 3.6 | 6.2 | 0.9 | 1.9 |
| 子どもの年代別 | 未就学児 | 10.7 | 3.9 | 12.6 | 9.7 | 4.9 | 5.8 | 1.0 | 2.9 |
| | 小学生 | 12.8 | 5.3 | 20.2 | 13.8 | 3.2 | 4.3 | 1.1 | — |
| | 中学生 | 12.7 | 9.1 | 21.8 | 18.2 | 3.6 | 9.1 | 1.8 | — |
| | 中学生以下の同居人は いない | 12.5 | 8.2 | 13.4 | 10.8 | 3.9 | 5.6 | 0.4 | 0.9 |

④職業別

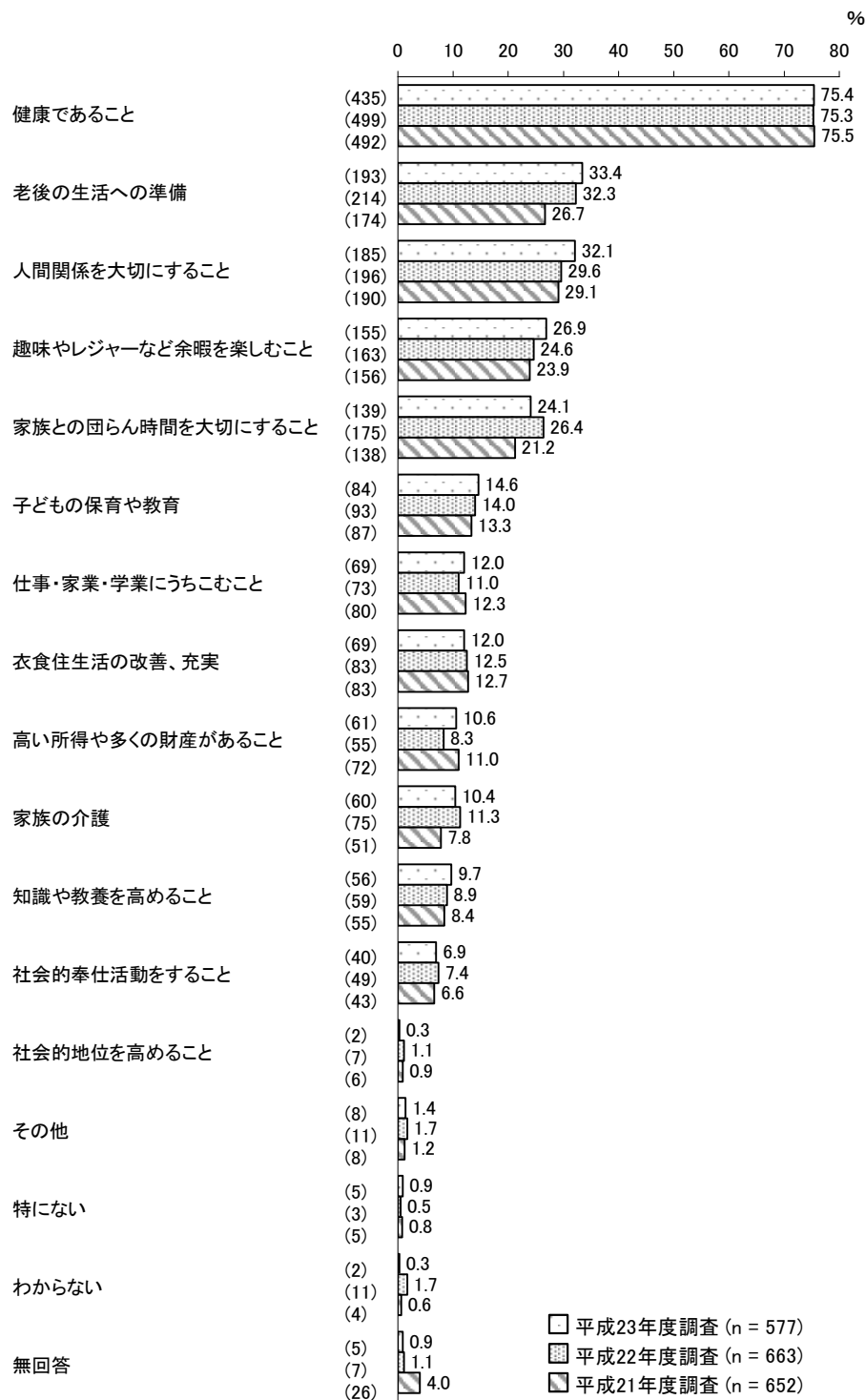
職業別で見ると、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で、「収入や貯蓄のこと」の割合が他に比べて高く、また、学生では「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が他に比べて高くなっています。無職では「自分の病気や老後のこと」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：％

| | | 有効回答数(件) | 収入や貯蓄のこと | 景気や生活費のこと | 就職や失業・倒産など仕事のこと | 家族の健康や生活上の問題のこと | 自分の病気や老後のこと | 子どもの保育や教育のこと | 近所づきあいのこと |
|-----|--------------------|----------|----------|-----------|-----------------|-----------------|-------------|--------------|-----------|
| 全 体 | | 577 | 39.3 | 43.0 | 10.1 | 28.8 | 40.0 | 9.0 | 6.2 |
| 職業別 | 農林業 | 24 | 25.0 | 25.0 | — | 45.8 | 33.3 | — | 8.3 |
| | 自営業 | 47 | 36.2 | 46.8 | 14.9 | 25.5 | 36.2 | 14.9 | 4.3 |
| | 会社員 | 131 | 55.7 | 49.6 | 16.0 | 27.5 | 26.0 | 16.8 | 4.6 |
| | 公務員 | 28 | 42.9 | 46.4 | 3.6 | 28.6 | 28.6 | 14.3 | 3.6 |
| | 団体職員 | 9 | 11.1 | 33.3 | — | 33.3 | 33.3 | — | 11.1 |
| | パート・アルバイト、フリーター、内職 | 90 | 53.3 | 51.1 | 14.4 | 27.8 | 34.4 | 7.8 | 7.8 |
| | 学生 | 17 | 35.3 | 52.9 | 29.4 | 11.8 | 17.6 | — | — |
| | 家事に専念している主婦(夫) | 77 | 31.2 | 50.6 | 5.2 | 29.9 | 45.5 | 14.3 | 9.1 |
| | 無職 | 125 | 24.0 | 31.2 | 4.0 | 28.8 | 65.6 | 0.8 | 7.2 |
| | その他 | 11 | 36.4 | 27.3 | — | 18.2 | 18.2 | — | — |

| | | 住まいの環境のこと | 環境問題のこと | 犯罪や防犯のこと | 事故や災害のこと | その他 | 不満を感じることはない | わからない | 無回答 |
|-----|--------------------|-----------|---------|----------|----------|-----|-------------|-------|-----|
| 全 体 | | 12.0 | 9.0 | 14.4 | 13.0 | 3.6 | 6.2 | 0.9 | 1.9 |
| 職業別 | 農林業 | 8.3 | 4.2 | 16.7 | 12.5 | — | 16.7 | 4.2 | 4.2 |
| | 自営業 | 12.8 | 17.0 | 6.4 | 2.1 | 6.4 | 8.5 | — | — |
| | 会社員 | 13.0 | 5.3 | 15.3 | 12.2 | 3.1 | 3.1 | 0.8 | 0.8 |
| | 公務員 | 21.4 | 7.1 | 17.9 | 21.4 | — | 3.6 | — | — |
| | 団体職員 | — | 11.1 | 33.3 | 22.2 | — | 11.1 | — | — |
| | パート・アルバイト、フリーター、内職 | 13.3 | 7.8 | 18.9 | 6.7 | 6.7 | 4.4 | — | 1.1 |
| | 学生 | 17.6 | 11.8 | 11.8 | 5.9 | — | 17.6 | 5.9 | — |
| | 家事に専念している主婦(夫) | 9.1 | 3.9 | 13.0 | 13.0 | 5.2 | 3.9 | 1.3 | 2.6 |
| | 無職 | 10.4 | 12.0 | 13.6 | 22.4 | 1.6 | 6.4 | 0.8 | 2.4 |
| | その他 | 9.1 | 18.2 | — | 9.1 | 9.1 | 27.3 | — | — |

問 12. 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと



「健康であること」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「老後の生活への準備」の割合が 33.4%、「人間関係を大切にすること」の割合が 32.1%となっています。

前回調査と比較すると、「人間関係を大切にすること」の割合が 2.5 ポイント、「趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと」「高い所得や多くの財産があること」の割合が 2.3 ポイント増加しています。一方、「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が 2.3 ポイント減少しています。

①性別・年代別

性別で見ると、女性で「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が男性に比べて高くなっています。また、男性で「趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別で見ると、10歳代を除き、年代が低くなるにつれ「高い所得や多くの財産があること」「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が高くなる傾向がみられます。50歳代から80歳代以上では「健康であること」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、50歳代、60歳代では「老後の生活への準備」の割合が高くなっています。一方、20歳代から40歳代では「子どもの保育や教育」の割合が他に比べて高く、特に30歳代では約5割となっています。また、30歳代では「家族との団らん時間を大切にすること」「衣食住生活の改善、充実」の割合が他に比べて高くなっています。10歳代、20歳代では「知識や教養を高めること」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。

単位：％

| | | 有効回答数(件) | 高い所得や多くの財産があること | 社会的地位を高めること | 仕事・家業・学業にうちこむこと | 知識や教養を高めること | 健康であること | 老後の生活への準備 | 家族の介護 | 家族との団らん時間を大切にすること |
|-----|--------|----------|-----------------|-------------|-----------------|-------------|---------|-----------|-------|-------------------|
| 全 体 | | 577 | 10.6 | 0.3 | 12.0 | 9.7 | 75.4 | 33.4 | 10.4 | 24.1 |
| 性別 | 男性 | 244 | 13.9 | — | 12.7 | 9.8 | 72.5 | 35.2 | 11.5 | 17.6 |
| | 女性 | 315 | 8.3 | 0.6 | 11.4 | 10.2 | 78.4 | 32.1 | 9.5 | 29.2 |
| 年代別 | 10歳代 | 13 | 30.8 | 15.4 | 84.6 | 38.5 | 46.2 | — | — | 15.4 |
| | 20歳代 | 33 | 39.4 | — | 42.4 | 39.4 | 51.5 | 6.1 | — | 24.2 |
| | 30歳代 | 89 | 23.6 | — | 13.5 | 14.6 | 50.6 | 15.7 | 2.2 | 39.3 |
| | 40歳代 | 75 | 13.3 | — | 17.3 | 13.3 | 74.7 | 26.7 | 8.0 | 28.0 |
| | 50歳代 | 91 | 6.6 | — | 12.1 | 3.3 | 89.0 | 46.2 | 15.4 | 23.1 |
| | 60歳代 | 124 | 3.2 | — | 2.4 | 6.5 | 83.9 | 47.6 | 13.7 | 16.9 |
| | 70歳代 | 95 | 2.1 | — | 2.1 | 4.2 | 84.2 | 35.8 | 15.8 | 17.9 |
| | 80歳代以上 | 42 | — | — | — | — | 83.3 | 38.1 | 9.5 | 23.8 |

| | | 子どもの保育や教育 | 衣食住生活の改善、充実 | 趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと | 社会的奉仕活動をする | 人間関係を大切にすること | その他 | 特にな | わからない | 無回答 |
|-----|--------|-----------|-------------|-------------------|------------|--------------|-----|-----|-------|-----|
| 全 体 | | 14.6 | 12.0 | 26.9 | 6.9 | 32.1 | 1.4 | 0.9 | 0.3 | 0.9 |
| 性別 | 男性 | 12.7 | 11.1 | 33.2 | 6.6 | 28.7 | 2.9 | 1.6 | 0.4 | 0.4 |
| | 女性 | 16.8 | 13.0 | 23.2 | 6.7 | 34.9 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| 年代別 | 10歳代 | 7.7 | — | 23.1 | — | 23.1 | — | — | — | — |
| | 20歳代 | 24.2 | 6.1 | 36.4 | 3.0 | 33.3 | — | — | — | — |
| | 30歳代 | 47.2 | 23.6 | 29.2 | 1.1 | 20.2 | 2.2 | — | — | 1.1 |
| | 40歳代 | 28.0 | 13.3 | 24.0 | 6.7 | 25.3 | 1.3 | 2.7 | — | — |
| | 50歳代 | 6.6 | 9.9 | 24.2 | 6.6 | 26.4 | 1.1 | — | — | — |
| | 60歳代 | 0.8 | 11.3 | 38.7 | 9.7 | 35.5 | 2.4 | — | — | 0.8 |
| | 70歳代 | 3.2 | 10.5 | 23.2 | 11.6 | 47.4 | 1.1 | 2.1 | — | — |
| | 80歳代以上 | 2.4 | 7.1 | 9.5 | 4.8 | 40.5 | — | 2.4 | 4.8 | — |

②居住地域別

居住地域別でみると、加茂野で「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。また、伊深で「家族の介護」「人間関係を大切にすること」の割合が他に比べて高くなっています。蜂屋においては「子どもの保育や教育」の割合が高くなっています。

単位：％

| | | 有効回答数(件) | 高い所得や多くの財産があること | 社会的地位を高めること | 仕事・家業・学業にうちこむこと | 知識や教養を高めること | 健康であること | 老後の生活への準備 | 家族の介護 | 家族との団らん時間を大切にすること |
|-------|--------|----------|-----------------|-------------|-----------------|-------------|---------|-----------|-------|-------------------|
| 全 体 | | 577 | 10.6 | 0.3 | 12.0 | 9.7 | 75.4 | 33.4 | 10.4 | 24.1 |
| 居住地域別 | 太田 | 119 | 15.1 | 0.8 | 11.8 | 9.2 | 75.6 | 38.7 | 10.1 | 19.3 |
| | 古井 | 167 | 10.2 | — | 10.2 | 9.6 | 76.6 | 31.7 | 12.0 | 21.6 |
| | 山之上 | 32 | 12.5 | — | 6.3 | 12.5 | 87.5 | 40.6 | 6.3 | 18.8 |
| | 蜂屋 | 72 | 12.5 | 1.4 | 15.3 | 9.7 | 66.7 | 30.6 | 4.2 | 25.0 |
| | 加茂野 | 84 | 9.5 | — | 11.9 | 11.9 | 72.6 | 32.1 | 8.3 | 35.7 |
| | 伊深 | 17 | — | — | 17.6 | — | 88.2 | 29.4 | 29.4 | 17.6 |
| | 三和 | 9 | — | — | 11.1 | — | 77.8 | 44.4 | 11.1 | 22.2 |
| | 下米田・牧野 | 60 | 6.7 | — | 13.3 | 11.7 | 75.0 | 28.3 | 13.3 | 26.7 |
| | わからない | 1 | — | — | 100.0 | 100.0 | 100.0 | — | — | — |

| | | 子どもの保育や教育 | 衣食住生活の改善、充実 | 趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと | 社会的奉仕活動をする | 人間関係を大切にすること | その他 | 特にな | わからない | 無回答 |
|-------|--------|-----------|-------------|-------------------|------------|--------------|-----|-----|-------|-----|
| 全 体 | | 14.6 | 12.0 | 26.9 | 6.9 | 32.1 | 1.4 | 0.9 | 0.3 | 0.9 |
| 居住地域別 | 太田 | 16.0 | 11.8 | 26.1 | 4.2 | 36.1 | — | 1.7 | — | 0.8 |
| | 古井 | 12.6 | 10.8 | 26.9 | 9.0 | 34.1 | 3.0 | 0.6 | 0.6 | 0.6 |
| | 山之上 | 12.5 | 12.5 | 37.5 | 9.4 | 21.9 | — | — | — | — |
| | 蜂屋 | 25.0 | 12.5 | 25.0 | 2.8 | 27.8 | 2.8 | 1.4 | — | — |
| | 加茂野 | 13.1 | 9.5 | 29.8 | 8.3 | 35.7 | 1.2 | — | — | — |
| | 伊深 | 5.9 | 17.6 | 17.6 | — | 58.8 | — | — | — | — |
| | 三和 | 11.1 | 22.2 | 44.4 | — | 22.2 | — | — | 11.1 | — |
| | 下米田・牧野 | 13.3 | 16.7 | 26.7 | 8.3 | 21.7 | — | 1.7 | — | — |
| | わからない | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

③職業別

職業別でみると、会社員、学生で「高い所得や多くの財産があること」の割合が他に比べて高く、「健康であること」について他に比べて低くなっています。また、会社員、公務員、家事に専念している主婦（夫）で「子どもの保育や教育」の割合が他に比べて高くなっています。

一方、家事に専念している主婦（夫）、無職で「健康であること」の割合が高くなっています。

単位：％

| | | 有効回答数 (件) | 高い所得や多くの 財産があること | 社会的地位を高める こと | 仕事・家業・学業に うちこむこと | 知識や教養を高める こと | 健康であること | 老後の生活への準備 | 家族の介護 | 家族との団らん時間 を大切にすること |
|-----|------------------------|--------------|---------------------|-----------------|---------------------|-----------------|---------|-----------|-------|-----------------------|
| 全 体 | | 577 | 10.6 | 0.3 | 12.0 | 9.7 | 75.4 | 33.4 | 10.4 | 24.1 |
| 職業別 | 農林業 | 24 | 4.2 | — | 4.2 | — | 79.2 | 33.3 | 16.7 | 16.7 |
| | 自営業 | 47 | 8.5 | — | 2.1 | 8.5 | 72.3 | 38.3 | 14.9 | 23.4 |
| | 会社員 | 131 | 23.7 | — | 19.1 | 13.0 | 64.1 | 32.8 | 5.3 | 22.9 |
| | 公務員 | 28 | — | — | 21.4 | 21.4 | 82.1 | 21.4 | 10.7 | 32.1 |
| | 団体職員 | 9 | 22.2 | — | 11.1 | — | 88.9 | 44.4 | 33.3 | 22.2 |
| | パート・アルバイト、 フリーター、内職 | 90 | 12.2 | — | 13.3 | 10.0 | 75.6 | 32.2 | 8.9 | 27.8 |
| | 学生 | 17 | 29.4 | 11.8 | 82.4 | 41.2 | 35.3 | 11.8 | — | 11.8 |
| | 家事に専念している主婦（夫） | 77 | 2.6 | — | 5.2 | 9.1 | 85.7 | 36.4 | 9.1 | 24.7 |
| | 無職 | 125 | 1.6 | — | 1.6 | 3.2 | 84.0 | 36.8 | 14.4 | 24.8 |
| | その他 | 11 | 9.1 | — | 9.1 | 9.1 | 72.7 | 18.2 | 9.1 | 9.1 |

| | | 子どもの保育や教育 | 衣食住生活の改善、 充実 | 趣味やレジャーなど 余暇を楽しむこと | 社会的奉仕活動をする こと | 人間関係を大切にす ること | その他 | 特にな い | わから ない | 無回 答 |
|-----|------------------------|-----------|-----------------|-----------------------|------------------|------------------|-----|----------|-----------|---------|
| 全 体 | | 14.6 | 12.0 | 26.9 | 6.9 | 32.1 | 1.4 | 0.9 | 0.3 | 0.9 |
| 職業別 | 農林業 | 4.2 | 4.2 | 25.0 | 16.7 | 54.2 | 4.2 | — | 4.2 | — |
| | 自営業 | 12.8 | 10.6 | 23.4 | 8.5 | 38.3 | 6.4 | — | — | — |
| | 会社員 | 20.6 | 13.0 | 35.1 | 3.1 | 21.4 | 0.8 | 1.5 | — | 0.8 |
| | 公務員 | 32.1 | 25.0 | 17.9 | — | 17.9 | 3.6 | — | — | — |
| | 団体職員 | 11.1 | — | 22.2 | 22.2 | 22.2 | — | — | — | — |
| | パート・アルバイト、 フリーター、内職 | 14.4 | 13.3 | 26.7 | 10.0 | 31.1 | 1.1 | — | — | — |
| | 学生 | — | — | 41.2 | — | 29.4 | — | — | — | — |
| | 家事に専念している主婦（夫） | 27.3 | 10.4 | 20.8 | 6.5 | 35.1 | — | — | — | 1.3 |
| | 無職 | 4.8 | 13.6 | 26.4 | 6.4 | 40.0 | 0.8 | 2.4 | 0.8 | — |
| | その他 | — | 9.1 | 27.3 | 18.2 | 36.4 | — | — | — | — |

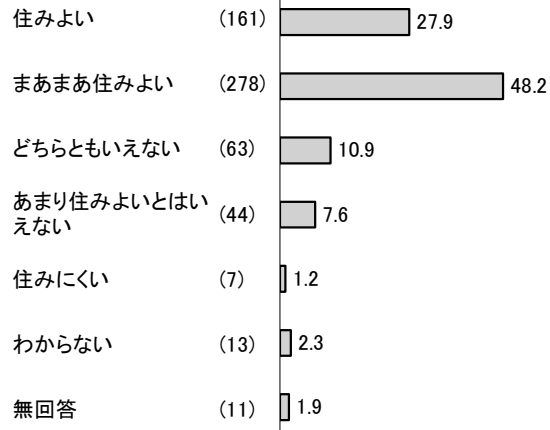
3 定住意向

問 13. 美濃加茂市の住みやすさ

「住みよい」と「まあまあ住みよい」をあわせた住みよ
いと感じている人の割合が
76.1%、「どちらともいえない」の割合が10.9%、「あまり
住みよいとはいえない」と「住
みにくい」をあわせた住みよ
いと感じていない人の割合が
8.8%となっています。

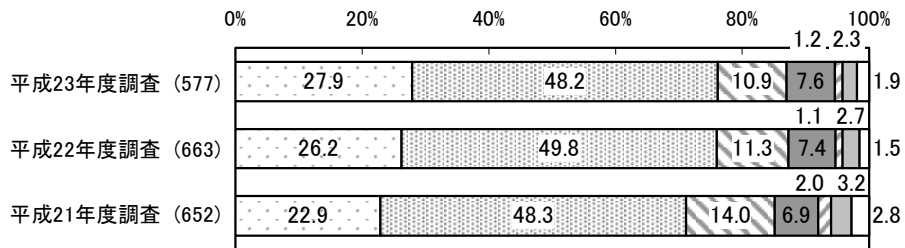
前回調査と比較すると、「住
みよい」の割合が1.7ポイン
ト増加しています。「まあまあ
住みよい」の割合が1.6ポイ
ント減少しています。

n = 577



- 住みよい
- まあまあ住みよい
- どちらともいえない
- あまり住みよいとはいえない
- 住みにくい
- わからない
- 無回答

全体



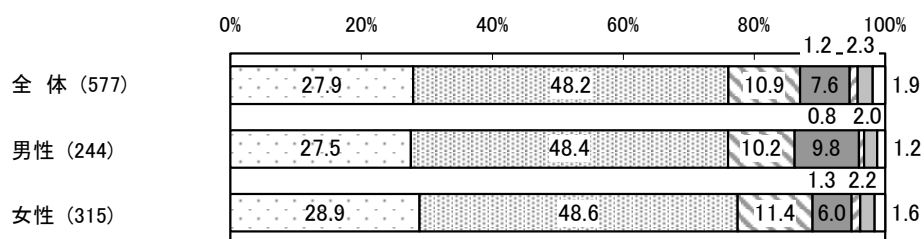
①性別・年代別

性別で見ると、大きな差異はみられません。

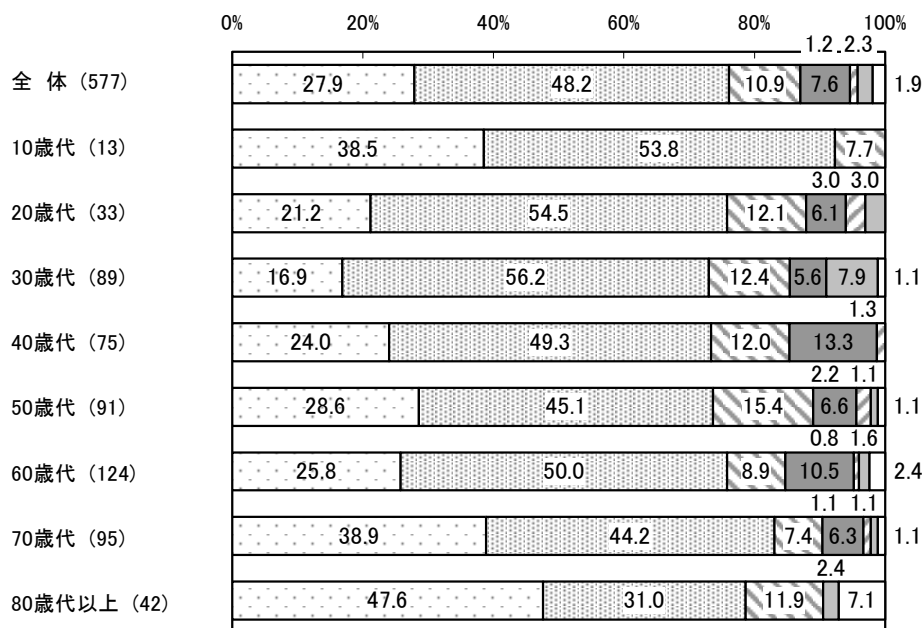
年代別で見ると、10歳代、70歳代では、住みよいと感じている人が高く、8割を超えています。また、40歳代、60歳代で住みよいと感じていない人が1割を超えています。

- 住みよい
- ▨ まあまあ住みよい
- ▨ どちらともいえない
- ▨ あまり住みよいとはいえない
- ▨ 住みにくい
- ▨ わからない
- 無回答

性別



年代別



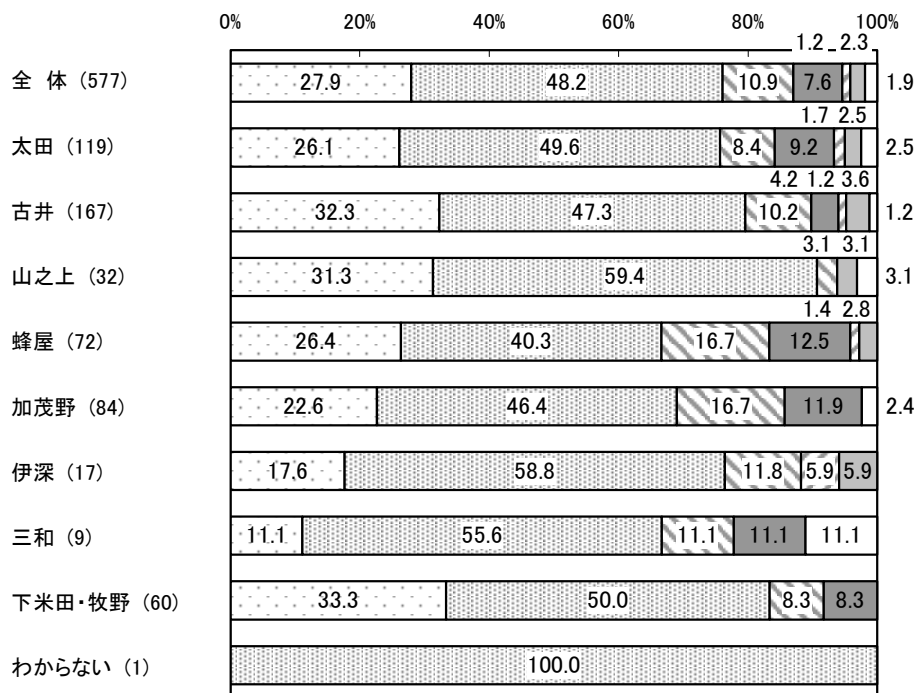
②居住地域別・家族構成別

居住地域別でみると、山之上で住みよいと感じている人の割合が高く、約9割となっています。

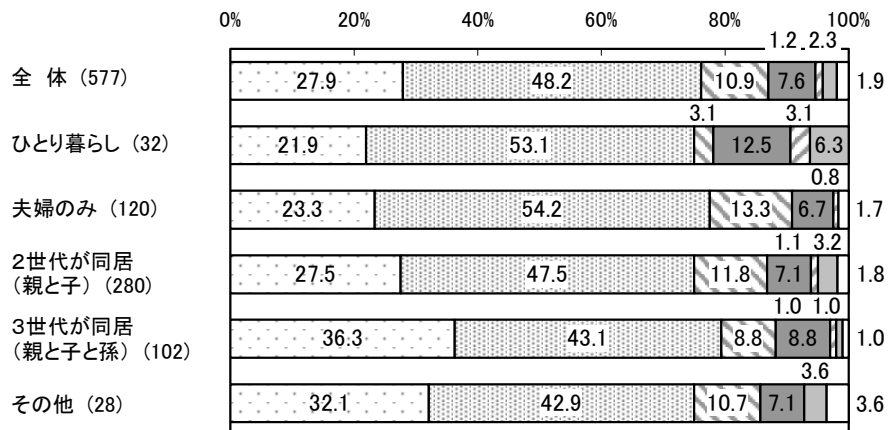
家族構成別でみると、ひとり暮らしで住みよいと感じていない人の割合が1割を超えています。

- 住みよい
- ▨ どちらともいえない
- ▩ 住みにくい
- 無回答
- ▨ まあまあ住みよい
- あまり住みよいとはいえない
- ▩ わからない

居住地域別



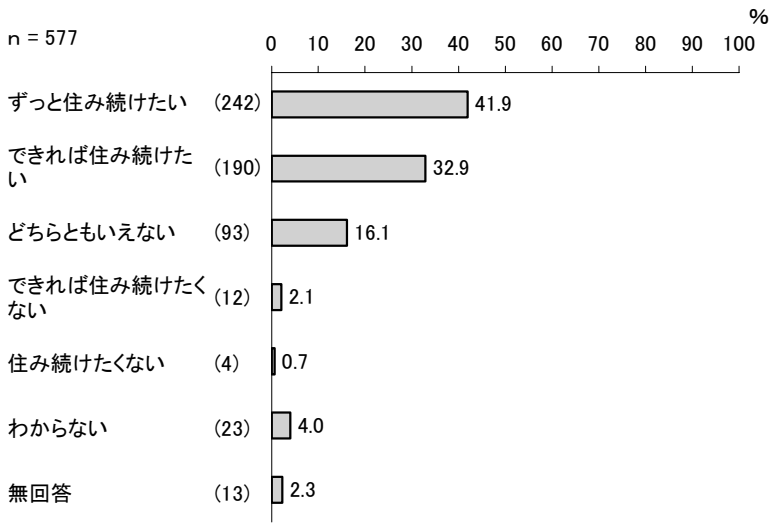
家族構成別



問 14. 美濃加茂市に住みたいか

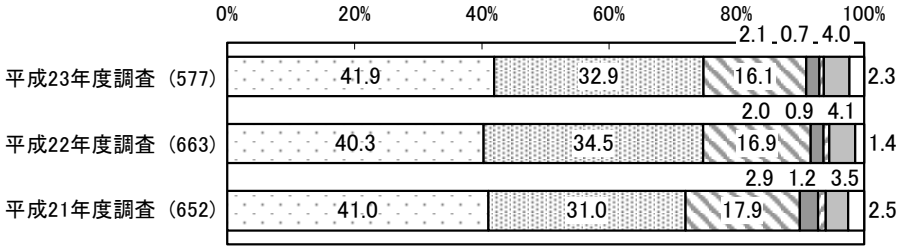
「ずっと住みたい」と「できれば住みたい」をあわせた住みたいと感じている人の割合が74.8%、「どちらともいえない」の割合が16.1%、「できれば住み続けたくない」と「住み続けたくない」をあわせた住み続けたくないと感じている人の割合が2.8%となっています。

前回調査と比較すると、「ずっと住みたい」の割合が1.6ポイント増加しています。一方、「できれば住み続けた」の割合が1.6ポイント減少しています。



- ずっと住みたい
- できれば住みたい
- どちらともいえない
- できれば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- わからない
- 無回答

全体



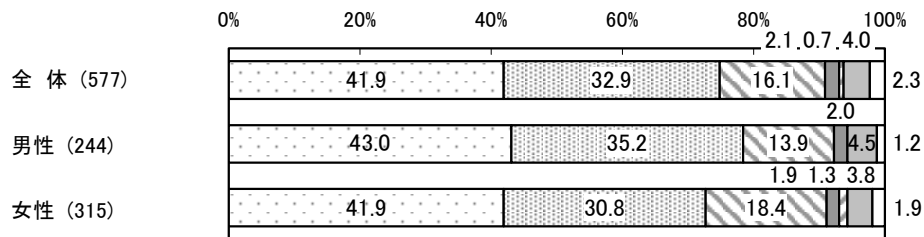
①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

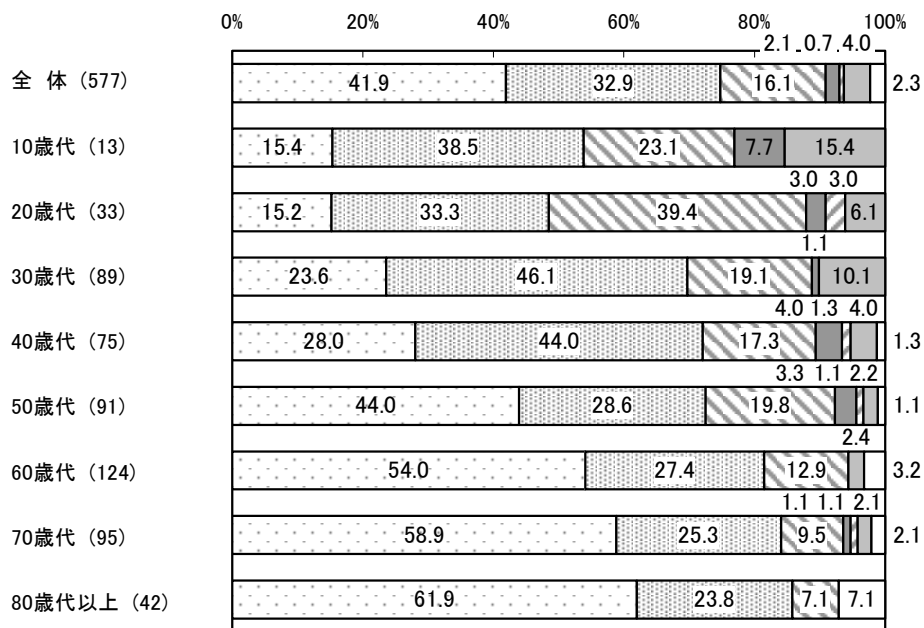
年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「ずっと住みたい」の割合が高くなる傾向がみられます。

- ずっと住みたい
- できれば住みたい
- どちらともいえない
- できれば住みたいくない
- 住みたいくない
- わからない
- 無回答

性別



年代別



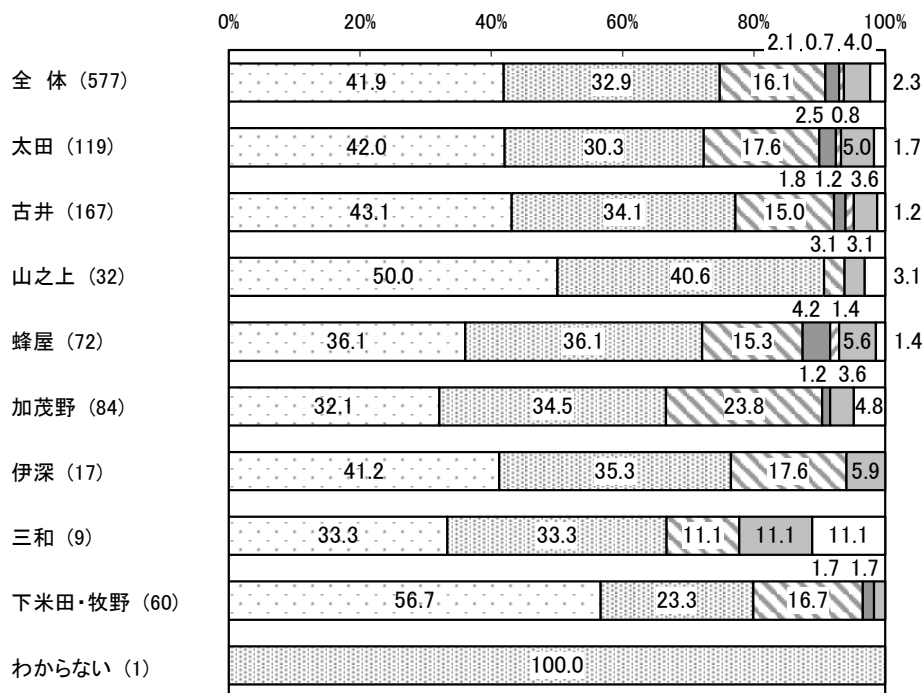
②居住地域別・家族構成別

居住地域別でみると、山之上で住み続けたいと感じている人の割合が高く、約9割となっています。

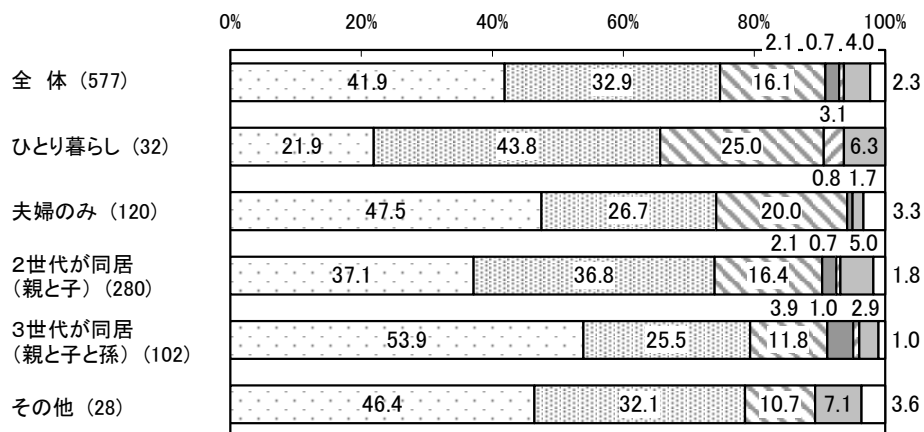
家族構成別でみると、3世代が同居（親と子と孫）で「ずっと住み続けたい」の割合が高く、5割を超えています。

- ずっと住み続けたい
- できれば住み続けたい
- どちらともいえない
- できれば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- わからない
- 無回答

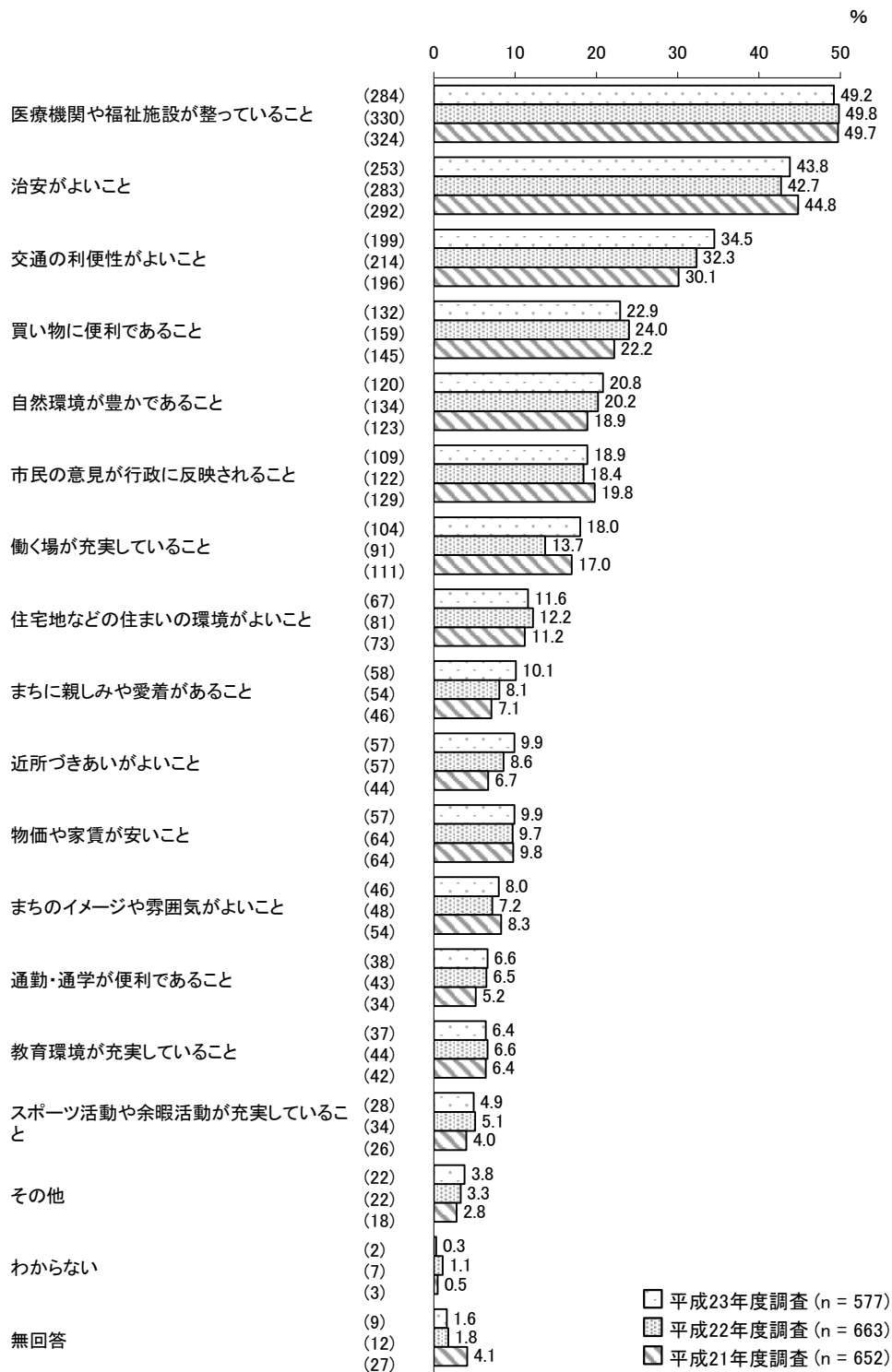
居住地域別



家族構成別



問 15. 美濃加茂市に住み続けるために必要なこと



「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が49.2%と最も高く、次いで「治安がよいこと」の割合が43.8%、「交通の利便性がよいこと」の割合が34.5%となっています。

前回調査と比較すると、「働く場が充実していること」の割合が4.3ポイント増加しています。

①性別・年代別

性別で見ると、女性で「買い物に便利であること」の割合が男性に比べて5ポイント以上高くなっています。

年代別で見ると、10歳代、20歳代で「交通の利便性がよいこと」の割合が高く、5割を超えています。また、50歳代以上では「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が高く、5割を超えています。10歳代、30歳代から50歳代では「働く場が充実していること」、30歳代、40歳代で「教育環境が充実していること」の割合が他に比べて高くなっています。また、40歳代では「治安がよいこと」の割合が他に比べて高く、約6割となっています。

単位：%

| | | 有効回答数(件) | 自然環境が豊かであること | 交通の利便性がよいこと | 住宅地などの住まいの環境がよいこと | まちのイメージや雰囲気が良いこと | 買い物に便利であること | 治安がよいこと | 近所づきあいがよいこと | 働く場が充実していること | 通勤・通学が便利であること |
|-----|--------|----------|--------------|-------------|-------------------|------------------|-------------|---------|-------------|--------------|---------------|
| 全 体 | | 577 | 20.8 | 34.5 | 11.6 | 8.0 | 22.9 | 43.8 | 9.9 | 18.0 | 6.6 |
| 性別 | 男性 | 244 | 23.8 | 32.8 | 13.1 | 10.2 | 19.7 | 43.9 | 7.0 | 16.8 | 6.6 |
| | 女性 | 315 | 19.0 | 36.5 | 10.2 | 6.7 | 26.0 | 44.4 | 11.7 | 20.0 | 7.0 |
| 年代別 | 10歳代 | 13 | 15.4 | 61.5 | 23.1 | 7.7 | 15.4 | 30.8 | — | 38.5 | 15.4 |
| | 20歳代 | 33 | 24.2 | 51.5 | 6.1 | 12.1 | 33.3 | 36.4 | 12.1 | 21.2 | 21.2 |
| | 30歳代 | 89 | 12.4 | 37.1 | 12.4 | 11.2 | 22.5 | 41.6 | 5.6 | 27.0 | 13.5 |
| | 40歳代 | 75 | 14.7 | 36.0 | 12.0 | 13.3 | 20.0 | 61.3 | 9.3 | 28.0 | 10.7 |
| | 50歳代 | 91 | 17.6 | 39.6 | 12.1 | 6.6 | 16.5 | 42.9 | 11.0 | 26.4 | 6.6 |
| | 60歳代 | 124 | 27.4 | 23.4 | 8.1 | 7.3 | 20.2 | 44.4 | 12.1 | 13.7 | 0.8 |
| | 70歳代 | 95 | 27.4 | 32.6 | 11.6 | 5.3 | 28.4 | 37.9 | 10.5 | 6.3 | 2.1 |
| | 80歳代以上 | 42 | 23.8 | 33.3 | 16.7 | 2.4 | 33.3 | 45.2 | 9.5 | — | — |

| | | 医療機関や福祉施設が整っていること | 教育環境が充実していること | スポーツ活動や余暇活動が充実していること | 物価や家賃が安いこと | まちに親しみや愛着があること | 市民の意見が行政に反映されること | その他 | わからない | 無回答 |
|-----|--------|-------------------|---------------|----------------------|------------|----------------|------------------|-----|-------|-----|
| 全 体 | | 49.2 | 6.4 | 4.9 | 9.9 | 10.1 | 18.9 | 3.8 | 0.3 | 1.6 |
| 性別 | 男性 | 51.6 | 7.4 | 4.9 | 9.8 | 11.1 | 21.7 | 5.3 | — | 0.8 |
| | 女性 | 47.6 | 6.0 | 4.8 | 10.2 | 9.5 | 16.5 | 2.2 | 0.3 | 1.6 |
| 年代別 | 10歳代 | 7.7 | 7.7 | — | 23.1 | 7.7 | — | — | — | — |
| | 20歳代 | 18.2 | 9.1 | 9.1 | 21.2 | 12.1 | 12.1 | 6.1 | — | — |
| | 30歳代 | 36.0 | 20.2 | 4.5 | 15.7 | 10.1 | 14.6 | 6.7 | — | — |
| | 40歳代 | 49.3 | 13.3 | 1.3 | 6.7 | 12.0 | 18.7 | 2.7 | — | — |
| | 50歳代 | 57.1 | 2.2 | 7.7 | 13.2 | 7.7 | 18.7 | 2.2 | — | 1.1 |
| | 60歳代 | 59.7 | 0.8 | 7.3 | 8.1 | 8.9 | 25.0 | 4.0 | 0.8 | 2.4 |
| | 70歳代 | 56.8 | 1.1 | 4.2 | 4.2 | 9.5 | 21.1 | 4.2 | 1.1 | — |
| | 80歳代以上 | 52.4 | — | — | — | 16.7 | 11.9 | — | — | 7.1 |

②居住地域別

居住地域別でみると、山之上で「自然環境が豊かであること」の割合が他に比べて高くなっています。また、伊深では「近所づきあいがよいこと」の割合が高くなっています。一方、蜂屋では「買い物に便利であること」「まちに親しみや愛着があること」の割合が他に比べて低くなっています。

単位：%

| | | 有効回答数(件) | 自然環境が豊かであること | 交通の利便性がよいこと | 住宅地などの住まいの環境がよいこと | まちなイメージや雰囲気が良いこと | 買い物に便利であること | 治安がよいこと | 近所づきあいがよいこと | 働く場が充実していること | 通勤・通学が便利であること |
|-------|--------|----------|--------------|-------------|-------------------|------------------|-------------|---------|-------------|--------------|---------------|
| 全 体 | | 577 | 20.8 | 34.5 | 11.6 | 8.0 | 22.9 | 43.8 | 9.9 | 18.0 | 6.6 |
| 居住地区別 | 太田 | 119 | 16.8 | 31.9 | 12.6 | 9.2 | 27.7 | 45.4 | 6.7 | 18.5 | 5.9 |
| | 古井 | 167 | 23.4 | 32.3 | 12.0 | 10.2 | 19.8 | 47.9 | 10.8 | 18.0 | 4.8 |
| | 山之上 | 32 | 34.4 | 31.3 | 9.4 | 6.3 | 15.6 | 56.3 | 15.6 | 18.8 | — |
| | 蜂屋 | 72 | 20.8 | 38.9 | 11.1 | 5.6 | 11.1 | 52.8 | 8.3 | 13.9 | 9.7 |
| | 加茂野 | 84 | 17.9 | 38.1 | 13.1 | 6.0 | 29.8 | 35.7 | 11.9 | 20.2 | 4.8 |
| | 伊深 | 17 | 23.5 | 41.2 | 17.6 | — | 29.4 | 23.5 | 23.5 | 17.6 | — |
| | 三和 | 9 | 11.1 | 55.6 | 11.1 | — | 22.2 | — | 11.1 | 22.2 | 33.3 |
| | 下米田・牧野 | 60 | 21.7 | 31.7 | 6.7 | 11.7 | 30.0 | 38.3 | 5.0 | 20.0 | 15.0 |
| | わからない | 1 | — | 100.0 | — | — | — | 100.0 | — | — | — |

| | | 医療機関や福祉施設が整っていること | 教育環境が充実していること | スポーツ活動や余暇活動が充実していること | 物価や家賃が安いこと | まちに親しみや愛着があること | 市民の意見が行政に反映されること | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|--------|-------------------|---------------|----------------------|------------|----------------|------------------|------|-------|------|
| 全 体 | | 49.2 | 6.4 | 4.9 | 9.9 | 10.1 | 18.9 | 3.8 | 0.3 | 1.6 |
| 居住地区別 | 太田 | 50.4 | 9.2 | 6.7 | 7.6 | 8.4 | 21.0 | 4.2 | 0.8 | 0.8 |
| | 古井 | 47.9 | 7.8 | 3.6 | 7.2 | 14.4 | 18.6 | 4.2 | — | 1.2 |
| | 山之上 | 50.0 | 6.3 | — | 6.3 | 9.4 | 15.6 | — | — | 3.1 |
| | 蜂屋 | 51.4 | 8.3 | 6.9 | 11.1 | 2.8 | 19.4 | 4.2 | — | — |
| | 加茂野 | 53.6 | 1.2 | 6.0 | 14.3 | 6.0 | 17.9 | 4.8 | 1.2 | 2.4 |
| | 伊深 | 41.2 | 5.9 | 5.9 | 17.6 | 11.8 | 5.9 | — | — | — |
| | 三和 | 22.2 | — | — | — | 11.1 | 11.1 | 11.1 | — | 11.1 |
| | 下米田・牧野 | 51.7 | 3.3 | 5.0 | 16.7 | 15.0 | 23.3 | — | — | — |
| | わからない | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

③家族構成別

家族構成別で見ると、夫婦のみで「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が他に比べて高く、約6割となっています。また、「買い物に便利であること」も夫婦のみで高くなっています。2世代が同居（親と子）で「教育環境が充実していること」が他に比べて高くなっています。

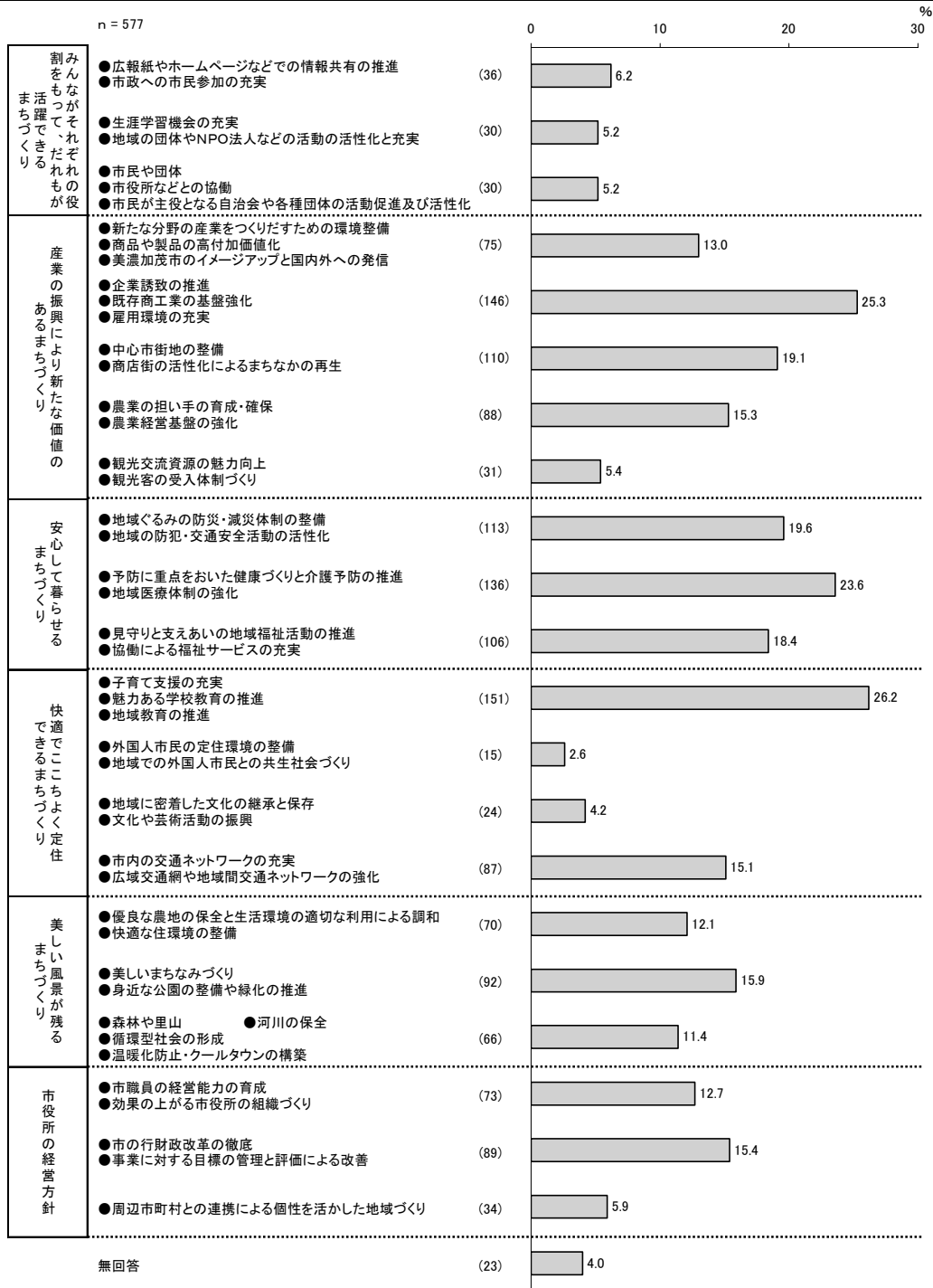
単位：％

| | | 有効回答数（件） | 自然環境が豊かであること | 交通の利便性がよいこと | 住宅地などの住まいの環境がよいこと | まちなイメージや雰囲気が良いこと | 買い物に便利であること | 治安がよいこと | 近所づきあいがよいこと | 働く場が充実していること | 通勤・通学が便利であること |
|-------|---------------|----------|--------------|-------------|-------------------|------------------|-------------|---------|-------------|--------------|---------------|
| 全 体 | | 577 | 20.8 | 34.5 | 11.6 | 8.0 | 22.9 | 43.8 | 9.9 | 18.0 | 6.6 |
| 家族構成別 | ひとり暮らし | 32 | 21.9 | 40.6 | 15.6 | 6.3 | 25.0 | 37.5 | 3.1 | 12.5 | 6.3 |
| | 夫婦のみ | 120 | 24.2 | 38.3 | 5.8 | 7.5 | 30.8 | 35.8 | 7.5 | 14.2 | 4.2 |
| | 2世代が同居（親と子） | 280 | 18.2 | 32.9 | 13.6 | 8.2 | 18.6 | 46.1 | 11.1 | 20.4 | 8.6 |
| | 3世代が同居（親と子と孫） | 102 | 21.6 | 37.3 | 8.8 | 9.8 | 21.6 | 45.1 | 11.8 | 22.5 | 6.9 |
| | その他 | 28 | 32.1 | 17.9 | 17.9 | 7.1 | 35.7 | 57.1 | 7.1 | 10.7 | — |

| | | 医療機関や福祉施設が整っていること | 教育環境が充実していること | スポーツ活動や余暇活動が充実していること | 物価や家賃が安いこと | まちに親しみや愛着があること | 市民の意見が行政に反映されること | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|---------------|-------------------|---------------|----------------------|------------|----------------|------------------|-----|-------|-----|
| 全 体 | | 49.2 | 6.4 | 4.9 | 9.9 | 10.1 | 18.9 | 3.8 | 0.3 | 1.6 |
| 家族構成別 | ひとり暮らし | 31.3 | 6.3 | 3.1 | 21.9 | 18.8 | 21.9 | 6.3 | — | — |
| | 夫婦のみ | 61.7 | 1.7 | 6.7 | 7.5 | 9.2 | 19.2 | 3.3 | — | — |
| | 2世代が同居（親と子） | 46.1 | 10.7 | 3.9 | 11.1 | 8.2 | 20.0 | 3.6 | 0.7 | 1.8 |
| | 3世代が同居（親と子と孫） | 53.9 | 2.9 | 4.9 | 6.9 | 11.8 | 16.7 | 4.9 | — | 1.0 |
| | その他 | 39.3 | — | 10.7 | 3.6 | 14.3 | 10.7 | — | — | 3.6 |

4 第5次総合計画について

問 16. 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあいいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を□に記入してください。(3つまで)



「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が26.2%と最も高く、次いで「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」の割合が25.3%、「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」の割合が23.6%となっています。

①性別

性別で見ると、女性で「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」の割合が男性に比べて高く、特に「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」では10ポイント以上高くなっています。また、男性で「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」「優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備」「市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり」「市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善」の割合が女性に比べて高く、特に「優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備」では10ポイント以上高くなっています。

単位：%

| | | 有効回答数(件) | 見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実 | 予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化 | 地域ぐるみでの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化 | 観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり | 農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化 | 中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生 | 企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実 | 新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信 | 市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化 | 生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実 | 広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実 |
|-----|----|----------|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------|----------------------------|--|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 全 体 | | 577 | 6.2 | 5.2 | 5.2 | 13.0 | 25.3 | 19.1 | 15.3 | 5.4 | 19.6 | 23.6 | 18.4 |
| 性別 | 男性 | 244 | 5.3 | 3.7 | 6.1 | 16.0 | 29.5 | 20.5 | 16.4 | 5.7 | 18.9 | 18.9 | 12.3 |
| | 女性 | 315 | 7.0 | 6.0 | 4.1 | 11.1 | 22.9 | 16.5 | 14.3 | 4.8 | 20.0 | 28.6 | 22.9 |

単位：%

| | | 子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進 | 外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり | 地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興 | 市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化 | 優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備 | 美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進 | 森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築 | 市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり | 市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善 | 周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり | 無回答 |
|-----|----|------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------|-----|
| 全 体 | | 26.2 | 2.6 | 4.2 | 15.1 | 12.1 | 15.9 | 11.4 | 12.7 | 15.4 | 5.9 | 4.0 |
| 性別 | 男性 | 25.8 | 2.9 | 1.6 | 15.6 | 18.0 | 15.6 | 14.3 | 16.0 | 20.5 | 6.1 | 1.2 |
| | 女性 | 27.0 | 2.5 | 5.7 | 14.6 | 7.3 | 16.8 | 9.2 | 10.8 | 12.1 | 6.0 | 5.7 |

②年代別

年代別でみると、30歳代で「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が高く、6割を超えています。10歳代、20歳代、50歳代で「市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化」の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代から30歳代で「美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進」の割合が高くなっています。40歳代、60歳代では「地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化」の割合が、20歳代、60歳代では「森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築」の割合が、60歳代、70歳代では「市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：％

| | 有効回答数(件) | 広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実 | 広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実 | 生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実 | 市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化 | 新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信 | 企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実 | 中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生 | 農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化 | 観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり | 地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化 | 予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化 | 見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実 |
|-----|----------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--|--|----------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 全 体 | 577 | 6.2 | 5.2 | 5.2 | 13.0 | 25.3 | 19.1 | 15.3 | 5.4 | 19.6 | 23.6 | 18.4 | |
| 年代別 | 10歳代 | 13 | 15.4 | — | — | 15.4 | 30.8 | 23.1 | — | 7.7 | — | 15.4 | 23.1 |
| | 20歳代 | 33 | 6.1 | 6.1 | 3.0 | 15.2 | 27.3 | 18.2 | 9.1 | — | 18.2 | 12.1 | 3.0 |
| | 30歳代 | 89 | 5.6 | 6.7 | 1.1 | 13.5 | 24.7 | 21.3 | 10.1 | 5.6 | 14.6 | 15.7 | 11.2 |
| | 40歳代 | 75 | 2.7 | 6.7 | 5.3 | 12.0 | 34.7 | 20.0 | 9.3 | 9.3 | 24.0 | 29.3 | 22.7 |
| | 50歳代 | 91 | 3.3 | 4.4 | 2.2 | 15.4 | 33.0 | 16.5 | 22.0 | 2.2 | 17.6 | 27.5 | 29.7 |
| | 60歳代 | 124 | 9.7 | 4.8 | 8.1 | 11.3 | 21.0 | 15.3 | 14.5 | 4.0 | 26.6 | 24.2 | 22.6 |
| | 70歳代 | 95 | 8.4 | 5.3 | 8.4 | 15.8 | 21.1 | 16.8 | 17.9 | 7.4 | 16.8 | 28.4 | 12.6 |
| | 80歳代以上 | 42 | 2.4 | 2.4 | 4.8 | 7.1 | 16.7 | 28.6 | 23.8 | 4.8 | 16.7 | 28.6 | 11.9 |

単位：%

| | | 子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進 | 外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり | 地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興 | 市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化 | 優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備 | 美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進 | 森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築 | 市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり | 市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善 | 周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり | 無回答 |
|-----|---------|------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------|------|
| 全 体 | | 26.2 | 2.6 | 4.2 | 15.1 | 12.1 | 15.9 | 11.4 | 12.7 | 15.4 | 5.9 | 4.0 |
| 年代別 | 10 歳代 | 30.8 | — | — | 30.8 | 15.4 | 38.5 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | — |
| | 20 歳代 | 39.4 | 9.1 | 3.0 | 27.3 | 6.1 | 36.4 | 21.2 | 6.1 | 9.1 | 9.1 | 3.0 |
| | 30 歳代 | 64.0 | 3.4 | 5.6 | 15.7 | 7.9 | 25.8 | 12.4 | 6.7 | 16.9 | 5.6 | 1.1 |
| | 40 歳代 | 29.3 | 2.7 | 2.7 | 16.0 | 5.3 | 17.3 | 9.3 | 13.3 | 13.3 | 5.3 | — |
| | 50 歳代 | 13.2 | 1.1 | 3.3 | 28.6 | 16.5 | 6.6 | 8.8 | 8.8 | 14.3 | 5.5 | 2.2 |
| | 60 歳代 | 16.9 | 1.6 | 4.0 | 8.9 | 13.7 | 11.3 | 17.7 | 18.5 | 18.5 | 6.5 | 3.2 |
| | 70 歳代 | 15.8 | 2.1 | 7.4 | 5.3 | 12.6 | 13.7 | 6.3 | 17.9 | 21.1 | 5.3 | 6.3 |
| | 80 歳代以上 | 4.8 | 2.4 | — | 9.5 | 21.4 | 9.5 | 4.8 | 11.9 | 7.1 | 7.1 | 19.0 |

③居住地域別

居住地域別でみると、太田で「中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生」の割合が他に比べて高くなっています。蜂屋では「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が高くなっています。また、伊深で「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

| | 有効回答数（件） | 広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実 | 生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実 | 市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化 | 新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信 | 企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実 | 中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生 | 農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化 | 観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり | 地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化 | 予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化 | 見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実 | |
|-----------|----------|-----------------------------------|-----------------------------------|--|--|----------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------|
| 全 体 | 577 | 6.2 | 5.2 | 5.2 | 13.0 | 25.3 | 19.1 | 15.3 | 5.4 | 19.6 | 23.6 | 18.4 | |
| 居住地 区別 | 太田 | 119 | 6.7 | 6.7 | 5.9 | 17.6 | 30.3 | 31.9 | 4.2 | 5.9 | 16.8 | 21.0 | 16.8 |
| | 古井 | 167 | 3.0 | 6.6 | 4.2 | 15.0 | 25.1 | 21.0 | 18.0 | 6.0 | 19.8 | 26.9 | 17.4 |
| | 山之上 | 32 | 6.3 | 3.1 | 6.3 | 15.6 | 18.8 | 12.5 | 18.8 | — | 15.6 | 34.4 | 28.1 |
| | 蜂屋 | 72 | 6.9 | 2.8 | 4.2 | 4.2 | 29.2 | 13.9 | 18.1 | 8.3 | 20.8 | 19.4 | 13.9 |
| | 加茂野 | 84 | 8.3 | 3.6 | 4.8 | 11.9 | 15.5 | 14.3 | 15.5 | 4.8 | 17.9 | 22.6 | 19.0 |
| | 伊深 | 17 | 11.8 | 5.9 | 11.8 | 11.8 | 29.4 | 5.9 | 17.6 | — | 29.4 | 23.5 | 41.2 |
| | 三和 | 9 | — | — | — | 11.1 | 33.3 | — | 33.3 | 11.1 | — | 33.3 | 11.1 |
| | 下米田・牧野 | 60 | 10.0 | 5.0 | 3.3 | 13.3 | 26.7 | 8.3 | 18.3 | 1.7 | 25.0 | 23.3 | 18.3 |
| わからない | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | 100.0 | — | — | |

単位：%

| | | 子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進 | 外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり | 地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興 | 市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化 | 優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備 | 美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進 | 森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築 | 市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり | 市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善 | 周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり | 無回答 |
|-------|--------|------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------|------|
| 全 体 | | 26.2 | 2.6 | 4.2 | 15.1 | 12.1 | 15.9 | 11.4 | 12.7 | 15.4 | 5.9 | 4.0 |
| 居住地区別 | 太田 | 23.5 | 2.5 | 3.4 | 18.5 | 3.4 | 21.8 | 5.9 | 12.6 | 16.8 | 7.6 | 3.4 |
| | 古井 | 22.2 | 3.0 | 6.6 | 8.4 | 15.6 | 16.8 | 10.8 | 13.8 | 18.6 | 4.2 | 3.0 |
| | 山之上 | 21.9 | — | 3.1 | 12.5 | 25.0 | 15.6 | 12.5 | 12.5 | 18.8 | 3.1 | 3.1 |
| | 蜂屋 | 37.5 | 1.4 | 4.2 | 20.8 | 8.3 | 12.5 | 18.1 | 12.5 | 16.7 | 6.9 | 5.6 |
| | 加茂野 | 26.2 | 4.8 | — | 22.6 | 13.1 | 16.7 | 11.9 | 16.7 | 8.3 | 6.0 | 4.8 |
| | 伊深 | 29.4 | — | 5.9 | 11.8 | 17.6 | 5.9 | 11.8 | 5.9 | 5.9 | — | — |
| | 三和 | 22.2 | — | — | 11.1 | 33.3 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | — | 22.2 | 11.1 |
| | 下米田・牧野 | 28.3 | 3.3 | 5.0 | 10.0 | 11.7 | 10.0 | 13.3 | 10.0 | 18.3 | 8.3 | 5.0 |
| わからない | 100.0 | — | — | 100.0 | — | — | — | — | — | — | — | |

5 重要度・満足度調査

1. 重要度・満足度の得点化

32 項目の質問項目について、「重要度」と「満足度」を 3 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■重要度・満足度の得点化の手順■

| 重要度 | | 得点 | | 満足度 | | 得点 |
|-----------|---|-------|--|-----------|---|-------|
| 重要 | → | 5 点 | | 満足 | → | 5 点 |
| どちらともいえない | → | 3 点 | | どちらともいえない | → | 3 点 |
| 重要ではない | → | 0 点 | | 満足ではない | → | 0 点 |
| 無回答 | → | 計算対象外 | | 無回答 | → | 計算対象外 |

■得点の算出式■

| |
|---|
| $\begin{aligned} &5 \text{ 点} \times \text{「重要(満足)」の回答数} \\ &+ 3 \text{ 点} \times \text{「どちらともいえない」の回答数} \\ &+ 0 \text{ 点} \times \text{「重要(満足)ではない」の回答数} \\ \hline &\text{無回答を除いた設問の回答総数} \end{aligned}$ |
|---|

例えば、仮に全員が「重要」を選んだ場合、その重要度の得点は 5.00 点になります。
得点については、小数点以下第 3 位を四捨五入して表示しています。

算出された重要度・満足度得点をもとに、各事業の重要度・満足度別に順位付けを行いました。

『ごみ袋料金に対する市の負担』については、重要度・満足度ともに上位3位以内に順位付けられています。

一方で『スポーツによる自治会親善や地域活性化』、『商店街実施イベントへの補助金交付』については、重要度・満足度ともに下位3位以内に順位付けられています。

■重要度・満足度のベスト3とワースト3■

| 重要度 | | 順位 | 満足度 | |
|------------------------------|------|------|------|-------------------------|
| 事業名 | 得点 | | 得点 | 事業名 |
| (13) 防犯灯の維持管理費の一部補助 | 4.68 | 第1位 | 4.09 | (28) ごみ袋料金に対する市の負担 |
| (28) ごみ袋料金に対する市の負担 | 4.65 | 第2位 | 3.64 | (16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化 |
| (10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | 4.58 | 第3位 | 3.62 | (15) 75歳以上の方の健診費用無料化 |
| (27) 「かわまちづくり事業」の推進 | 3.63 | 第30位 | 2.92 | (25) あい愛バスの運行 |
| (3) スポーツによる自治会親善や地域活性化 | 3.54 | 第31位 | 2.91 | (3) スポーツによる自治会親善や地域活性化 |
| (8) 商店街実施イベントへの補助金交付 | 3.44 | 最下位 | 2.51 | (8) 商店街実施イベントへの補助金交付 |

重要度の上位3位以内に位置付けられた理由としては、(13)防犯灯の維持管理費の一部補助「犯罪の減少を図る方策です。犯罪の多いところには、必ず設置してほしい。」、(28)ごみ袋料金に対する市の負担「美濃加茂市はごみ袋が安いので助かっています。」、(10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付「市民全体の防災意識を高めるためには必要。防災器具庫・設備をもっと多く設置してほしい。」などが挙げられています。

一方で、重要度の下位3位以内に位置付けられた理由としては、(8)商店街実施イベントへの補助金交付「あえて支出は必要なし。自分たちで活性化を考え、自立すべき。」、(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化「参加者の少なさが十分物語っている。」、(27)「かわまちづくり事業」の推進「整備（コンクリート護岸）は自然景観に逆行する。良好な空間とは、生物、植物との共生が大切である。」などの意見が挙げられています。

満足度の上位3位以内に位置付けられた理由としては、(28)ごみ袋料金に対する市の負担「これはとてもありがたいです。継続していただけるようお願いいたします。」、(16)中学校卒業までの子どもの医療費無料化「この制度を使わせていただいて、とても安心して子育てできます。」、(15)75歳以上の方の健診費用無料化「年金が少なくなるばかりなので、健診費用が無料になるのはありがたいです。」などの意見が挙げられています。

一方で、満足度の下位3位以内に位置付けられた理由としては、(8)商店街実施イベントへの補助金交付「駅前だけに予算を与えるのには疑問。」、(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化「親睦ではなく、強制的や習慣的になっている面もあるのでは。」、(25)あい愛バスの運行「路線がわかりにくい。乗換えが不便だ。」などの意見が挙げられています。

■ 事業別にみた重要度 ■

n=577

□ 重要 □ どちらともいえない □ 重要ではない □ 無回答

| | 0% | 20% | 40% | 60% | 80% | 100% | 得点 | 順位 |
|-------------------------------|------|-----|-----|------|------|------|------|----|
| (1)「すぐメールみのかも」の開始 | 56.7 | | | 31.9 | 4.5 | 6.9 | 4.07 | 19 |
| (2)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用 | 43.3 | | | 40.9 | 6.4 | 9.4 | 3.74 | 26 |
| (3)スポーツによる自治会親善や地域活性化 | 37.3 | | | 44.5 | 8.7 | 9.5 | 3.54 | 31 |
| (4)前平野球場の利用 | 41.2 | | | 44.0 | 6.2 | 8.5 | 3.70 | 27 |
| (5)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化 | 54.2 | | | 34.7 | | 8.5 | 4.10 | 18 |
| (6)自治会による住みよい地域づくり | 70.7 | | | 18.7 | | 7.5 | 4.43 | 9 |
| (7)企業誘致や雇用対策などの産業振興 | 57.5 | | | 29.5 | | 9.4 | 4.15 | 17 |
| (8)商店街実施イベントへの補助金交付 | 42.3 | | | 34.5 | 14.7 | 8.5 | 3.44 | 32 |
| (9)“おん祭みのかも”への助成 | 59.8 | | | 25.1 | 7.3 | 7.8 | 4.06 | 20 |
| (10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | 74.5 | | | 15.8 | | 8.3 | 4.58 | 3 |
| (11)地域の実情にあった防災訓練の実施 | 73.5 | | | 16.1 | | 8.7 | 4.55 | 5 |
| (12)防犯活動の物品購入に係る費用一部助成 | 62.9 | | | 26.0 | | 9.5 | 4.34 | 10 |
| (13)防犯灯の維持管理費の一部補助 | 77.8 | | | 12.7 | | 8.7 | 4.68 | 1 |
| (14)介護予防支援事業の実施 | 72.3 | | | 17.9 | | 8.8 | 4.55 | 5 |
| (15)75歳以上の方の健診費用無料化 | 67.9 | | | 18.0 | 5.2 | 8.8 | 4.32 | 11 |
| (16)中学校卒業までの子どもの医療費無料化 | 63.1 | | | 22.4 | 5.4 | 9.2 | 4.21 | 14 |
| (17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 | 43.2 | | | 38.0 | 8.7 | 10.2 | 3.67 | 29 |
| (18)保育園での一時保育の実施 | 72.6 | | | 15.3 | | 10.1 | 4.55 | 5 |
| (19)学童保育の実施 | 73.8 | | | 14.4 | | 9.7 | 4.57 | 4 |
| (20)「フロム0歳プラン」の推進 | 49.0 | | | 31.7 | 8.3 | 10.9 | 3.82 | 25 |
| (21)文化の森での小中学生や幼児の学習 | 53.2 | | | 31.2 | 5.7 | 9.9 | 3.99 | 23 |
| (22)外国人児童・生徒への学習支援 | 50.4 | | | 33.6 | 5.7 | 10.2 | 3.93 | 24 |
| (23)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 | 42.5 | | | 39.2 | 8.0 | 10.4 | 3.68 | 28 |
| (24)文化会館の活用 | 55.3 | | | 30.0 | 5.2 | 9.5 | 4.05 | 21 |
| (25)あい愛バスの運行 | 60.3 | | | 20.6 | 8.8 | 10.2 | 4.05 | 21 |
| (26)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 | 63.8 | | | 23.6 | | 9.9 | 4.32 | 11 |
| (27)「かわまちづくり事業」の推進 | 43.5 | | | 37.1 | 10.1 | 9.4 | 3.63 | 30 |
| (28)ごみ袋料金に対する市の負担 | 75.4 | | | 13.7 | | 10.1 | 4.65 | 2 |
| (29)生ごみ処理機などの購入補助 | 60.0 | | | 26.7 | | 9.2 | 4.18 | 16 |
| (30)事前点検による安価で良質な公共工事の実施 | 59.6 | | | 28.8 | | 10.9 | 4.32 | 11 |
| (31)事業選択による借金残高の削減 | 71.2 | | | 18.0 | | 9.5 | 4.53 | 8 |
| (32)「定住自立圏構想」の推進 | 60.1 | | | 25.6 | | 10.1 | 4.20 | 15 |

平均値

4.14

■ 事業別にみた満足度 ■

n=577

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答

| | 0% | 20% | 40% | 60% | 80% | 100% | 得点 | 順位 |
|-------------------------------|------|------|------|------|-----|------|------|----|
| (1)「すぐメールみのかも」の開始 | 30.0 | 50.3 | 8.7 | 11.1 | | | 3.38 | 16 |
| (2)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用 | 22.4 | 54.9 | 9.4 | 13.3 | | | 3.19 | 23 |
| (3)スポーツによる自治会親善や地域活性化 | 16.8 | 56.3 | 13.7 | 13.2 | | | 2.91 | 31 |
| (4)前平野球場の利用 | 24.4 | 51.5 | 12.3 | 11.8 | | | 3.14 | 25 |
| (5)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化 | 24.3 | 56.3 | 6.6 | 12.8 | | | 3.33 | 17 |
| (6)自治会による住みよい地域づくり | 33.8 | 45.2 | 10.7 | 10.2 | | | 3.39 | 15 |
| (7)企業誘致や雇用対策などの産業振興 | 23.6 | 55.1 | 9.4 | 12.0 | | | 3.22 | 22 |
| (8)商店街実施イベントへの補助金交付 | 14.6 | 49.9 | 24.3 | 11.3 | | | 2.51 | 32 |
| (9)“おん祭みのかも”への助成 | 40.2 | 37.8 | 10.6 | 11.4 | | | 3.55 | 8 |
| (10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | 33.8 | 45.2 | 9.0 | 12.0 | | | 3.46 | 13 |
| (11)地域の実情にあった防災訓練の実施 | 30.3 | 47.1 | 10.7 | 11.8 | | | 3.32 | 18 |
| (12)防犯活動の物品購入に係る費用一部助成 | 25.0 | 52.7 | 7.8 | 14.6 | | | 3.31 | 19 |
| (13)防犯灯の維持管理費の一部補助 | 41.9 | 34.5 | 10.2 | 13.3 | | | 3.61 | 4 |
| (14)介護予防支援事業の実施 | 31.5 | 48.7 | 6.4 | 13.3 | | | 3.51 | 10 |
| (15)75歳以上の方の健診費用無料化 | 41.1 | 36.6 | 9.4 | 13.0 | | | 3.62 | 3 |
| (16)中学校卒業までの子どもの医療費無料化 | 43.3 | 33.4 | 10.2 | 13.0 | | | 3.64 | 2 |
| (17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 | 20.8 | 52.9 | 12.1 | 14.2 | | | 3.06 | 29 |
| (18)保育園での一時保育の実施 | 34.7 | 43.5 | 7.1 | 14.7 | | | 3.56 | 6 |
| (19)学童保育の実施 | 36.6 | 41.2 | 7.5 | 14.7 | | | 3.60 | 5 |
| (20)「フロム0歳プラン」の推進 | 22.2 | 51.1 | 11.8 | 14.9 | | | 3.11 | 26 |
| (21)文化の森での小中学生や幼児の学習 | 33.4 | 47.0 | 6.2 | 13.3 | | | 3.56 | 6 |
| (22)外国人児童・生徒への学習支援 | 22.4 | 56.8 | 6.6 | 14.2 | | | 3.29 | 20 |
| (23)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 | 18.5 | 59.8 | 7.3 | 14.4 | | | 3.18 | 24 |
| (24)文化会館の活用 | 26.9 | 48.4 | 11.1 | 13.7 | | | 3.24 | 21 |
| (25)あい愛バスの運行 | 25.5 | 40.9 | 19.2 | 14.4 | | | 2.92 | 30 |
| (26)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 | 23.2 | 49.7 | 13.0 | 14.0 | | | 3.09 | 27 |
| (27)「かわまちづくり事業」の推進 | 21.1 | 52.3 | 11.6 | 14.9 | | | 3.09 | 27 |
| (28)ごみ袋料金に対する市の負担 | 56.3 | 23.6 | 6.2 | 13.9 | | | 4.09 | 1 |
| (29)生ごみ処理機などの購入補助 | 33.3 | 45.6 | 7.1 | 14.0 | | | 3.53 | 9 |
| (30)事前点検による安価で良質な公共工事の実施 | 30.3 | 49.0 | 5.7 | 14.9 | | | 3.51 | 10 |
| (31)事業選択による借金残高の削減 | 33.8 | 44.9 | 8.7 | 12.7 | | | 3.48 | 12 |
| (32)「定住自立圏構想」の推進 | 28.4 | 49.4 | 6.9 | 15.3 | | | 3.43 | 14 |
| 平均値 | | | | | | | 3.34 | |

■重要度の順位■

| 順位 | 事業名 | 得点 |
|------------|-------------------------------|-------------|
| 1 | (13)防犯灯の維持管理費の一部補助 | 4.68 |
| 2 | (28)ごみ袋料金に対する市の負担 | 4.65 |
| 3 | (10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | 4.58 |
| 4 | (19)学童保育の実施 | 4.57 |
| 5 | (11)地域の実情にあった防災訓練の実施 | 4.55 |
| | (14)介護予防支援事業の実施 | 4.55 |
| | (18)保育園での一時保育の実施 | 4.55 |
| 8 | (31)事業選択による借金残高の削減 | 4.53 |
| 9 | (6)自治会による住みよい地域づくり | 4.43 |
| 10 | (12)防犯活動の物品購入に係る費用一部助成 | 4.34 |
| 11 | (15)75歳以上の方の健診費用無料化 | 4.32 |
| | (26)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 | 4.32 |
| | (30)事前点検による安価で良質な公共工事の実施 | 4.32 |
| 14 | (16)中学校卒業までの子どもの医療費無料化 | 4.21 |
| 15 | (32)「定住自立圏構想」の推進 | 4.20 |
| 16 | (29)生ごみ処理機などの購入補助 | 4.18 |
| 17 | (7)企業誘致や雇用対策などの産業振興 | 4.15 |
| 18 | (5)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化 | 4.10 |
| 19 | (1)「すぐメールみのかも」の開始 | 4.07 |
| 20 | (9)“おん祭みのかも”への助成 | 4.06 |
| 21 | (24)文化会館の活用 | 4.05 |
| | (25)あい愛バスの運行 | 4.05 |
| 23 | (21)文化の森での小中学生や幼児の学習 | 3.99 |
| 24 | (22)外国人児童・生徒への学習支援 | 3.93 |
| 25 | (20)「フロム0歳プラン」の推進 | 3.82 |
| 26 | (2)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用 | 3.74 |
| 27 | (4)前平野球場の利用 | 3.70 |
| 28 | (23)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 | 3.68 |
| 29 | (17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 | 3.67 |
| 30 | (27)「かわまちづくり事業」の推進 | 3.63 |
| 31 | (3)スポーツによる自治会親善や地域活性化 | 3.54 |
| 32 | (8)商店街実施イベントへの補助金交付 | 3.44 |
| 平均値 | | 4.14 |

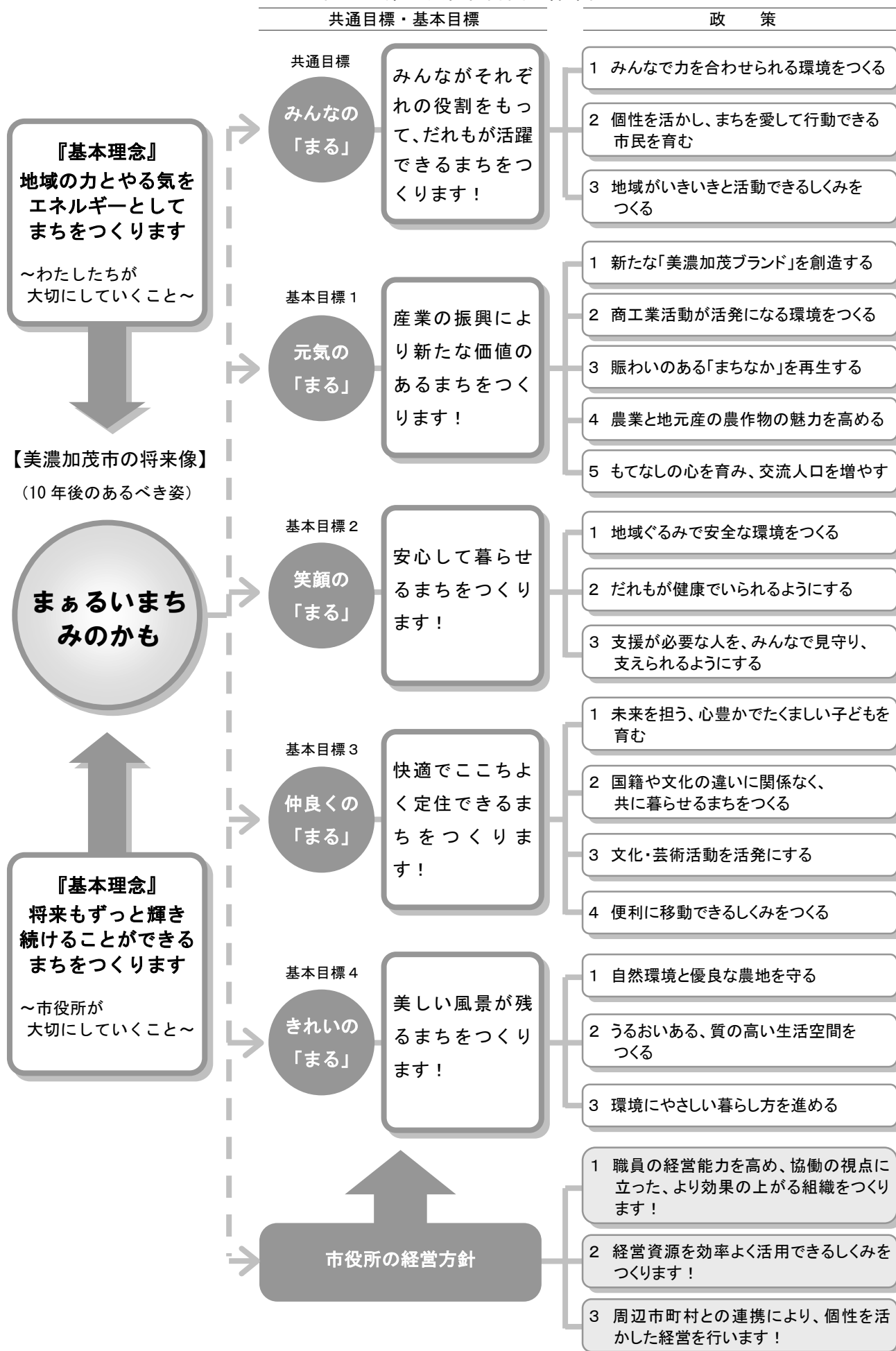
平均値以上
↑
↓
平均値以下

■満足度の順位■

| 順位 | 事業名 | 得点 |
|------------|-------------------------------|-------------|
| 1 | (28)ごみ袋料金に対する市の負担 | 4.09 |
| 2 | (16)中学校卒業までの子どもの医療費無料化 | 3.64 |
| 3 | (15)75歳以上の方の健診費用無料化 | 3.62 |
| 4 | (13)防犯灯の維持管理費の一部補助 | 3.61 |
| 5 | (19)学童保育の実施 | 3.60 |
| 6 | (18)保育園での一時保育の実施 | 3.56 |
| | (21)文化の森での小中学生や幼児の学習 | 3.56 |
| 8 | (9)“おん祭みのかも”への助成 | 3.55 |
| 9 | (29)生ごみ処理機などの購入補助 | 3.53 |
| 10 | (14)介護予防支援事業の実施 | 3.51 |
| | (30)事前点検による安価で良質な公共工事の実施 | 3.51 |
| 12 | (31)事業選択による借金残高の削減 | 3.48 |
| 13 | (10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | 3.46 |
| 14 | (32)「定住自立圏構想」の推進 | 3.43 |
| 15 | (6)自治会による住みよい地域づくり | 3.39 |
| 16 | (1)「すぐメールみのかも」の開始 | 3.38 |
| 17 | (5)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化 | 3.33 |
| 18 | (11)地域の実情にあった防災訓練の実施 | 3.32 |
| 19 | (12)防犯活動の物品購入に係る費用一部助成 | 3.31 |
| 20 | (22)外国人児童・生徒への学習支援 | 3.29 |
| 21 | (24)文化会館の活用 | 3.24 |
| 22 | (7)企業誘致や雇用対策などの産業振興 | 3.22 |
| 23 | (2)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用 | 3.19 |
| 24 | (23)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 | 3.18 |
| 25 | (4)前平野球場の利用 | 3.14 |
| 26 | (20)「フロム0歳プラン」の推進 | 3.11 |
| 27 | (26)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 | 3.09 |
| | (27)「かわまちづくり事業」の推進 | 3.09 |
| 29 | (17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 | 3.06 |
| 30 | (25)あい愛バスの運行 | 2.92 |
| 31 | (3)スポーツによる自治会親善や地域活性化 | 2.91 |
| 32 | (8)商店街実施イベントへの補助金交付 | 2.51 |
| 平均値 | | 3.34 |

平均値以上
↑↓
平均値以下

図1. 第5次総合計画 体系図



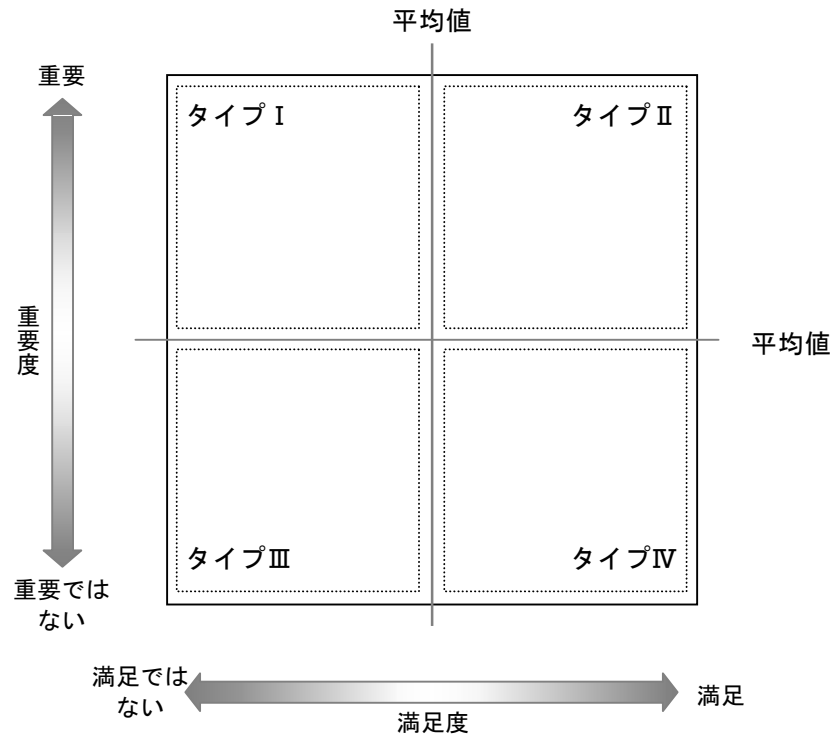
■ 共通目標・基本目標別事業一覧 ■

第5次総合計画の体系（前頁 図1）をもとに、32項目の事業を共通目標と4つの基本目標及び市役所の経営方針に分類し、目標ごとに事業の評価、分析を行いました。

| | |
|--|-------------------------------|
| ● みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち ● | |
| (1)「すぐメールみのかも」の開始 | (2)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用 |
| (3)スポーツによる自治会親善や地域活性化 | (4)前平野球場の利用 |
| (5)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化 | (6)自治会による住みよい地域づくり |
| □ 産業の振興により新たな価値のあるまち □ | |
| (7)企業誘致や雇用対策などの産業振興 | (8)商店街実施イベントへの補助金交付 |
| (9)“おん祭みのかも”への助成 | |
| * 安心して暮らせるまち * | |
| (10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | (11)地域の実情にあった防災訓練の実施 |
| (12)防犯活動の物品購入に係る費用一部助成 | (13)防犯灯の維持管理費の一部補助 |
| (14)介護予防支援事業の実施 | (15)75歳以上の方の健診費用無料化 |
| (16)中学校卒業までの子どもの医療費無料化 | (17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 |
| △ 快適でこちよく定住できるまち △ | |
| (18)保育園での一時保育の実施 | (19)学童保育の実施 |
| (20)「フロム0歳プラン」の推進 | (21)文化の森での小中学生や幼児の学習 |
| (22)外国人児童・生徒への学習支援 | (23)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 |
| (24)文化会館の活用 | (25)あい愛バスの運行 |
| ◆ 美しい風景が残るまち ◆ | |
| (26)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 | (27)「かわまちづくり事業」の推進 |
| (28)ごみ袋料金に対する市の負担 | (29)生ごみ処理機などの購入補助 |
| ○ 市役所の経営方針 ○ | |
| (30)事前点検による安価で良質な公共工事の実施 | (31)事業選択による借金残高の削減 |
| (32)「定住自立圏構想」の推進 | |

2. ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価

各項目の重要度・満足度得点の関係について、重要度と満足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、重要度・満足度得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の事業の方向性について分析しました。

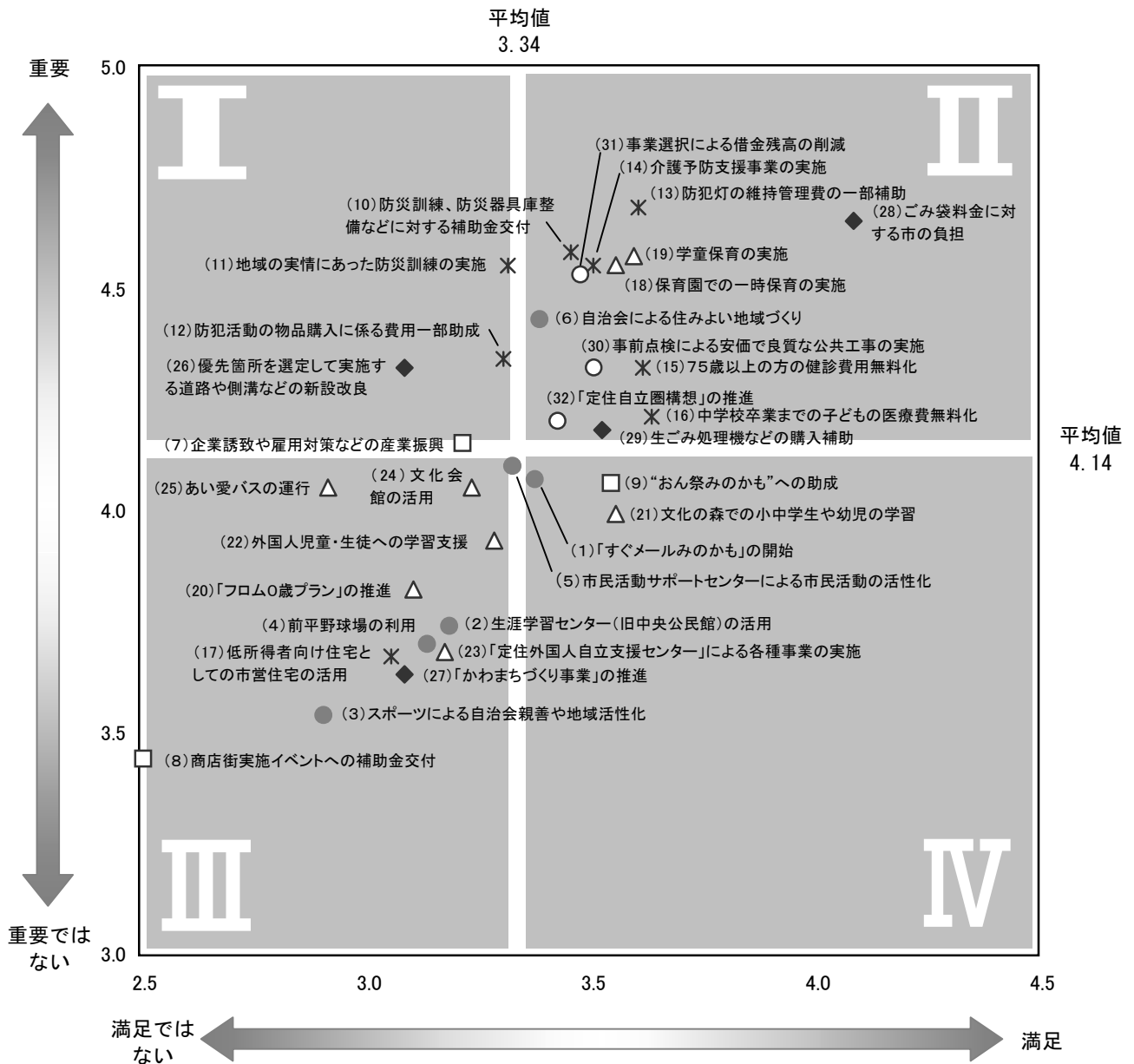


- ◆**タイプⅠ** **満足度は低い、重要度は高い**
→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。
- ◆**タイプⅡ** **満足度は高く、重要度も高い**
→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。
- ◆**タイプⅢ** **満足度は低く、重要度も低い**
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。事業の縮小や廃止などを含めた検討が必要。
- ◆**タイプⅣ** **満足度は高い、重要度は低い**
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

事業全体における重要度・満足度の個別評価を行いました。

事業の多くは、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡと、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。

○全事業のポートフォリオ分析



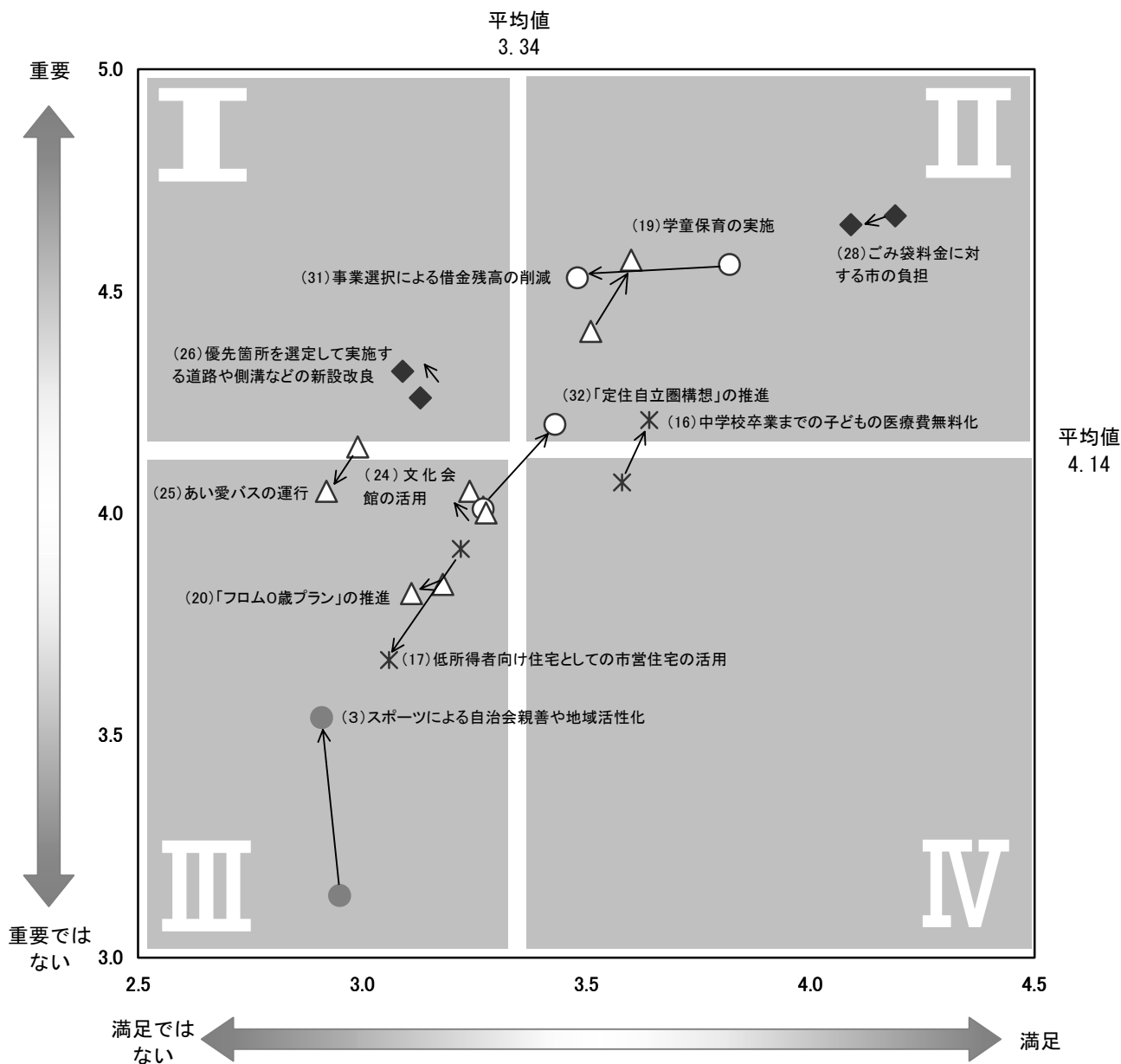
| 凡例 | 共通目標・基本目標 |
|----|---------------------------------------|
| ● | みんなの「まる」～みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち～ |
| □ | 元気の「まる」～産業の振興により新たな価値のあるまち～ |
| * | 笑顔の「まる」～安心して暮らせるまち～ |
| △ | 仲良きの「まる」～快適でこちよく定住できるまち～ |
| ◆ | きれいの「まる」～美しい風景が残るまち～ |
| ○ | 市役所の経営方針 |

○前回比較のポートフォリオ分析

前回調査と比較すると、『(16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化』、『(19) 学童保育の実施』、『(32) 「定住自立圏構想」の推進』については、重要度・満足度ともに前回調査を上回る結果となっています。

『(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化』、『(24) 文化会館の活用』、『(26) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良』については、重要度は前回調査を上回るが、満足度は前回調査を下回る結果となっています。

『(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用』、『(20) 「フロム0歳プラン」の推進』、『(25) あい愛バスの運行』、『(28) ごみ袋料金に対する市の負担』、『(31) 事業選択による借金残高の削減』については、重要度・満足度ともに前回調査を下回る結果となっています。

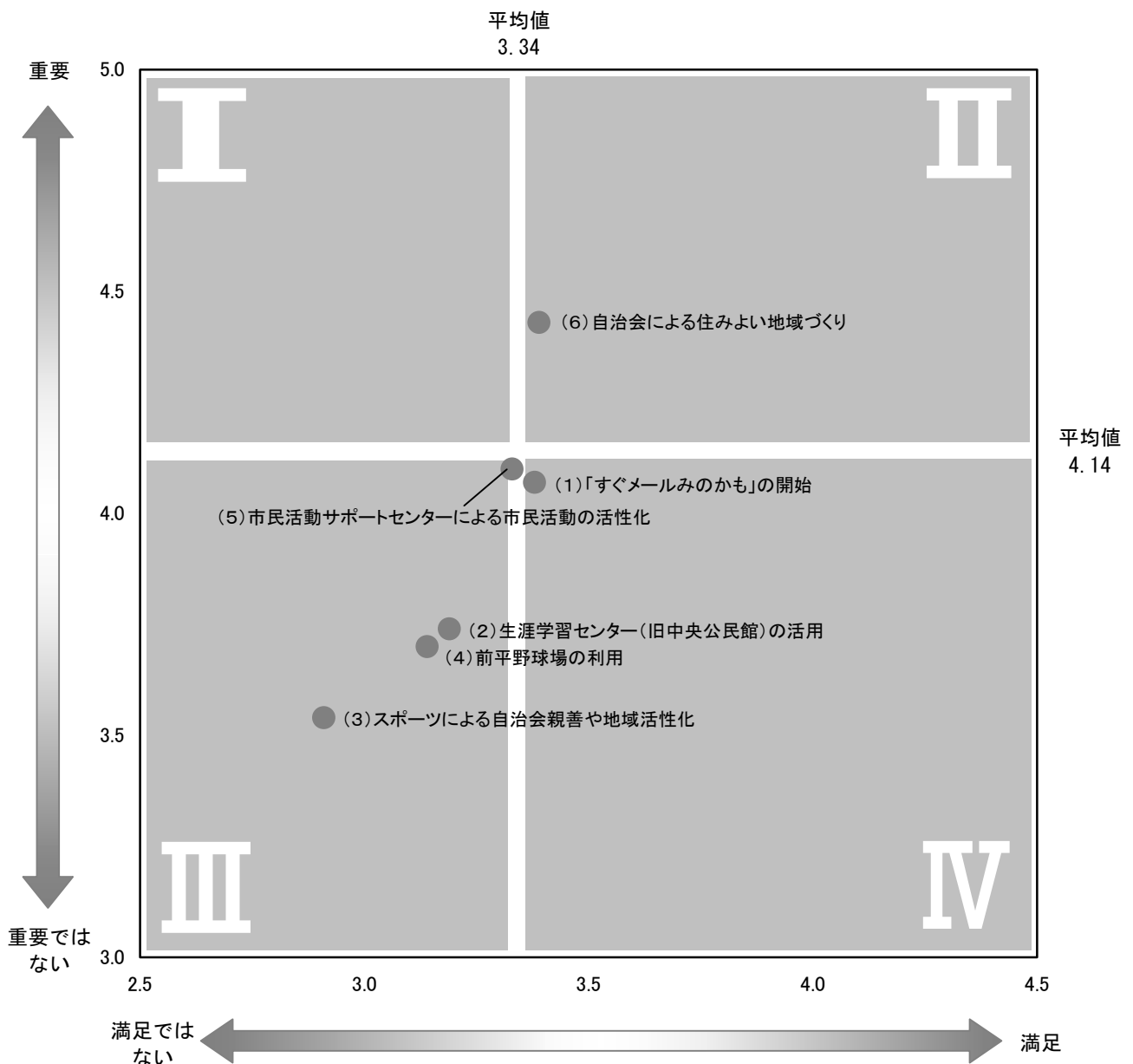


2. - 1 みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち

『(6) 自治会による住みよい地域づくり』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(2) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用』、『(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化』、『(4) 前平野球場の利用』、『(5) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。

『(1) 「すぐメールみのかも」の開始』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプⅣに分布しています。



(1)「すぐメールみのかも」の開始

調査項目：平成23年4月1日から、緊急災害情報、防犯・防災情報、子育て情報など、暮らしに直接結びつく情報を携帯端末やパソコンへメールで配信する、「すぐメールみのかも」を始めました。

重要度については、「重要」の割合が56.7%、「どちらともいえない」の割合が31.9%、「重要ではない」の割合が4.5%となっています。

満足度については、「満足」の割合が30.0%、「どちらともいえない」の割合が50.3%、「満足ではない」の割合が8.7%となっています。

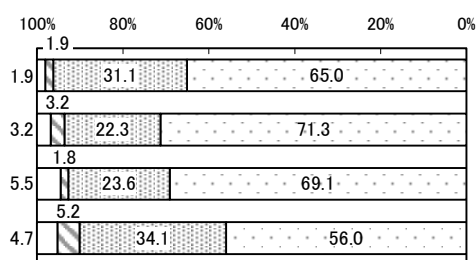
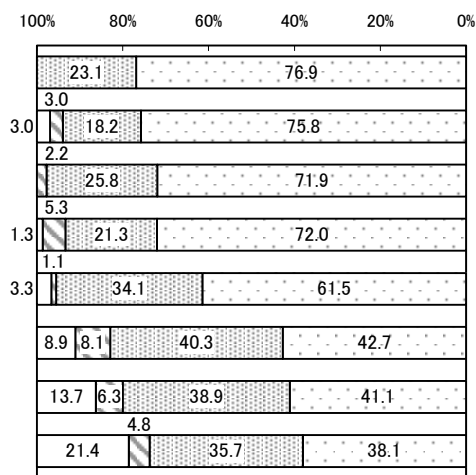
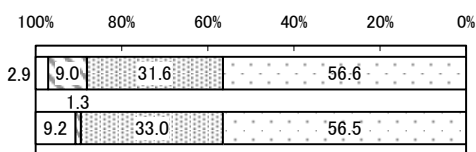
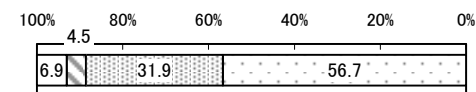
性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「重要」の割合が高くなる傾向がみられます。また、20歳代から40歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

子どもの年代別でみると、小学生で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、小学生、中学生で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

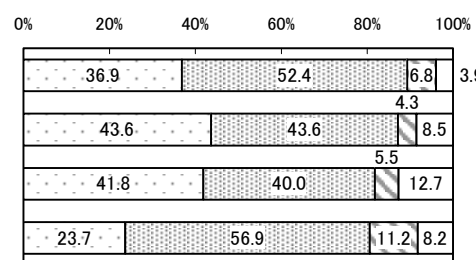
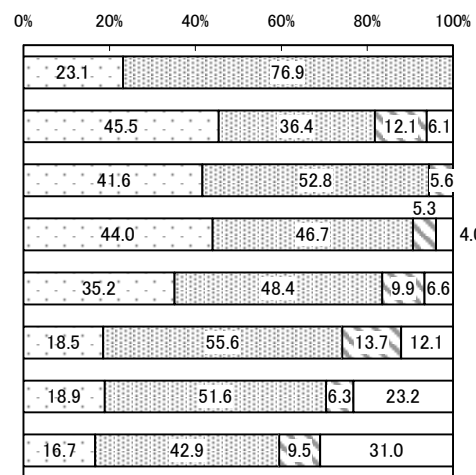
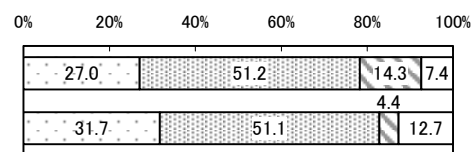
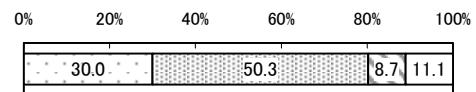
【重要度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要



【満足度】

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「各種情報、催しごとが直接伝達され、日常に生かされる。」など事業を評価している意見が26件、「必要のないメールもある。」など事業を評価していない意見が15件、「もっと「すぐメールみのかも」があることをPRするとよいと思う。」など今後の事業の課題についての意見が35件となっています。

(2) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用

調査項目：生涯学習センター（旧中央公民館）は、生涯学習を推進する拠点として、各種講座や活動及び会議などに活用されています。

重要度については、「重要」の割合が43.3%、「どちらともいえない」の割合が40.9%、「重要ではない」の割合が6.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が22.4%、「どちらともいえない」の割合が54.9%、「満足ではない」の割合が9.4%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

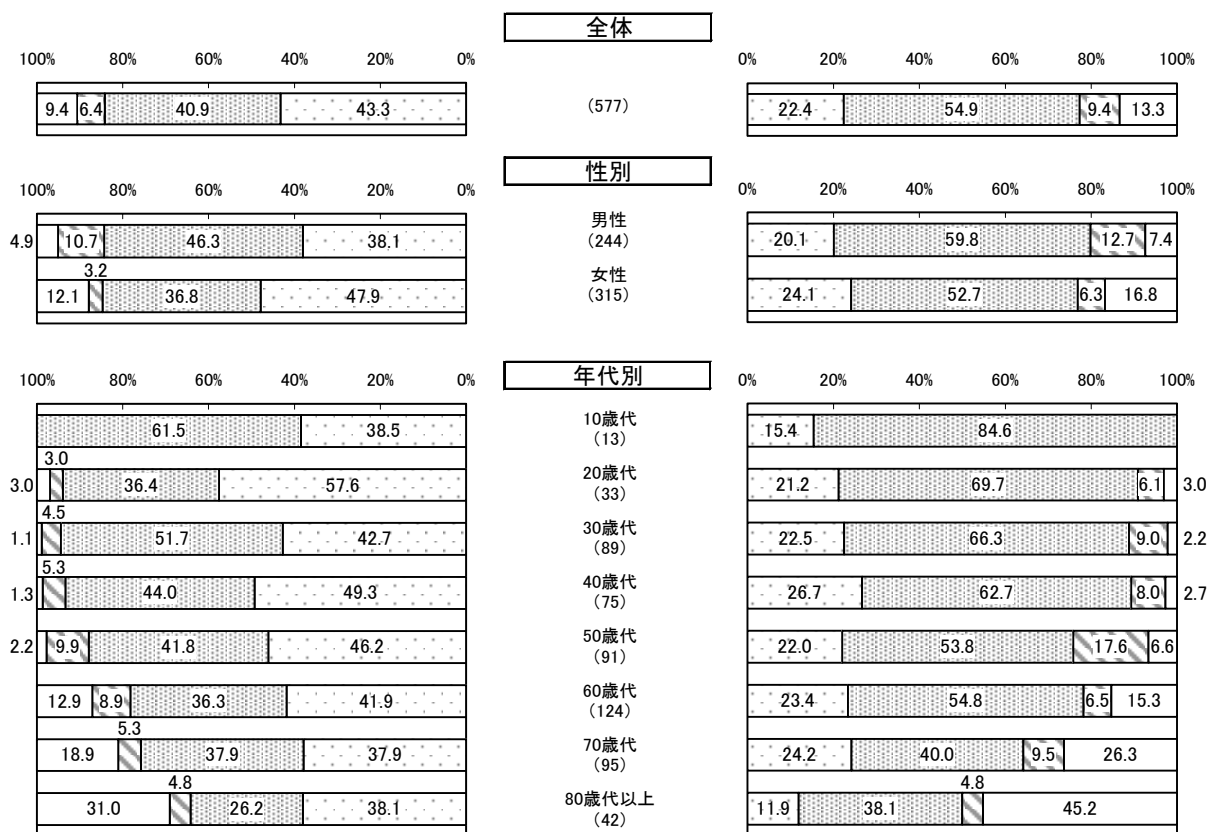
年代別でみると、20歳代で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、50歳代で「満足ではない」の割合が他に比べて高く、約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「興味のある講座にいくつか参加し、充実した内容でよかった。」など事業を評価している意見が11件、「維持管理費が高すぎる。」など事業を評価していない意見が19件、「生涯学習の内容の充実が必要。」など今後の事業の課題についての意見が26件となっています。

(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化

調査項目：各種スポーツの市民大会を開催し、スポーツの振興、市民の健康保持や住民間の親睦を図っています。(種目：バレーボール、水泳、バドミントン、陸上、卓球、ソフトバレーボール、野球、フットボール)

重要度については、「重要」の割合が37.3%、「どちらともいえない」の割合が44.5%、「重要ではない」の割合が8.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が16.8%、「どちらともいえない」の割合が56.3%、「満足ではない」の割合が13.7%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

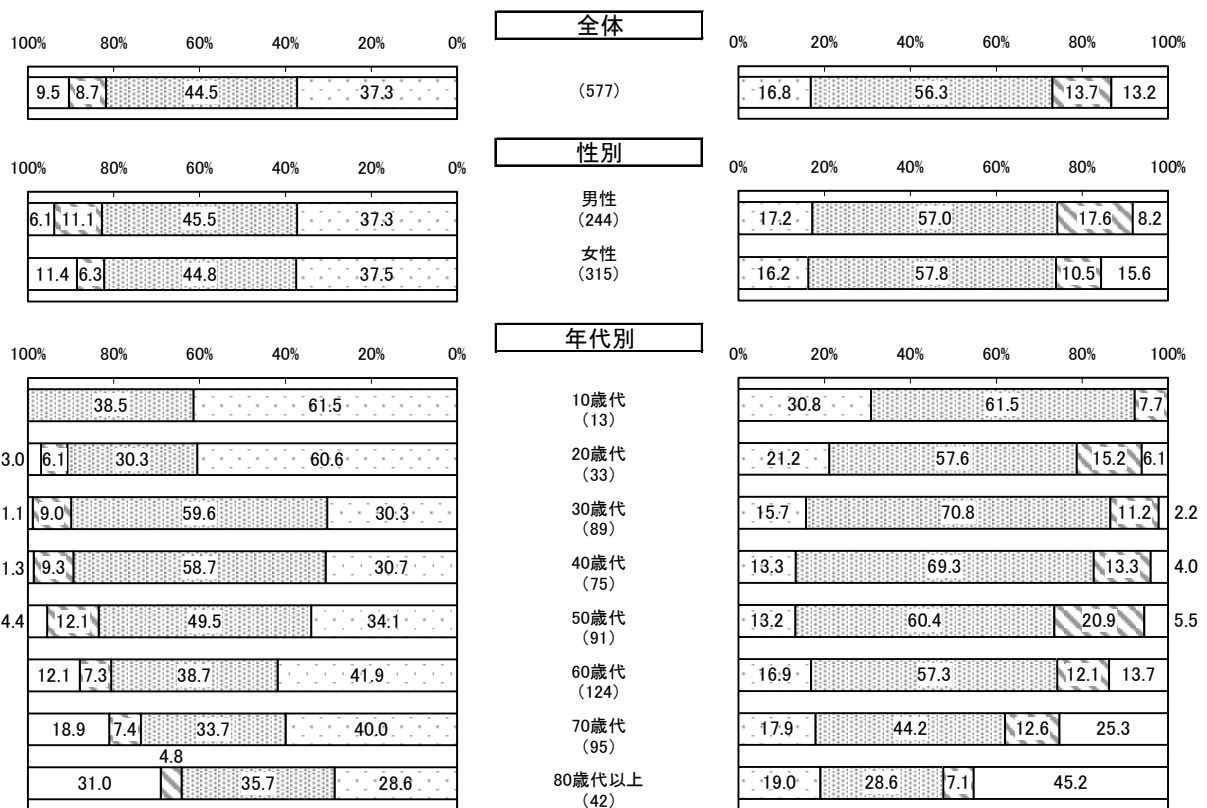
年代別でみると、10歳代、20歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約6割となっています。また、50歳代で「満足ではない」の割合が他に比べて高く、約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「健康のためにはよいことです。」など事業を評価している意見が11件、「一部の人のものになっていると思う。」など事業を評価していない意見が13件、「老人でも参加できるスポーツを企画してほしい。」など今後の事業の課題についての意見が27件となっています。

(4) 前平野球場の利用

調査項目：市を代表する前平野球場は、土のグラウンド（芝を張る必要がないグラウンド）のため高校野球など硬式野球はできませんが、スポーツ振興などの目的で、各種軟式野球大会やレクリエーション等に利用されています。

重要度については、「重要」の割合が41.2%、「どちらともいえない」の割合が44.0%、「重要ではない」の割合が6.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が24.4%、「どちらともいえない」の割合が51.5%、「満足ではない」の割合が12.3%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

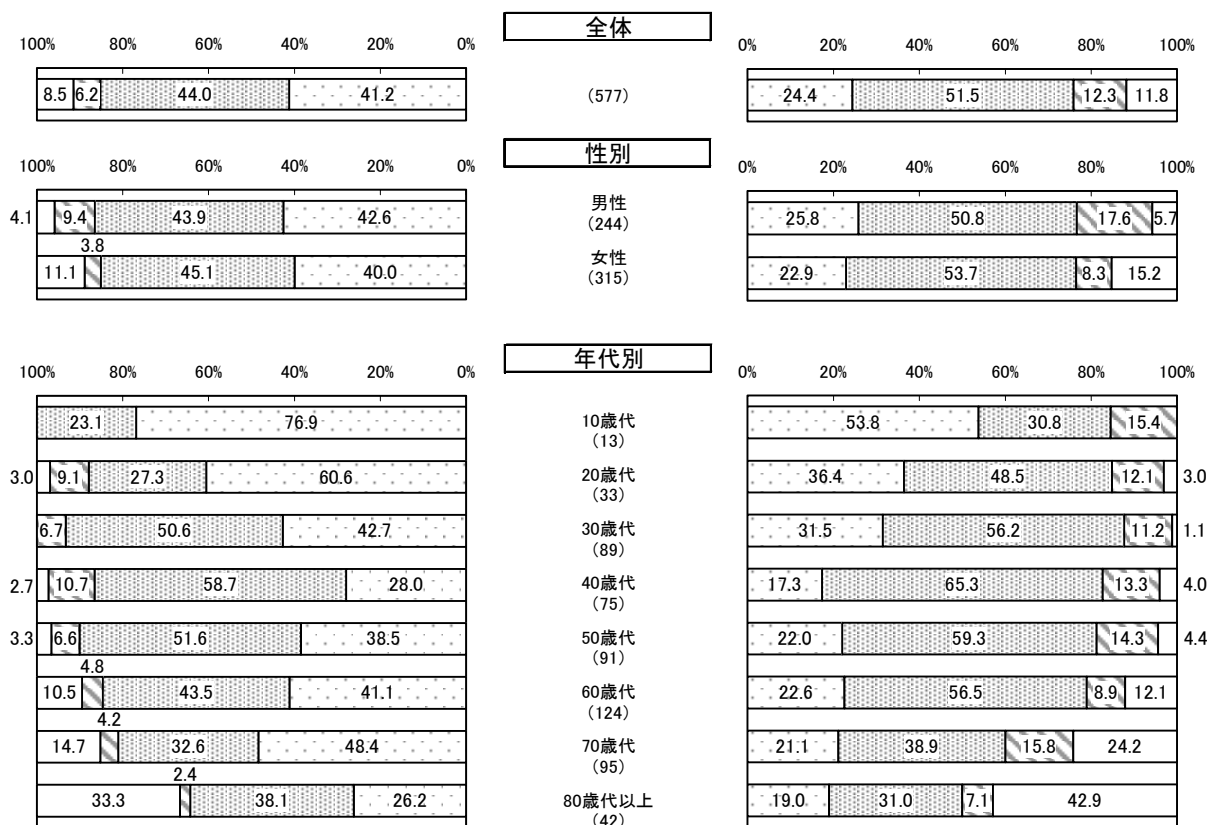
年代別でみると、10歳代、20歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。また、10歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「若い人たちのために重要な場所と思う。」など事業を評価している意見が9件、「利用者が限られている。」など事業を評価していない意見が5件、「古くなってきたので、全体的な改善をしてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が29件となっています。

(5) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化

調査項目：市民活動サポートセンターでは、ボランティア活動をする個人や団体と依頼者間の調整を行ったり、ボランティア養成講座を開いたりして、市民活動の活性化を図り、まちづくり活動への参加を促進する事業を行っています。

重要度については、「重要」の割合が54.2%、「どちらともいえない」の割合が34.7%、「重要ではない」の割合が2.6%となっています。

満足度については、「満足」の割合が24.3%、「どちらともいえない」の割合が56.3%、「満足ではない」の割合が6.6%となっています。

性別でみると、女性で「重要」の割合が男性に比べて高くなっています。また、女性で「満足」の割合が男性に比べて高くなっています。

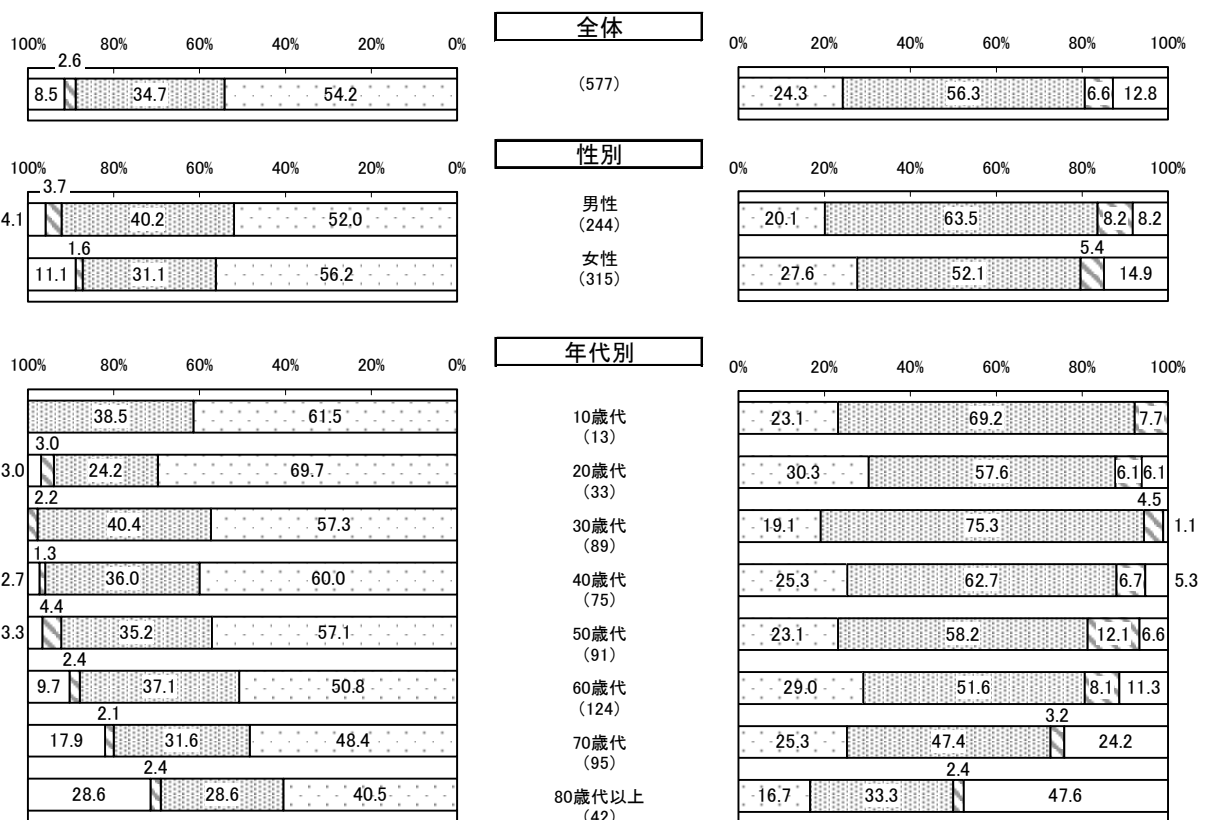
年代別でみると、20歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約7割となっています。また、50歳代で「満足ではない」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「災害の時のために、必要だと思います。」など事業を評価している意見が9件、「活動の状況がよくわからない。」など事業を評価していない意見が5件、「もっとホームページなどでアピールしてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が12件となっています。

(6) 自治会による住みよい地域づくり

調査項目：自治会は185あり、ゴミ集積場や防犯灯の管理、清掃活動のほか、子ども、高齢者への福祉活動や運動会、ソフトボール、野球などの体育振興活動により、住民が協力して、互いに支えあい、住みよい地域づくりがされています。

重要度については、「重要」の割合が70.7%、「どちらともいえない」の割合が18.7%、「重要ではない」の割合が3.1%となっています。

満足度については、「満足」の割合が33.8%、「どちらともいえない」の割合が45.2%、「満足ではない」の割合が10.7%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、女性で「満足」の割合が男性に比べて高くなっています。

居住地域別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、蜂屋で「満足ではない」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



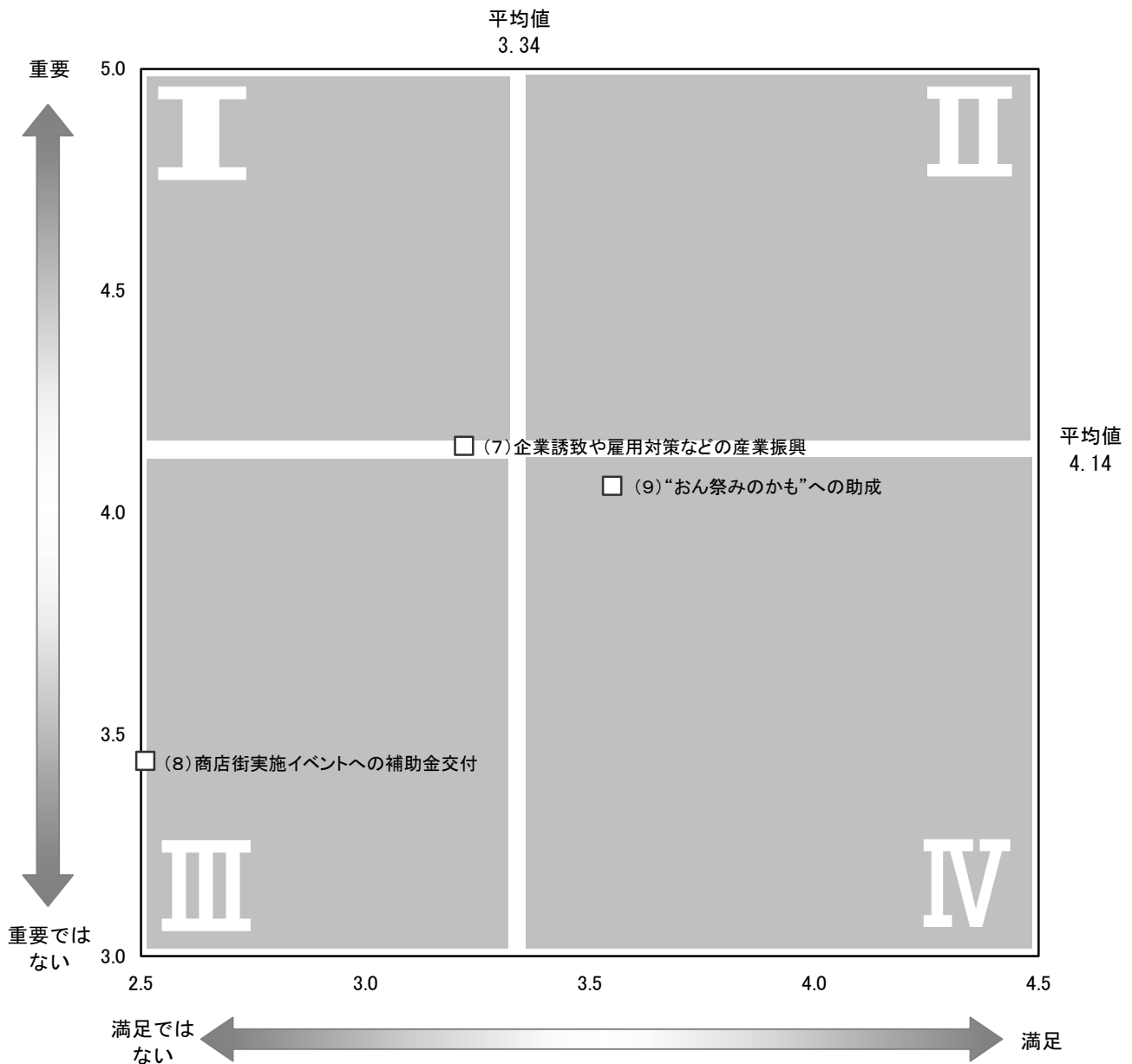
皆さんからの意見では、「住民間の協力、相互の支え合いは欠かせないことだから。」など事業を評価している意見が9件、「市（職員）が自治会員を使いすぎ。」など事業を評価していない意見が14件、「若い世代が参加しやすい企画や働きかけ、仕組みがほしい」など今後の事業の課題についての意見が51件となっています。

2. - 2 産業の振興により新たな価値のあるまち

『(7) 企業誘致や雇用対策などの産業振興』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

『(8) 商店街実施イベントへの補助金交付』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。

『(9) “おん祭みのかも” への助成』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプⅣに分布しています。



(7) 企業誘致や雇用対策などの産業振興

調査項目：企業が市内に工場を新設、増設などをした場合の税金（固定資産税）や、その企業が市内従業員を10人以上（中小企業は5人以上）雇用している場合に奨励金を払い、企業誘致や雇用対策など産業振興を行っています。
 ※そのほかにも交付対象には、要件があります。

重要度については、「重要」の割合が57.5%、「どちらともいえない」の割合が29.5%、「重要ではない」の割合が3.6%となっています。

満足度については、「満足」の割合が23.6%、「どちらともいえない」の割合が55.1%、「満足ではない」の割合が9.4%となっています。

性別でみると、男性で「重要」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

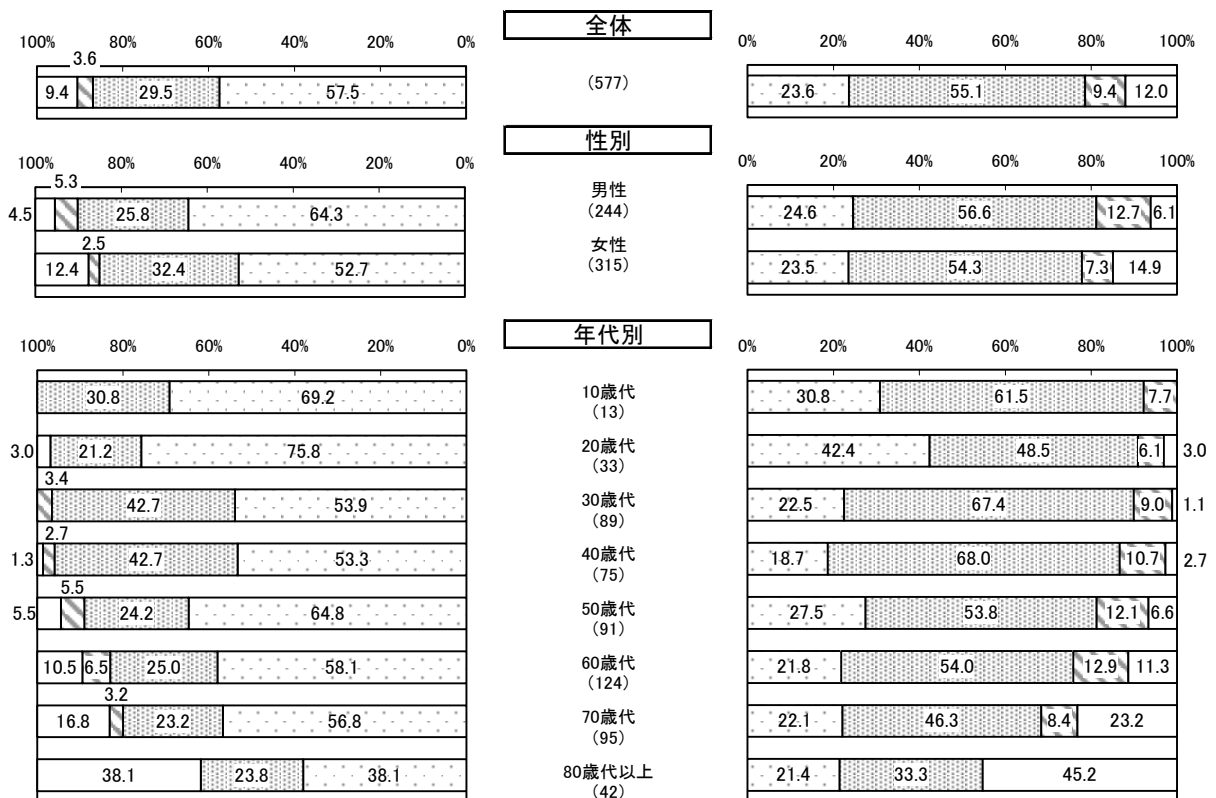
年代別でみると、20歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「積極的に誘致すべき。」など事業を評価している意見が14件、「奨励金が本当に必要なのか疑問。」など事業を評価していない意見が7件、「もう少し発展的企業の誘致に積極的になってもよいのではないか。」など今後の事業の課題についての意見が22件となっています。

(8) 商店街実施イベントへの補助金交付

調査項目：中心市街地や駅前通りのにぎわいや活気を取り戻し、魅力あふれるまちなかにする目的で、商店街が行うイベントなどに対して補助金を交付しています。

重要度については、「重要」の割合が42.3%、「どちらともいえない」の割合が34.5%、「重要ではない」の割合が14.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が14.6%、「どちらともいえない」の割合が49.9%、「満足ではない」の割合が24.3%となっています。

年代別でみると、20歳代、30歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

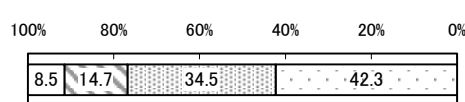
居住地域別でみると、加茂野、三和で「重要ではない」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。また、下米田・牧野で「満足ではない」の割合が他に比べて低くなっています。

【重要度】

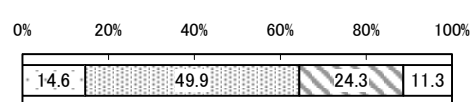
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

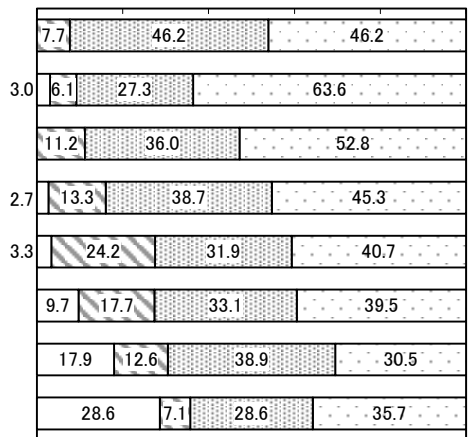
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



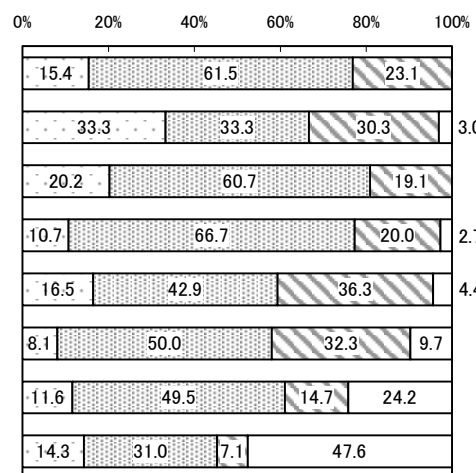
全体
(577)



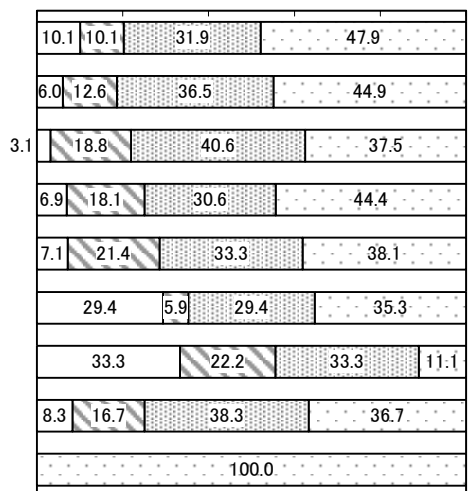
年代別



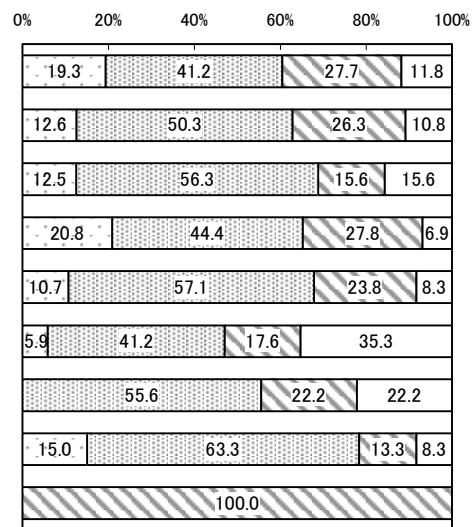
年代別



居住地域別



居住地域別



皆さんからの意見では、「毎年楽しみです。」など事業を評価している意見が4件、「補助金交付の問題ではない。」など事業を評価していない意見が33件、「活気がまだないと思います。」など今後の事業の課題についての意見が38件となっています。

(9) “おん祭りのかも” への助成

調査項目：主催する実行委員会に市から補助金を出して、“おん祭りのかも”（「夏の花火大会」、「秋の中山道まつり」）を開催しています。

備考：花火大会は、雨の影響で例年より来場者が3万人減少しています。

重要度については、「重要」の割合が59.8%、「どちらともいえない」の割合が25.1%、「重要ではない」の割合が7.3%となっています。

満足度については、「満足」の割合が40.2%、「どちらともいえない」の割合が37.8%、「満足ではない」の割合が10.6%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で満足度の「どちらともいえない」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、年代が低くなるにつれ、「重要」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年代が低くなるにつれ、「満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

家族構成別でみると、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）で「重要」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。また、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



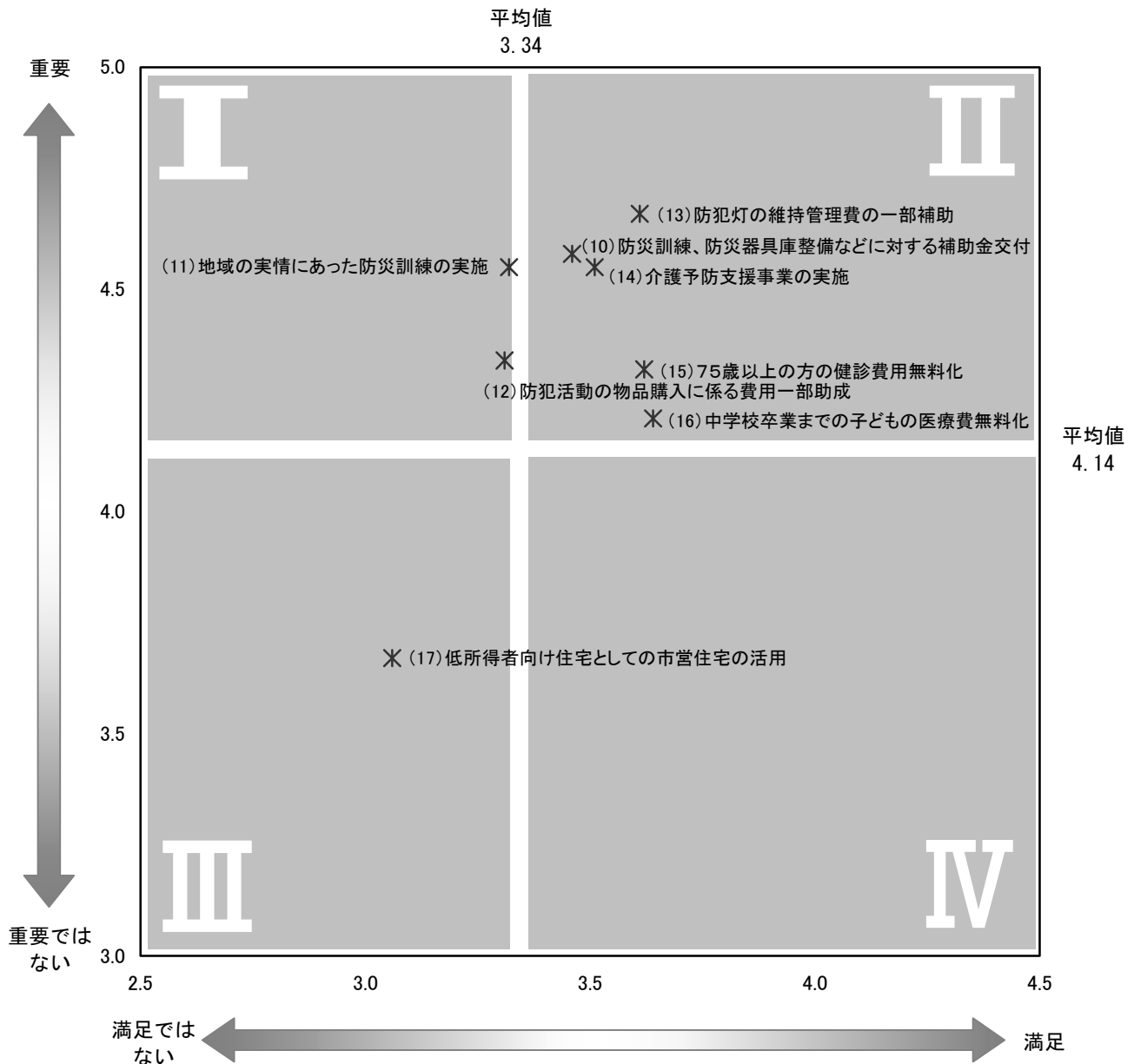
皆さんからの意見では、「とても楽しみです。」など事業を評価している意見が15件、「マンネリ化してきた。」など事業を評価していない意見が9件、「市民参加型の祭りが必要。」など今後の事業の課題についての意見が27件となっています。

2. - 3 安心して暮らせるまち

『(11) 地域の実情にあった防災訓練の実施』、『(12) 防犯活動の物品購入に係る費用一部助成』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

『(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付』、『(13) 防犯灯の維持管理費の一部補助』、『(14) 介護予防支援事業の実施』、『(15) 75歳以上の方の健診費用無料化』、『(16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。



(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付

調査項目：地域の防災力強化や自主防災組織の意識の高揚を図るため、自主防災組織、自治会、自警隊が行う防災訓練、防災器具庫の整備や防災設備の設置などに補助金を交付しています。

重要度については、「重要」の割合が74.5%、「どちらともいえない」の割合が15.8%、「重要ではない」の割合が1.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が33.8%、「どちらともいえない」の割合が45.2%、「満足ではない」の割合が9.0%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、女性で「満足」の割合が男性に比べて高くなっています。

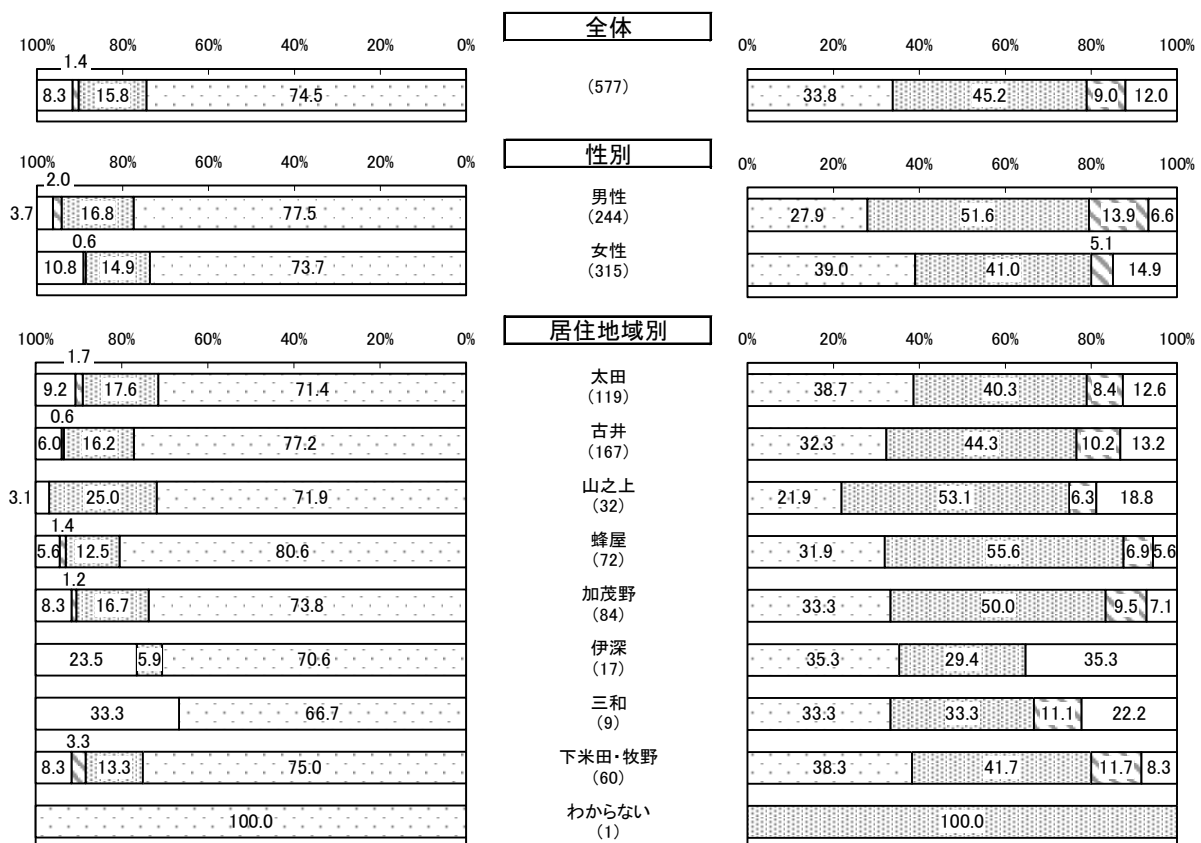
居住地域別でみると、蜂屋で「重要」の割合が8割を超えています。また、山之上で「満足」の割合が他に比べて低くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「市民全体の防災意識を高めるためには必要。」など事業を評価している意見が5件、「形式的にあるだけで、不十分である。」など事業を評価していない意見が9件、「災害に対して力を入れてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が29件となっています。

(11) 地域の実情にあった防災訓練の実施

調査項目：地域の防災力を高めることを目的に、市民・地域が主体となって地域の防災訓練を計画し、地域の実情にあった防災訓練を市内8箇所を実施しました。

重要度については、「重要」の割合が73.5%、「どちらともいえない」の割合が16.1%、「重要ではない」の割合が1.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が30.3%、「どちらともいえない」の割合が47.1%、「満足ではない」の割合が10.7%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

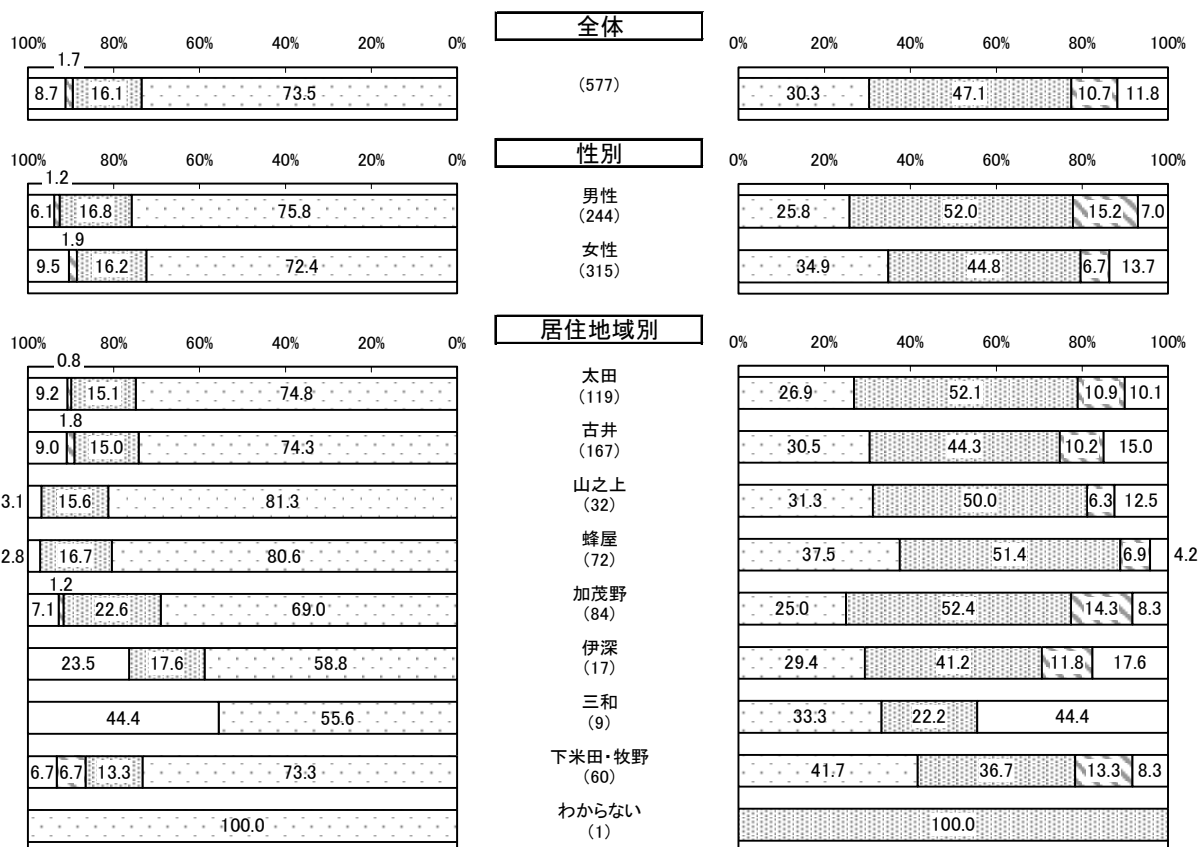
居住地域別でみると、山之上、蜂屋で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、下米田・牧野で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「東日本大震災をふりかえるとき、必要と思う。」など事業を評価している意見が2件、「参加者が少ない。」など事業を評価していない意見が9件、「もっと小単位地域で計画・実施するよう指導が必要。」など今後の事業の課題についての意見が25件となっています。

(12) 防犯活動の物品購入に係る費用一部助成

調査項目：23年度から、市民・事業者・市が協働して犯罪を防止するため、自主的に防犯活動を実施する団体に対して、防犯活動の物品購入に係る費用の一部を助成しています。

重要度については、「重要」の割合が62.9%、「どちらともいえない」の割合が26.0%、「重要ではない」の割合が1.6%となっています。

満足度については、「満足」の割合が25.0%、「どちらともいえない」の割合が52.7%、「満足ではない」の割合が7.8%となっています。

年代別でみると、70歳代で「重要」の割合が他に比べて低くなっています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

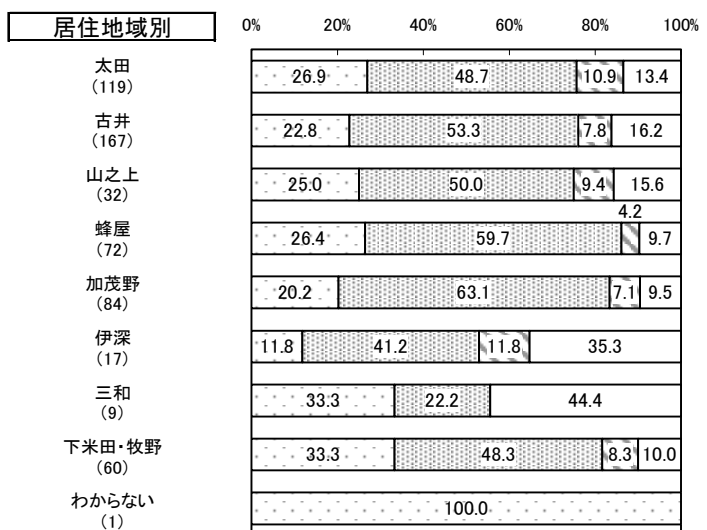
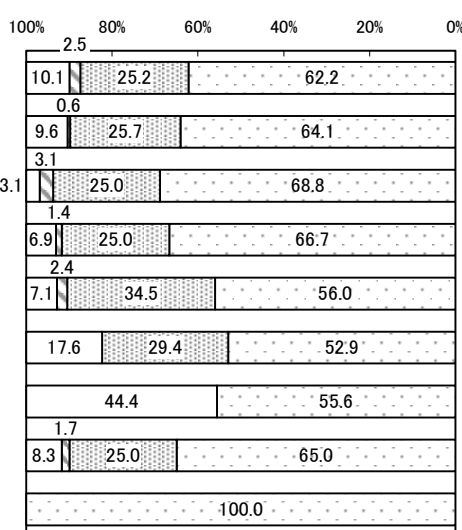
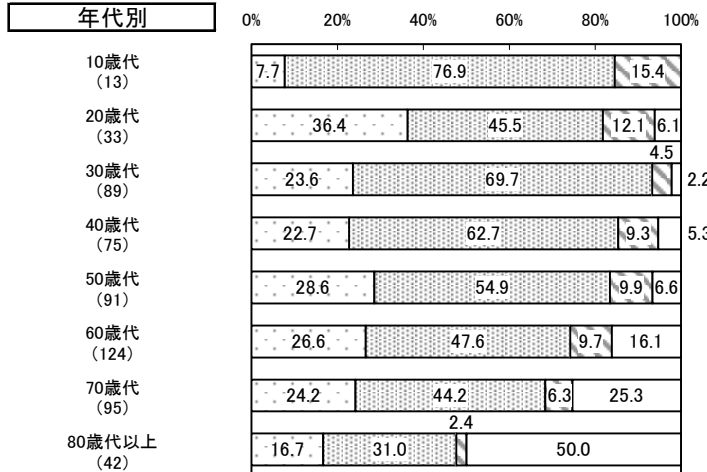
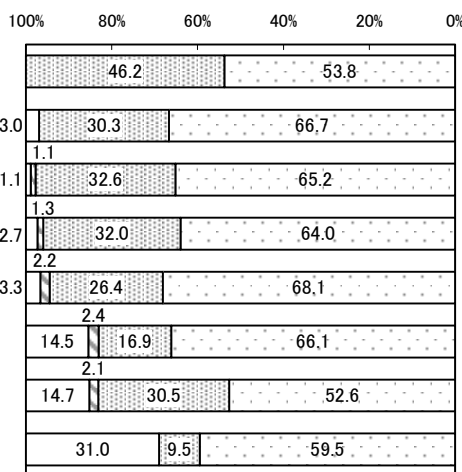
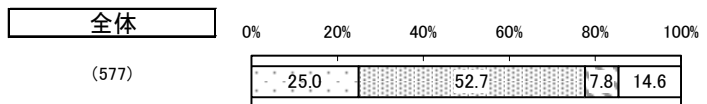
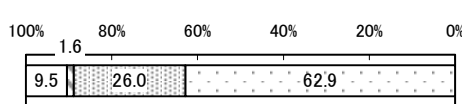
居住地域別でみると、伊深で「満足」の割合が他に比べて低くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「大切です。」など事業を評価している意見が1件、「本当に必要なものだけ購入しているのか。」など事業を評価していない意見が6件、「どういふ犯罪が多いのか分析して、その対策費に重点的に支出すべき。」など今後の事業の課題についての意見が18件となっています。

(13) 防犯灯の維持管理費の一部補助

調査項目：防犯灯は、自治会の要望により市が設置し、維持管理は自治会で行っています。その維持管理費の一部（電気料の2/3）を市が自治会に補助しています。

重要度については、「重要」の割合が77.8%、「どちらともいえない」の割合が12.7%、「重要ではない」の割合が0.9%となっています。

満足度については、「満足」の割合が41.9%、「どちらともいえない」の割合が34.5%、「満足ではない」の割合が10.2%となっています。

年代別でみると、30歳代から50歳代で「重要」の割合が8割を超えています。また、20歳代、50歳代で「満足ではない」の割合が他に比べて高くなっています。

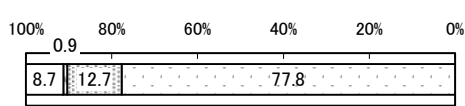
居住地域別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、伊深、三和で「満足ではない」の回答はみられません。

【重要度】

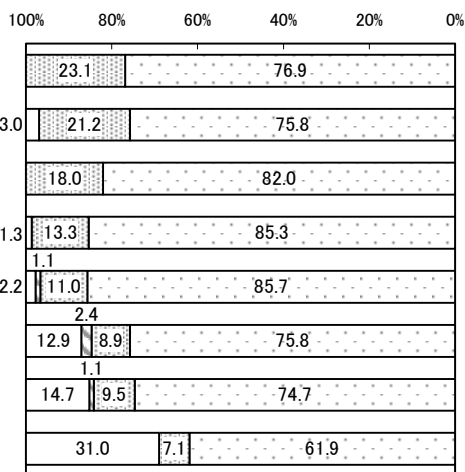
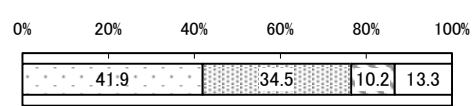
【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

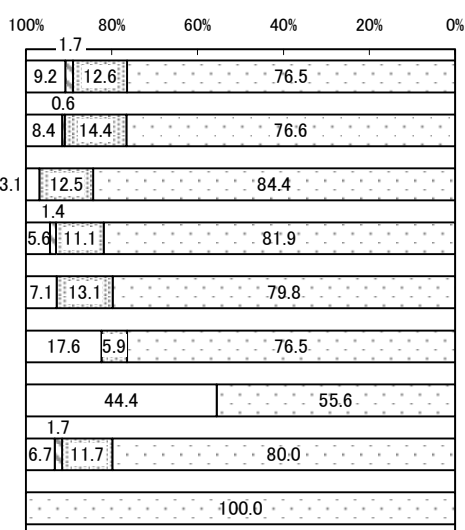
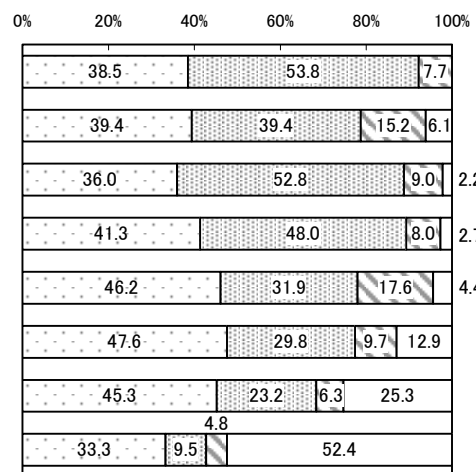
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



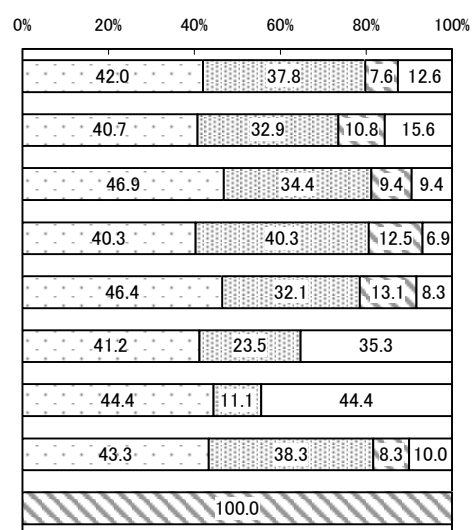
全体
(577)



年代別



居住地域別



皆さんからの意見では、「積極的に推進してほしい。」など事業を評価している意見が6件、「夜間暗すぎる。」など事業を評価していない意見が9件、「防犯灯はまだ足りないと思う。」など今後の事業の課題についての意見が32件となっています。

(14) 介護予防支援事業の実施

調査項目：高齢の方に住み慣れた地域で安心して生活していただくため、専門職員による「高齢者の総合相談」をはじめ、介護予防プラン作成など介護予防支援事業を実施しています。

重要度については、「重要」の割合が72.3%、「どちらともいえない」の割合が17.9%、「重要ではない」の割合が1.0%となっています。

満足度については、「満足」の割合が31.5%、「どちらともいえない」の割合が48.7%、「満足ではない」の割合が6.4%となっています。

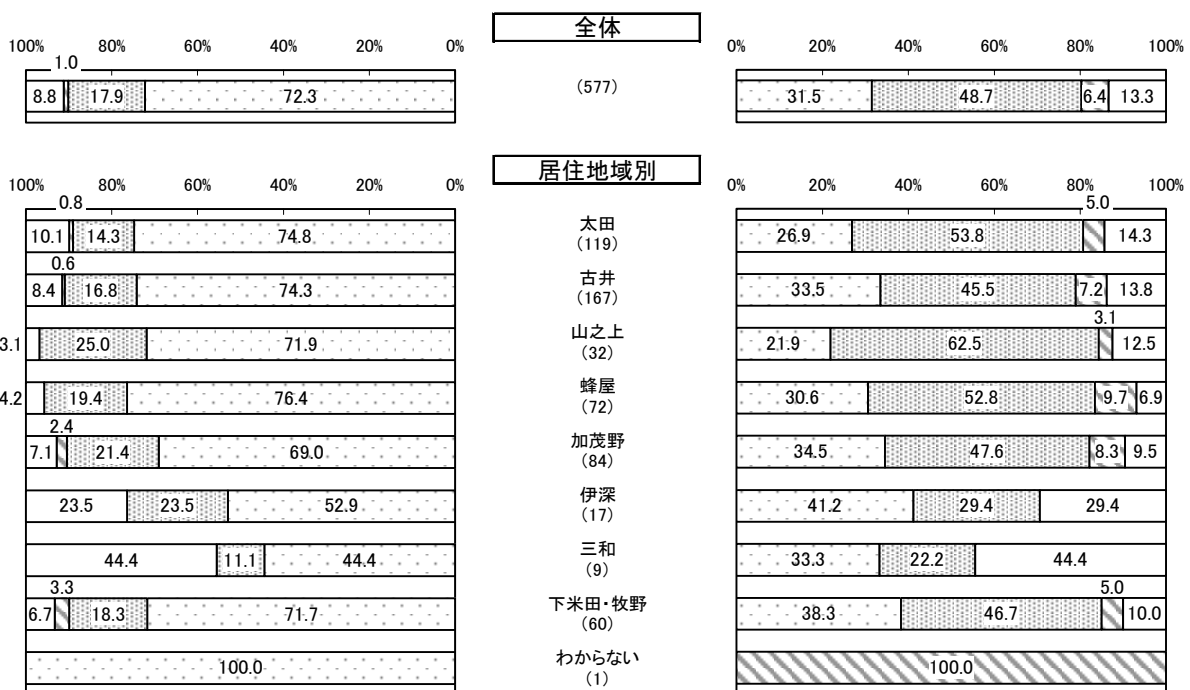
居住地域別でみると、伊深、三和で「重要」の割合が他に比べて低くなっています。また、伊深、三和で「満足ではない」の回答はみられません。また、伊深では「満足」の割合が4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「高齢化社会の対策のひとつとして評価する。」など事業を評価している意見が7件、「事業費が多すぎます。」など事業を評価していない意見が6件、「高齢者が増え人員の増強が必要ではないか。」など今後の事業の課題についての意見が19件となっています。

(15) 75歳以上の方の健診費用無料化

調査項目：病気の予防、早期発見、治療につなげるために実施しているがんなどの健診の一部負担金を、75歳以上の方について無料にしています。

重要度については、「重要」の割合が67.9%、「どちらともいえない」の割合が18.0%、「重要ではない」の割合が5.2%となっています。

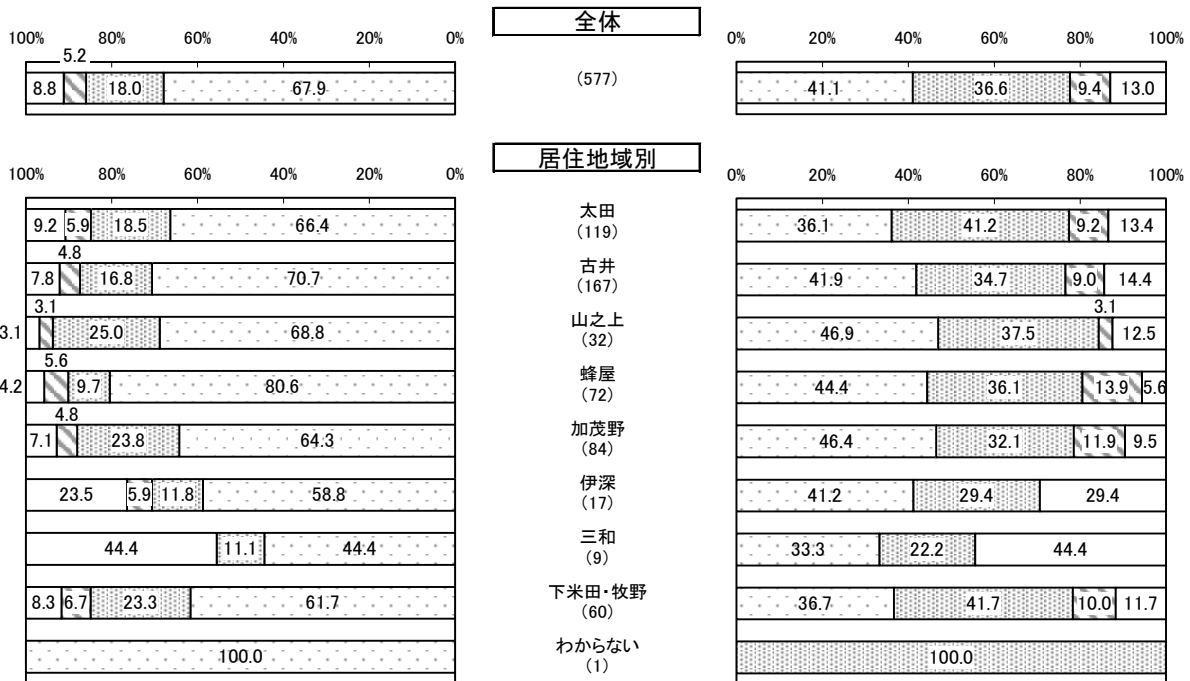
満足度については、「満足」の割合が41.1%、「どちらともいえない」の割合が36.6%、「満足ではない」の割合が9.4%となっています。

居住地域別でみると、蜂屋で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、伊深、三和で「満足ではない」の回答はみられません。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「大変ありがたい。」など事業を評価している意見が12件、「75歳以上では遅い。」など事業を評価していない意見が9件、「早期発見につなげるなら、75歳でいいのか。」など今後の事業の課題についての意見が37件となっています。

(16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化

調査項目：乳幼児医療費の無料化を中学校卒業までの子どもを対象に実施しています。無料化は、手軽に医療を受けられますが、病院では救急で医療が必要な方をすぐに診療できない事態も起きています。

重要度については、「重要」の割合が63.1%、「どちらともいえない」の割合が22.4%、「重要ではない」の割合が5.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が43.3%、「どちらともいえない」の割合が33.4%、「満足ではない」の割合が10.2%となっています。

年代別でみると、30歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、30歳代、40歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約6割となっています。

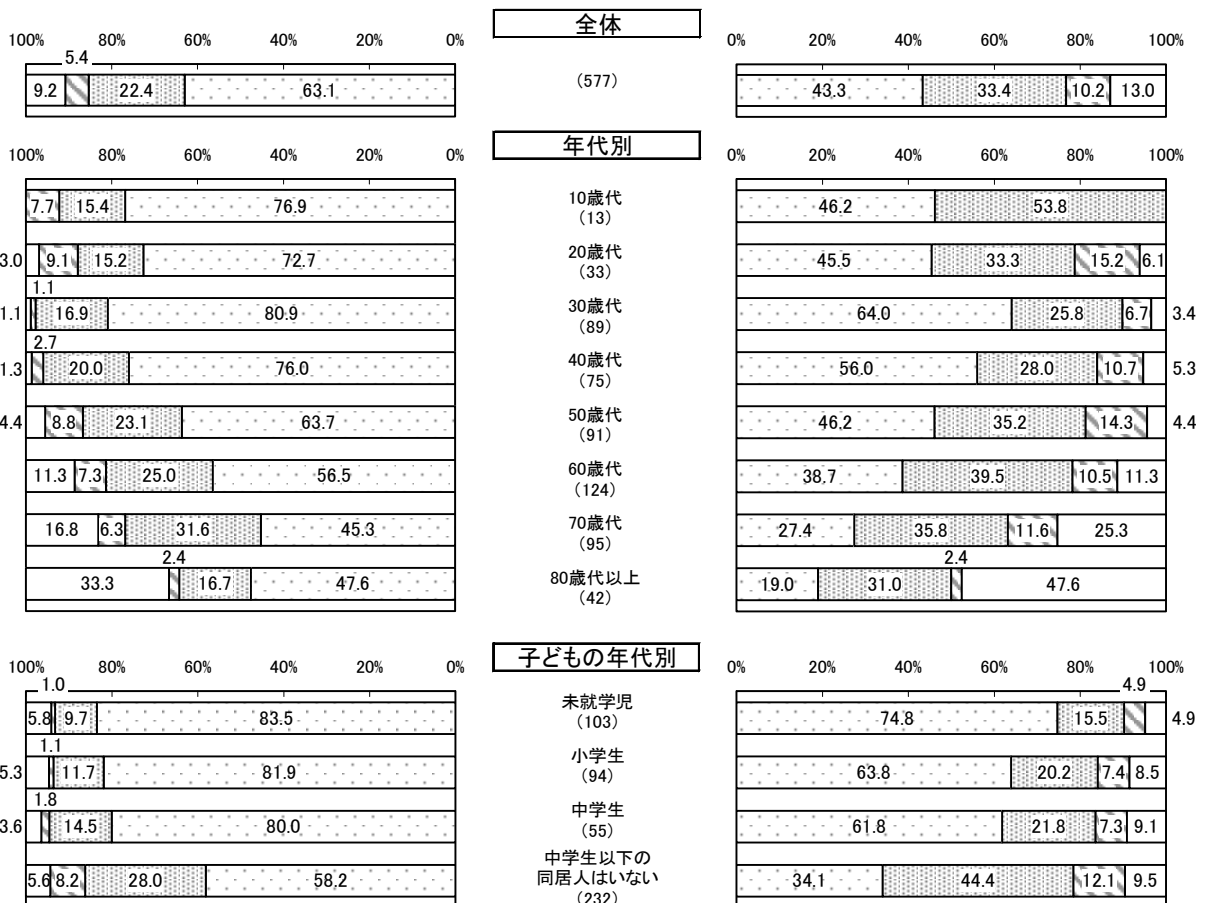
子どもの年代別でみると、中学生以下の同居人はいない人以外では、「重要」の割合が約6割となっています。また、子どもの年代が低いほど「満足」の割合が高い傾向がみられます。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「とてもありがたいです。」など事業を評価している意見が19件、「病院が子どもだけです。無料も考えものです。」など事業を評価していない意見が13件、「小学校卒業まででよいのでは。」など今後の事業の課題についての意見が42件となっています。

(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

調査項目：市内には、12箇所（266部屋）の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。

重要度については、「重要」の割合が43.2%、「どちらともいえない」の割合が38.0%、「重要ではない」の割合が8.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が20.8%、「どちらともいえない」の割合が52.9%、「満足ではない」の割合が12.1%となっています。

年代別でみると、年代が低くなるにつれ、「重要」の割合が高くなる傾向がみられます。また、10歳代、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

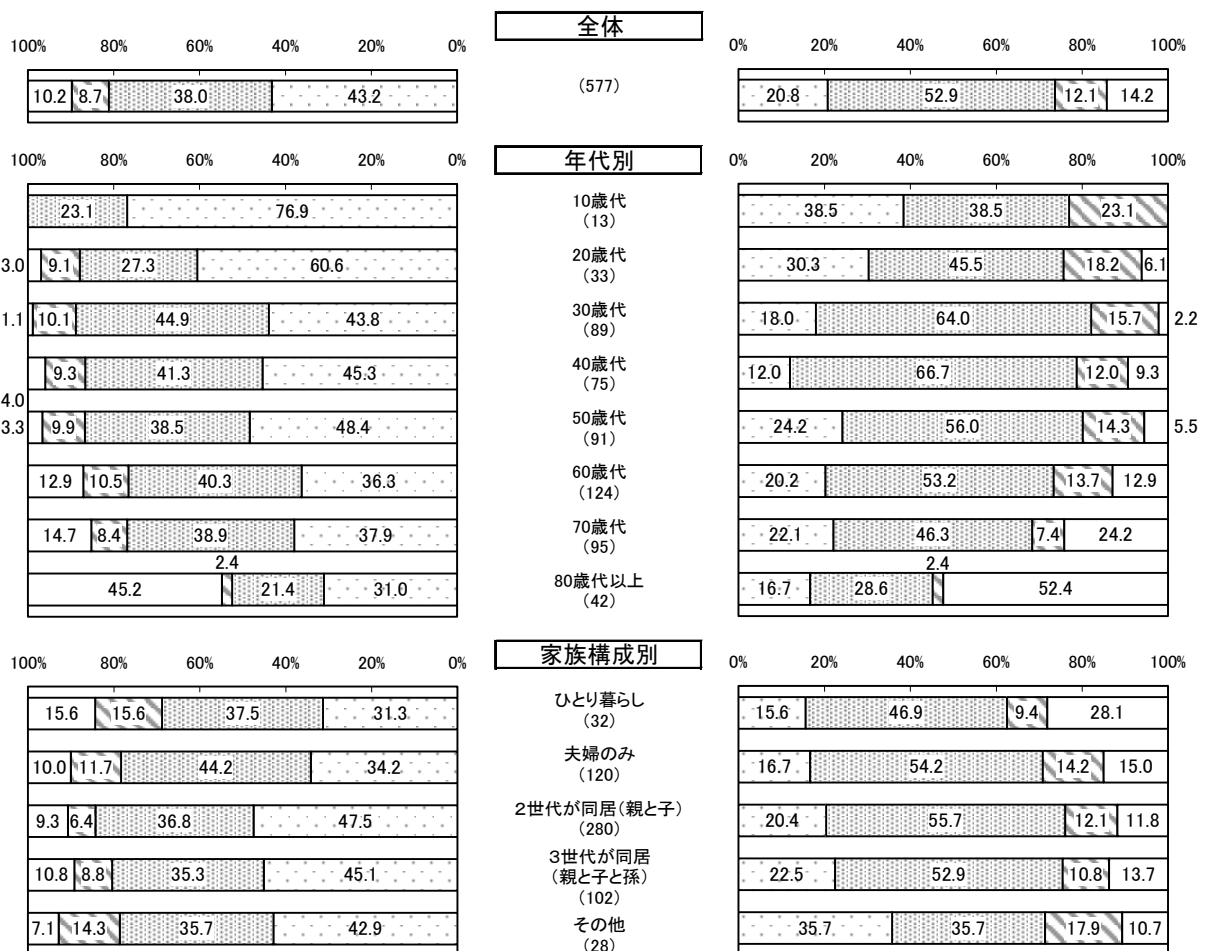
家族構成別でみると、ひとり暮らし、夫婦のみで「重要」の割合が他に比べて低くなっています。また、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）で「満足」の割合が2割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



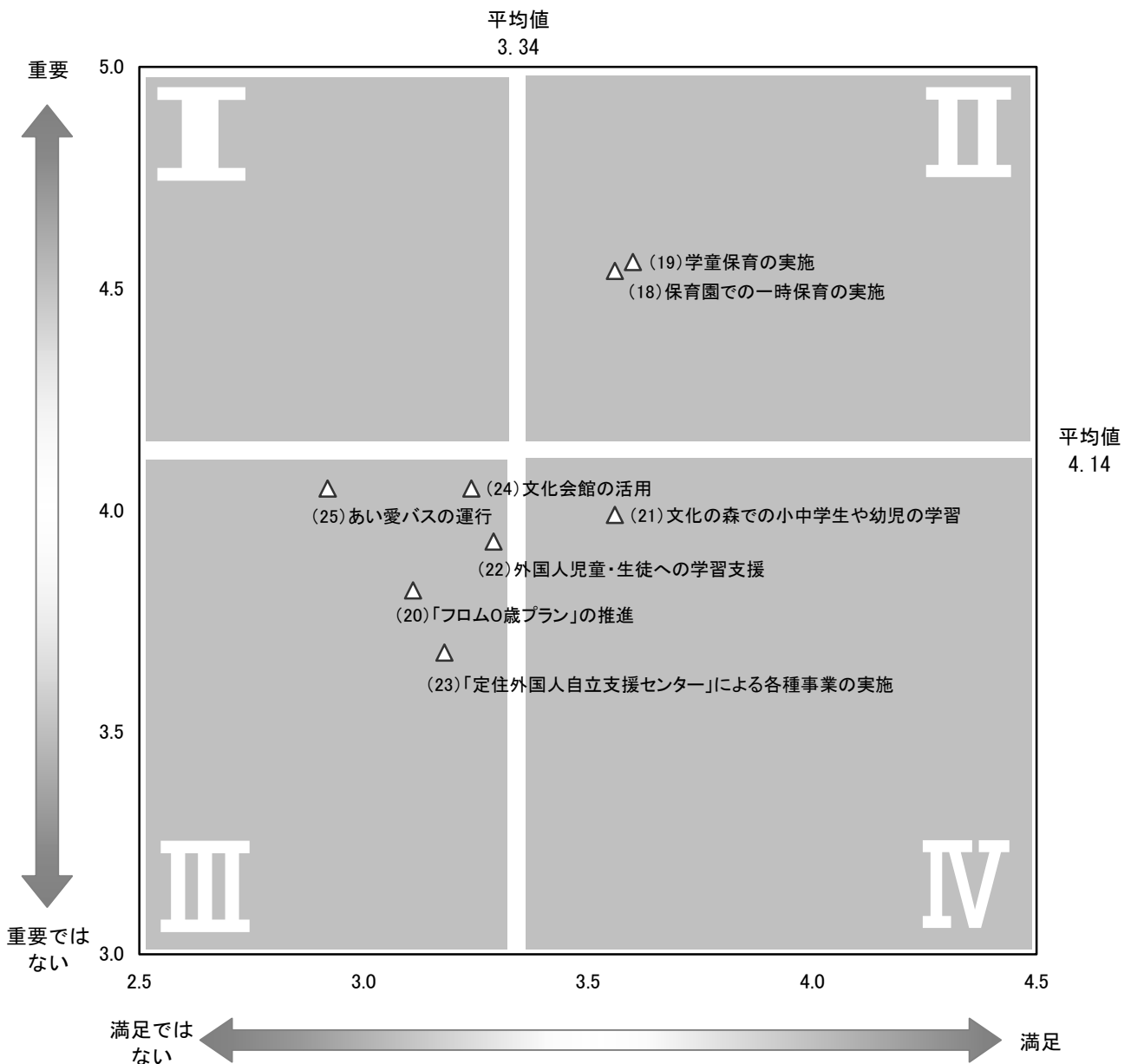
皆さんからの意見では、「よいです。」など事業を評価している意見が4件、「低所得でない人も住んでいる。」など事業を評価していない意見が12件、「一定額にすべき。」など今後の事業の課題についての意見が33件となっています。

2. - 4 快適でこちよく定住できるまち

『(18) 保育園での一時保育の実施』、『(19) 学童保育の実施』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(20) 「フロム0歳プラン」の推進』、『(22) 外国人児童・生徒への学習支援』、『(23) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施』、『(24) 文化会館の活用』、『(25) あい愛バスの運行』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。

『(21) 文化の森での小中学生や幼児の学習』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプⅣに分布しています。



(18) 保育園での一時保育の実施

調査項目：保護者が就労や疾病などのため、家庭で保育できないお子さんを週3日程度、一時的に保育園でお預かりしています。

(対象児童：生後8ヶ月から小学校就学前児童)

(実施場所：太田第一、山之上、明応保育園(定員各6名))

重要度については、「重要」の割合が72.6%、「どちらともいえない」の割合が15.3%、「重要ではない」の割合が2.1%となっています。

満足度については、「満足」の割合が34.7%、「どちらともいえない」の割合が43.5%、「満足ではない」の割合が7.1%となっています。

居住地域別でみると、下米田・牧野で「重要」の割合が8割を超えています。また、三和で「満足ではない」の回答はみられません。下米田・牧野で「満足」の割合が4割を超えています。

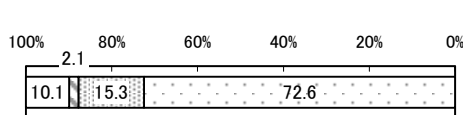
子どもの年代別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、未就学児で「満足」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。

【重要度】

【満足度】

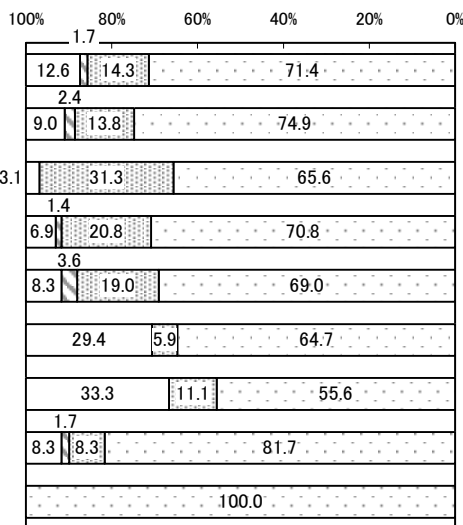
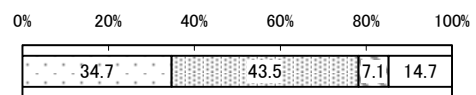
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



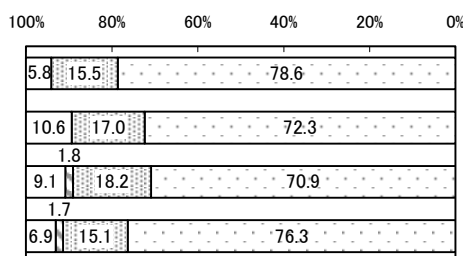
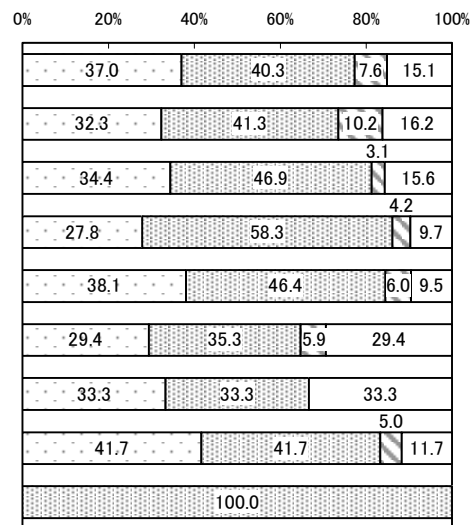
全体

(577)



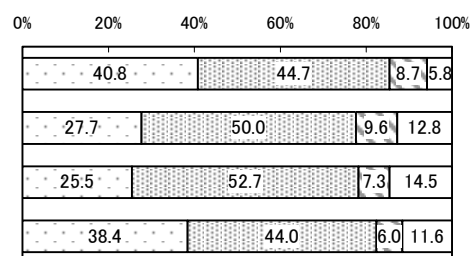
居住地域別

太田 (119)
古井 (167)
山之上 (32)
蜂屋 (72)
加茂野 (84)
伊深 (17)
三和 (9)
下米田・牧野 (60)
わからない (1)



子どもの年代別

未就学児 (103)
小学生 (94)
中学生 (55)
中学生以下の同居人はいない (232)



皆さんからの意見では、「頼りになる人がいない場合は助かる。」など事業を評価している意見が7件、「何のための親なのだろうと思う。」など事業を評価していない意見が2件、「実施場所をもっと増やしてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が17件となっています。

(19) 学童保育の実施

調査項目：学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童を対象に、放課後や長期休暇中などに、保護者に代わって保育を行っています。

(保育料は、月曜から金曜日利用の場合、月5,000円です。)

重要度については、「重要」の割合が73.8%、「どちらともいえない」の割合が14.4%、「重要ではない」の割合が2.1%となっています。

満足度については、「満足」の割合が36.6%、「どちらともいえない」の割合が41.2%、「満足ではない」の割合が7.5%となっています。

居住地域別でみると、蜂屋で「重要」の割合が8割を超えています。また、蜂屋、下米田・牧野で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

子どもの年代別でみると、未就学児で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、未就学児で「満足」の割合が他に比べて高く、約5割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「このまま続けてほしい。」など事業を評価している意見が12件、「自分の子どもは、自分で見て、育てる。」など事業を評価していない意見が3件、「小学6年生まででもよいのではないかな。」など今後の事業の課題についての意見が41件となっています。

(20)「フロム0歳プラン」の推進

調査項目：市では、0歳から18歳までのロングスパンで、子どもを地域ぐるみで育てることに重点をおいた、「フロム0歳プラン」を進めています。

重要度については、「重要」の割合が49.0%、「どちらともいえない」の割合が31.7%、「重要ではない」の割合が8.3%となっています。

満足度については、「満足」の割合が22.2%、「どちらともいえない」の割合が51.1%、「満足ではない」の割合が11.8%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、女性で「満足」の割合が男性に比べて高くなっています。

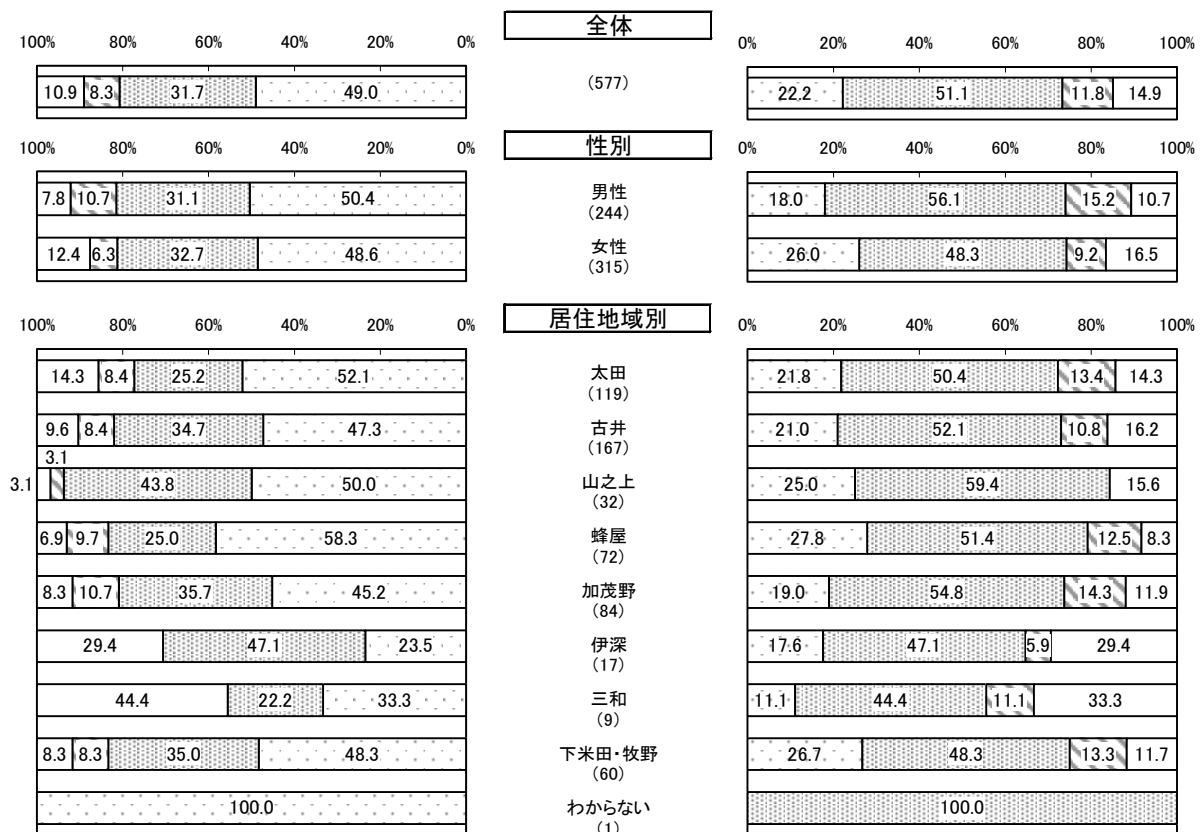
居住地域別でみると、伊深で「重要」の割合が他に比べて低くなっています。また、山之上で「満足ではない」の回答はみられません。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「子どもを安心して産み育てられる美濃加茂市のために、力をいれてほしい。」など事業を評価している意見が3件、「中学生以上の有効性が見えてこない。」など事業を評価していない意見が16件、「もっと母親の交流の場を増やすとよい。」など今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

(21) 文化の森での小中学生や幼児の学習

調査項目：文化の森では、小中学生や幼児を対象に文化の森の特長を生かした、博物館ならではの学習を、学校などとともに計画して行っています。

重要度については、「重要」の割合が53.2%、「どちらともいえない」の割合が31.2%、「重要ではない」の割合が5.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が33.4%、「どちらともいえない」の割合が47.0%、「満足ではない」の割合が6.2%となっています。

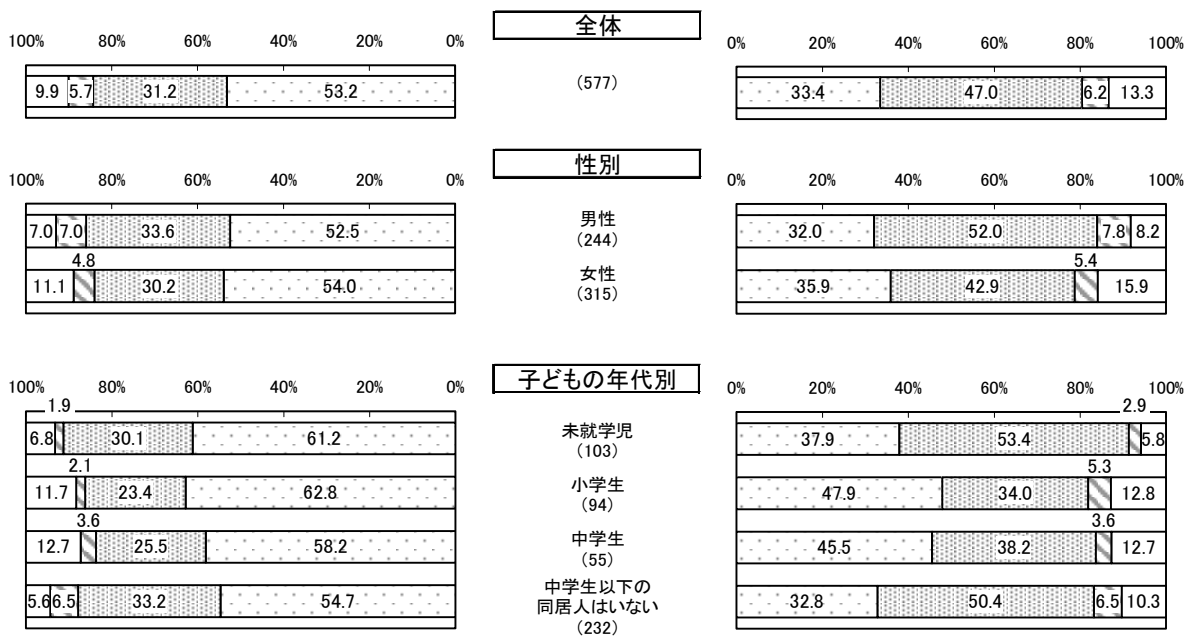
性別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

子どもの年代別でみると、未就学児、小学生で「重要」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。また、小学生、中学生で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「地元をよく理解させるためにはよい。」など事業を評価している意見が11件、「文化の森は必要ない。」など事業を評価していない意見が11件、「幼児が参加できるものをもっとあるとよい。」など今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

(22) 外国人児童・生徒への学習支援

調査項目：小中学校に通学している外国人児童・生徒の就学意欲を維持するため、放課後に日本語学習や家庭学習を支援しています。(外国人児童・生徒1人が支援教室に1回参加するにつき、およそ230円を市が負担しています。)

重要度については、「重要」の割合が50.4%、「どちらともいえない」の割合が33.6%、「重要ではない」の割合が5.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が22.4%、「どちらともいえない」の割合が56.8%、「満足ではない」の割合が6.6%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

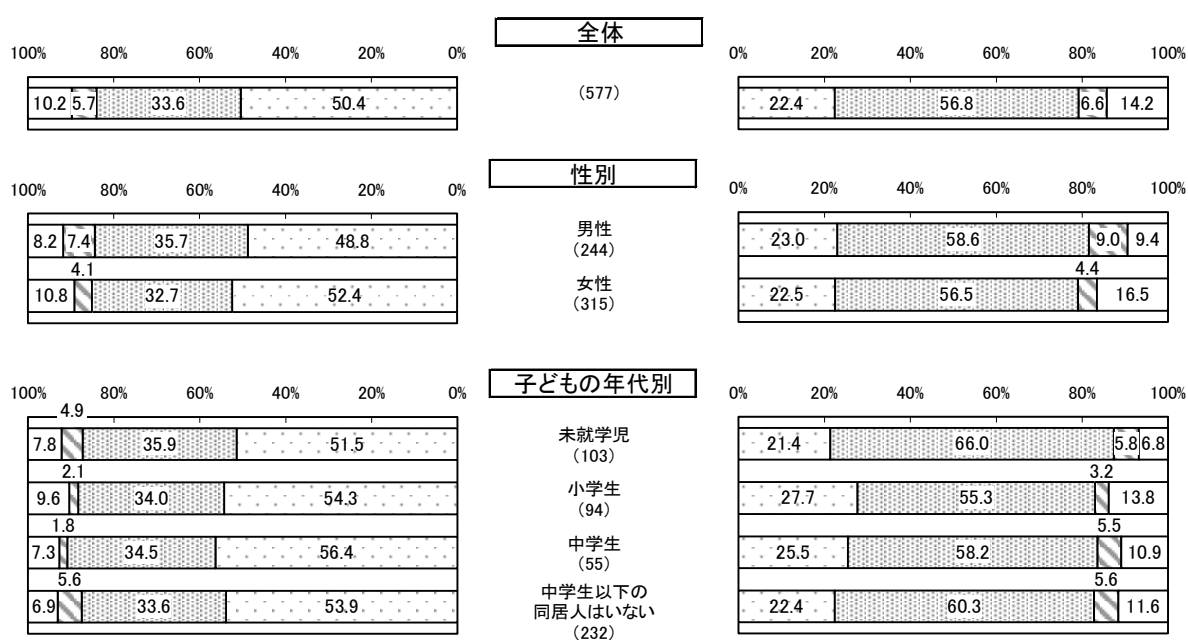
子どもの年代別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、小学生で「満足ではない」の割合が他に比べて低くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「ぜひ継続してほしい。」など事業を評価している意見が12件、「誰の税金でやっているのか。」など事業を評価していない意見が4件、「小学校の対象でよいのでは。」など今後の事業の課題についての意見が10件となっています。

(23) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施

調査項目：在住外国人の生活基盤の支援や社会参加を促進するため、「定住外国人自立支援センター」を21年7月に整備し、外国人の生活相談や就労支援、就業促進など各種事業を行っています。

※所在地：加茂川町1丁目1-1

重要度については、「重要」の割合が42.5%、「どちらともいえない」の割合が39.2%、「重要ではない」の割合が8.0%となっています。

満足度については、「満足」の割合が18.5%、「どちらともいえない」の割合が59.8%、「満足ではない」の割合が7.3%となっています。

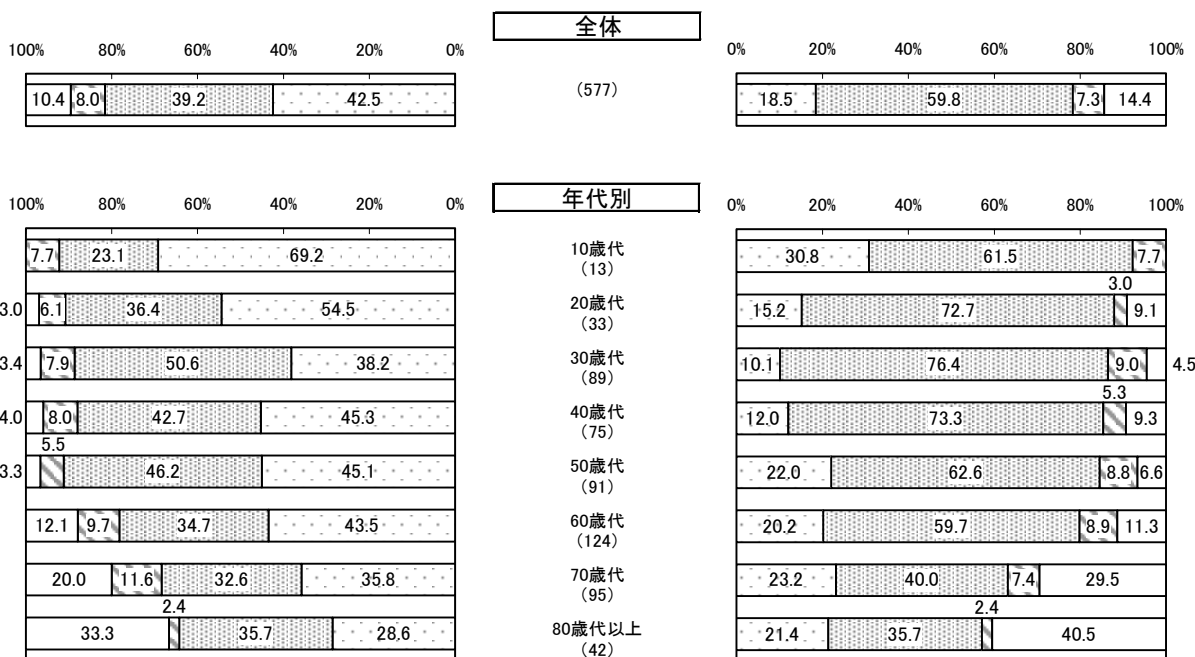
年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約7割となっています。また、30歳代、40歳代で「満足」の割合が他に比べて低く、約1割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「特色あるまちづくり事業として必要。」など事業を評価している意見が3件、「日本人の生活を優先させてください。」など事業を評価していない意見が8件、「改善が必要。」など今後の事業の課題についての意見が15件となっています。

(24) 文化会館の活用

調査項目：文化会館は、音楽などを身近に感じてもらえるよう、800人収容のホールをはじめ、音楽スタジオ、会議室などでコンサートや講演などの実施や各種団体の活動に利用されています。

重要度については、「重要」の割合が55.3%、「どちらともいえない」の割合が30.0%、「重要ではない」の割合が5.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が26.9%、「どちらともいえない」の割合が48.4%、「満足ではない」の割合が11.1%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

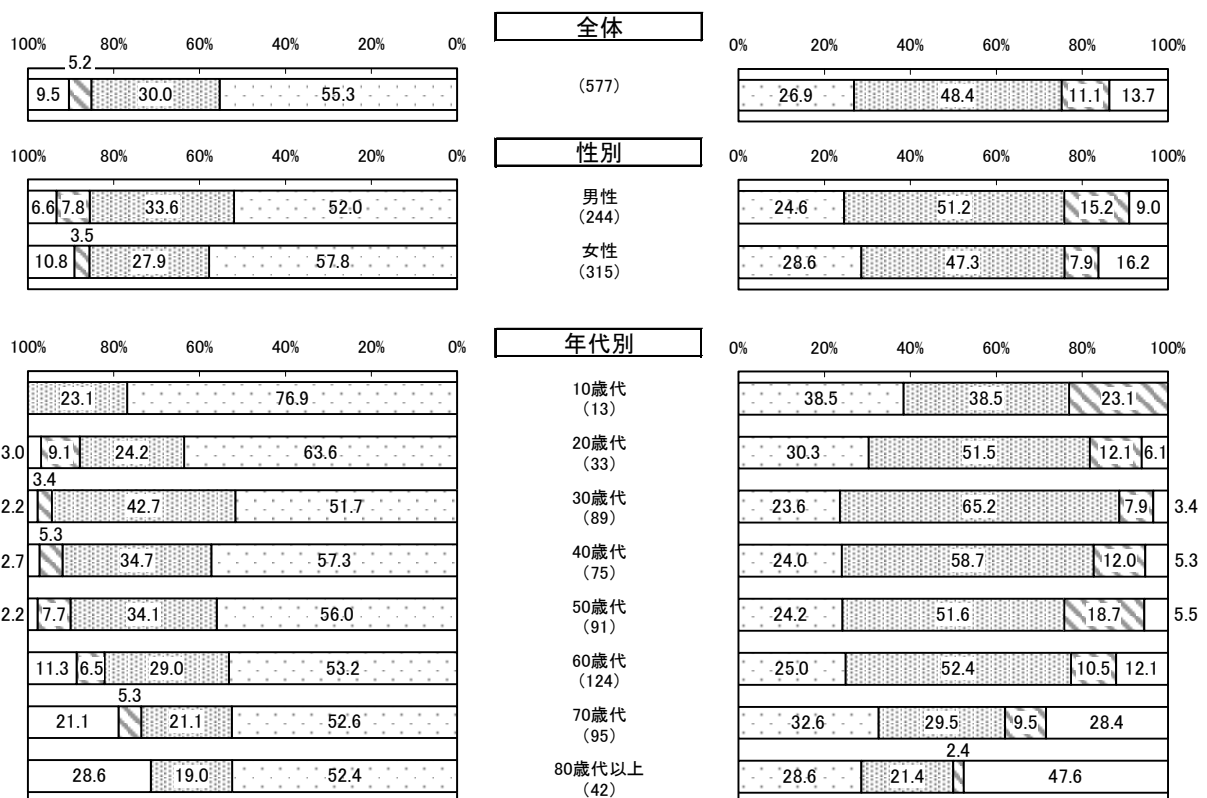
年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、10歳代、50歳代で「満足ではない」の割合が他に比べて高く、約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「歴史と文化のまちにふさわしい市のシンボルとして当然の費用です。」など事業を評価している意見が4件、「物足りないです。」など事業を評価していない意見が10件、「入場数がとても少ない時があるため、PRしてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が35件となっています。

(25) あい愛バスの運行

調査項目：高齢者をはじめとする移動に制約のある方の交通手段として、また、買い物やレジャーにご利用いただくため、2台のあい愛バス（市が運行する路線バス）が11路線で運行しています。

重要度については、「重要」の割合が60.3%、「どちらともいえない」の割合が20.6%、「重要ではない」の割合が8.8%となっています。

満足度については、「満足」の割合が25.5%、「どちらともいえない」の割合が40.9%、「満足ではない」の割合が19.2%となっています。

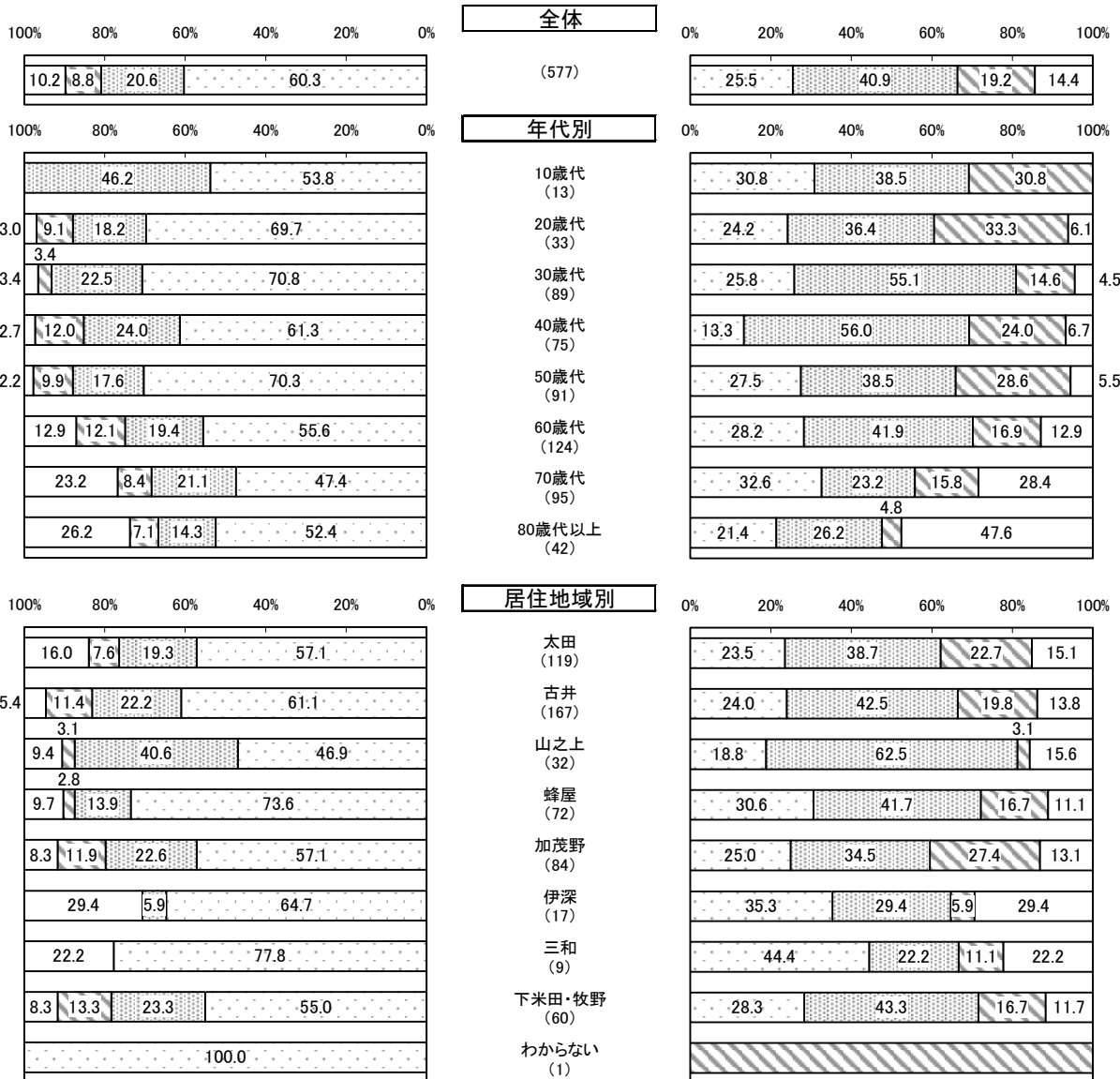
年代別でみると、20歳代から50歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。また、40歳代で「満足」の割合が他に比べて低く、約1割となっています。

居住地域別でみると、蜂屋、三和で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、山之上、伊深で「満足ではない」の割合が他に比べて低くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



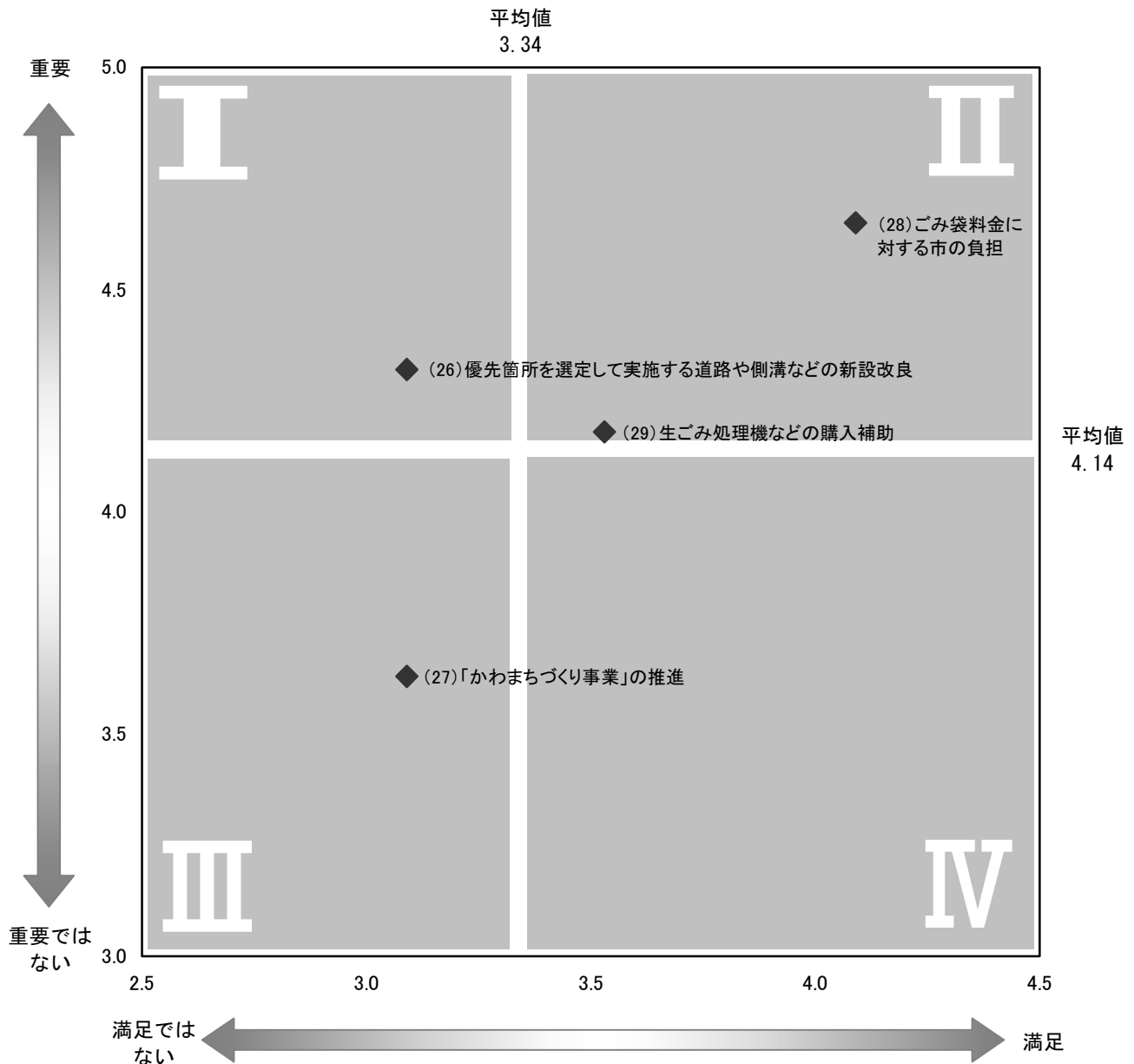
皆さんからの意見では、「高齢者にやさしいまちに必要な策です。」など事業を評価している意見が10件、「使いにくい。」など事業を評価していない意見が25件、「本数を増やしてください。」など今後の事業の課題についての意見が62件となっています。

2. - 5 美しい風景が残るまち

『(26) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

『(28) ごみ袋料金に対する市の負担』、『(29) 生ごみ処理機などの購入補助』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(27) 「かわまちづくり事業」の推進』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。



(26) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良

調査項目：市税収入の減少や社会補償費（医療や介護など生活を安定させるための給付）の増加、市民ニーズの多様化もあり、生活道路や側溝などの新設や改良、維持補修費は、限られた予算の範囲で優先箇所を選定して推進しています。

重要度については、「重要」の割合が63.8%、「どちらともいえない」の割合が23.6%、「重要ではない」の割合が2.8%となっています。

満足度については、「満足」の割合が23.2%、「どちらともいえない」の割合が49.7%、「満足ではない」の割合が13.0%となっています。

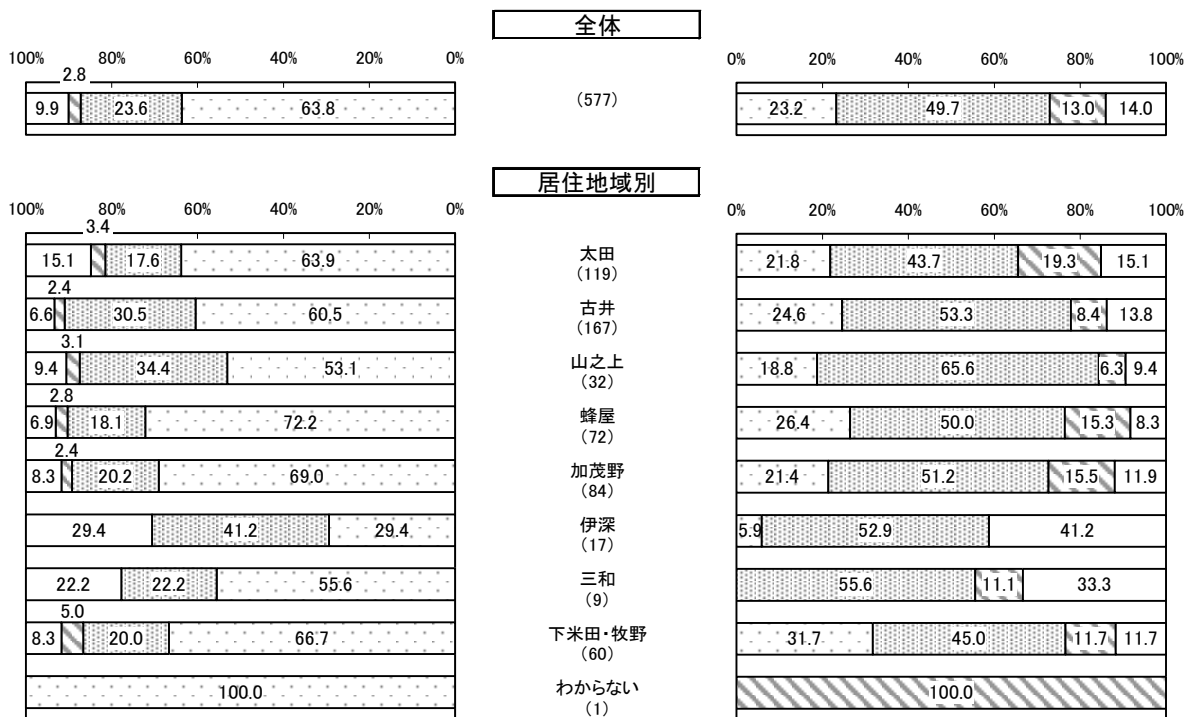
居住地域別でみると、伊深で「重要」の割合が他に比べて低くなっています。また、下米田・牧野で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「きれいな街になってきたと思う。」など事業を評価している意見が5件、「道路はこれ以上増やすことはない。」など事業を評価していない意見が7件、「本当に必要のところから実施してください。」など今後の事業の課題についての意見が33件となっています。

(27)「かわまちづくり事業」の推進

調査項目：木曾川の景観や観光資源を生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。

重要度については、「重要」の割合が43.5%、「どちらともいえない」の割合が37.1%、「重要ではない」の割合が10.1%となっています。

満足度については、「満足」の割合が21.1%、「どちらともいえない」の割合が52.3%、「満足ではない」の割合が11.6%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

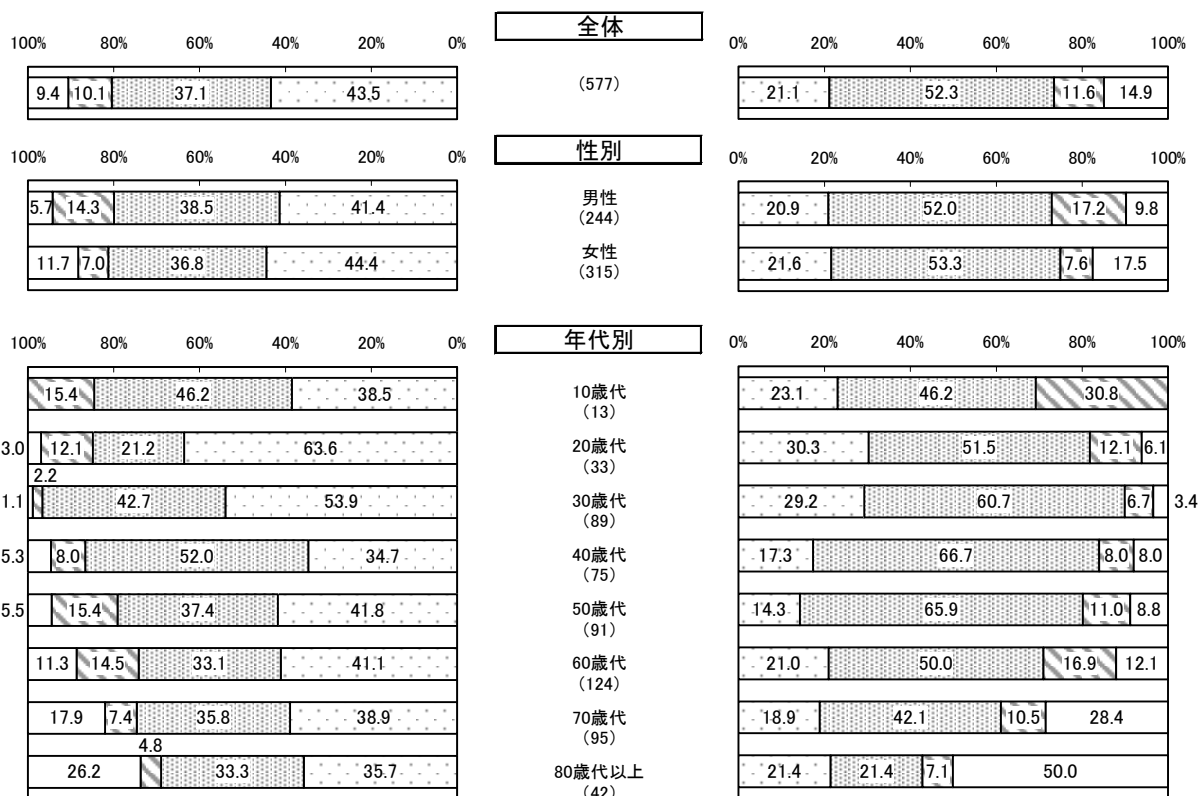
年代別でみると、20歳代、30歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、20歳代、30歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「期待しています。」など事業を評価している意見が9件、「すぐやめてください。」など事業を評価していない意見が19件、「緑を多くして、人が多く集まる工夫がほしい。」など今後の事業の課題についての意見が17件となっています。

(28) ごみ袋料金に対する市の負担

調査項目：家庭から出る可燃ごみ1袋（6kg）の処理費用は、417円です。そのうちみなさんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残り387円は市が負担しています。

（ごみ袋1枚の金額：可児市＝30円、関市＝60円、富加町＝50円、川辺町＝75円、八百津町＝100円、東白川村＝155円）

重要度については、「重要」の割合が75.4%、「どちらともいえない」の割合が13.7%、「重要ではない」の割合が0.9%となっています。

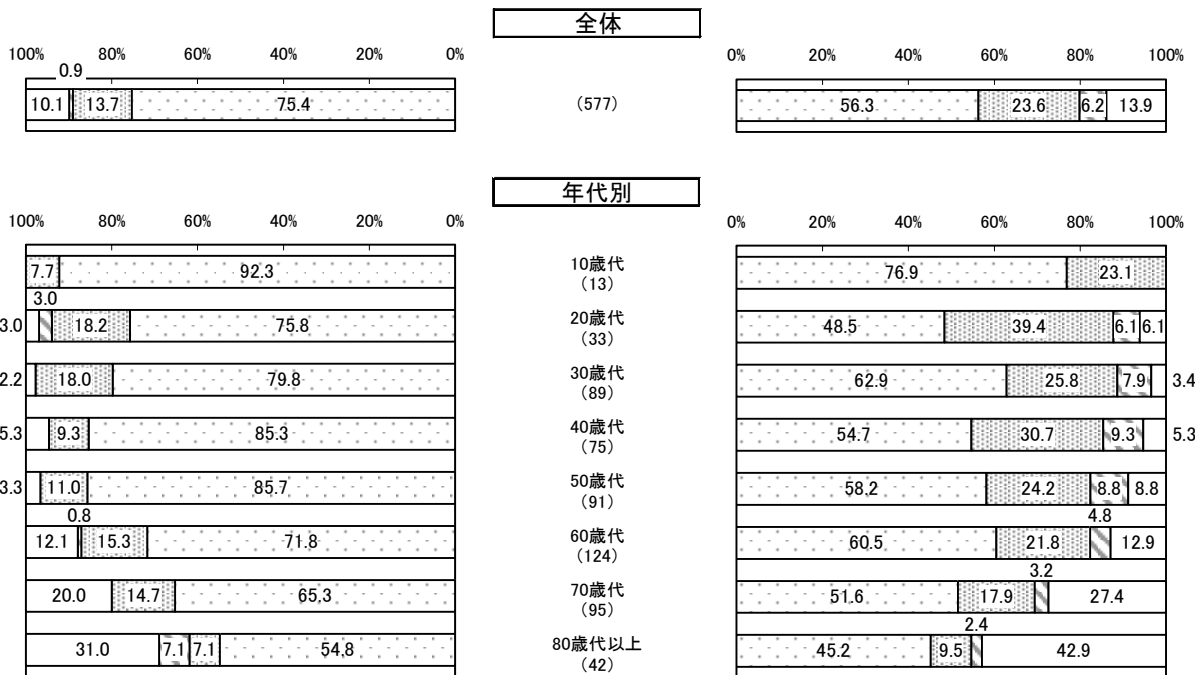
満足度については、「満足」の割合が56.3%、「どちらともいえない」の割合が23.6%、「満足ではない」の割合が6.2%となっています。

年代別でみると、10歳代、40歳代、50歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、20歳代で満足度の「どちらともいえない」の割合が他に比べて高くなっています。10歳代で「満足」の割合が高く、約8割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「引き続き行ってほしい。」など事業を評価している意見が13件、「1袋30円は高い。」など事業を評価していない意見が3件、「ごみ袋の料金をあげてはどうか。」など今後の事業の課題についての意見が77件となっています。

(29) 生ごみ処理機などの購入補助

調査項目：家庭から出されるごみの減量化や環境への負荷を抑えるため、生ごみ処置機、生ごみ堆肥化容器や水きりバケツなどの購入者に補助をしています。
(購入費の2分の1。上限あり)

重要度については、「重要」の割合が60.0%、「どちらともいえない」の割合が26.7%、「重要ではない」の割合が4.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が33.3%、「どちらともいえない」の割合が45.6%、「満足ではない」の割合が7.1%となっています。

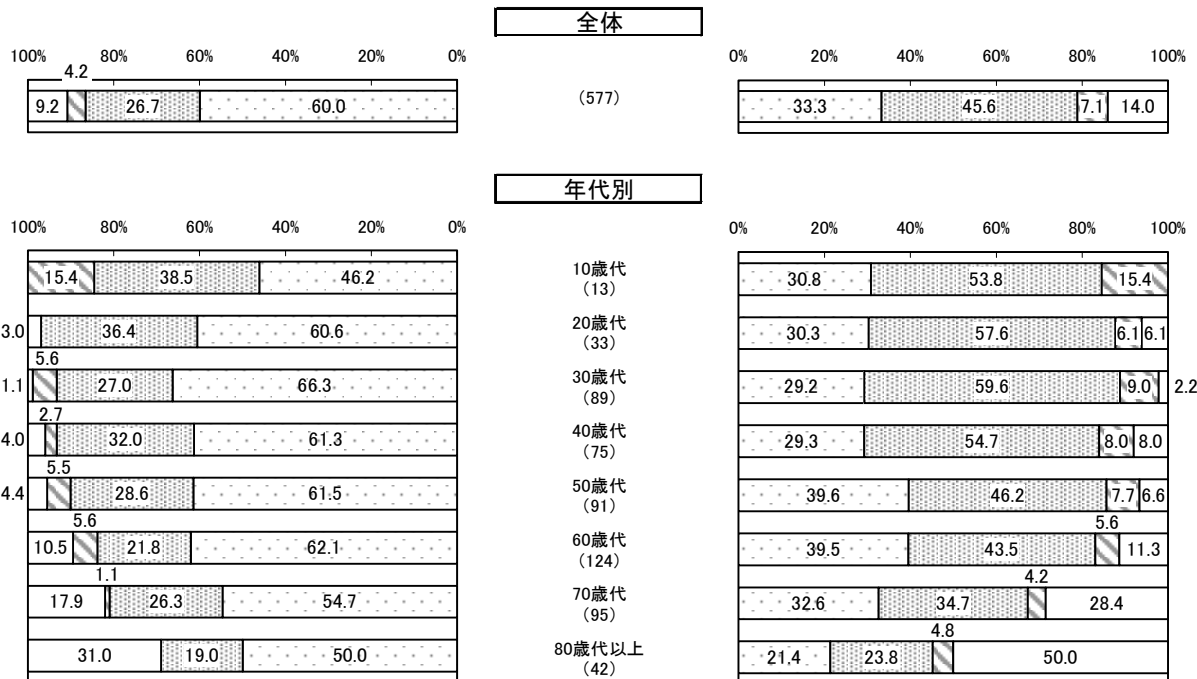
年代別でみると、10歳代で「重要ではない」の割合が他に比べて高くなっています。また、80歳代以上で「満足」の割合が他に比べて低く、約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

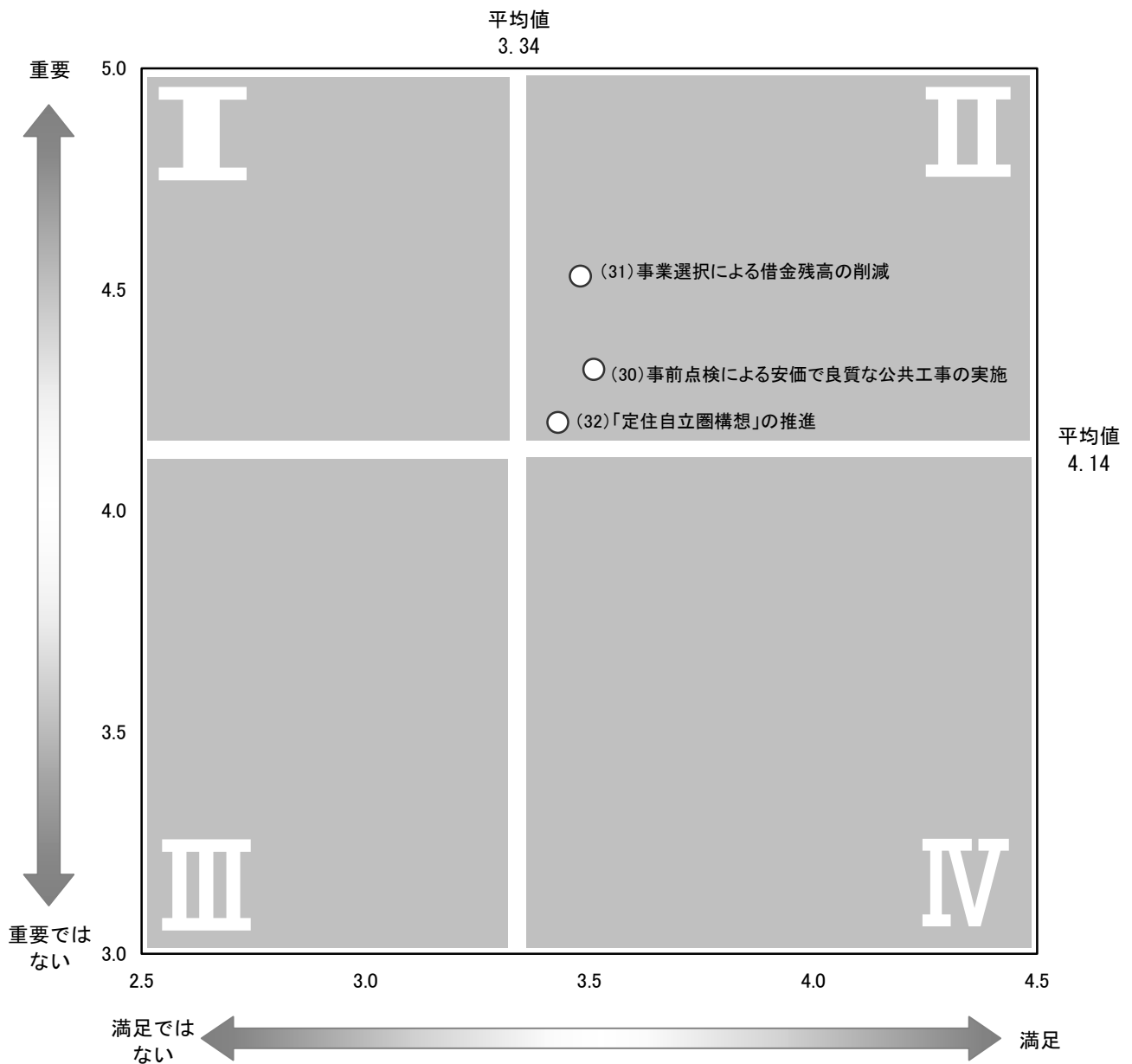
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「利用したい。」など事業を評価している意見が8件、「必要ない。」など事業を評価していない意見が10件、「もっとPRすべきだと思います。」など今後の事業の課題についての意見が23件となっています。

2. - 6 市役所の経営方針

『(30) 事前点検による安価で良質な公共工事の実施』、『(31) 事業選択による借金残高の削減』、『(32) 「定住自立圏構想」の推進』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。



(30) 事前点検による安価で良質な公共工事の実施

調査項目：市が発注する工事について、安価で良質な公共工事を行うため、平成8年度における標準的な工法での建設コストに対して、10%以上の縮減を目標に、工事実施前に点検を行っています。

重要度については、「重要」の割合が59.6%、「どちらともいえない」の割合が28.8%、「重要ではない」の割合が0.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が30.3%、「どちらともいえない」の割合が49.0%、「満足ではない」の割合が5.7%となっています。

性別でみると、女性に比べ男性で「重要」の割合が高く、6割を超えています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

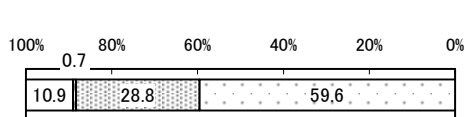
年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、9割を超えています。また、10歳代、20歳代、60歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。

【重要度】

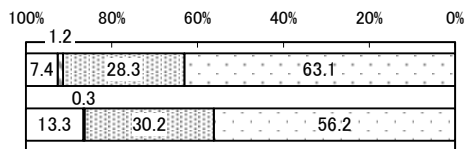
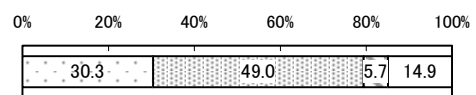
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

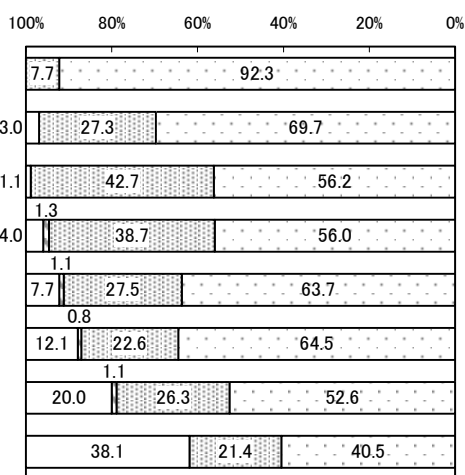
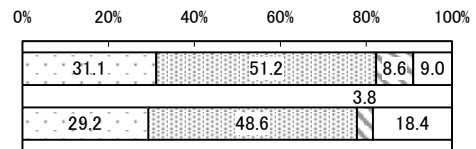
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



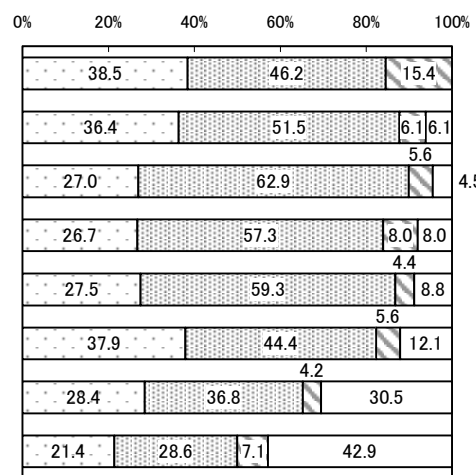
全体
(577)



性別
男性 (244)
女性 (315)



年代別
10歳代 (13)
20歳代 (33)
30歳代 (89)
40歳代 (75)
50歳代 (91)
60歳代 (124)
70歳代 (95)
80歳代以上 (42)



皆さんからの意見では、「期待しております。」など事業を評価している意見が7件、「むだ遣いではないのか。」など事業を評価していない意見が7件、「国内だけでなく、他国で同様の工事を実施した場合のコストとの比較も必要です。」など今後の事業の課題についての意見が15件となっています。

(31) 事業選択による借金残高の削減

調査項目：市では、道路整備や下水道整備などの事業を借金をして推進してきました。現在は、将来世代の負担を軽減するため、事業を選択することにより、借金の返済を進め、借金残高を減らしています。

重要度については、「重要」の割合が71.2%、「どちらともいえない」の割合が18.0%、「重要ではない」の割合が1.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が33.8%、「どちらともいえない」の割合が44.9%、「満足ではない」の割合が8.7%となっています。

性別でみると、男性で「重要」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

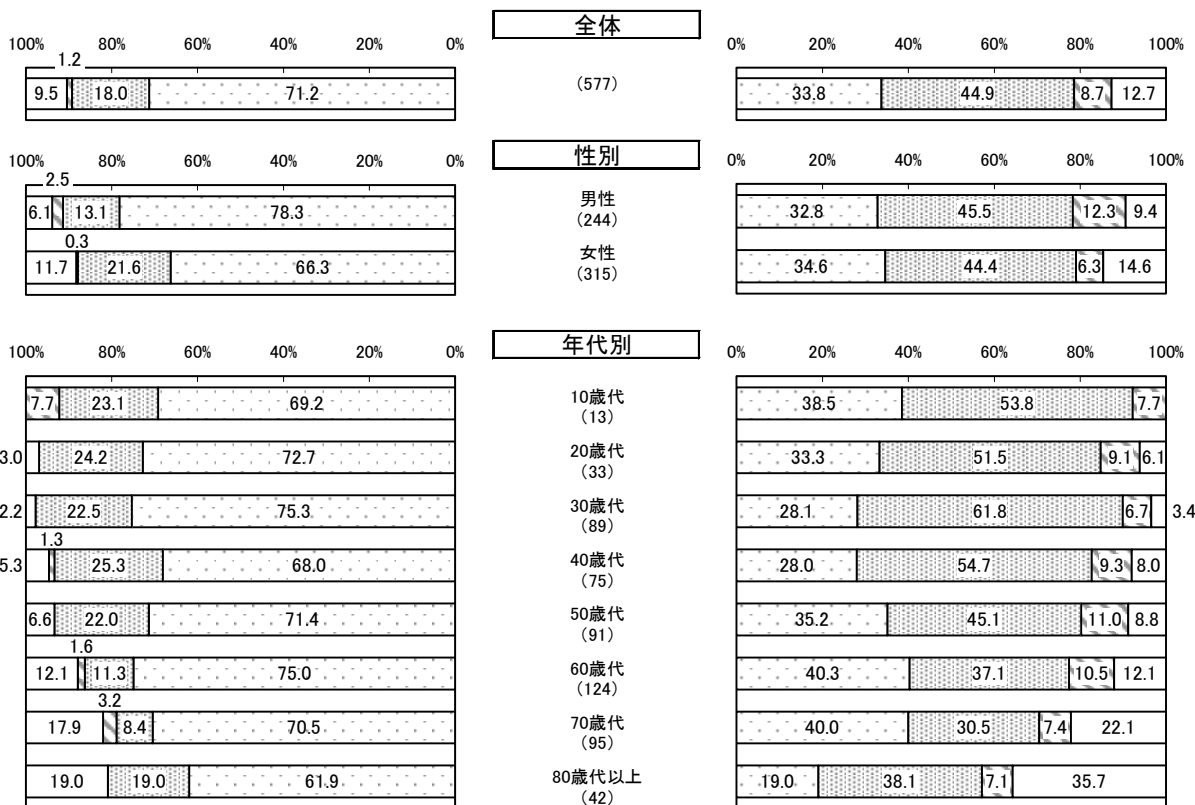
年代別でみると、10歳代で「重要ではない」の割合が他に比べて高くなっています。また、80歳代以上で「満足」の割合が他に比べて低く、約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「よい取り組みだと思う。」など事業を評価している意見が14件、「これほどの借金は解決するのか。」など事業を評価していない意見が11件、「もっと借金返済に努めるべきです。」など今後の事業の課題についての意見が25件となっています。

(32)「定住自立圏構想」の推進

調査項目：美濃加茂市が中心になり、加茂郡の7町村と協定を結び、それぞれの市町村が役割を分担して、ずっと暮らしたいと思える魅力ある地域づくりをするために、「定住自立圏構想」（共同で事業を行う）を推進しています。

重要度については、「重要」の割合が60.1%、「どちらともいえない」の割合が25.6%、「重要ではない」の割合が4.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が28.4%、「どちらともいえない」の割合が49.4%、「満足ではない」の割合が6.9%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

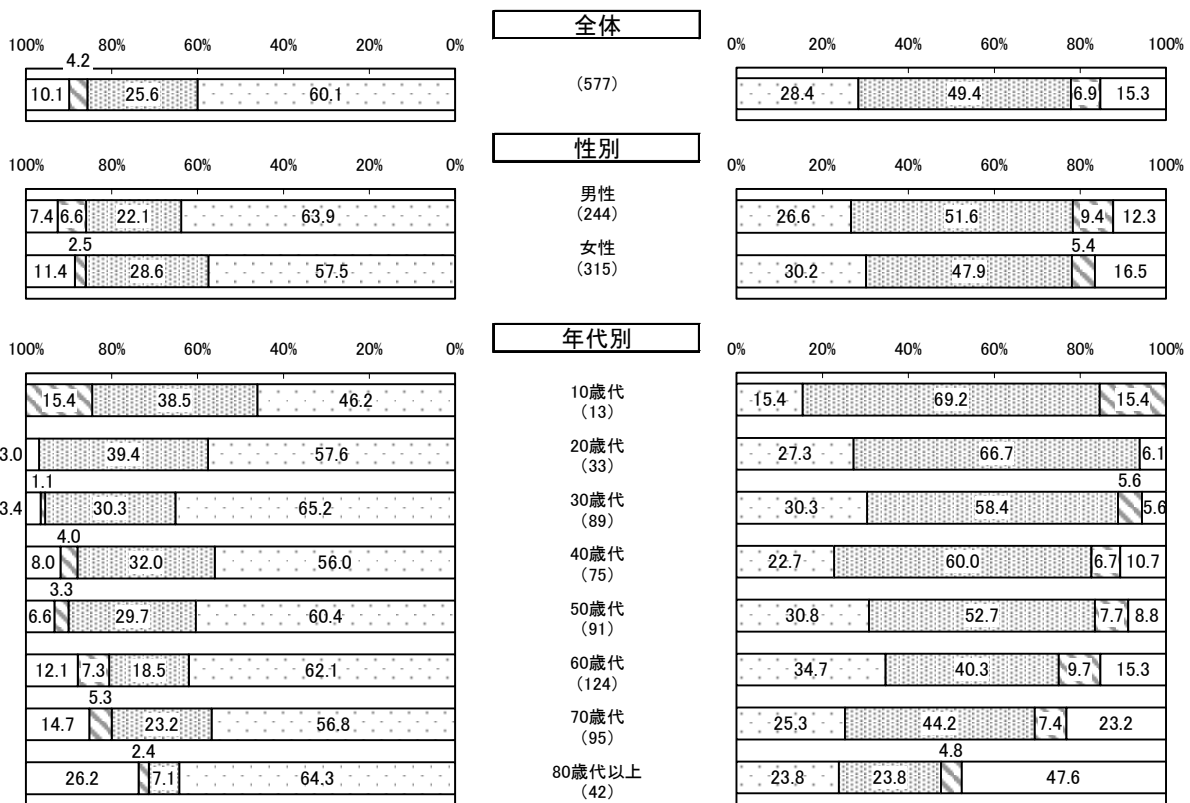
年代別でみると、10歳代で「重要ではない」の割合が他に比べて高くなっています。また、30歳代、50歳代、60歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「高齢化社会になるほど必要になってくる。」など事業を評価している意見が11件、「事業の内容がわかりづらい。」など事業を評価していない意見が5件、「もっと拡大すべき。」など今後の事業の課題についての意見が17件となっています。

参考資料

みなさんの意見でまちづくりを進めます

～市民満足度調査にご協力ください～

これからのまちづくりにみなさんのご意見を反映して進めていく目的で、「美濃加茂市市民満足度調査」を行います。

みなさんは、日ごろの生活の中で、市が行っている事業に対してどのように感じてみえますか？「この事業はとても重要だけれど、まだまだ満足できない」とか、「この事業はサービスが過剰だ。重要だとは思わない」など、さまざまな考えをお持ちだと思います。

この調査は、そんなお考えやご意見をもとにそれぞれの項目にお答えください。

過去には、調査の結果から、防犯灯の設置基数の増加や市民プールの子供用コースの閉鎖、敬老会補助金の見直しなどを実施しました。

みなさんのお考えで美濃加茂市をくらしやすいまちにしていきたいと思います。

ぜひ、ご協力いただきますよう、お願いいたします。

なお、この調査結果は、後日広報紙やホームページなどで公表させていただきます。

平成24年 2月

美濃加茂市長 渡辺 直由

◆ご記入にあたってのお願い◆

- この調査をお願いする方は、美濃加茂市在住の18歳以上の方で住民基本台帳から1,500人を無作為に抽出させていただきました。回答は、可能な限り**封筒の宛て名のご本人様**がご記入下さい。
- この調査は、無記名でご回答いただきますし、他の目的には使用しませんので回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。
- 質問は、選択式になっておりますのであてはまる番号に、「○」をつけてください。また、質問ごとにご意見等がありましたらご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封しました返信用封筒に入れて、**平成24年3月7日（水）まで**に郵便ポストに投函して下さい。**調査票、返信用封筒ともに無記名**で結構です。また、**切手は不要**です。

(お問い合わせ先)

美濃加茂市役所 経営企画部 市政情報課

担当(渡辺・奥村・大坪)

電話 0574-25-2111 (内線243・244)

あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年代は次のどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳代以上 |

問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1. 太田 | 4. 蜂屋 | 7. 三和 |
| 2. 古井 | 5. 加茂野 | 8. 下米田・牧野 |
| 3. 山之上 | 6. 伊深 | 9. わからない(町) |

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 3世代が同居(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他() |
| 3. 2世代が同居(親と子) | |

問5 ご家族に該当するお子さんがみえますか。(○は複数可)

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 未就学児 | 3. 中学生 |
| 2. 小学生 | 4. 中学生以下の同居人はいない |

問6 あなたは美濃加茂市に住んで何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 20年以上 | 4. 1年以上5年未満 |
| 2. 10年以上20年未満 | 5. 1年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 6. わからない |

問7 あなたのお住まいは次のいずれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 4. 賃貸住宅・アパート・マンション |
| 2. 持ち家(分譲マンションなど) | 5. 勤務先住宅(公務員住宅・社宅・寮など) |
| 3. 借家(一戸建て) | 6. その他() |

問8 あなたの主な職業は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1. 農林業 | 6. パート・アルバイト、フリーター、内職 |
| 2. 自営業 | 7. 学生 |
| 3. 会社員 | 8. 家事に専念している主婦(夫) |
| 4. 公務員 | 9. 無職 |
| 5. 団体職員 | 10. その他() |

くらしについておたずねします。

問9 あなたのくらしは、去年の今頃と比べていかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 楽になった | 3. 苦しくなった |
| 2. 変わらない | 4. わからない |

問10 あなたは、今のくらしについてどう思われますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 十分満足している | 3. まだまだ不満だ |
| 2. おおむね満足している | 4. きわめて不満だ |
| | 5. わからない |

問11 あなたは、日ごろのくらしの中で、どのようなことに不満を感じていますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 収入や貯蓄のこと | 8. 住まいの環境のこと |
| 2. 景気や生活費のこと | 9. 環境問題のこと |
| 3. 就職や失業・倒産など仕事のこと | 10. 犯罪や防犯のこと |
| 4. 家族の健康や生活上の問題のこと | 11. 事故や災害のこと |
| 5. 自分の病気や老後のこと | 12. その他 () |
| 6. 子どもの保育や教育のこと | 13. 不満を感じることはない |
| 7. 近所づきあいのこと | 14. わからない |

問12 あなたが、今後くらしの中で力を入れていきたいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 高い所得や多くの財産があること | 9. 子どもの保育や教育 |
| 2. 社会的地位を高めること | 10. 衣食住生活の改善、充実 |
| 3. 仕事・家業・学業にうちこむこと | 11. 趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと |
| 4. 知識や教養を高めること | 12. 社会的奉仕活動をする事 |
| 5. 健康であること | 13. 人間関係を大切にすること |
| 6. 老後の生活への準備 | 14. その他 () |
| 7. 家族の介護 | 15. 特にない |
| 8. 家族との団らん時間を大切にすること | 16. わからない |

今後の定住意向についておたずねします。

問 13 あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みよい | 4. あまり住みよいとはいえない |
| 2. まあまあ住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 14 あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 4. できれば住み続けたくない |
| 2. できれば住み続けたい | 5. 住み続けたくない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 15 これから美濃加茂市で住み続けていくためには、何があったらよいと思いますか。 (○は3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自然環境が豊かであること | 10. 医療機関や福祉施設が整っていること |
| 2. 交通の利便性がよいこと | 11. 教育環境が充実していること |
| 3. 住宅地などの住まいの環境がよいこと | 12. スポーツ活動や余暇活動が充実していること |
| 4. まちのイメージや雰囲気がよいこと | 13. 物価や家賃が安いこと |
| 5. 買い物に便利であること | 14. まちに親しみや愛着があること |
| 6. 治安がよいこと | 15. 市民の意見が行政に反映されること |
| 7. 近所づきあいがよいこと | 16. その他 () |
| 8. 働く場が充実していること | 17. わからない |
| 9. 通勤・通学が便利であること | |

■ 美濃加茂市第5次総合計画

平成22年4月から10年間の美濃加茂市のまちづくりの指針となるのが第5次総合計画です。

その中で10年後のあるべき姿として、夢のある明るい未来がイメージできるよう、「**まあるいまち みのかも**」を掲げています。

まあるいまちをつくるには、市民一人ひとりがまちづくりの主役として活躍していくことが大切です。すべての人がいきいきと輝き、すべての人がともに成長する、魅力いっぱいの「**まあるいまち みのかも**」をつくっていきましょう。

問16 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあるいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を下の に記入してください。(3つまで)

| | |
|----|---|
| 1 | ●広報紙やホームページなどでの情報共有の推進 ●市政への市民参加の充実 |
| 2 | ●生涯学習機会の充実 ●地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実 |
| 3 | ●市民や団体、市役所などとの協働 ●市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化 |
| 4 | ●新たな分野の産業をつくりだすための環境整備 ●商品や製品の高付加価値化 ●美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信 |
| 5 | ●企業誘致の推進 ●既存商工業の基盤強化 ●雇用環境の充実 |
| 6 | ●中心市街地の整備 ●商店街の活性化によるまちなかの再生 |
| 7 | ●農業の担い手の育成・確保 ●農業経営基盤の強化 |
| 8 | ●観光交流資源の魅力向上 ●観光客の受入体制づくり |
| 9 | ●地域ぐるみの防災・減災体制の整備 ●地域の防犯・交通安全活動の活性化 |
| 10 | ●予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進 ●地域医療体制の強化 |
| 11 | ●見守りと支えあいの地域福祉活動の推進 ●協働による福祉サービスの充実 |
| 12 | ●子育て支援の充実 ●魅力ある学校教育の推進 ●地域教育の推進 |
| 13 | ●外国人市民の定住環境の整備 ●地域での外国人市民との共生社会づくり |
| 14 | ●地域に密着した文化の継承と保存 ●文化や芸術活動の振興 |
| 15 | ●市内の交通ネットワークの充実 ●広域交通網や地域間交通ネットワークの強化 |
| 16 | ●優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和 ●快適な住環境の整備 |
| 17 | ●美しいまちなみづくり ●身近な公園の整備や緑化の推進 |
| 18 | ●森林や里山、河川の保全 ●循環型社会の形成 ●温暖化防止・クールタウンの構築 |
| 19 | ●市職員の経営能力の育成 ●効果の上がる市役所の組織づくり |
| 20 | ●市の行財政改革の徹底 ●事業に対する目標の管理と評価による改善 |
| 21 | ●周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり |

番号記入欄 →

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

市の主な施策について「重要度」と「満足度」をおたずねします。

問17 次の各項目の取り組みについて、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足していますか。3点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

| No. | 調査項目 | 重要度 | | | 満足度 | | | | | | | |
|--------------|--|------------------------------|-------------|--------------|---------|-----------|--------|--|--|--|--|--|
| | | 重要 | どちらともいえない | 重要ではない | 満足 | どちらともいえない | 満足ではない | | | | | |
| (1) | <p>平成23年4月1日から、緊急災害情報、防犯・防災情報、子育て情報など、くらしに直接結びつく情報を携帯端末やパソコンへメールで配信する、「すぐメールみのかも」を始めました。</p>  | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | <p>登録用 QRコード</p> | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>利用者数(12月末現在)</td> <td>配信回数(4~12月)</td> <td>導入費用</td> </tr> <tr> <td>6,032人</td> <td>325件</td> <td>138万円</td> </tr> </table> | 利用者数(12月末現在) | 配信回数(4~12月) | 導入費用 | 6,032人 | 325件 | 138万円 | | | | | |
| 利用者数(12月末現在) | 配信回数(4~12月) | 導入費用 | | | | | | | | | | |
| 6,032人 | 325件 | 138万円 | | | | | | | | | | |
| (2) | <p>生涯学習センター（旧中央公民館）は、生涯学習を推進する拠点として、各種講座や活動及び会議などに活用されています。</p> | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | <p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p> | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>22年度利用者数</td> <td>年間維持管理費</td> <td>利用者一人当たり市負担額</td> </tr> <tr> <td>79,287人</td> <td>4,913万円</td> <td>620円</td> </tr> </table> | 22年度利用者数 | 年間維持管理費 | 利用者一人当たり市負担額 | 79,287人 | 4,913万円 | 620円 | | | | | |
| 22年度利用者数 | 年間維持管理費 | 利用者一人当たり市負担額 | | | | | | | | | | |
| 79,287人 | 4,913万円 | 620円 | | | | | | | | | | |
| (3) | <p>各種スポーツの市民大会を開催し、スポーツの振興、市民の健康保持や住民間の親睦を図っています。 (種目：バレーボール、水泳、バドミントン、陸上、卓球、ソフトバレーボール、野球、ソフトボール)</p> | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | <p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p> | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>22年度参加者数</td> <td>事業費</td> <td>うち参加者負担金</td> </tr> <tr> <td>4,029人</td> <td>217万円</td> <td>48万円</td> </tr> </table> | 22年度参加者数 | 事業費 | うち参加者負担金 | 4,029人 | 217万円 | 48万円 | | | | | |
| 22年度参加者数 | 事業費 | うち参加者負担金 | | | | | | | | | | |
| 4,029人 | 217万円 | 48万円 | | | | | | | | | | |
| (4) | <p>市を代表する前平野球場は、土のグラウンド(芝を張る必要がないグラウンド)のため高校野球など硬式野球はできませんが、スポーツ振興などの目的で、各種軟式野球大会やレクリエーション等に利用されています。</p> | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | <p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p> | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>22年度利用者数</td> <td>12,483人</td> </tr> <tr> <td>年間維持管理費</td> <td>約350万円</td> </tr> </table> | 22年度利用者数 | 12,483人 | 年間維持管理費 | 約350万円 | | | | | | | |
| 22年度利用者数 | 12,483人 | | | | | | | | | | | |
| 年間維持管理費 | 約350万円 | | | | | | | | | | | |
| (5) | <p>市民活動サポートセンターでは、ボランティア活動をする個人や団体と依頼者間の調整を行ったり、ボランティア養成講座を開いたりして、市民活動の活性化を図り、まちづくり活動への参加を促進する事業を行っています。</p> | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | <p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p> | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>22年度末登録団体数</td> <td>ボランティア活動数</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>84団体</td> <td>140件</td> <td>82万円</td> </tr> </table> | 22年度末登録団体数 | ボランティア活動数 | 事業費 | 84団体 | 140件 | 82万円 | | | | | |
| 22年度末登録団体数 | ボランティア活動数 | 事業費 | | | | | | | | | | |
| 84団体 | 140件 | 82万円 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------|--|---------|----------------|---|---|---|---|---|---|
| (6) | <p>自治会は185あり、ゴミ集積場や防犯灯の管理、清掃活動のほか、子ども、高齢者への福祉活動や運動会、ソフハレ、野球などの体育振興活動により、住民が協力して、互いに支えあい、住みよい地域づくりがされています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | | 23年度 | 22年度 | | | | | | |
| | 自治会加入率 | 61.6% | 60.6% | | | | | | |
| | 一世帯当たり市補助金 | 1,219円 | 1,401円 | | | | | | |
| (7) | <p>企業が市内に工場を新設、増設などをした場合の税金(固定資産税)や、その企業が市内従業員を10人以上(中小企業は5人以上)雇用している場合に奨励金を払い、企業勝数や雇用対策など産業振興を行っています。 ※そのほかにも交付対象には、要件があります。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | | 23年度対象数 | 23年度予定奨励金 | | | | | | |
| | 工場建設奨励金 | 8件 | 1億4,700万円 | | | | | | |
| | 雇用奨励金 | 90人 | 450万円 | | | | | | |
| (8) | <p>中心市街地や駅前通りのにぎわいや活気を取り戻し、魅力あふれるまちなかにする目的で、商店街が行うイベントなどに対して補助金を交付しています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 23年度予算額 | 800万円 | | | | | | | |
| (9) | <p>主催する実行委員会に市から補助金を出して、“おん祭みのかも”(「夏の花火大会」、「秋の中山道まつり」)を開催しています。 備考:花火大会は、雨の影響で例年より来場者が3万人減少しています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 事業費 | 市からの補助金 | 来場者数 | | | | | | |
| | 2,166万円 | 730万円 | 夏:8万人 秋:3万人 | | | | | | |
| (10) | <p>地域の防災力強化や自主防災組織の意識の高揚を図るため、自主防災組織、自治会、自警隊が行う防災訓練、防災器具庫の整備や防災設備の設置などに補助金を交付しています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください (できれば満足ではないと評価された場合は理由をお書きください) | | | | | |
| | 22年度補助件数 | 22年度補助額 | 自主防災組織率 | | | | | | |
| | 24件 | 145万円 | 61.6% | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|------|--|----------------------------|----------------|---|---|---|---|---|---|--|
| (11) | 地域の防災力を高めることを目的に、 市民・地域が主体となって地域の防災訓練を計画し、地域の实情にあった防災訓練を市内8箇所で開催しました。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | 23年度参加者数 | 23年度防災訓練費用 | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください (できれば満足ではないと評価された場合は理由をお書きください) | | | | | | |
| | 2,600人 | 24万円 | | | | | | | | |
| (12) | 23年度から、市民・事業者・市が協働して犯罪を防止するため、 自主的に防犯活動を実施する団体に対して、防犯活動の物品購入に係る費用の一部を助成しています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | 22年刑法犯発生数 | 22年刑法犯犯罪率 (人口千人当たり発生件数) | 23年度予算額 | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください (できれば満足ではないと評価された場合は理由をお書きください) | | | | | |
| | 837件(県下ワースト8位) | 16.7(県下ワースト4位) | 30万円 | | | | | | | |
| (13) | 防犯灯は、自治会の要望により市が設置し、維持管理は自治会でを行っています。その維持管理費の一部(電気料の2/3)を市が自治会に補助しています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | 22年度防犯灯設置数 | 自治会管理の防犯灯総数 | 22年度防犯灯電気料補助額 | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください (できれば満足ではないと評価された場合は理由をお書きください) | | | | | |
| | 49基 | 3,259基 | 545万円 | | | | | | | |
| (14) | 高齢の方に住み慣れた地域で安心して生活していただくため、専門職員による「高齢者の総合相談」をはじめ、介護予防プラン作成など介護予防支援事業を実施しています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | 22年度相談件数 | 介護予防プラン作成人数 | 事業費 | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 3,607件 | 延 2,344人 | 3,705万円 | | | | | | | |
| (15) | 病気の予防、早期発見、治療につなげるために実施している がんなどの健診の一部負担金を、75歳以上の方について無料にしています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | 22年度全受診者数 | うち75歳以上 | 75歳以上への負担金無料分計 | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 14,727人 | 1,975人 | 97万円 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|--|-------------------------------------|------------------------------|---|---|---|---|---|--|
| (16) | <p>乳幼児医療費の無料化を中学校卒業までの子どもを対象に実施しています。無料化は、手軽に医療を受けられますが、病院では救急で医療が必要な方をすぐに診療できない事態も起きています。</p> | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | | 小中学生利用件数 | 市の助成額合計 | | | | | | |
| | 20年度 | 55, 218件 | 1億1, 389万円 | | | | | | |
| | 21年度 | 58, 671件 | 1億2, 587万円 | | | | | | |
| | 22年度 | 60, 007件 | 1億2, 454万円 | | | | | | |
| (17) | <p>市内には、12箇所(266部屋)の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。</p> | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | 市が負担する1部屋分の年間維持管理費 | | 22年度維持管理費 | | | | | | |
| | 44万2千円 | 1億1, 764万円 | | | | | | | |
| (18) | <p>保護者が就労や疾病などのため、家庭で保育できないお子さんを週3日程度、一時的に保育園でお預かりしています。 (対象児童: 生後8ヶ月から小学校就学前児童) (実施場所: 太田第一、山之上、明応保育園(定員各6名))</p> | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | 22年度利用件数 | 保育料収入 | 事業費 | | | | | | |
| | 2, 401件 | 300万円 | 943万円 | | | | | | |
| (19) | <p>学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童を対象に、放課後や長期休暇中などに、保護者に代わって保育を行っています。 (保育料は、月曜から金曜日利用の場合、月5, 000円です。)</p> | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | 23年度利用者数(月平均) | 23年度事業費 | 一人当たりの費用(月平均) | | | | | | |
| | 360人 | 5, 683万円 | 13, 200円 | | | | | | |
| (20) | <p>市では、0歳から18歳までのロングスパンで、子どもを地域ぐるみで育てることに重点をおいた、「フロム0歳プラン」を進めています。</p> | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | 主な活動 | 特色ある学校の教育活動支援、今日的な課題の教育講演会、子育て講演会など | | | | | | | |
| 23年度事業費 | 140万円 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------|---|-------------|--------------|---|---|---|---|---|---|
| (21) | 文化の森では、 小中学生や幼児を対象に文化の森の特長を生かした、博物館ならではの学習を、学校などとともに計画して行っています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | | | |
| | 22年度開催数 | 小中学生等参加者 | 事業費 | | | | | | |
| | 160回 | 8,713人 | 515万円 | | | | | | |
| (22) | 小中学校に通学している 外国人児童・生徒 の 就学意欲を維持するため、放課後に日本語学習や家庭学習を支援しています。 (外国人児童・生徒1人が支援教室に1回参加するにつき、およそ230円を市が負担しています。) | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | | | |
| | 22年度末在籍者数 | 年間教室開催回数 | 事業費 | | | | | | |
| | 中学生22人 | 中学生 76回 | 162万円 | | | | | | |
| 小学生15人 | 小学生114回 | | | | | | | | |
| (23) | 在住外国人の生活基盤の支援や社会参加を促進するため、「定住外国人自立支援センター」を21年7月に整備し、外国人の生活相談や就労支援、就業促進など各種事業を行っています。 ※所在地:加茂川町1丁目1-1 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | | | |
| | 22年度相談件数 | 22年度各種事業 | 事業費 | | | | | | |
| | 1,526件 | 6事業・参加者272人 | 1,163万円 | | | | | | |
| (24) | 文化会館は、音楽などを身近に感じてもらえるよう、800人収容のホールをはじめ、音楽スタジオ、会議室などでコンサートや講演などの実施や各種団体の活動に利用されています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | | | |
| | 22年度利用者数 | 年間維持管理費 | 利用者1人当たり市負担額 | | | | | | |
| | 68,880人 | 8,390万円 | 1,218円 | | | | | | |
| (25) | 高齢者をはじめとする移動に制約のある方の交通手段として、また、買い物やレジャーにご利用いただくため、 2台のあい愛バス(市が運行する路線バス)が11路線で運行しています。 | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | | | |
| | | 22年度 | 21年度 | | | | | | |
| | 利用者数 | 23,419人 | 25,423人 | | | | | | |
| | 運行補助額 | 1,938万円 | 1,950万円 | | | | | | |
| | 利用料収入 | 360万円 | 403万円 | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------|---|---------------------------------------|-----------|------------------------------|---|---|---|---|---|
| (26) | <p>市税収入の減少や社会補償費(医療や介護など生活を安定させるための給付)の増加、市民ニーズの多様化もあり、生活道路や側溝などの新設や改良、維持補修費は、限られた予算の範囲で優先箇所を選定して推進しています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | <p>道路・側溝事業費</p> | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 20年度 | 21年度 | 22年度 | | | | | | |
| | 2億1,095万円 | 2億1,227万円 | 1億9,116万円 | | | | | | |
| (27) | <p>木曾川の景観や観光資源を生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 23年度事業内容・事業費 | 遊歩道設計業務・110万円 | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 今後の予定 | 遊歩道・散策道の整備、ライン下り乗船場の移設、バーベキュー広場の整備 など | | | | | | | |
| (28) | <p>家庭から出る可燃ごみ1袋(6kg)の処理費用は、417円です。そのうちみなさんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残り387円は市が負担しています。 (ごみ袋1枚の金額: 可児市=30円、関市=60円、富加町=50円、川辺町=75円、八百津町=100円、東白川村=155円)</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | 処理費用 | うち市負担分 | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 22年度可燃ごみ処理費用 | 6億2,048万円 | 5億6,176万円 | | | | | | |
| (29) | <p>家庭から出されるごみの減量化や環境への負荷を抑えるため、生ごみ処置機、生ごみ堆肥化容器や水きりバケツなどの購入者に補助をしています。 (購入費の2分の1。上限あり)</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | | 21年度 | 22年度 | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 補助件数 | 98件 | 69件 | | | | | | |
| | 補助金額 | 120万円 | 57万円 | | | | | | |
| (30) | <p>市が発注する工事について、安価で良質な公共工事を行うため、平成8年度における標準的な工法での建設コストに対して、10%以上の縮減を目標に、工事実施前に点検を行っています。</p> | | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| | 22年度実施件数 | 縮減額 | 縮減率 | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | |
| | 69件 | 2億9,500万円 | 10.6% | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------|---|---|------------------------------|---|---|---|---|---|--|
| (31) | 市では、道路整備や下水道整備などの事業を借金をして推進してきました。現在は、将来世代の負担を軽減するため、 事業を選択することにより、借金の返済を進め、借金残高を減らしています。 | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | | 借金残高 | 一人当たり | | | | | | |
| | 22年度末残高 | 約428億円 | 77.6万円 | | | | | | |
| | 23年度末残高見込み | 約420億円 | 76.1万円 | | | | | | |
| | 27年度末残高見込み | 約352億円 | 63.8万円 | | | | | | |
| (32) | 美濃加茂市が中心になり、 加茂郡の7町村と協定を結び、それぞれの市町村が役割を分担して、ずっと暮らしたいと思える魅力ある地域づくりをするために、「定住自立圏構想」（共同で事業を行う）を推進しています。 | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください | | | | | | |
| | 共同実施事業 (事業は、今後増やしていきます。) | ・ファミリーサポートセンター事業の広域実施 ・休日急患診療、・みのかもつながる事業 ・福祉サービス従事者スキルアップ支援 など | | | | | | | |
| | 23年度事業費 | 5,619万円(うち4,627万円国から補助を受けています) | | | | | | | |



【美濃加茂市定住自立圏構想】

マスコットキャラクターの「かも丸・かも美」です！
みなさんに住み続けていただけるまちづくりを進めていきます。

※ 定住自立圏構想とは：中心市の都市機能と周辺市町村の自然環境等、それぞれの魅力を活用して、民間の担い手を含め相互に役割分担し、圏域全体で必要な機能を確保することで、圏域の活性化を図ることを目的とした政策です。

※質問は以上です。

※この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに、

3月7日（水）までにポストに投函してください。

※ご協力、誠にありがとうございました。

平成 23 年度
美濃加茂市市民満足度調査
報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431-1

TEL : 0574-25-2111

FAX : 0574-25-3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp

平成 23 年度
美濃加茂市市民満足度調査

自由意見報告書

平成 24 年 6 月

美濃加茂市

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| (1) 「すぐメールみのかも」の開始 | 1 |
| (2) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用 | 5 |
| (3) スポーツによる自治会親善や地域活性化 | 9 |
| (4) 前平野球場の利用 | 12 |
| (5) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化 | 15 |
| (6) 自治会による住みよい地域づくり | 17 |
| (7) 企業誘致や雇用対策などの産業振興 | 21 |
| (8) 商店街実施イベントへの補助金交付 | 24 |
| (9) “おん祭みのかも”への助成 | 28 |
| (10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付 | 31 |
| (11) 地域の実情にあった防災訓練の実施 | 34 |
| (12) 防犯活動の物品購入に係る費用一部助成 | 36 |
| (13) 防犯灯の維持管理費の一部補助 | 38 |
| (14) 介護予防支援事業の実施 | 40 |
| (15) 75歳以上の方の健診費用無料化 | 42 |
| (16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化 | 45 |
| (17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 | 48 |
| (18) 保育園での一時保育の実施 | 51 |
| (19) 学童保育の実施 | 53 |
| (20) 「フロム0歳プラン」の推進 | 56 |
| (21) 文化の森での小中学生や幼児の学習 | 59 |
| (22) 外国人児童・生徒への学習支援 | 61 |
| (23) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 | 63 |
| (24) 文化会館の活用 | 65 |
| (25) あい愛バスの運行 | 68 |
| (26) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 | 73 |
| (27) 「かわまちづくり事業」の推進 | 76 |
| (28) ごみ袋料金に対する市の負担 | 79 |
| (29) 生ごみ処理機などの購入補助 | 83 |
| (30) 事前点検による安価で良質な公共工事の実施 | 85 |
| (31) 事業選択による借金残高の削減 | 87 |
| (32) 「定住自立圏構想」の推進 | 90 |

(1)「すぐメールみのかも」の開始

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 不審者情報の対応が早い。無線での放送で聞き取りにくい時、改めてメールで送付されるのは助かる。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 災害時に非常に有効だと思います。継続してほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 子どもが中学生(女子)であり、防犯メールは非常に有効である。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | 3.11 を受けて、改めて情報の伝達は大切だと思いました。 |
| 女性 | 10 歳代 | 古井 | 使用はしていなくて満足度はわからないが重要なことだと思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 早い情報で非常に満足している。さらに、色々な情報を受けたい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 夫がメールサービスを利用し役立っています。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 災害、防災情報を端末やパソコンに配信することで、少しでも災害を小さくできるから。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 広報無線が聞こえなかったときも情報を知ることができる。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 自力で内容も決められ、ほしい情報がもらえるから。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 情報の共有化を促進させると市民に主体者意識が生まれると思う。 |
| 女性 | 10 歳代 | 加茂野 | 不審者や火事・行方不明などいろいろな情報がすぐ知ることができて便利。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 各種情報、催しごとが直接伝達され、日常に生かされる。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 災害の時に役立つと思う。もっと多くの人に受信できるように登録を勧めてほしい。市報だけでなく街頭でポスターや繁華街でチラシを配付するなどして、知ってもらいたい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 緊急災害情報などは、家族の安否などに役に立つと思います。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 犯罪抑制に効果があると思う。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 台風の時助かった。 |
| 女性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 情報が早くわかってとてもよい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 台風の時、次々に情報があつてよかった。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 子どものいる家庭はよいと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 伊深 | 今後を思うと。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 広報誌に比べ、確実に情報がわかるし、情報を個々で選択できるため、必要な情報のみすぐにわかる。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 自身体験していないので感触で申し訳ないが、大切なことだと思います。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 自分では活用していないが、子どもたちが利用しているようなので。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 利用してみます。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 放送の内容が聞こえない。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|-------------------------------------|
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 利用者数が少ない。「すぐメールみのかも」が周知されていない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | どうでもよいことまで配信されるので、だんだん面倒になる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 知的障害があり、利用できない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 大災害の対応となるのか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 必要のないメールもある。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 市民には大事だが、実際に利用はしていない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 携帯などでは文字が小さすぎる。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 利用者が少ない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | 登録しなくてもやっていける。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 広報のスピーカーからの音声が全然聞き取れない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 利用者の数が少ないのと、138 万も費用は、なぜかかるのかが疑問です。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 知りたくない情報も入ってきてしまうのでパケット料がかかる。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 広報や学校からの連絡で十分である。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 不要。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 市として特に活動は必要ないと思う。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | メールでの情報提供はとてもありがたく思います。まだまだ知らない方も多くいるようですので、もう少し広報だけでなく伝わるとよいのですが。広報はアパートには届かない。自治会に入らない人が多い。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | パソコンの使えない高齢者(もっていない人も含め)たちのこと。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 昨年大雨の時は出先から自宅に帰ってくる際大変便利でしたが、不審者情報は学校区内だと学校からも配信されます。どちらか一方でよいと思います。むだです。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 広報が聞こえない時などにはとても大切ですが、現在自分はどちらも持っていないので電光掲示板的なものがあるとよいのではと思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 携帯端末、パソコンの使えない人は。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | もっと「すぐメールみのかも」があることを PR するとよいと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 通常は市報です。メールは補助的に行う。緊急メールがあるので。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 携帯端末やパソコンを持たないお年寄りの方はどうするのですか。早急に対応してください。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | パソコンメール、携帯端末などの利用方法(技術)の啓発。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|--|
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | パソコン、メールは必要と思うができない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | パソコンや携帯をもっている人はたくさんいるが、高齢の人は持っていない人がいると思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 登録しているので、防犯・防災で改めて意識することができ役立っています。ただ、利用する人が限られるので、その点は考えないとダメなのではないでしょうか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 重要ですが、知らなかったし利用していない。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | 市の関わる情報のみだから、団体が自主的に行うものについても配信してほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 件名で開く開かないを選択したい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | パソコン、メールを使えない人への対応はどうしていますか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | もっと市民に簡単に情報配信できるとよい。(高齢者向けに) |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | パソコンの導入できない人は。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | パソコンや携帯電話が使用できない人は。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 知らなかった。もっと活用の啓発に努めること。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | PR 不足、知らない。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | パソコンや携帯がない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | パソコン、携帯を持っていません。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | パソコンの取扱いがわかりません。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 時々でも見回りがほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 携帯、パソコンのやり方がわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 高齢者住宅の場合、パソコン、メールなど受け方などわからないため、そういうことをやっていることすら知らない人がたくさんいる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 年配者はIT関係にうとい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | パソコンが使えない年よりは意味がない。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 太田 | 高齢者には、携帯やパソコンそのものが操作できないので配信があっても活用ができない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 老人などへのことを考えているか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | パソコンをひらけない人(老人)は意味ないし、費用がかかっている割に知らなかった。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 高齢者にはパソコンや携帯のできる人ばかりではない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | パソコン、携帯などメールができない方もいるので。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 携帯、パソコンが苦手使えない。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 利用していないので満足度はわからない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 「すぐメールみのかも」を始められたことを、まったく知りませんでした。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 拝見していない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | このアンケートではじめて知り、パソコンで確認しました。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | あまり市民に知られていない。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 使っていない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 利用したことがない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | メールは暮らしに根づいていてよいが、私は利用していない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 知らなかった。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 利用していない。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 知りません。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 70 歳の高齢者で使用していない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 導入後の維持管理費コストはどれくらいかかっていますか。活用していないからわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 使用していない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 使用していない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 「すぐメールみのかも」をあまりよく知らない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 知らなかった。 |
| 男性 | 10 歳代 | 古井 | 知らなかった。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 知らなかった。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 利用したことがないのでわからない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 未利用 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 利用していないので、よくわからない。 |

(2) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|------|---|
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 次世代を担う青少年を育てることに重要性を感じているから。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 興味のある講座にいくつか参加し、充実した内容でよかった。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 私も利用させてもらっていますが、前より利用しやすくなったようですね。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 利用させてもらっています。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 自分は利用していないけど、知人が利用しているのを聞くので、よいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 去年、初めて講座に参加しました。無料 or 格安の料金で体験できるので、とてもよいかと思えます。もっと PR してもよいのではないか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 各講座活動皆さん利用されていると思います。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | まだ活用したことはありませんが、余暇を有効にできる場になると思う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | ある程度必要。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 街の中心部にあり、利用しやすいのでよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 図書館としては時々利用する。それ以外はない。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 利用者の中に同じ人がたくさん使っていることがあるのではないかと使用したことがありません。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 管理費が高額。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 活動報告が見えない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 一部の人の利用ではないか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 減らせませんか。パターン化している。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 市の広報紙などで紹介しているのですが、そもそも賃貸アパートには広報紙が入らないので知る機会がありません。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 維持管理費が高すぎる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 特定の人のみ参加し、満足されている。下手な人は除外され、参加させてもらえない。人と人の親睦は難しいです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 参加者が固定されているのではないかと。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 活用する機会がない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 意味のない講座でむだ遣いでないか(自己満足でないか)。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|------|---|
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 年間維持管理費がかかりすぎです。特定の人しか使わないでしょう。負担額が安すぎです。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 内容がたるい。むだな人件費もかかっていると思う。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 車がないので行けない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 利用者の固定化などが懸念。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 講座のチョイスに疑問を感じる。PR 不足、市民に浸透していない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 中央公民館の方がよい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 太田地区の方はよいだろうが、古井地区はあまり使わないのではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 若い人が興味を持てるメニューがない。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 受付の対応が、たまに使用する者にとってきつい場合がある。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 学習する場はもっと必要だと思う。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | もう少しグレードの高い講座もあるとよい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | さらに多くの分野に広げてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 小団体(4~5名)で絵画の活動をしているが、場所の提供には、簡単に提供してもらえないので、活用できるようにしてもらいたい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 山之上 | 自力でセンターまで行けず(交通の便少なく)学習したくても参加できない人もいるかも。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 着付け室があればさらに利用できる |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | たまに利用するが、職員がボーっとしている姿が見受けられる。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 交通の便が悪い。市駐車場が少ないため、ことあるたびに困る。それぞれの自治会で行えるとよい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 各種講座は住民の余暇活動など、重要と思う。負担額は500円くらいにならないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 生涯学習の内容の充実が必要。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 私は活用していないのでわかりませんが、収支はどうなのでしょう。財政難であるなら利用者の少ないものは検討してはどうでしょうか。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | トイレは新しくなっているが、調理室の設備(オープンなど)不良なものがあつたりする。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 各団体がやればよい。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 太田 | 高齢により自動車免許証を返上し、公共交通手段で講座などの活用がうまくいかない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 使用料の値上げ。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 利用料の支払方法が複雑で、団体で利用する場合、代表者の負担がある。また、利用目的にも制約があり、一般の「親睦会」程度の目的では許可が難しい。利用目的の範囲をもっと広くし、大勢の集会で気軽に利用できるようにしていただきたい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 一番上の 703-が以前は予約の要らないオープンスペースだったように思いますが、今は自由に使えないようになっていたように思います。だれでも気軽に利用できる 703-があるとよいと思います。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 地域の団体、NPO 法人の活動をもっと活性化充実をお願いします。無料の講演会など増えるとよいなと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 駐車場がない。出入りが不便。移転しては。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 評価はできるが遠方の方は交通機関がないため利用できない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 講座などの開催が平日なため、利用できない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 下米田・牧野 | 市の負担が大きい。そのお金を子育てのほうにまわしてほしい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 高齢者の生きがいがづくり。まだ不足。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 税金を納めている、働いている人間が平日利用できない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 平日の昼間が多く、参加しにくい。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|-----------------------------|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 利用したことがない |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 利用したことがない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 二度ほど利用した。(凧づくり、ダンボール、コンポスト) |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 活用したことがなくわからない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 利用していない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 利用したことがない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 利用したことはない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 利用したことがないからわからない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 利用したことがないのでわからない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 利用してないのでわからない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | 家族が利用しているが、自分は利用していない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 利用していない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | 活用していないのでわからない。 |
| 男性 | 10 歳代 | 古井 | 知らなかった。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 重要だと考えるが、自身に直接接したことがない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 生涯学習センターは何に使われているのかわからない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 利用したことがないため、返答できない。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 利用したことがない。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|-------------------|
| 女性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 利用したことがないのでわからない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 利用したことがない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 伊深 | 現在は利用していない。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | あまり利用していない。 |

| |
|------------------------|
| (3) スポーツによる自治会親善や地域活性化 |
|------------------------|

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|----------------------------------|
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 親睦にはグッド。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 参加したことはないが、よいことだと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 健康保持はよいこと。参加しようとは思わないが。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 健康のためにはよいことです。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 重要といえるほどではないが、あってもよいと思います。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 健康は大事だと思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 私にはもう必要ないのですが、娘、孫たちのために続けてほしいです。 |
| 女性 | 70 歳代 | 伊深 | 家族内の若い者が利用している。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | スポーツをやる人にはよいのではないか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 参加者負担金が多くいるのですね。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 事業費の少なさにびっくりしている。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 特定のスポーツの参加団体は多い。自治会対抗など、個人参加などは周知されていないため、振興されていない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 太田 | サッカー、フットサルがない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 種目が特定化している。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 新会員になるのが大変です。やや閉鎖的ではないですか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 本当に、住民間の距離を図っているのか。参加したことがない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 親睦ではなく、強制的や習慣的になっている面もあるのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 一部の人のものになっていると思う。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | そういう場があることは望ましいが、一部の人々の利用にかたよっていないか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 参加者の少なさが十分物語っている。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 加茂野町は市の大会に加え、スポーツに力を入れすぎて、役員は参加人数をそろえるのに苦労している。スポーツはやりたいひとでやればよいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 強制的に参加させられる。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 自分自身が生活に追われて活用していない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 参加したい人にはよいが、興味のない人にはどうでしょう。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 試合数が少なく感じる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 各地区の体育委員の制度を廃止してほしい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 子どものスポーツイベントももっとあってもよいと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 種目となると集まる人、集まらない人が出てくるが、もっと簡単にできるジムなどのスポーツを充実してほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | どのように参加を促しているのかあまりわかりません。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 陸上競技場がない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | スポーツの親睦は地域間でよし悪しがある。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 参加しやすい方法をとってほしい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | まだ不足している。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 高齢者でも利用できる体操。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 各団体が管理すればよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 参加者が少ないと思う。広報活動、みんなが楽しめるスポーツの振興を図る。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 回を追うごとに市民の興味がなくなっているようで心配です。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 引っ越してきた人たちにはまだ浸透していません。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 水泳は年中できるよう、温水にしていきたい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 年配の人でも気軽にできるスポーツも計画してほしい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 山之上 | 老人でも参加できるスポーツを企画してほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | もう少し補助があってもよいと思う。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | もっと多くの人に参加するような対策をして下さい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | もっとたくさんの方が参加しやすいようにしていきたい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | もう少し大きな体育館があってもよいのではないかな。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 体づくり、仲間づくりとスポーツから色々な利点があると思いますが、いつ開催しているのかわからない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | それよりも、誰でも自由に利用できる施設が少ない。好きな人は放っておいてもやるはず。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 自由参加できるスタイルは。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 若い世代が極端に減少した(小学校へ通学する児童が当町内では 1 名)ためすべての競技に参加できない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 税金を納めている、働いている人間が平日利用できない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 地域とのつながりが薄くなりつつある。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 参加したことがない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | スポーツをやらないからわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 参加したことがないので、わからない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 仕事や健康などの理由で参加できないことがほとんどなので。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | まったく参加する機会がないので、わかりません。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 各種目への参加者の年齢構成は、若年層対象でないのか。利用していないのでわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 利用していない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | 最近はまったく参加していない。(機会がない) |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 重要だと考えるが、自身に直接接したことがない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 参加経験なし。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 参加しないのでわからない。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | スポーツする年でない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 三和 | 参加していない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | スポーツがあまりできないので。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 利用したことがない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | まったく参加していない。 |

(4) 前平野球場の利用

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 現状でよいのではないでしょうか |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 広くて、きれいです。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 自分自身は利用したことがないが、そうしたスポーツのために利用できる場所は必要だと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 現状でもよい。球場とその公園は維持すべき。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | グラウンドは必要だと思います。行ったことがないです。 |
| 男性 | 40 歳代 | 加茂野 | 本来は、市にひとつはしっかりとした球場、またはグラウンドが必要と思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 利用している方々を見ているので今後も必要だと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 若い人たちのために重要な場所と思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 元気なまちづくりに役立つことと思います。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 野球だけに使う施設は不要。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 利用したことがない。利用者が限られている。レクリエーションなどに利用されるのを知らない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 当初は高校野球も応援に行っていましたが、残念。市民の中ではメーター不足との噂ですが、本当ですか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 活用がない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 今は野球よりも、サッカーやバスケなどが流行しているが、誰でも使える施設がない。野球頼みは時代遅れである。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | サッカーブームのとき、美濃加茂にはグラウンドがなく他の市へ出かけて行かないと試合ができないと聞きます。 |
| 男性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 古くなってきたので、全体的な改善をしてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | このような場所は不要です。ただ、治安の問題はあります。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 市民のみだけで使うだけなら今のままでよいが、もっと活用することを考えると改修を計画することも必要だと思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | もっと多くの人が使用できるよう進めてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 芝をはり、多目的活用できるようにしてもらいたい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 芝生をはると維持費が高くなる。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 管理費が 350 万もかかるなら、もっと利用者を増やすべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 硬式野球ができるようにしてほしい。もっと活性化するのではないか。もっと活用できるのではないか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 公園は使用したことがあるけれど、グラウンドは使用したことがないし、野球の人たちの車で、駐車場がいっぱいだったりして止められなくて困ることがある。乗り合わせてくるなどしてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 家が近所のため、うるさかったり道路に駐車されたりなど、困っているところもある。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 他の市町村と比べ貧弱で中途半端な対応。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 芝をはるべき。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 東の予備グラウンドの充実をする。芝の手入れ。面を水平にする。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 硬式野球(高校野球の予選)が開催できる場が必要です。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 野球の大会がある日は、駐車場が満車で、禁止の所にも駐車する車が多い。小さい子どもがいると、南や東の駐車場は遠く、負担が大きい。遊具に近い西の駐車場は、野球関係者以外を優先し、野球の方は遠い所に止めるよう指導してほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 土のグラウンドでは中途半端、関市民球場のようにつくるなら最高級が必要。 |
| 女性 | 70 歳代 | 山之上 | 家族で参加できるスポーツを色々企画してほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 市のメインスタジアムがあってもよい。他の場所(安価)での建設も含め検討しては。 |
| 男性 | 70 歳代 | 三和 | 市内硬式野球ができるようにしてほしい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | このグラウンドを通して、他の市、県の方をまねいてスポーツ他の大会を、積極的に行って、オープンで活気(いつも)のある市になったらよいなと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 駐車場が狭い。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 多目的利用できるグラウンドが必要。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | もっと小さい子どもが遊べるようにするとよいと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 市内各地に軟式野球場があり、とてもよい。1つくらいは硬式野球場があってもよい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 硬式野球のできる球場がひとつもないのは残念。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 維持が大変だと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | そのグラウンドは野球にしか使われないのですか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 年間維持管理費と使用頻度と比較し採算が合っているのかわからない。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|------|--------------------------------------|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 町内野球で利用したことがないため評価できず。 |
| 男性 | 30 歳代 | 太田 | 野球をやらない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 賃貸アパートには広報紙が配布されないので、何を行っているかわかりません。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 野球場に行ってみたことがないので知らなかった。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 関わることがないのでわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 利用していない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | あまり利用しないのでわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | ほとんど利用していないので。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 関係ない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | スポーツに関心のない人もいっぱいいる。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 利用したことがない。 |

(5) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 可児市のデイサービスで勤務しており、そうしたボランティアをする個人、団体と依頼者の仲立ちをする機関があると助かることを実感しているため。美濃加茂市の事業についてはくわしく知らないため満足度は「やや満足」。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 大切な事業だから。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | ボランティアは今後重要になってくる。もっと増えるとよい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 災害の時のために、必要だと思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 高齢化して、お互いの交流のため、よいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 必要なことだと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 数年前まで住んでいた御嵩より市民活動が活発で(町の規模が違うので仕方ないけど)よいですね。私自身は、関市の各種講座にも参加したりします。(関市はもっと盛んな印象です。) |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 60 歳ですが NPO 法人で週 4~5 日働いていて、市の取り組みどころでない。65 歳でやめて生涯学習などやるつもりです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 将来参加したいと考えている。(現在は勤務中のため) |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|---|
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 活用できていない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 活動の状況がよくわからない。センターそのものがどこにあるかわからない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | ボランティアに頼りすぎはよくない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | ボランティアというと聞こえはよいが、ただ働きさせているという印象がある。ボランティアは無料奉仕とは意味が違う。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | ボランティアされる年になった。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | これから超高齢化社会になるので、シルバーのボランティアを増やしていくとよいと思う。例えばおもちゃの修理など。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | もっとホームページなどでアピールしてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | サポートセンターの担当者がボランティア活動する個人への対応がよくないという話を聞いています。担当者個人の考えや好みで行うと、ボランティア参加への促進が図れない。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--------------------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 事業費を増加して活性化の見直しを願いたい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | ボランティアの組織づくりをする、リーダーの養成。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 参加者が少なすぎ。市民一人ひとりの意識の向上と宣伝が必要。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 市役所の職員もっと動きなさい。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 意欲のある人に活躍の場を。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 市民活動サポートセンターはNPOなどで行う。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 予算が少ない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 何をしているのか見えてこない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 市民活動サポートセンター受付、事業内容が具体的にわからない。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|-------------------------------|
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 活動内容がよくわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | あまり知識がないです。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | わからない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 活動の実態がわからないため。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | どの程度までされているのか把握できないので何ともいえない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | 知らなかった。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 利用していない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 存在を知らなかった。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 利用したことがない。 |

(6) 自治会による住みよい地域づくり

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 住民全体が自治会に入ることによって地域づくりができる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 活動がないと街が乱れる。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 住民間の協力、相互の支え合いは欠かせないことだから。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 老人の不明者に対し、放送で住民に知らせておられるのはよいです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 山之上 | 地域でのコミュニケーションに必要。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 人間関係はすごく大事だと思う。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 市内は、ごみなどあまり目立って落ちていません。(落ちている市もあるので)住民の方たちの協力によるものですね。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | ごみ集積場はごみが散らかっていることはないし、犯罪ゼロではないが、犯罪数は少ないと思うから。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 不燃ごみ出し場がもっと近くにあるとさらに満足。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 自治会活動も、加入者、非加入者の問題もあり住民の協力が薄れている。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 町民運動会はなくてよい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 自治となっておらず、上からの指示となっている。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | ごみ集積場に関する問題は自治会で決めるべきことではないと思います。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自治会未加入者の増加を感じるし、その方たちも不自由なく生活できているため、公平感に不満有。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | ごみ、防犯はよいとしてバレー、野球など、成人が参加のスポーツは少ない。出てほしいとうるさい。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | アパートが多く、マナーが悪い。自治会が困っています。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 最近では転居者が市役所に、自治会に入らなくてもよいと言われることがあるらしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 市(職員)が自治会員を使いすぎ。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 昔ほど自治会は機能していない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 何でも自治会任せにしている印象あり。自治会から見ると、役所は何もしてくれないと思っている。逆に言うと、自治会は役所にやらされていると思っている。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|------|--------|---------------------------------|
| 女性 | 70歳代 | 太田 | 柵のないごみ集積場が汚い。 |
| 女性 | 40歳代 | 下米田・牧野 | 加入率が低いのにびっくりしました。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 最近運動会、ソフト、バレーなど出ない自治会が多くなっているの。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|------|--------|---|
| 男性 | 50歳代 | 太田 | 自治会活動とスポーツ活動は分離を希望。無理やり人数を合わせなければならず、負担が大きい。 |
| 男性 | 40歳代 | 古井 | 自治会未加入者も自治会のごみ集積場の利用などをしており、その負担を求めたいができない。マナーも悪く何とかしてほしい。 |
| 男性 | 60歳代 | 下米田・牧野 | 加入率の向上が市の安定につながる。 |
| 女性 | 30歳代 | 加茂野 | 近所の付き合いとして大切なことだが、自治会の入会金が高すぎる。昔ながらの地域が多いから加入率は高いが、外から来た人が増えている今日、加入率はもっと減ると思う。 |
| 女性 | 30歳代 | 太田 | 自治会は必要だと思いますが、アパートに住んでいると強制的には入る必要はなく、声もかけられません。 |
| 女性 | 50歳代 | 蜂屋 | 加入率がよくないです。 |
| 女性 | 50歳代 | 蜂屋 | 役員選出、運営など問題の多い自治会もあります。 |
| 女性 | 60歳代 | 古井 | 加入率をあげるように努力してほしい。 |
| 女性 | 50歳代 | 蜂屋 | 高齢化が進み、地域の運動会は参加者がおらず体育委員の方は大変だと思います。 |
| 男性 | 50歳代 | 太田 | 太田駅(北側)利用者が多いため環境整備が大事だと思う。 |
| 男性 | 60歳代 | 古井 | 市政の基本は自治会にあり、まあいいと言っている割に補助金を減らしているのは、「重要でない」と考えているのと同じです。 |
| 女性 | 20歳代 | 蜂屋 | 若い世代(20歳代独身)が参加しやすい、または参加したくなるような企画や働きかけ、仕組みがほしいです。 |
| 男性 | 70歳代 | 古井 | 自治会未加入が多いことが気になる。 |
| 男性 | 60歳代 | 古井 | 加入率が低すぎる。 |
| 男性 | 40歳代 | 太田 | 転入者の加入率をあげてもらいたい。 |
| 女性 | 50歳代 | 下米田・牧野 | ごみ出しは自治会単位のところもあれば細かな場所に出せるところもあるようですが、どうしてですか。自転車や車で運ばなければいけないので近くにあればと思います。今はよいが年をとってくると不安。 |
| 女性 | 50歳代 | 加茂野 | 自治会入会者が減っている。入会しない転入者への説得はしているのか。 |
| 女性 | 30歳代 | 太田 | 賃貸アパートの住民は自治会の参加を勧誘されないの、参加したくてもしにくいです。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|------|--|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 他市からのごみの持ち込みが多いと思うので、しっかりとした対応が必要。ごみの集積場の管理を自治会だけでなく市の職員も管理する必要あり。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 太田 | 未加入世帯の加入促進。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 自治会が市の下請組織になっている。現状では自治会は必要と思うが、加入率をあげる必要がある。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 自治会加入率が低い(アパート、マンション住民)ので、住みよい地域づくりは難しい。若い世帯主が加入していない。核家族化で協力関係が無理か。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 都市化が進み、少数派意見が強い時がある。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 自治会加入促進を図る必要があるのではないか。特にアパート入居など。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 加入率を上げることを考えなければいけない。自治会に入りたいたうようにすること。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 自治会や加入率がどうして低いのか考えてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 行事への参加市民が少ない。加入率が低い。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | マンション、アパートなどの急増地域、加入が難しい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 自治会長をやりたいがらない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 私どもの自治会は両方とも満足ですが、全体で 60%代では。もう少し加入率 100%に力を入れてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自治会に入っていない人たちはどうしているのですか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 代替案がなければ自治会は必要。ただ加入率が低いのが気になる。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 防犯灯の不足(通学路) |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | マンション・アパートの住民も入るべき。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 自治会加入率がもう少し増えるとよいと思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 高齢の方は、一人になると役ができないのでと退会されます。一番必要なのだと思います。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | 自治会加入率が低い。もっと進めてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 運動会やソフトバレーは必要か。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 分別ごみの常設をしたらどうか。場所は下水処理の各地域で。広場があるから。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 防犯灯が少ない。特に公園のあたり。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 体育振興、種目も各世代に合った種目を増加したら。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 全市民が自治会加入されるようにしたほうがよい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 自治会からの要望に対して、市の動きが遅いと感じます。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | その役にあたった人ががんばっている姿だけで、参加する人は少ない。PR する方法は。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自治会のつながりは大切だと思うが、加茂野は大きく、新しい方も多く、把握が難しい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | ごみ集積場の管理は市より補助金を受けて実施しているが、自治会未加入者が増加して困っている。市は黙認しているが、いかがなものか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 運動会は負担が多いので、個人参加型にしてはどうか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 加入率が低い。上げるための対策が必要です。そのために加入することが有利となるような方策が必要です。補助金もあるようですが、出すお金の方が気になります。このままでは行政の一環としての位置が揺らぎます。そこで、①数万円の入会金が必要となること。②各協力費(体育振興金、運動会、消防団、公安費など)を不加入者は払わなくてもよいわけで、不平等となっています。③役員などのわずらわしさ(消防団員の選出も含め)④市の依頼行事のわずらわしさ。などの改善が必要です。多くの人の加入を期待します。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 自治会に入らない人が、入っている人と同じ所にごみを出せたり、子ども会に入会できたり、逆にクリーン作戦などは出ないなど矛盾している。市の方が自治会に加入しなくてもよいと言われたと言って、加入しない人がいて困ります。住みやすい街イコール自治会未加入の街だといわれています。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自治会に加入していない世帯は肩身が狭いです。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 入会金の高さにびっくりしてしまった。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|------------------------------------|
| 女性 | 80 歳代以上 | 山之上 | 80 歳以上の女ですのでよくわかりません。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 仕事や健康などの理由で参加できないことがほとんどなので。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | スポーツに関しては、一部の方が参加されているだけで、よくわからない。 |
| 女性 | 80 歳代以上 | 下米田・牧野 | 高齢のためわかりません。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 今のところ自治会に入っていない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | わからないことが多い。 |

(7) 企業誘致や雇用対策などの産業振興

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | デメリットもあるが、税金収入や雇用が増えることも考えればよいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 地域活性化には必要なことだと思います。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 企業誘致はまちづくりには必要です。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 企業誘致は必要だと思う。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 若者の働き場所づくりは不可欠なので。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 中部台の工業用地は、まだまだ空きがある。企業誘致にはもっと力を入れるべきだと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 雇用は住む(生活)のための絶対条件。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | こんな事業を行っていることは初めて知りました。とてもよいと思います。 |
| 男性 | 70 歳代 | 山之上 | 人口増になる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 職住近接がよいと思うし、雇用の場があれば若年層の増加にもなると思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 雇用確保のため推進した方がよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 積極的に誘致すべき。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 大切である。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 雇用が増えるとよい。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 緑の山が、工場増設のためなくなり、雇用対策かもしれませんが反対です。若者の雇用が増えればよいですが、パートが多すぎるように感じます。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 奨励金が本当に必要なのか疑問。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | ある程度の年齢になると雇用してもらえない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 奨励金が活かされているようにみえない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 奨励金がなければ企業誘致できないものか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 自宅回りの地域にはそのような環境の場所ではない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 中蜂屋が不安。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 新しい建物と言えばパチンコ店ばかりしか建てていないので、企業でもちゃんとした会社を建ててほしい。切に思います。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | もっと積極的に進めるべき。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 美濃加茂市の地場産業としての企業がなく、また、主要企業の外注など市外が多いのではないかと。関連企業の誘致を。場所的な問題。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | もっと多くの企業を誘致できるよう、他の市より条件のよいやり方をしてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 各補助金が法のもとに正しく使用されているか実態調査しないと。悪用されている場合あり。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 若者が住みやすいまちづくりをする。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 雇用の場が増えるのはよいことだと思うが、近年、工業団地の新設などにより、森林や田んぼなどが失われていることを残念に思う。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 景気が低迷している中、雇用の確保は重要です。現在は大手企業だから安心といえる時代ではないので、向上に促されないほうがよいと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 市内の人を多く雇用してください。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 雇用は正社員を対象にしていますか。パート、アルバイトはカウントされますか。審査制度に抜け道はありませんか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 定年退職者にも、雇用窓口を。定年退職者の雇用企業にも奨励金制度をつくる。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 金額が大きいので、奨励金を目当てでの新設もあると思う。これを管理することが重要です。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 企業誘致は慎重に。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 適正に行われているか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | もう少し発展的企業の誘致に積極的になってもよいのではないかと。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 美濃加茂市は里山が守られているところだなと思います。あまりそういうところはないので、貴重な財産になると思います。それを生かすことのできる工場に支援してほしいと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 若い夫婦が(男女が)働けるところを増やしてほしい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | さらに税金を市民のために有効活用してほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 個人経営の会社や法人はどうするのか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 市としてどのような企業を誘致するか戦略が不明。何でもよいということでは企業側も二の足を踏む。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 1 億 4,700 万の 1/10 でよいから、小中学校の整備をする。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 工業化でなく農業化をもっと前面に出して、農業都市みのかもとすべし。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|------|------|---------------------------|
| 男性 | 30歳代 | 加茂野 | 本当に奨励金で誘致が意味をなしているかわからない。 |
| 女性 | 30歳代 | 加茂野 | 知らなかった。 |

(8) 商店街実施イベントへの補助金交付

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-------------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 個人商店の充実発展をもっともっと支援すべき。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 毎年楽しみです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 商店街が活性化し、にぎやかになればよいですね。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | もっと商店街が活性化するよう。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | よい店が少ないです。空き店が多くあるイメージ、人が歩いていません。重要ですが予算のむだではないですか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 具体的なイベントはどのようなものかわかりません。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 効果は現れていないように思われる。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 以前の中心地、駅前通りが今も中心地とは思えない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 旧駅前がゴースタウン。駅裏が暗い。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 終わっているように感じます。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 補助金があることで、商店街の方たちは助かるからよいと思うが、中心地は移り変わっていくものなので、元に戻すことは困難だと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 補助金は不要。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 補助金交付の問題ではない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 中山道会館のイベントはわりと賑わっているが、駅前通りのイベントは細々としている。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 今は駐車場のないところはどうしても人は寄らないと思います。まして交通の便がよければよいが、電車もバスもない、では困る。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 予算がある割には駅前のにぎわいが無い。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 銀座通りが死んでいる。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 中心市街地は一部の地主が独占しているのが現状であり、全面協力がなければ活性化は無理。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 補助金が活かされているとは思えない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 補助金がもらえると、やる気が必死でなくなる場合もある。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 太田中心市街地に行くより、つい名古屋に行ってしまう魅力がない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | もうこの手のやり方は古いやり方です。ドーナツ現象は止めようがありません。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 駅前だけに予算を与えるのには疑問。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|------|--|
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 祭の日だけのにぎわいで、後はひっそりの現実です。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | あまり活気は感じない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 駅南に金を投資することはもう不必要で、北への開発に力を入れるべきだ。日中の人の少なさを思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | もうだめだ。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 太田ばかりにお金が行くのは、納得がいかない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 関係者の方たちの努力はととてもよくわかりますが、やはりなかなか、駅前の商店街には足が向かないです。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 商店街の各店舗が売上げ努力をしないで、客が入ったら何しに来たという態度で、あの商店街に 800 万円はもったいない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 駅前通りはまったく活気がなく、行く気もしない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 通常の活性化にはなっていない。イベントの企画には一般人も大切。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | こんなにたくさん使われているのですか。それにしても活気がない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 今さら遅い。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 800 万円出して、どこがにぎわっているのか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 外国人の方が多く目立ち。効果が現れていない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 郊外の人にとってはどうでしょう。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 駅の商店街、イルミネーションをすばらしいものにすれば人は集まると思う。可児市の民家できれいなイルミネーションがあり、今は名物になっている。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 大切とは思いますが、車、足のことがあり、なかなか行く気になれない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 重要でよい取り組みだと思いますが、商店街の人たちがもう少しがんばらないと意味がありません。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 駅前の商店街の活気が戻っていない。今後どのようにするのか見えない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 太田銀座が活性化するためにもっと工夫してほしい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 店が郊外に乱立し、高齢者は利用できない。駅前に商店街を充実してほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | シャッター通りをどのように活性化(昔のように)するか。できないなら駅北を早期整備計画しないと無法化する。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 高齢者が気軽に集まれる場所が必要。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 駅前開発がおそまつすぎます。長い目で見てのプランを早急に立ててほしい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 時代の流れにのっていく。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 活気がまだないと思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 駅前通りだけ補助金を交付するのはおかしい。個人の努力でやるとよい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 昨年までであった産業祭が中止になったのはなぜ。多くの人が参加していたように思うが。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 街の中心から住んでいるところが離れており、かつ、車の免許を持っていないなどでイベントなどに行ったことがないのでわからない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 山之上 | 駅北の発展。協力すべきである。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 駅前通り、中山道を滋賀の黒壁のように活気ある場所に。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 高齢化の進展により、近くで買物ができることが重要となってくる。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 商店街のイベント自体の注目度が低く、どれだけ「にぎわい」や「活気」を取り戻せたのでしょうか。補助金交付はよいが、成果が見えてこない。駅前通りで買い物をしたくても、駐車場がどこかわからない。イベントではなく、まず整備を希望します。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | その効果が問題。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | イベント時限りではなく、その後も訪れたいと思うような取り組みが必要だと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 駅前通りは今一歩魅力がない。他市、他県のよい所を参考にしては。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | イベントの発信。何をしているのかわからない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | どうして活気が戻ってきていないのでしょうか。活気のある街、市にするにはどうしたらいいのでしょうか、暮らしやすい街だと静かで、安全でおだやかな街だけど、活気を考えると、にぎやかで人通りがあつてとなります。全部がうまくまとまっていると(調和がとれていると)よいです。里山も大切に守られていて、そういう市になるとよいです。(里山を生かした市) |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 駅の北側は商業ベース、駅の南側を観光ベースと分けて、南側はプラス住居地区へ変えていくべき。 |
| 女性 | 70 歳代 | 伊深 | 商店主の意識のあり方。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | イベントのみの活気で、日常はいつもの静けさに戻ってしまうので、もう少し努力してほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | シャッター街化している美濃太田駅前通りを活性化することが喫緊の課題。地主同盟のある地区開発は権利関係から難しいのか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 補助金を出すから何も考えなくなる。イベントも自己満足に留まっている印象あり。客に喜んでもらえるよう真剣に考えるべき。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 補助金を交付する割には活気がないようである。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 駅前通り新しい場所を開拓してほしい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | にぎわいを取り戻したいのであれば、短期的なイベントはやめた方がよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | もう死んだ街。新しい商店街をつくる。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 効果はなさそうなので検討ください。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 商店街のイベントしかだめなのか。農業地でもよいのではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | あえて支出は必要なし。自分たちで活性化を考え、自立すべき。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 外からの足の確保に力を入れて。補助金は必要ない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 商店街のイベントに補助金は交付すべきでない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 中心市街地や駅前通りだけにぎわってもあまり意味がない。市内全体の活気ができるようにするべきだ。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---------------------------|
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 商店街が行うイベントにほとんど参加したことがない。 |
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | 何をするのかわからない。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 実体を知らない。 |

(9) “おん祭みのかも”への助成

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 夏の花火は大好きです、秋はよくわかりません(内容も)。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 地域の活性化には重要です。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 祭りごとが多いほうが市民の活性化を上げる。産業祭がなくなったのが残念。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 花火大会はずっと開催してほしいです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 祭(花火)は大人から子どもまで楽しめてよい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 花火大会はよいことです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | こんな事業を行っていることは初めて知りました。とてもよいと思います。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 夏の花火大会は唯一家族で楽しめるのでとても重要であり、満足。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 高齢化が進んでいる今、伝統として花火大会はよいと思います。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 地元のお祭りって意外に楽しみなのです。みんなに会えるから。懐かしかったりする。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 年に一度の楽しみである。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | とても楽しみです。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 花火は楽しみにしています。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 市民主体のよい企画だと思います。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 人を集めるためには重要。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 一生懸命行ってみえると思いますが、魅力を感じず、一度も見に行っただことがありません。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | マンネリ化してきた。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 大変な割に盛り上がり欠けると思います。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | つまらないですよ。他市、県の方は興味ないよ。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 不況下でマンネリ化したイベントは必要か。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | マンネリで面白くない。他の街から見に来る程のものでない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 近くに住んでいる人でも行かない。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 太田ばかりにお金が行くのは、納得いかない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 秋の中山道の見所がわからない。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 美濃加茂市独特の事業をやるべき。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 美濃加茂を代表するイベントでもあるけども、年とともに太田まで出かけなくなった。 |
| 男性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | もっと市内全体での活気がほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 花火大会は大賛成ですが、おん祭は着飾る姫など多くはいらなと思います。もっと出店を多くして、人出が賑う方がよいと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 秋の方は太田中心ですか。知らない人が多いです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 長年やっているとマンネリ化してしまう。企画スタッフを入れ替えて何か新鮮味があり美濃加茂の看板商品を願いたい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 数年前のように、2 日間開催していただくと参加しやすいです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 市民参加型の祭りが必要。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 夏は周辺のごみと駐車がひどい。モラルの低下を感じる。冬は風情がありよいと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 夏は必要だと思いますが秋は参加するにも何せ交通の便が悪い。もっと駐車場のあるところで行えないものか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | ひどい渋滞で行きたくても行けなかった(花火)。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 文化は伝承してほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 山之上 | 旧市街地より、今後発展する地域に。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 市民全体に広げるようなイベントが必要。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 来場者を求めるのならば、駐車場を確保し、送迎できる交通手段を考えなければだめだと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 夏の花火大会、他と比較。当市であればもう少し多く、費用の内保もあるだろうが。(商工会がもう少し商工者の協力を) |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 駐車場の確保が必要。このままでは頭打ち。会場が適切か。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 商店街の 800 万円をこちらに入れたほうがよいと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 昔のように川原で花火、盆踊りなどできないものですか。あの頃が一番楽しかったと思う。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 花火大会や、祭りなどは市民にとって重要なイベントですが、そのときだけの空気感があります。そのときだけ盛り上げようとしても無理があります。駅前の旧商店街などシャッターが下りていて、人通りなどもほとんどないし、いつも活気がぜんぜんないので、今日はどうしても行こう!とは思わないです。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 観光を重視したいのなら、地区を分けて大勢の観光客を寄せられる場所をつくり計画すべし。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 中山道まつりは再考必要ではないか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 夏より秋に来場者が少ないので、特産品などを用いて。アピール不足。(花火のみの来場者であるような気がします) |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 市が主催すべき。実行委員会まかせでは責任の所在があいまい。→イベントは採算を考えてほしい。秋のまつりは人出もまばらで不安ではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 花火大会はよいが、中山道まつりの開催は考え直すことも必要。(太田町一部のみのため) |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 費用対効果の結果がわからない。赤字であれば止めるべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 今は、まず防災にお金を使うべき。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--------------------------|
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | おん祭りのかもは行ったことがないのでわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 車を運転できないので行ったことがない。 |

(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 防災の強化は大切な点だと思う。地域でどれほどの取り組みがなされているかは知らないので満足度は「やや満足」。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 防災設備の高揚につながる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 市民全体の防災意識を高めるためには必要。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 大きな災害を未然に防ぎ、安全な生活が送れている。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 防災の力は不可欠。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 補助金の使用方法が不明。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 若年層が無関心のような気がする。何かよい方法がないものか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 消防団の必要性が薄い。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 補助金のほとんどが飲み代になっていると聞きます。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 災害時の不安は大きい。61.6%は低い。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 実施していないところばかりです。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 昨年の防災訓練を見て、役員さんだけの参加だったり、実際は車が使えないこともあるのに、歩きの人が少なかったり、子どもの参加を制限したりで、無意味に思えました。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 不足が定住化していないか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 形式的にあるだけで、不十分である。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 災害に対して力を入れてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 無回答 | 大きな災害がもし起こった時の備蓄品や非常食など十分の量を確保してほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 消火栓設備のホースの本数を増やしてもらいたい。現状では短すぎる。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 防災などに対して自治会など、とても力を入れていると思うので補助金は必要だと思いますが、使い道(報告書)の確認は市としてしっかりしてもらいたい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 各自治会に防災関係の自主点検を実施させて報告書を提出させる。システムづくりをして不具合箇所の指導を市で予算化して補助金を出す。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 自主防災組織の啓発活動、組織加入の方法など多く啓発する。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 防災器具庫・設備をもっと多く設置してほしい。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 回数、参加人数が少なすぎ。実際に動ける訓練をしてください。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 自警隊は住民の負担になっていないか。消防団のみで十分。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 消防団のありかたを再検討すること。操法のみにとらわれていないか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 各自治会が補助金を交付して中身のある、実情にあわせた訓練をしたい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | もっと幅広く補助する。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 組織率を上げることが重要と思うが高齢化により困難な面もある。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 防災についてもっと力を入れるべきである。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | もっと金額を増やしてもよいと思う。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | ある祭りに来ていた消防団員は終盤には進められるままに飲酒していました。今、火事が起きたらどうするのだろう、と思いました。夜警など、ありがたく思うこともあるが、結局、終了後は「飲み会」になるのだと聞いたことがあります。防災意識や教育、道徳も併せて「高揚」を図ってほしい。消防署の方へ伝えてください！火災の放送の言葉が早すぎて山々でこだますると。何を話しているのかまったく聞き取れません。以前の方ぐらい、ゆっくりはっきり喋ってほしいです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | 防災設備の充実が必要。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 設置はしてあるが、使用する訓練などは、定期的に行うべきだ。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 自治会に入っているところでも、何もやってないところがあり、それがおかしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 市としての市民への備蓄をもっと充実してほしい。賞味期限のある食品も大事だが、切れた際の処分の仕方に疑問を感じる。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 防災設備、情報伝達方法にもっと補助金を使ってください。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 市民は避難先もわからないのが現状だと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自治会により防災意識の温度差がある。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 工場建設奨励金の 1/100、防災にもっと力をいれること。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 防災は重要であるが、いざという時に活用できているか、できるのか不安。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 現状が見えてこないので満足度はわからないが、東日本大震災の教訓を生かし、設置すべきものを整備してほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 補助金を出すぐらいなら、市自体で賄うべき。地域の仕事ではなく役所の仕事です。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|----------------------------|
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | アパートの住民などはなかなか実感することができない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 防災設備って具体的になんでしょう。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--------------------------------------|
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 大切なことだと思うけれど、内容などがわかっていないため評価ができません。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 実施したこと自体知りませんでした。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | あまり知りません。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 件数に対して、額が適正なのかどうか分からない。 |

(11) 地域の実情にあった防災訓練の実施

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|----------------------------------|
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 東日本大震災をふりかえるとき、必要と思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | いつ災害があるかわかりません。こういった防災訓練は重要だと思う。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 老人が多いのに。参加者数が少ないです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 参加したが、まだ十分でない。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 私は知りませんでした。よいのですか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 防災訓練はあってもよいと思いますが、現状やる必要があるかと思える参加人数ですね。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 参加者が少ないですね。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 参加者が、一部の人のみで市民全員参加ができていない。(私の主観) |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 評価に値しない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 費用からして活動しているとはいえない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 役員主体の参加になっていないですか。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 市の職員が地域の実情をしっかりと把握し住民を引っ張ってほしい。住民はプロではないので、思いつきはあっても難しい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 地域の防災力を高めることはとても必要です。継続的に定期的に続けていくことに意味があると思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 今年参加させていただきましたが、自主参加がなく残念。AEDは体験がなく知りたかった。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 各地域ごとに、災害時の取り決めに徹底して理解させてほしい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 実施されたことを知らない人も多いのではないかと。(市などで予告があったとしても) |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 行政主導でもっと実施願いたい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | もっと小単位地域で計画・実施するよう指導が必要。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 訓練はある。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 防災などではなく、必ず地震の対策。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 市内 8 か所はどこですか。何を想定した訓練でしたか。24 万円の効果は。自治会にハザードマップを配布すれば防災意識が高まるのではないか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 参加者がいつも同じですので、もっと広報の充実と、幅広い参加者を募る。子ども、老人など。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 施設箇所を増やすことが必要ではないか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 訓練のための訓練といった感じがする。もう少し方法を考えて実施した方が、身が入る。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | やるならもっと実際を想定して、それに沿ってやったほうがよいと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | ケーブルテレビなどで在宅でも周知できるようにするべき。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 防災意識を高めるためにもっと必要。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 啓発活動が足りない。とにかく、参加することに主眼をおくこと。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 訓練に参加する者は、役員ばかりだった。一般市民の防災意識を高める努力をすべき。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 地域の連携が大切だと思う。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 訓練の内容に危機感が感じられない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 参加してためになることも多かったが、市民全体に反映されるかは別である。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | これは役所主導でよい。ただし、なんとなくやるのではなく、目的を明確にして実施すべき。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | もっと積極的に。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 木曾川、加茂川の増水に伴い、大雨が続くと災害が心配です。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 地域弱者対策は、防災訓練はどうなっているのか。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--------------------------------|
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 訓練を実施したことを知らない。 |
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | いつやっているかわからない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 訓練していることを知らない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 知らなかった。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | まったく知りませんでした。 |
| 女性 | 30 歳代 | 無回答 | 自治会に入っていないせいか、防災訓練があることを知らなくて。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 参加していないのでわからない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 知らなかった。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 知らなかった。 |

(12) 防犯活動の物品購入に係る費用一部助成

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-----|------|-------|
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 大切です。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 市の教宣が不足のため予算額も少ない。公にはやっていますよという位で力を入れていない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | あまり必要ないと思う。まあでも、この程度ならよいと思う。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | 予算が少ない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 本当に必要なものだけ購入しているのか。むだになっていないかわからない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 自分で守る。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 外国人の比率が多すぎる。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 犯罪の内容をもっと知りたい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 内容について知りませんでした。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 物品かどうかは別にして助成を増やしたら。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 具体的な防犯活動や物品を各自治会に紹介してください。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | ワーストの順位に少し不安。犯罪防止に力を入れてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 防犯からの設置、学習センター維持費を削る。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 「自主的に」行っていない自治会周辺地域は危険ではないですか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 下位であることもさることながら、犯罪の未然防止が大事。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 県警のアドバイスはあるのか。むだ遣いになっていないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | もっとこれには予算をかけるべきだと思う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | もっと力を入れるべきである。市民の安全・安心のために。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | かなり悪いデータです。防犯施策の充実改善を。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | どういう犯罪が多いのか分析して、その対策費に重点的に支出すべき。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 犯罪率が高いので、防犯に力を入れてほしい。具体的な対策を取ってほしい。例、防犯灯を増やす。パトロールをするなど。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 治安のよい市にしてほしい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 自主的に防犯活動を実施する団体とは事業者が多いですか。30 万円の物品とは具体的に何ですか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | ワーストから上位ということは効果が出ていない。予算額か方法が問題ではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 市民にこの予算があることを知らせていないのではないかと初めて知りました。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|------------------|
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | 何をやっているかわからない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | どんな団体なのか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 知りませんでした。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 知らなかった。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 初めて知りました。 |
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 今年盗難にあったため評価できず。 |

(13) 防犯灯の維持管理費の一部補助

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|----------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 私の自治会では維持管理が行き届いている。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 犯罪の減少を図る方策です。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 光は重要。続けてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 明るいまちづくりのため必要。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 積極的に推進してほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 大切である。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|------|---|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 要望しても市にお金がないとすぐ却下。(暗い道を帰る子どもがかわいそう) |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自治会入会時の説明に、年 29 万～30 万の電気代(防犯灯)も自治会で負担しているとありました。市から 2/3 も補助してもらい、どれだけ電気代がかかっているのでしょうか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 駅裏利用者が多いのに暗いと思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 太田、古井地区以外の地区では、夜間暗すぎる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 部分的に街灯が足りなくて、真っ暗な場所がある。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 要望で設置するのはよいのですが、要望の窓口も知らないし、調査した上での設置ですか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 防犯灯が少なすぎます。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 防犯灯が足りない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | まだまだ暗いところが多いと思う。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 田舎へ入るほど防犯灯が少なく夜道が危ない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 重要だが、市民に税金から負担が多くなるのは。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | できれば蛍光灯は切れやすいので蛍光灯形の LED であればよいと思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 自治会未加入者の負担を求めるにはどのようにしたらよいか検討してください。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 防犯灯の設置基準が不明だが、設置が必要なところはまだあり、LED、ソーラー化を検討することが必要。蛍光灯の管理は大変です。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 補助金のことを考えると、市民が独断の考えは、検討をして自治会に通す。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | もっと増やすようにしてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 防犯灯がもっとあればと思われる箇所が結構あります。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 犯罪の多いところには、必ず設置してほしい。できればカメラも。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 最優先で実施しているようであるが申請から設置までの期間短縮してもらいたい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 防犯灯はまだ足りないと思う。今の防犯灯は暗い。電球をLEDに変えるなど。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 家の門灯みたいなどころがある。それよりもっと暗いところにつけてほしい。距離があるのかもしれませんが。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 防犯灯が多い。設置基準の見直しをすること。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | もっと犯人を怖がらせて。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 「満足」としていますが、まだまだ防犯灯の設置が必要な箇所があるので検討してください。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 市街地にはまだまだほしい。 |
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | 全額補助でよいと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 防犯上必要と感じている場所でも自治会が了承しないと設置してもらえない。危ない場所は市から自治会に伝えてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 道路などで設置が少なく、暗いところがある一方、特定のところにかたまって設置されている。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 自治会以外(40%)はどうするのか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 旧市街地は整備されていても、その他の整備が遅れているのではないか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 防犯灯の数を増やしさらに安心、安全な街にしたい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 電気料は全額市で払う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | もっと防犯灯を増やしてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 太陽光に替えてはどうか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | なぜ自治会管理なのか。通行する人は、その自治会所属とは限らない。なぜ役所が管理しないのか理解できない。切れている防犯灯が多い。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 電気を太陽光にして電気料金を減らす。 |
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 防犯灯は LED なのか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 電気料はすべて市が払うべきだ。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 防犯灯だけでなく、身近に警報器があればよい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 三和や伊深の人が太田や古井に移ればよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 本来市が全額負担すべきもの。 |

【わからない・その他】

意見なし

(14) 介護予防支援事業の実施

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|-------------------------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 自分も支援を受ける年齢に近づいているため。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 高齢化社会になり、家族で見られない場合頼りにしています。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 今後ますます必要と思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 恩恵にあずかっています。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 高齢化社会の対策のひとつとして評価する。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 利用したことはありませんが、この先とても心強いことだと思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | これからますます増えてくると思います。介護予防支援は大切だと思います。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|------|--|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 事業費が多すぎます。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | まだ不足している。 |
| 女性 | 80 歳代以上 | 古井 | 私はひとり暮らしですが、あまり「元気ですか」「変わりはないか」と声をかけられたことはありません。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 予防は自己責任で常備できると思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 高齢者は早く死んだほうがよい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 高齢者でもお金はもっていない。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|--|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 高齢者にもやさしい街であってほしい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 三和 | バスが水曜だけで、太田まで色々な話を相談に行きたいのだけが行けない。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 高齢者が増え人員の増強が必要ではないか。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 下米田・牧野 | 支援事業内容相談の方法などをお教えてください。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 高齢者がこれから多くなってくるため、あまり予算を上げないほうがよい。さらに、予算を上げざるを得なくなってくるため。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 手厚くしていただきたいです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 担当職員はよく相談にのってもらえるが、それ以降の入所施設不足とスタッフ不足です。例として特別養護老人ホームに入るとしてもまちなちの実態です。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|---|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 予防はこの先とても重要。介護の問題は深いし、しっかりと予防してほしい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 専門職員でないといけないのでしょうか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 高収入の人への無料は不必要。できれば、年齢に関わらず、低所得者に補助を導入してはどうだろうか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 老人がいますが、デイサービスに出ても、帰りがもう少し後にしてもらえたら、仕事の帰りに迎えにいける。時間を考えてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | お金がどうしてこんなにかかるのですか。相談と予防プランをつくるだけなのに。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 独居の方に孤独を感じさせないようにしていただきたい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 若い世代へ負担が増すようであれば、高齢者の自己負担を増やすべき。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | もっと細かい活動が必要。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 高齢の方々を集中してケアする場所をつくり、コストのむだを減らし、その分を子育て世帯へ回してあげてください。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 健常者も対象とする事業がもっと大切ではないか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | これから進む高齢化社会に対応し、個々が充実した生活が送れるように職員の育成、スキルアップを目指してほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 高齢者への補助を、減額して他へ回す必要があるのではないか。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--------------------------|
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 内容についてよく知りませんでした。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 高齢者と関わることがないので、わかりません。 |
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | 何をやっているかわからない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 自分がまだ相談したことがないから意見できる。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 介護予防支援事業を体験していないのでわからない。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 住所と電話番号記入。 |

(15) 75歳以上の方の健診費用無料化

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|------|------|---|
| 女性 | 50歳代 | 山之上 | とにかく、この制度については本当にありがたく思っており、感謝しています。問題も多くあるかと思いますが。 |
| 女性 | 70歳代 | 古井 | 75歳以上にはありがたいですね。 |
| 女性 | 70歳代 | 古井 | 自分が病気になって初めて知りました。予防の大切さを。 |
| 無回答 | 70歳代 | 古井 | (14)と関連して大切と思う。 |
| 女性 | 30歳代 | 太田 | 今後も無料をお願いします。 |
| 男性 | 60歳代 | 蜂屋 | 重要度はわかる。 |
| 男性 | 40歳代 | 古井 | 病気が減少、あるいは医療費削減や病院の混雑緩和につながる。 |
| 女性 | 70歳代 | 山之上 | 年金が少なくなるばかりなので、健診費用が無料になるのはありがたいです。 |
| 女性 | 70歳代 | 古井 | 大変ありがたい。 |
| 女性 | 60歳代 | 太田 | よいことだと思う。 |
| 女性 | 20歳代 | 古井 | 個人の医療費負担の軽減になると思うし、家庭的介護負担軽減につながると思うから。 |
| 男性 | 70歳代 | 太田 | まず、命、健康があつてこそ。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|------|------|--|
| 女性 | 30歳代 | 加茂野 | なぜ75歳以上。 |
| 男性 | 30歳代 | 山之上 | 75歳以上では遅い。 |
| 女性 | 30歳代 | 太田 | 働きざかりの方の負担を軽減するほうが重要だと感じるから。75歳以上では遅すぎる。 |
| 男性 | 10歳代 | 蜂屋 | 75歳以上という年齢区分が実態に合っていない。必要度が高いのでしょうか。 |
| 男性 | 60歳代 | 加茂野 | 年よりは早く死んだ方がよい。 |
| 女性 | 50歳代 | 古井 | 老人を無料で保護するという構図をどこかで絶たないと、大変なことになると思います。 |
| 男性 | 30歳代 | 山之上 | がんの発生率と75歳以上に相関関係を感じません。 |
| 女性 | 50歳代 | 古井 | 75歳まで生きられればもう十分ではないか。 |
| 女性 | 70歳代 | 太田 | 全検査無料ではないですね。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 75 歳からではなく 65 歳からにするべき。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 年齢はなぜ 75 歳以上なのか。65 歳以上くらいからはだめなのでしょうか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 60 歳以上を無料にしてほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 75 歳以上ではなく、60 歳～70 歳くらいではどうかと思う。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 年齢的に 75 歳という設定が一般的にわかりません。収入の少ない方は、皆無料にしてほしいです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | なぜ 75 歳以上なのか。あと 10 歳下げてもらいたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 乳がん検診をもっと若い年齢から実施してもらいたい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | もう少し年齢が引き下げられる方が早期発見につながりよいと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 坂祝町のように補助金を増やし、健診項目を増やすべき。年齢は 65 歳または 60 歳程度からとすべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | もう少し年齢を下げられないものか。家族の一番大事な年齢時のほうが必要だと思う。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 歳をもっと下げてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 高齢者は医療費をたくさん使っているし一部負担にしてほしい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 75 歳以上の人ではなくて、60 歳～74 歳の人を無料にしてほしい。75 歳以上の方は年金が多い。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 年齢を下げ退職後～75 歳までに対する支援がより大切。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 50 歳からにして。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 年齢制限はいらない。すべての住人に実施が望ましい。きっと 75 歳以上の方はお金持っています。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 高齢化になるのである程度は市民も負担してもよいのではないか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 山之上 | 高齢者にも、負担を願う。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 早期発見につなげるなら、75 歳でよいのか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 高所得者への無料化は必要ない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 加茂野 | 75 歳以上の人よりも、もっと成人にするべきではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 年齢をもう少し下げることができないのでしょうか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 75 歳以上から年齢を引き下げてほしいです。(45 歳くらいから) |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | もっと早い年齢から受けられるとよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 意に反するが 75 歳以上無料は、今後若者に大きな負担となり、多少なりとも考えたい。(今後市の負担金が大変なことになるため、いずれ私もそうなるが、一割程度の負担も考えたい) |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 最低限の負担はあってもよいのではないか。(所得による一定額の負担があってもよい) |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | 40 歳からのがん検診を毎年受けられるように(年齢の制限がある)親世代の人たちの発見が遅れないように。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 70 歳以上にすべき。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | どうして 75 歳以上なのでしょう。年金をもらえる年からにしてほしいです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | もっと対象者を広げるべきである。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 40 歳から無料にすべきだ。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 年齢の引き下げを検討願います。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 75 歳以上とした根拠が不明。若い人は。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 75 歳以上になれば必ず病気があるので、もう少し若い世代で無料にすべきではないか。 |
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | 若い世代に向けるべきです。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 75 歳以上ではなくて、もっと年齢を下げしてほしい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 特に無料にしなくてもよい気もする。これから人数が増え、金額が負担となるのではないか。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-----------|
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 受けたことがない。 |

(16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 中学卒業までというのはありがたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 無回答 | 子どもが生まれ、医療費の無料化のありがたさを実感しております。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | “中学生まで”というのは、今後他の街から来る人にとっては魅力的。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 引き続き実施継続すべきです。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | ありがたいですね。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 孫が恩恵にあずかっていますが、とても喜んでいます。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | このことについては、とても助かっています。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 乳幼児医療費の無料化を優先するのはやむを得ない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 子どもが 2 人いるので、とてもありがたいです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 子どもを多く産もうと思うと無料であってほしい。手軽だからたくさん行くのは人としてだめだけど。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 子どもが 4 人と多いのでとても助かっています。一人アトピーの子がいるため。 |
| 女性 | 20 歳代 | 加茂野 | この制度を使わせていただいて、とても安心して子育てできます。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 大変ありがたいです。美濃加茂市に住んでいてよかったと思います。急病でも安心してかかれます。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 色々問題点もあるかもしれないが、子どもを持つ親としては非常に助かっています。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | ありがたいです。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 少子化対策や、市民数の増加の一助となる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 少子化対策、市定住者確保の観点から。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 大変ありがたいです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 美濃加茂市の売りにしてもよいと思う。予算も必要ならばOK。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | むだに病院に行く。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 無料化はよくない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 若い夫婦は、自分のおしゃれにお金をかけられるのに子どもの医療費が払えないのはおかしい。払えるはず。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | これは無料化とは関係ない。無料のため、軽症でも病院に行く人が多い。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 自分の子どもならば自分でやりなさい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 病院が子どもだらけです。無料も考えものです。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 子どもは親がしっかりすること。病気になれば症状が軽くてもすぐ病院に行く若い親が多く、薬がむだとよく聞きます。少々の熱ならば鍛えることも必要なのではないのでしょうか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 病院側がより早く状況判断し、診療すればよいと思う。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 少々のことで通院しすぎ。昔なら自力で治したり、そうならない予防をしたりしたのに、今はたんこぶ1つで病院へ行きCTを取る。税金のむだこの上なし。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 救急で医療が必要な方をすぐに診療できない、というのは医師の判断ミスではないか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 木沢のせいで県病院もできないのですよ。おかしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 無料になり、軽い病気でも病院にきて小さい子どもが走り回ると重病の人には辛い。 |
| 女性 | 70 歳代 | 山之上 | 病院に行くほどでもないのにすぐ受診する気軽さは考えものです。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 小学校まででよいのではないか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | できたら中学生くらいまでにしていきたい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 何でも受診はいけない。助成額が多すぎます。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 所得別にしてほしい。収入の少ない方は、必要性を感じます。子育て中の母親の姿を見て、全員でなくてもよいと感じます。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 小児科が少ない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 木沢のような大病院に小・中学生が多い。まずはかかりつけ医に初診を受け、その後紹介状により大病院に行く制度を検討。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 18 歳まで無料化。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 対策をお願いします。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 減らせるように。かかりつけ医に相談できるような教育はどうでしょう。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 無料はありがたいことだが、不必要な通院が多いのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 無料ではなく一部負担でもよいのではないか。自分の子どもに責任を持って育てていくうえで、なんでもかんでも無料というのは考えられない。子どもを育てるのに必要なお金は親がちゃんとすべきで、少子化につながるというが、お金だけのことでしょうか。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 無料の人は後にして、救急の人を早く診るようにする。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 学費負担がない現在、中学生までは必要ないと思う。市の税収が減った今は考えることが必要ではないか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 収入が低く医療の受けられない子がいては大変なことになるが、無料だからと安易に使う人が多くなるのも現実。本当に必要な分の見極めは難しいが、一定のルールもあってよい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 問題点があるなら、解決をお願いします。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 病状の度合いで判断する。 |
| 男性 | 70 歳代 | 山之上 | 50%助成でよいと思う。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | 「中学校卒業まで」の子どもを対象にする必要があるか疑問に思う。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 中学生までは必要ないと思います。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 無料化は小学校卒業まででよい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 救急の方が先だと思います。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 所得制限をもうけるべき。低所得の人のために行うべきです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 医療費は受診者に一部負担を求めるべき。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 収入に応じて実施したほうがよいと思う。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 18 歳まで無料化になると嬉しい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 加茂野 | 小学校卒業まででよいのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 無料、無料とするより、何が重要かを親にも考えさせるべき。簡単に医者にかかり過ぎ。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 全額でなく一部補助にしなければ、むやみやたらにかかるくせがついてしまうように思う。考えてほしい。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | 乳幼児だけでよい。小、特に中学生まで無料にしないでよい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 税収とのバランス。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | ちょっとした疾病には出す必要がない。長期の重篤な病で、生活を逼迫するような家を支援するべき。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 所得の多い人は有料にしたほうがよいと思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 小学校まででもよいのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 中学生までは必要ないと思う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 救急な方は別途考えること。一般病院と区別する。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 高卒まで無料にする。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 救急患者を受け入れる体制が、十分に確立されてからやるべき。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 日曜、祭日に開業している個人医院を増やしてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 無料化はよくない、たとえ少額でも取る必要がある。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 小学校までの子どもを対象にすればよい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 乳幼児がいるので無料は助かっているが、市の財政を圧迫するのではないか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 子どもの病院代は親が支払えばよい。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|----------|
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 子どもはいない。 |

(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--------------------------|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | よいです。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 友人が住んでおり、助かっているとのこと。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 低所得者向けの住宅も、現状維持で進めてはと思う。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 確実に不公平でなければよい。(縁故はだめ) |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 高級車を所有するなど、私たちの生活より生活水準が高い人もいるように思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 本当の低所得者向けならば必要だが、実際は収入を隠している人が多いと思うから。(岐阜市では多かったから) |
| 男性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 古かったり入居できなかつたりと不十分。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 所得が多いのに低家賃で入っている自営業者が多いと聞く。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 低所得者というけれど、酒、パチンコ、たばこなど贅沢をしている。 |
| 男性 | 40 歳代 | 加茂野 | 現状は低所得の方が入居できず、自営などの高所得の方がごまかして入居されているということをよく聞きます。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 私は仕事上、一部の市営住宅が市の職員名義で借りられているケースを目にします。低所得者と思えない高級車が駐車してあるなど不透明です。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 低所得者でない方も入居しているがどうか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 低所得者向けといいつつ、駐車場の車はハイクラス。申告の仕方でもうにでもなると聞くが本当か。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 低所得者といっても、家族全員成人して働いていたりして、とても低所得とは思えない人たちもいる。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | あえて必要ない。一般住宅に対しての補助で行えば経費節減になる。一般企業でも社宅を戸建てして、民間住宅の補助で経費節減をしているから。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 低所得でない人も住んでいる。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|---|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 維持管理費が高すぎるのではないかな。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 蜂屋 | もう少し家賃を上げては。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 周辺のごみ捨てなど、マナーが悪いところもあります。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 山手地区に 1 か所もないため、ぜひつくってほしい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 太田 | もっと増やしてほしい。空いていない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 家庭の事情により、同居できない弱者がいます。低所得者用の住宅の提供をお願いします。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 高所得で入居している人を知っている。更新制にしたほうがよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 安価だから居着いてしまう人が多いと聞かすが、本当に低所得か。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 管理費かかりすぎ。他の安アパートなどに入ってもらって月 2~3 万の補助にできないか。アパートが空いているところはたくさんあるため。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 本当に低所得の人しか入れないように、きっちり調べる。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | すぐに空いていない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 市営住宅は建築費用や管理費が高くなるので、民間のアパートなどを借り上げて使った方がよいのではないかな。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 市の負担が大きすぎる。そのお金を保育料の値下げにつなげてほしい。そうしたら母親が働ける。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 一定額にすべき。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 低所得者向けとなっていますが、一回入居すれば継続で入居できているのではないかな。所得の見直しはあるのでしょうか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 入居条件を厳しくする。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | 一部屋分の維持管理費が思った以上にかかっていると思った。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | きちんと毎年、所得を調査していますか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | とてもよいとは思いますが、不正に申請している人がいるのではないかと、ひそかに疑ってしまいます。本当に困っている方を、慎重に調べて優先してください。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 民間のマンション・アパートがどんどんできているように思う。市営住宅が多ければ、市民も多くなるのではないかな。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 民間の住宅に空室が多いようなので、タイアップして準市営住宅化できないかな。 |
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 収入が 10 万以下の方対象と聞いたので、もっと需要に応じた環境にしてほしい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 定住化していないかな。入りたい人がいても入れない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 本当に正しく判定できているのか、不公平感がないかな。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 維持費がかかり過ぎている。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|------|--|
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | しっかりと把握に努めていますか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 定期的に入居者の所得調査をし、低所得者すべてに利用してもらえるようにするとよいと思う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 入居条件をもっとゆるくするべき。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 所得に応じる家賃で入居者が利用されているようですが、所得制限で割り切るべきだと思います。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 本当に低所得者だけが入居しているのか。定期的な追跡調査も必要と思う。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 市の財政を圧迫するのではないか。低所得者への援助は大切だが、助けるのには非常にお金がかかる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 維持管理費とは何か、内容を知りたい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 年間維持管理費の内訳は。金額がすごいです。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|------------|
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 低所得者向けの住宅。 |

(18) 保育園での一時保育の実施

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | かつて共働きで子育てし、このような制度を願ってきました。安心してもらえるような場所にしてほしいです。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 現状維持でいってはどうかと思えます。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 頼りになる人がいない場合は助かる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 働くお母さんが増えているので、預かってもらおうと安心。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 親にとっても子どもにとっても大切な取り組みです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 予算からして妥当ではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 働けるような整備をすることは大切。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-----------------------------|
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 10 歳くらいまでは保護者が育てなければいけない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 何のための親なのだろうと思う。子育てを外注に出しすぎ。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | なぜ週 3 日なのか。平日は 5 日なので 5 日必要のはず。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 制度があることを知らない親が多いと思うので、市の研修で知らせたほうがよいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 保育料が高すぎる。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 他の市に比べて保育時間が短いです。もっと共働き家庭を支援する体制を整えるべきだと思います。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 泊りなのですか。もっと増やしてください。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 2 人目の子どもを預けたいことがよくありますが、8 か月未満なので無理です。上の子が 2 歳なので歯みがき教室などに連れていけず困る。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 保育料が少し下がるとありがたいのですが。でも大変お世話になり、助かりました。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 他の幼稚園へ通っている子も、長期休暇中に依頼できるのでしょうか。詳しい情報を公開してほしいです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 市民のためによいことなら、もっと PR してもよいと考える。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 場所が少ないです。利用している人がたくさんいるため、利用したくても満員ということがよくあります。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 実施場所をもっと増やしてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 利用者に応分の負担をさせ、市の負担を減らすべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 0 歳(8 か月)~の対応が各地域でもできないか。8 か月未満の子への支援は？ |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 使用する人がいつも決まっている。本当に必要である方が使用できていない。一時保育の可能性はありますか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | もっと場所を増やしていけば、親も安心して、預けることができると思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 定員 6 名では意味がない。いざという時に預かってもらえないため。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 安易な子育て放棄につながっていないか。児童相談所などと連携した運用が必要と思う。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 未満児希望があれば入れる体制なのか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 保護者がひとりの場合ですか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 利用者負担はいくらですか。1 日 5,000 円ですか。10,000 円ですか。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 一時預かりのことを、よく知らなかった。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 利用していないのでわからない。 |

(19) 学童保育の実施

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | このまま続けてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 働く親たちにとってありがたい保育です。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 保護者が就労の前であれば今後必要。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | (18)と同じレベルで進めてはと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 共働きが多いので必要。共働きの人は税金をがんばって納めているため。 |
| 男性 | 10 歳代 | 蜂屋 | 僕の家族(兄弟)はとてもお世話になりました。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 大変ありがたい制度です。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 共働きの人が多いので必要だと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 保護者も安心して働くことができると思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 大変助けていただいている。多少厳しくしていただいても、本当に必要だから協力できると思う。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 子どもの教育環境の充実はとても大切に思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | ご苦労様です。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-------------------------|
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 自分の子どもは、自分で見て、育てる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 保育料が安すぎる。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | これで母性が育つのか。子育てを外注に出しすぎ。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 義務教育の一環として学校内(先生)でできないものか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 小学 3 年生で終わる。それでよいのか親にしたら大変不安。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | (18)も含め、共働きが普通になった今では、充実していないと魅力はないと思う。 |
| 女性 | 無回答 | 古井 | 学童保育は大変重要ですが、保育料はもう少し高くてもよい。市の負担を減らしたらよいです。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 小学 4 年生が一番不安定な時期だと思います。対象を 4 年生までに引き上げてはいかがでしょうか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 4 年生以上もいると、年長による教育にもなると思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 定員が一杯で待機待ち児童がいるのが現在の状態。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 女性 | 40 歳代 | 太田 | 土日も利用できるように考えていただきたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 毎日利用と長期休暇で金額が違うのはおかしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | 長期休暇は 6 年生までを対象に保育してほしい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 他の市に比べて保育時間が短いです。もっと共働き家庭を支援する体制を整えるべきだと思います。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 兄弟がいる場合、下の子が小学 3 年生になるまで上の子も保育をしてもらえると思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 保育料をもう少し値上げしてもよいと思います。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 小学 6 年生までを対象にしてはどうですか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | クーラー、ストーブも必要ですよ。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 小学 6 年生まででもよいのではないかな。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 資格のある方しか、保育ができないのでしょうか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 月額を少し上げてよいのではないかな。未満児の保育料を下げることのほうが重要。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 8,000 円は安すぎる。16,000 円に。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 保育料の納入はできていますか。かなりの未納があると聞きました。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 同じ家の子どもで 4 年以上の子どもも預かってほしいと思われることはないのか、と思いました。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 保育料月 5,000 円は安いのではないかな。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 土・日など利用できるとうい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 市民のためによいことなら、もっと PR してもよいと考える。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 月 5,000 円は妥当かな。 |
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 月 5,000 円は高い。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 定員があっても利用したくてもできない現実があるそうです。民間の学童もあつたらよいのに。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 小学生の間はずっとやってほしいと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 小学 1～6 年生までを望む。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 対象者のしっかり調査してほしい。保育を行っている方は、どのような資格の人ですか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 学童保育児を、小学校の兄弟の下校時刻に、一緒に帰れる制度を取り入れてほしい。(可児市のように) |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 一人当たりの費用はもっと多くすべき。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | おじいさん、おばあさん(元気)がいても預ける人がいる。もっとしっかりした対応が必要。預けたくても預けられない人もいる。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 小学 6 年生までやるべき。小学 3 年生まででは中途半端。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 学童内でのトラブルの話をよく聞か。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 保護者も本当に働かないと生活できないのか。親に対する育児の教育とセットで教えるべき。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 小学 6 年生まで保育していただければありがたいです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 本当に施設利用が必要な人が利用しているのかのチェックを厳しくすべき。収入によっては保護者から費用をとるべき。たとえば、年収合計 500 万超過など。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 関係ないが、中学校区の変更の話はアンケートなど何も聞いていない。市外の保育園へ通っている子どもには、何も情報がきていない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 保育料はどこに消えているのか。誰が保育を行っているのか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 学童の受け入れ人数が少ないと思う。我が家は子どもを 3 人予定していたが 2 人でやめた。小学 3 年生までは不満。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--------------------------|
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 今現在利用したことがないため、よくわかりません。 |

(20)「フロム0歳プラン」の推進

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|------|------|---|
| 女性 | 50歳代 | 蜂屋 | 地域に密着したプランでお母さん、お父さんの力になれるような支援活動をお願いします。 |
| 女性 | 50歳代 | 伊深 | 子どもを安心して産み育てられる美濃加茂市のために、力をいれてほしい。 |
| 女性 | 60歳代 | 太田 | 孫を見ていて、いろんなところでサポートされているのを感じます。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|------|--------|-------------------------------------|
| 男性 | 30歳代 | 下米田・牧野 | 中学生以上の有効性が見えてこない。 |
| 男性 | 40歳代 | 太田 | 活動内容がわかりづらい。 |
| 男性 | 50歳代 | 加茂野 | 「フロム0歳プラン」の効果はあったのか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 母親たちがこれを利用し、遊んでいると聞いています。必要なし。 |
| 男性 | 70歳代 | 古井 | 親は何のためにいるのか。贅沢をしたいばかりに金に走る。 |
| 男性 | 50歳代 | 古井 | 具体性がなく、内容がわかりにくい。 |
| 女性 | 30歳代 | 太田 | あまり必要だとは思わない。 |
| 男性 | 50歳代 | 太田 | どういう効果がありますか。 |
| 男性 | 60歳代 | 加茂野 | 効率について疑問。 |
| 女性 | 30歳代 | 下米田・牧野 | 講演会など、必要性がない。 |
| 女性 | 30歳代 | 蜂屋 | 活動がわかりにくい。 |
| 男性 | 70歳代 | 古井 | 市民へのPRとコンセンサスは。フロム0歳プランとは何か。 |
| 女性 | 30歳代 | 加茂野 | 子育て講演会の受講者(自らの意思で)が少ないのに必要か。 |
| 女性 | 20歳代 | 古井 | いつ行われているのかわからないし、次につながっているのかわかりません。 |
| 女性 | 50歳代 | 古井 | 講演会を開き、高い講演料を払い、本当に役立っているとは思えない。 |
| 男性 | 70歳代 | 太田 | 子どもは今、大人になったら都会にでていってしまう状態。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 20 歳代 | 太田 | 講演会があったのかまったく知らなかった。もっと母親の交流の場を増やすとよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 事業の成果を知りたい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 講演会で触発を受けた、その後の取り組みは何がなされていますか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 子どもが小さいときはよいが、中学生以上になると重要度があまり感じられない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 金額的に大したことはないが、地域が大まかすぎる。近所力アップの起爆剤となってほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 子ども、親が育てているのか。何でも手助けすることがよいことなのか悩むところです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 子どもの目線で考えられているのか疑問。基本は家庭なので、親の教育が重要。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | たいした額ではないですね。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 近所の高齢者を使う。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|-------------------------------------|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | よくわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 家庭地域で子育てを重視した内容なのか、参加していないのでわかりません。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 初めて知りましたので、ちょっとわかりませんが、がんばってください。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | そのプランを聞いたことがない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 太田 | 知らなかった。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | よくわからない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 内容がよくわからない。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 知りませんでした。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 内容がわかりません。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 知らない。 |
| 女性 | 20 歳代 | 加茂野 | 知りませんでした。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 名前は見かけますが、内容が今ひとつわかりません。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | 知らない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 実際に見聞きしたことがない。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | いろいろな市の活動もあまりわかりません。仕事に追われていて余裕がありません。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | このプランは初めて聞きました。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 具体的によくわからない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 知りませんでした。 |

(21) 文化の森での小中学生や幼児の学習

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 文化を学ぶことは非常によいと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 自然が多い地域ならではの、子どもたちにパソコンなどばかりではなく、学習させることはよいと思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 時に昔の生活の実態がわかるので意味があります。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 子どもたちも文化の森での活動を楽しみにしています。とてもよいと思います。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 次世代の幼児の学習を手助けする事業は大切。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 小学校から行って、子どもがとても楽しんだり、勉強になったりしているのでとてもありがたいです。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 地元をよく理解させるためにはよい。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 自然の中で学ぶことは大切。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 一般市民の催しの行事に参加させてもらいました。無料、低料金で(気楽に参加ができ、楽しかったです)今後も行きたいです。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | せっかくの施設です。次世代の子どもたちに大いに活用してもらいたいです。 |
| 女性 | 70 歳代 | 伊深 | 各学校が学習に利用できている。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|---|
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 文化の森は必要ない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 子どもはあまり面白くなかったとのこと。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 今どき箱ものでの学習は意味がありません。文化の森の特徴とはどういうものですか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 文化の森は何があるのですか。どういうことをするところですか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 文化の森の料理室は非効率的です。設計ミス。あれではみんなで使えない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 必要性がわからない。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 文化の森は必要ない。つくらないほうがよかった。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 本当に必要な施設ですか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | すべての小中学生ではないのでは。一部の学生だけでは意味がない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 文化の森へ行かなくても学ぶ場はある。維持費がもったいない。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 文化の森の設置目的が不明。イベントや学校行事以外で文化の森に行きたいと思わないし、行きたいという人に会ったことがない。そんな施設に金を使うならもっと充実した施設に遠足で行った方が安上がり。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 教育にもっと多く自然体験を取り入れてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 子どもたちにより学習体験になると思います。学校などを通して行われることを願います。家庭の事情で参加できない子どももいます。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 幼児が参加できるものがもっとあるとよい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 少し高い。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 文化の森を利用する価値をもっと広めてほしい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 文化の森を市民に利用してもらうことを考えたかどうか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | イベントの情報公開が遅い。行きたいイベントをホームページで見かけて聞いてみると、昨年、一昨年の募集と定員締め切り。終了したなら、募集しているような書き方はやめてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | もっと市外にも発信して、市外、県外からも来てもらえる工夫を。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 高齢者の対象講座も開いてほしい。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-------------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 身内に対象の子どもがいないのでよくわからない。 |

(22) 外国人児童・生徒への学習支援

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | ぜひ継続してほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 言葉がわからないほど苦しいことはありません。本人の意欲にもよりますが、大切なことだと思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 共生文化の前に、外国人の不良化防止になる。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | そのような支援があるのはとてもよいことだと思う。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | どんどんやってください。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 外国人児童が国内的に多い当市ならではの支援として大切。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 外国人への日本語教育はとても大切。日本社会からはずれた外国人の子どもが増えると街が荒れる。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 大切ですよね。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 知らなかったが、外国人が多い。市としては必要だし、先生の負担も軽減する。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 「美濃加茂で日本を学べてよかった」と思ってくれるようにしてあげてほしい。時々見かけると不憫に思う反面、治安が悪くならないか少し不安になる。日本人に染まる必要はないが、共存共栄できるのが理想的。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 外国人が多いのでよいと思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 外国人の孤立を防げば、治安維持にもなる。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|----------------------------|
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 誰の税金でやっているのか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | まじめにやろうとすれば 162 万円では少なすぎる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 外国人は道いっぱいになって歩く。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 支援内容の効果がまったくわからない。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|----------------------------|
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 一般市民も対象にすべきだと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 外国人が多いし必要。回数は妥当か。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 日本に住むなら、日本語が話せるように勉強してほしい。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 小学校の対象でよいのではないか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 一般市民も支援してはどうか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 言葉は大切だと思う。その逆で日本人に英語以外の言葉とふれ合う機会があってもよいと思う。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 日本の文化も、一緒に学習してほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 住居登録した時点で、日本での暮らし方や法律、マナーを教育してほしい。そのあとに小中学校に受け入れるなら問題ないと思う。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | もっと増額すべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 日本人を大切にしてほしい。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---------------------------|
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 私の家には子どもがいないので、まったくわからない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 身内に対象の子どもがいないのでよくわからない。 |

| |
|--------------------------------|
| (23) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 |
|--------------------------------|

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---------------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | これからはますます重要です。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 特色あるまちづくり事業として必要。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 参加者が年々増えていけばよいといえるのではないか。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 日本人の就労についてはどうするのですか。まったくやっていないと感じます。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 高いな。内容が見合っていればよいが。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 悪いことばかりする。外国人は必要でない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 少し高いという印象です。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 日本人よりよっぽど生活力がある。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | ブラジル人の行動すべてが気に入らない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 関係ないかも知れませんが、車の騒音や駐車場でのマナーが外国の方はひどい時があります。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 外国人がごみを駅の公園に袋に入れ持ってきた。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 重要ですが、あまりよい活動ができていないと思います。改善が必要、仕事がない外国人がたくさんいます。 |
| 男性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 外国人に対してしっかりケアをしてほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 同時にルールやマナーも向上させていくことが重要です。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 事業費が多い気がする。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 外国人の方の支援も大切ですが、弱者の方、障害のある方の支援もお願いします。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 自治会に加入が少ない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 外国人のリーダーを育成、自治会加入の促進。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 少し事業費を削減すべき。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 各種事業は評価するが、非常に悪さの目立つ外国人がかなりおり、社会参加の促進を願う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 外国人派遣会社も尽力すべし。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 就労支援も大切であるが、困難な場面のあり方について。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 一所懸命な人、悪い人をしっかりと。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 祖国の文化があるかもしれないが、まず日本の文化などに慣れてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 日本人の生活を優先させてください。我々日本人の税金を外国人のために使わないでください。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 外国人よりも先に日本人の非正規労働者にも、手厚く支援すべきでしょう。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---------------|
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 業務内容がよくわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | わからない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | よくわかりません。 |

(24) 文化会館の活用

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 発表の場としてもよいと思う。アカペラグループを呼んでほしい。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 歴史と文化のまちにふさわしい市のシンボルとして当然の費用です。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 文化都市につながる。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | たまに参加させてもらっています。(コンサートや講演会など)無料のコンサートなどいつも楽しみにしています。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 趣味的なことなので利用者は限られます。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 物足りないです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 中途半端な収容人数。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | どのくらいのペースでコンサートを開いていますか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 伊深 | 他市と比べると見劣りしてしまう。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 誰もスターがこないですね。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 小さすぎる。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | お金がかかりすぎです。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 文化会館は老朽化が進み、古臭い感じがします。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 最近の話として、高校の活動(部活)で利用しようとして、拒否されたことがある。施設が古い。アーラに負けている。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | もっと利用してもらえると維持管理費が助かるのであれば、会議室など利用してもらいたい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 市外から多くの方に利用してもらいやすくなるように、入口などわかりやすくするなどしてください。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 他市のように、もっと人気のある人を呼んだほうがよいです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 他市などと比べると、人が集まれるイベントを行って、市の負担を減らす必要があります。 |
| 女性 | 60 歳代 | 加茂野 | もう少し大きくできないものでしょうか。 |
| 女性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 入場数がとても少ない時があるため、PRしてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 一般向けのコンサートが以前より少なくなった気がする。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 維持費が結構かかる印象を受ける。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | よりよい文化生活のため、楽しみが増えるような文化活動をお願いします。音楽、演劇、講演。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 市の管理から一般の運営会社に委託してはどうか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | もっといろいろなコンサートが聴きたい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 駐車場が少なすぎる。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 文化レベルの向上を。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 市負担が多い。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | いろいろな講演などに出席したいが、もっといろいろな種類のものを作ってほしい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 可児市のアーラなどで借りている場合も多いのではないかと。中途半端な建物になっている気がします。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | もっと PR してほしいです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | コンサートなど積極的に行ってほしい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | コンサートの充実を。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 会場でのコンサートなど、市民の来場利用が非常に少ない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 維持費が高すぎる。独立採算制に移行してはどうか。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 有名人なども呼んでもらって、もう少し市報などで知らせてほしいです。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 利用者が少ない。使用料が高すぎる。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 文化会館の収容人数が少ない。本年度西中学校の活動継承の会が開催できなかった。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 文化会館を、もっと満席で運営する様な企画を立ててほしい。あまり堅苦しいものばかりでなく、やわらかい催しも行ってほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 維持費の内には、むだに近い人件費もあるはず。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 市の文化会館のコンサートなどは収容人数が入れなく残念。小さい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | もっと目のつくところにポスターを貼り、たくさんの方が利用できるとうい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | ロビーコンサートなど企画して楽しいのですが、それならロビーの内装やレイアウトをちょっと変えてもらえると、もっと楽しくなるのと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 運営の仕方が下手。プロのスタッフを入れて 3 か年くらいであか抜けする運営法を学ぶべき。田舎にある公民館のホール版のようで何かあか抜けしない。もっと人が集まる工夫をするべき。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | もっと利用について市民感覚で考える。制限が多い。利用者を増すことを考えるべき。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | もっと文化会館が活性化してほしい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | ポスターなど、コンサートの宣伝不足ではないか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | もっと有効利用を。イベントなどの広報を充実してほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 文化会館は今何に使われていますか。せっかくあるのにいろいろなコンサート、講演など開いたらどうですか。よそのことですが、富加タウンホールなどよく歌手が来ます。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|------------------------------|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 数字の部分がどうしてこんなに入るのかよくわからない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 利用する人はよいが、私は利用したことがない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 一部の人にはよいと思うが、私にはあまり、関係ないと思う。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 文化会館があるのですか。 |

(25) あい愛バスの運行

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|---|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 少子高齢化の時代にとってありがたい交通手段だと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 高齢者にとって、もっと利用されるとよい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 免許を返上した方や運転できない方のために続けてほしいです。 |
| 女性 | 80 歳代以上 | 古井 | わたくしも年ですから、なかなか乗って出かけることもありませんが、雨が降ったときは乗せていただきます。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 今後、ますます高齢化に伴い、買い物にも必要になる。バス停の増設が必要。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 高齢者にやさしいまちに必要な策です。 |
| 男性 | 10 歳代 | 蜂屋 | 高齢者の人が出かけやすい手段を整えるのは介護予防にもつながる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 高齢化により自動車が自分で運転できなくなってくると思われるため。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 今はまだ利用していないが、これから 5 年後 10 年後には市民(年配者)の重要な足となると思う。そうすれば何か発信する時も、人が集まるところで伝えるのは簡単なのに。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 赤字でもバスを頼りにしているお年寄り、市民がいると思うので、今まで通りの運行をしてほしい。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 空席が目立っています。利用者が少ない。バスが大きすぎる。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 空車がほとんど、不要であると思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 電車やバスが身近になく、とても不便。高齢者関係なく市のバスも本数が少なく、あつてないようなもの。中途半端。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 空車の時が、けっこうあるようです。 |
| 女性 | 80 歳代以上 | 下米田・牧野 | 現状では停留所の中間の者は利用できにくい面があります。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 使いにくい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 加茂野 | コースが複雑で車酔いをするので聞いていて、今は自動車を使っているがこの先心配です。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 誰も乗っていないじゃないですか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 利用者が少ない。税金のむだ。バスを時々見るが 1~2 人しか乗っていない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 利用者が少ない。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 空で走っているバス。少し気になりますが。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 無人が多い。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 利用者が少ない。 |
| 男性 | 20 歳代 | 太田 | 利用者が少ないと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 空で運行していることをよく見かける。 |
| 女性 | 20 歳代 | 加茂野 | 乗っている人を見たことがない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | あまり利用する人が少ないと思う。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 週 2 回の運行では利用のしようがないと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 利用したことがないので、何ともいえない。空いているバスをいつも見て必要か疑ってしまう。少数の人には必要かもしれないが。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | あまり利用する機会がない。(曜日別、本数少ない) |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | コースが不便で利用できない。バスが大きすぎる。不経済。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 路線がわかりにくい。乗換えが不便だ。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 本数が少ない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 本数が少ないです。実用的ではありません。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 時間が合わず利用しにくい。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | バスがもう少し小さくてもよいような気がする。そのためにお金がかかるのなら、今のままで。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | バスに乗っている人数(影)を見ますが、数が少ないので、他のやり方はないのかと、いつも思っています。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 利用されている姿をあまり見たことがありません。高齢者や、買物難民と言われている方が利用しやすい運行を再考されたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 利用する人が少なすぎるので、見直すべきです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 利用するにあたり、週、日での運行が少なすぎる。不便なため、利用が増えない。 |
| 男性 | 20 歳代 | 古井 | 身体は元気だけれど、車の運転を家族からやめさせられている高齢者はとても多いので、80 歳以上はタクシーを安い料金で利用できるようにすれば、ストレスも発散しやすいと思います。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | バスに乗っている人数が少ないので、マイクロバスなど小型の車でも用が足りるのではないかと。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 本数を増やしてください。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | コースから外れている。今後、車に乗れなくなったらどうなるか心配です。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | どこにバス停があるのかわからない。何曜日に走るのか市民に明確にしないとだめだと思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | バスをもっと小型化してコスト削減してほしい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 路線をわかりやすく見るマップ。もう一度作成してください。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | まだ足りない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 路線時間別の実態調査して、より利便性のある運行にしてもらいたい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 山之上 | どのような路線で運行されているのか、時刻表がわからず。必要な人には連絡所、市役所などに置いていただけたら、ありがたいです。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 足がない高齢者はこれからも増え続けるし、あい愛バスを利用しづらい方もいらっしゃると思います。その方たちが何とか利用しやすい仕組みをお願いします。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 週に数回の運行であることと、バスの時刻表がよくわからず利用しにくい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 10 人程の利用できる車両でよいと思う。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 利用者が少ないかもしれないが、どうしても必要とする方のために運行は続けたほうがよいと思う。もう少し台数が多い方がよいと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 10 人乗りくらいのワンボックスカーでもよいのではないかと。曜日やイベントの実施など考慮する必要もあるが。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 利用度が低いのではないかと。見直しが必要ではないかと。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | あい愛バスが満員で走っているのを見たことがない。バスを小型化してもよいのではないかと。 |
| 女性 | 20 歳代 | 蜂屋 | 利用者数が多いなら1台増やしてもよいのではないかと。少ないなら本数を減らす。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | もっと利用者が増えるとよい。停留所増やしたらどうか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 太田駅前を中心に回ってほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 車に乗らない人のことをあまり考えていない。路線バスが満足度 0 に近い。病院、市の施設などへの交通手段がない。最低 1 時間に 1 本は必要。 |
| 男性 | 40 歳代 | 加茂野 | 坂祝町のように細かく運行できればよいのですが。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | バスのお客はいつも少なく、バスの経費を考え、もっとほかの方法を考えてみてください。 |
| 女性 | 40 歳代 | 下米田・牧野 | 私の住んでいる路線では利用人数が少ないと感じます。もう少し、検討されたほうがよいと思います。都会の市営バスと同じ運行では使いにくいのではないですか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | バス停がどこにあるのかわからず、利用したくてもできません。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 交通手段として重要です。大きなバスに乘客が少ないから、何とかならないのでしょうか。バスを小型にするなど。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|---|
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 小型車両に変え、効率的に動かす。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 住民のほとんどが車を所有している。車を持っている人に頼む。タクシーの補助、利用カードを使う。 |
| 女性 | 20 歳代 | 下米田・牧野 | 本数や経路が限られていて、もう少しその辺りを考えるとよいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 路線、本数ともに増やさないと意味がないと思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 乗る人が決まっているようなら、むだに走らせるのではなく、そういう人たちのために、集中させてはどうでしょう。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 家の前を通るあい愛バスは、空席ばかり。バスを小さくしたらどうか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | もっと利用しやすく、本数を増やしてほしい。小さい子どもが意外に喜ぶ。「一周〇分〇円で楽しめるコース」と提案してもらえると親子で楽しめる。「小さなレジャー」気分で遠出しなくてもよくなり、家族サービスにもなる。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | もっと利用しやすいと嬉しい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 前年度より減少しているのはどうか。一度に遠方まで回るのはかえって不便ではないか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | あまり利用できません。もうすこし皆さんが利用できるよう考えてほしいです。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 運行本数の見直しなどで、利用率の向上に努め、コスト削減に努めてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | バスが大きいと思う。年間何枚かのタクシー割引券を発行したり、使わなかった人の分を買い上げしたりしたほうがよくないか。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | 台数を増やしてはどうか。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | もっと細かくまわってほしい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 利用者負担増。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 高齢者対象だけでなく、朝の通勤時間にも、もっと本数を増やしてもらえると、利用する人が増えると思います。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | もっとPRをしたほうがよい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | バスの一日の本数が少なすぎると思います。週2日というのも少なすぎます。増やしてほしいです。便利だとは言いかねます。(地域によって) |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | 小型バス化で、もっとこまめなほうが利用しやすいかも。また、電話注文で近くまで来てもらうなど。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 別の運営方法を考えてもよいと思う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 廃止し、必要な高齢者にタクシー券を配付し、活性化すべきである。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 今後もバスの数を減らさないようにしてほしい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | もっとバスを増やしてほしい。(路線ではなくて運行日と一日の数を増やして) |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 利用したくとも、バス停が遠い人が多い。もっとバス停を多くしてはどうですか。利用する人はほとんど同じ人と聞いている。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | バスの利用者が少ない気がします。利用者の把握が必要ではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 沿線住民の意見を聞いているのか。路線や運行ダイヤの見直しが必要。可児市ではタクシー会社とも提携している。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 目的地に着くまで、すごく遠回りなので、時間がかかり利用しにくい。太田駅間を利用しやすくしてほしい。学生や OL 会社員など、送迎がほとんどなので、直行便があると便利です。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 市内を走っているバスにお客さんがほとんど乗っていないことに税金のむだ遣いを感じます。もう少し活用方法にアイデア(なぜ利用されていないのか。他の活用法の検討など)を出していただけるとよいなあと思って見ているのは、私だけでしょうか。これ以外にも、利用者が少ないのにお金がむだに使われているところの検討をして、借金経営を減らしてほしいです。美濃加茂市は素晴らしい文化施設があり、住み易くて大好きですが、施設の維持費が大変そうです。お金のからない方法を工夫してください。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 経費節減のために商店および病院などに費用負担を考えて、運行回数を増加してください。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 受益者負担が少ない。補助額が多い。廃止してはどうか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 運行本数が少なく、利用できない状況であるので不要です。乗っている人をほとんど見たことがないので廃止すべき。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--------------------|
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 現在までは、利用したことがない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 左の数字の内訳がよくわからない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 利用しないのでわかりません。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 利用していないので、よくわからない。 |

(26) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---------------------------------------|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 災害時も含め、日常のインフラ整備は大切です。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 私の町内の場合、重要・満足だと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 予算の範囲内で対応すればよい。(道路はおおむね整備されているのではないか) |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | きれいな街になってきたと思う。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 新設、改良の基盤整備は十分であると思う。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 女性 | 60 歳代 | 加茂野 | 家の前の道路がでこぼこで穴があいている。ドブとドブ板は古く中は詰まっています。そのうちに自動車の事故になりますよ。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 借金がなくなるまで見合わせる。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 大きな農業用水の横に沿って、側溝をつくっているが、意味がわからない。これが役所仕事の必要ではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 必要ない道路をつくったり、広くしたりしたため、車を道に停めておく人が多くなった。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | 予算不足。(要望の実行が遅い) |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 一部必要のない道路工事が見られる気がします。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 市民住民のニーズに答えていない。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 昔の細道も大切に、改良舗装してほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 無回答 | 特別養護学校の西側にある信号を早く変えてほしかった。道路をつくるのではなく信号の時差式にすればよかったのではないか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 本当に必要なところから実施してください。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 道路整備はタイヤの磨耗にも影響があるので、エコのためにも必要なことだと思いますが、やたらめったら掘り返して整備前よりも状態が悪くなるのはやめてください。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 急がなくてよいので、年間の予算を削減してほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 市活性化のため県側と連携すべき問題があれば、市以外の検討はいかがなものですか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 側溝が完成すると、その後何年後に水道、または下水の工事により、側溝とその後の工事により、側溝との段差 1mm～5mm ができ、自転車通行でタイヤが段差を通過するとき危険です。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | せめて水につく家がないように。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 予算の優先順位による推進が妥当。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 優先箇所の選定があいまい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 優先順位。市議員さんの力のあるところが有利だと聞いています。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 災害を見通した目先を考える。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 街から外れているからか、私の住む地域では、まだまだ改良すべきところが多いです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 自転車専用道路の整備をされたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 西町 3 丁目なのですが、最近住宅がたくさん建てられました。前の道路が狭く、溝もあり、子どもの通学路にもなります。危険ですので、ぜひ改良していただきたいです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 文化会館などの予算を削ってもこちらを優先させてください。音楽・文化は後回しでもよいです。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 土木関係費はプライオリティーをつけて最小経費にとどめるべきである。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 限られた予算であるが、重要度を選定、見直しをされたい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 地域によってバラツキあり。緊急度によってやるべき。金額が重くても。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 何か都市計画整備が判然としない。行政側考えだけでは必要性がおかしい。住民説明も悪いのではないか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 補修の必要でない箇所は省いてほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 不必要な道路工事。予算を使いきらないとだめなどという、お金の使い方はしないでください。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 優先順位をつけ、しっかり管理して施工してもらいたい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 不要な施設は廃止。売却して、その維持費を回せばよいのではないか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 新設工事などは地域参加でのボランティアはできないけれど、補修、維持工事はもっと地域の方々に参加していただければ、予算がもう少し減らすことができると思う。 |
| 男性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 選定方法が不明。 |
| 男性 | 30 歳代 | 太田 | 優先箇所の基準がわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 優先箇所の選定に問題はないか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 本当に必要なのか首をかしげてしまう。新設道路はもっと考えるべきだと思う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | きめの細かい配慮がほしい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-------------------------------|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 暇な市職員を活用すること。もっと外へ出て活動するべき。 |
| 女性 | 10 歳代 | 太田 | 補修する必要がある箇所だけでよいと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 道路はこれ以上増やすことはない。ただし、維持・補修は必要。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-----------------------------|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | よくわからない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 各自必要と感じる道路は違います。何ともいいようがない。 |

(27)「かわまちづくり事業」の推進

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | ぜひ進めてほしいです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 期待しています。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 環境が整ってきている感じがします。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 予定が予定で終わらぬように期待する。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | ゆっくり進めてください。 |
| 女性 | 70 歳代 | 山之上 | とてもよい事業だと思います。どんどん力を入れてもらいたいものです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | エコハウス周辺が整備されて、きれいになりつつあるので楽しみです。ドッグランなどがあると嬉しい。道の駅のように、活気のある場所になっていくとよいですね。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | よろしくお願いします。いつも人が集まる所にイベントなどもどんどん行って(利用してもらって)市外の人たちにもたくさん来てもらいたいです。(気軽に利用してもらいたいです) |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 木曽川河川が市民のふれあい広場となり、健康的に利用できるとよいと思います。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 必要ですか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | バーベキュー広場は不要。家庭でのバーベキューはごみ焼きと同じ。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | いつ完成するのか明確でない。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | つい最近大変な事故がありました。日本の宝、胸につまります。ストップしていただきたいです。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 美濃加茂市内にある今のものをふれあいの場所として活用し、新しいものはいらなと思います。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 釣り堀は見苦しい。交通事故が心配。バーベキューはごみや不法投棄が心配。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 釣り堀があるが、国定公園内にあってもよいのか。非常に景観も悪いが、違法ではないでしょうか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | ほとんど河川敷は侵入できないのが美濃加茂の実態で、市民にはわかりづらい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 実施が少ない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | バーベキュー広場は必要なし。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|------|--|
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | すぐやめてください。こんなのいりません。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 日本ラインがなくなってしまったようで。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 整備(コンクリート護岸)は自然景観に逆行する。良好な空間とは、生物、植物との共生が大切である。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 最近犬のフンが多いです。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | どれだけの人が必要としているのか。多くの人が集まるだけの駐車場はあるのか。この事業をやるのが、今の市民の生活にどうつながるのか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | バーベキュー広場は不要なのではないか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 河川敷及び、ライン乗船場に広場をつくっても、ごく一部の地区の方々しか利用度が少ない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 重要ですが、これも中途半端だと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | いまいちだと思ふ。中途半端。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | もっとアピールしないとだめ。一部の人しか知らない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 増水時の対策は。それに伴う維持費が膨大になるのではないか。中之島公園のように。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 市民が行きたいと思うようにしてください。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 駐車場をしっかりと確保してほしい。場所がわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | レジャー広場をどんどん整備してほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 緑を多くして、人が多く集まる工夫がほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 青少年グラウンドのような大々的な設備が必要。車道を一方通行に。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | ごみ対策も同時にしてほしい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 人を多く集めようとするなら、計画を大胆にするほうがよい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | バーベキュー広場の整備を、推進してほしい。 |
| 無回答 | 30 歳代 | 蜂屋 | キャンプ場もつくってください。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 川原に人の集まりが少なすぎると思う。昔のようにキャンプもできたり、もっと人が集まったりしてほしい。今は一部の人の集まりだけ。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | ペット用のドッグランをつくってほしい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 休憩所をもう少し設けるとよいと思います。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | なぜ運動施設を併設しないのか。多くの人が集まるから活性化し、利用が促進されると思う。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 今でも十分きれいだと思う。河川で何かつくっているのを見たが、不必要。動植物の環境をこわさないでほしい。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---------------------------------|
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 木曾川近辺を中心にするのはほどほどに。市街地以外に目を向けて。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---------------|
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 活動内容がよくわからない。 |

(28) ごみ袋料金に対する市の負担

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 満足ですが、もっとスーパーなどに資源回収を推進してもらってよいと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 美濃加茂市はごみ袋が安いので助かっています。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 「重要」と回答したのは、自己負担の軽減があるためです。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 特に可燃用ごみの回収のおかげで美しいまちづくりが機能していると思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | これはとてもありがたいです。継続していただけるようお願いいたします。 |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 引き続き行ってほしい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | ありがとうございます。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 美濃加茂市は安いですね。ありがたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | 他の市町村よりごみ料金が安いので、大変助かっています。エコハウスなどの取り組みも熱心なので、今後ともぜひ協力していきたいです。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 30 円のままにしてほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 不法投棄などを考えれば大切である。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 負担はもっと軽いと嬉しい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 他市との料金の違いにびっくりした。安いのはありがたいが。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|-------------------------------------|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | ごみ袋がすぐに破れてしまう。 |
| 女性 | 30 歳代 | 下米田・牧野 | 1 袋 30 円は高い。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | ごみを減らしたいが増すばかり。家で燃やすのはいけないし、ため息が出る。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|---------|--------|--|
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | ごみ袋 1 枚の金額を高くすれば量が減るのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 処理費用を少なくするようにもっと努力するべき。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 蜂屋 | 袋代を 50 円位にして市の負担を市民が負うべきだと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 無回答 | (26)に書いたように、もう少し臨機応変にコストも少なくなるように考えてほしかった。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 自治会加入者と未加入者の不公平感を少しでもなくすため、自治会加入者は自治会を通じてごみ袋を安く購入できるように、未加入者はごみ袋代を高くしたらどうか。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 生ごみの堆肥化をもっと奨励すべきだと思います。(減量作戦) |
| 女性 | 無回答 | 古井 | ごみ袋料金は 50 円くらいでもよい。各家庭でごみを減らす取り組みが必要です。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 値上げが必要です。家庭ごみを減らす目的のために。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 加茂郡にある程度近づけたら 50 円にしてはどうか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 負担金を上げてください。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | ごみ袋 1 枚 30 円は安いので、40 円でもよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 生ごみの減量に努めている(自宅)コンポストあり。ごみ袋は 30 円から 300 円に増額すべし。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | ごみの出し方を考えるべき。畑で出るごみはどうするべきか。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | ごみ袋の大きさによって他の市町村は金額が違うのに、美濃加茂は一律 300 円。少し高いと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 伊深 | 大切な問題です。今ここで何に、と言われても大変です。袋代金を値上げしたらどうですか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | いろいろなものが多いほどごみも増えます。きれいなまちづくりをよろしくお願いします。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 可燃ごみを出さないようにする対策を市で指導していただきたい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | できれば市民の負担を多くしてもよいのではないか。ごみ減量につながるように。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 実費負担の方が、ごみ出しが少なくなる。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | ごみ処理の問題はないか。経費が増えるなど。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 袋料金の増額(関市並)も必要。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | ごみ袋の大きさが不十分。45 リットルのごみ箱に対して小さすぎます。また、自治会名、名前を袋に記入することに抵抗があります。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 分別を多くしては。可燃が減りますから。 |
| 女性 | 40 歳代 | 山之上 | 市民の負担金(ごみ袋代)はもっと高くてもよいと思う。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 全額自己負担にするべき。30 円ではごみ減量の意識が甘くなる。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | ごみ袋を 100 円程度にしてもよい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 1 枚 50 円にしたら。皆のごみ意識も高まるし。 |
| 男性 | 60 歳代 | 下米田・牧野 | 袋代をもっと上げる。60 円程度に。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | ごみ袋料金の値上げ。減量化につなげること。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 市民に、もっとお金を出させてはどうか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 家庭で燃えるものは燃す。台所から出るものは畑に入れる。料金を 5 倍くらいにすると、少なくなる。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 市の負担が大きいと思います。自己負担をあげる必要があると思います。 |
| 男性 | 70 歳代 | 蜂屋 | ごみ袋料金を 50 円以上にして市の負担分を少しでも少なくする。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | ごみ袋の費用をもっと値上げ 30 円～50 円にしてみたいと思います。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | ごみ袋に「処理費用はこれだけです」と書かれていると、ごみの捨て方を考えてしまいます。 |
| 女性 | 50 歳代 | 山之上 | 安価で助かっていますが、減量化のためにも値上げは仕方がない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 八百津、川辺から美濃加茂市のごみ袋を使い勝手に出していることに怒りを乗り越してあきれている。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | ごみ袋の料金をあげてはどうか。1 枚 100 円。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 個人がもう少し負担してもよいと思う。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | ごみ袋料金を少し増やしたほうがよいのではないかな。 |
| 女性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 袋の値を上げれば、やたら燃やすなど不法投棄の心配あり。 |
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 負担金を多くしてもよいかも。 |
| 男性 | 40 歳代 | 加茂野 | すぐに破れてしまうのでごみ袋の改良をしてほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 燃やすなという。経費が高すぎる。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 調査の意図は何ですか。ごみ袋の料金を上げたらどうですか。市の負担分が多いのではないかな。リサイクルを増やす方法を。 |
| 女性 | 70 歳代 | 下米田・牧野 | 農家の方は自分の畑に穴を深く掘って埋めるとよいと思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | 早く値上げするべきです。 |
| 女性 | 20 歳代 | 加茂野 | ごみ袋代が安いので助かっているが、もっと高くすればリサイクルなど積極的にするのではないかな。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | もう少し高くてもよいです。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 可燃ごみ 1 枚を 5 円でも値上げしてもよいのではないかな。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 市の袋はもっと高くてもよい。市の負担を少なく、個人の負担を多くする。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | ごみの分別をもう少し細かくしては。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 赤字なら、袋代を上げるしかないでしょう。(関はチケットがあって無料のはず) |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | ごみ袋料金はある程度負担を増やしてもよいのではないかな。(近隣市町と比較して) |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | ごみ袋一枚の金額をもう少し上げてほしいと思います。そうすればもう少しごみを減らす努力を、する人が増えると思います。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | プラス 50 円程度は負担増も可。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 市民がごみを減らす努力をもっとするべき。その意識改革をすべき。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | ごみ袋料金を値上げしてもよいと思う。30 円から 60 円に。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 資源として利用(リサイクル)できる紙など、再利用の呼びかけをして可燃ごみを減らす呼びかけをしてはどうか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|--------|--|
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | ごみの減量化のため、個人でごみを燃やしたりしているところがありますが、紙などに混ぜてビニールも燃やしているところもあります。(黒い煙が出ているので)個人個人の考え方が問われますが、市では何とかできないでしょうか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | ごみ袋を高くして、利用者のごみ減量化を心がけさせる。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | もう少し住民の負担を多くしてもよいと思います。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | ごみを増やさぬよう分別していきたい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | ごみを集め処理する所は同じなのに、収集の仕方が違うのはおかしい。美濃加茂市は甘い。袋が弱い。1 枚 50 円でよい。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | まだごみの排出量が多いと思います。ごみに対する考え方を、考えていかなければならないのではないかと。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | ごみ袋のお金を、全地域で少し値上げしてもよいと思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | もう少し高くしてもよい。高ければ減らす気持ちにもなると思う。 |
| 男性 | 80 歳代以上 | 古井 | 安いに越したことはないが、他市町村と比較して値上げを検討されたい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 分別仕分けの細分化。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 袋料金を上げることが、ごみ減量につながると思います。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 売る方にも問題がある。ごみにならない包装や容器を減らす工夫など研究すべき。いっそのこと、生ごみ処理機を各家庭に無料配布してはどうか。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 市の財政を圧迫することになり、袋代を値上げすれば、ごみの軽減につながってよい。(1 枚 100 円でよい)100 円になれば、自分でも削減努力をしたいと思います。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | ごみ袋は 200 円程度にしてもよい。余分なごみを出さなくなる。ごみの減少につなげるため。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 私は可燃ごみを 3 週間に 1 回しか出しません。それはとにかく「小さく」「乾燥させる」ことに重点を置くことで可能です。生ごみは新聞紙のマス箱をつくってそこに入れ、外でカラカラに乾かしてから小さくして捨てます。袋ごみ(包装)は細かく折りたたみ、おみくじのように結ぶと広がりにくいです。(ネットで知りました。「大賞」をとったアイデアです) |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 生ごみは花畑に活かしています。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 市の職員がごみ置き場の場所で他市からのごみの流入を防ぐべき。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 市税収入を上手に使ってください。 |

【わからない・その他】

意見なし

(29) 生ごみ処理機などの購入補助

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|-------------------|
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | (28)と関連した必要な処置です。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | 利用したい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | よいと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | いたれりつくせりという感じ。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 自治会に自立させたいため。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 環境保全のため推進。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | ほしいですね。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | ぜひ利用したい。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | それでごみが減るのがわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 補助をすることで減っていますか。結果が出ていなければ止めてもよいと思う。この程度だったら誤差範囲レベルではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 必要ない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 住宅事情により、エコな生活が難しい。自分で生ごみが処理できればよいですが、夏場にアウト。よい方法がない。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 本来は自己責任でやるべきです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 私の自治会で利用しているのを見たことがない。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | あまり使っていないのではないか。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 制度の認識不足。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | 大分前に購入しましたが、あまり使っていません。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 生ごみ堆肥化容器など、住宅では畑や庭がないのに設置が難しい。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|--|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 機械による補助金よりも意識改革を推進。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 全額補助。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 用途はわかりますが敷地のない方は。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 購入したいですが、その費用がないので、希望者(家庭)には購入しやすい価格で手に入るように教えてください。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | もっとPR すべきだと思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 水切りバケツについてもっと広報をすれば広がると思う。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 購入者が少ない。PR が足りないのではないか。 |
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | 他の人のごみを見ていると、袋に水がたまっていたり、夏場は虫が寄っていたり。腐った臭いがします。水分がないだけでごみはかさかなり減り、軽くなります。ごみ袋にも水を切ることが印刷されていますが、具体的にアイデアを示さないと、実行されないいつも思っています。市報などにも具体的な方法をイラストなどで公開したらよいと思います。そうしたら市の負担も減ると思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 補助件数が対前年度減少しているのは PR 不足ではないか。ごみ袋を値上げすれば補助件数が上がるのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 袋代を上げればごみは減るのではないか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 補助について、あまり知られていないように思います。資源物やペットボトル、紙ごみの収集日を増やすこと。いつでも出せる布ごみのコンポストを使ってもらえると、可燃ごみが減ると思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 申請の仕方がわかりにくい。ケーブルテレビを使って減量作戦を伝えていくべき。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | もっと PR が必要。知らなかったので。 |
| 女性 | 60 歳代 | 古井 | 購入しやすいシステム。買った時に申し込みを書くなど。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 面倒でないかなど、場所を考えるとどうも実行できていないです。楽しく気軽にできるとよいなと思います。 |
| 女性 | 50 歳代 | 伊深 | もっと広く知らしめるべき。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 貸し出しシステムがあってもよいのではないか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 減量化に努めている家庭や、対象について啓発をする。表彰や事例発表する。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 設置する土地がない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | ごみを減らすために、もう少し生ごみ処理機を宣伝、安く提供してみてもいい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 補助ではだめと思う。長い目で見れば、無料配布して使ってもらえばトータルコストは安くなるのではないか。 |
| 女性 | 70 歳代 | 下米田・牧野 | 冬期の間は花壇のような小さな畑でも深く掘って生ごみを埋める。夏になるとサラの土ができる。米のとぎ汁も入れるとよい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 太田 | スーパーやホームセンターで買ったものは、ごみ箱に入れてきます。ごみをたくさん出さない。 |

【わからない・その他】

意見なし

(30) 事前点検による安価で良質な公共工事の実施

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|------------------------------------|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 不正がなければよいと思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | これからもよろしく願いいたします。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 工事、および材料などの軽減はできないでしょうから、期待していません。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | しっかりと縮減して行ってほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | もっと努力してください。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 質が落ちなければ進めるべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | よろしく。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 減らすことはとてもよいが、まだまだなぜ、という工事も多いのではないかな。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 年度代わりになるときまって掘り返し、舗装しなおす。むだ遣いではないのかな。 |
| 男性 | 30 歳代 | 山之上 | 品質の低下。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 数値目標の根拠が不明。早ければよいという流れになりやすい。 |
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 直した道路がボコボコ。一部工事するので、見栄えもよくないし、段差ができて危険。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 駅前通りの通路のメンテばかり力が入っているように思う。OS 通りや白線が消えかかっているところをメンテすべき。駅前ばかり力入れるのは、誰か議員が動いているのかなと思ってしまう。 |
| 男性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 基準が低く、会社はやっていけない。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 安全面の確保ができればよい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 工法などによるコスト削減には限界があり、目標自体に無理がある。 |
| 男性 | 30 歳代 | 加茂野 | コストを減らすと品質が落ちるのではないかな。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 完成後、安価で良質な場合は、その企業に対し、特典があるとさらによい。評価などによる公共工事以外の仕事が増えるようにする、など。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 工事だけでなく、市が発注する工事以外の物品購入関係も見直してもらい、税金を有効的に使う。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 業者のためでなく、市民の立場で実施。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 依業者の単価切り下げにならないことも必要ではないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 山之上 | もっと縮減が必要。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 工事終了で終わりではなく、一年後などに点検をして、適正工事か把握を。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 評価結果が重要。平成 8 年の設定が適正か。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 適度な縮減は手抜き工事にもつながる。適切な価格で発注を。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 里山保護のため、安全で丁寧な工事をしてくださるところをお願いしたいです。いつも、里山保護をいつも心がけてくださるところに、お願いしたいです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 縮減は大切であるが、難易度も考えること。生活に大切なことも加味する。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 工事の前に工事の必要性、改善見込みをもう少し考えてからの工事にしてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 国内だけでなく、他国で同様の工事を実施した場合のコストとの比較も必要です。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--------------------|
| 男性 | 30 歳代 | 太田 | 何のことだかわかりません。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | わかりません。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 何でも使ってみたいけど、知りません。 |

(31) 事業選択による借金残高の削減

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|---------|------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 健全財政を目指してもらいたい。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | がんばってください。 |
| 女性 | 80 歳代以上 | 太田 | さらに加速していただきたい。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | これからの時代、収益のある市経営を。目標借金 0、利益で市政を。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | よい取り組みだと思う。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 下水道の整備は、生活環境のグレードアップ事業として借金事業ながら適切と思う。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | いろいろ見直しで借金を減らしてほしい。税金をむだにしないで。 |
| 男性 | 20 歳代 | 加茂野 | 自然災害は起きるものとして考え、どんな災害に対しても迅速に対応するためにも、借金はしないような対策をよろしくお願いします。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 将来世代の負担を少なくすることは、ものすごく大切です。もっとがんばって借金をなくしましょう。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 借金はできるだけなくすることが基本。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 将来のツケを少なくするためよいことです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 最重点で取り組むこと。人件費、職員数減などもっと取り組む。市民の模範になるような人材の採用必要。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | このまま進めば 0 になる方向が見えてよいと思います。 |
| 女性 | 60 歳代 | 太田 | 国も市も次世代に借金を残すべきでないと考えています。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|--------|--|
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 他の市から比べると、下水道料も工事費も高い。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 下水道に切り替え、自宅のマンホールの清掃が大変。日常的に、特に台所の排水に気を使う。油類はほとんどティッシュでふき取り、ラーメンなどの汁ものも流さないが汚れる。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 市会議員の顔づくりでつくった不要な道路がありすぎると思います。誰が通るの、と思う道路です。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 関市よりの道路、下水路の整備は行われていない。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 下水道は高望みすぎ。浄化槽でよい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 加茂野町で一軒のために 7,400 万円もかけ水道が引かれているが、市会議員のところだけはよいのか。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | これほどの借金は解決するのか。以前にどうにかならなかったのか。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | こんなに借金をつかった行政、何を考えてお金を使っていたのでしょうか。腹立たしいです。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 本当に下水道整備は必要だったのか。まだできていない所も多いと聞きます。無理があったのではないか。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | 借金してまですることが必要なのか。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 借金をここまで膨らませた責任は誰が取るのでしょうか。むだをなくす。市長の運転手は必要ですか。我慢をさせるなら、まず自分たちからやるべきです。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | もっと予算を見直して、削減していくべきです。選択と集中が大事だと思います。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 借金は困るけれど、防災時のために道路整備は必要。 |
| 女性 | 無回答 | 古井 | 土木、水道が同じ時期に工事をあわせ、何度も道路を掘らない手段はないか。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 次世代への負担軽減をもっと推進すべきです。ただ、道路整備は新規整備をなくし、維持を優先すべきです。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 達成の保障。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 無借金が理想ですが、目標を設定してクリアしても、目標を下げずにその分を有効に使用し、市の発展につなげてほしい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | ライフラインの整備が必要です。 |
| 男性 | 40 歳代 | 太田 | 公共事業以外でも見直しが必要。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 借金残高を 0 にする。 |
| 女性 | 70 歳代 | 下米田・牧野 | 浄化槽は悪臭が出て、風下では耐えられません。下水道に変われということは無理だと思いますので、そういう家庭には、防臭の方法を推奨してほしいです。私は今では下水道にして快適ですが、前に住んでいた家では、そうだったので痛切に思います。 |
| 男性 | 60 歳代 | 加茂野 | 基準がわからない。 |
| 男性 | 40 歳代 | 古井 | 平成 27 年の目標達成を目指してほしい。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | やらないといけないメンテができず、やらなくてもよい工事を控えてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 事業選択は重要なことです。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 下水道整備されたのに、各家庭がまだ工事していない方が多いのは問題だと思う。そちらも推進しないと意味がない。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 実施していることが目に見えるようにしてほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 古井 | そもそも借金をしてやるのはおかしい。予算内で必要な部分を整備するのが当然。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|--|
| 女性 | 70 歳代 | 加茂野 | 経済がよくないので、市民も我慢すべき。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 下水道は、5 か年で実施しようと言っていたが、まだまだやっていない人が多いと思う。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | 市職員の賃金 5～10%カットすること。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 事業の見直しも大事であるが、職員の給与の削減を。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 水道代が高いので、無理に整備はいらない。現世代がすでに苦しい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | もっと借金返済に努めるべきです。地域ブランドなどにお金をかけている場合ではない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 借金をしてまで工事する必要はないと思う。税金をむだ遣いせず、むだなことは削減してほしい。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 公務員のむだをなくしてほしい。価値のある税金の使い方をしてください。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|------------------------------------|
| 女性 | 50 歳代 | 太田 | 都市ガスなどの利用はどうするのか。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 心を一つに。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 具体的な実施内容がわからないのにコメントできません。借金返済は重要。 |

(32)「定住自立圏構想」の推進

【事業を評価している意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|------|---|
| 男性 | 60 歳代 | 山之上 | 地域の連携が大事です。大いに推進していただきたいです。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 市だけでなく、加茂郡の町村との連携は重要である。 |
| 男性 | 50 歳代 | 太田 | 非常によいことだと思います。今後の発展に期待します。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 高齢化社会になるほど必要になってくる。 |
| 無回答 | 70 歳代 | 古井 | 地域間の密接な関係を維持しての協定は大いに賛同します。 |
| 女性 | 50 歳代 | 加茂野 | 施設を共同で使ったり講座を合同で行ったりして、関係を深め、お互い市と町がサービス向上につながると思います。富加にある児童館を美濃加茂の人も利用する、美濃加茂にあるプールを富加の人も使うなど。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | がんばってください。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 当たり前。 |
| 男性 | 50 歳代 | 加茂野 | 美濃加茂市が中心となって、地域の役割分担をすることが大切です。 |
| 女性 | 20 歳代 | 古井 | お互いが協力し合って、よい方向につながっていければよいと思う。 |
| 女性 | 70 歳代 | 古井 | 一度破綻した合併問題に発展しないよう考慮して、定住自立圏型を歓迎してください。 |

【事業を評価していない意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|---|
| 男性 | 30 歳代 | 古井 | 正直、事業の内容がわかりづらいです。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | 合併で考え出された経費の削減などができているのか。補助金をもらうためなのか、成果が出るのかまったくわからない。 |
| 男性 | 30 歳代 | 蜂屋 | 価値のないものはいらぬ。むだな金は使わない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 加茂野 | 街に活気がない。不便なので、年をとってからずっと暮らしたいかと問われると考えてしまう。 |
| 男性 | 60 歳代 | 太田 | この一件は決まったこと。 |

【今後の事業の課題に関する意見】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|--|
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | 東白川村など、遠いところはどうなのでしょう。 |
| 女性 | 50 歳代 | 蜂屋 | この地域に安心して住みたいと思えるよう、特に福祉サービス、高齢者には限らない人たちの支援を、事業をお願いします。 |
| 男性 | 60 歳代 | 古井 | もっと拡大すべき。 |

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|-----|-------|--------|---|
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | よいことを進めていかれることはよいのですが、それを知っている方がどのくらいいるのか。役所の人か何か役員をやっている方くらいに限られているのではないのでしょうか。勉強不足で申し訳ありませんが今回このようなアンケートが来て知った内容が多々ありました。ということは、ほんの一部の方しか大切な内容なのかわかっていない人がいると思います。もっと身近に、いろいろなことが知れるようになるとよいと思います。なんでも太田にこだわるのは、もう古いと思うのですが。生意気でごめんなさい。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | 福祉を重要に。 |
| 女性 | 50 歳代 | 古井 | PR 不足。 |
| 女性 | 50 歳代 | 下米田・牧野 | 7 町村と交流は大切だと思うが、いろいろ既成事実をつくって合併しました。ということだけはやめてほしい。必ず住民投票をしてからにしてほしい。 |
| 男性 | 50 歳代 | 古井 | 何が魅力なのか、住民アンケートを実施したらどうか。今の美濃加茂では魅力を感じられない。 |
| 女性 | 30 歳代 | 太田 | ファミリー・サポート・センターはもう少し安くしてほしい。緊急時になかなかお願いするのが大変。土日は頼めない。 |
| 女性 | 40 歳代 | 蜂屋 | 貴重な里山を中心とした市づくりを目指して行ってほしいです。全国にPRして、たくさんの人に美濃加茂の里山を知ってほしいです。ぜひお願いしたいです。(NPO の方たちにも協力してもらって)せっかくある貴重な里山を今後も大切にしていってほしいです。(一度失ったものをもとに戻すのはとても困難なことです) |
| 男性 | 60 歳代 | 三和 | 市と町村合併を今からでも進めてほしい。町村の謙虚さがあれば。三和、伊深、富加の小中学校を早く統合してほしい。 |
| 女性 | 30 歳代 | 加茂野 | 左の事業の前に、どこに住もうか決める際に重要視されるところから(医療費や保育、新築時に必要な項目など)充実してみてもいい。 |
| 男性 | 60 歳代 | 蜂屋 | まず美濃加茂市の生活UPをめざして下さい。 |
| 女性 | 60 歳代 | 蜂屋 | 市の負担割合がどの程度かわからない。市民も望んでいることをやるべき。 |
| 男性 | 70 歳代 | 古井 | 合併すべきである。 |
| 男性 | 70 歳代 | 太田 | (31)と矛盾しないか。 |
| 無回答 | 無回答 | 無回答 | 人間は 5 万人から 3 万人の人口くらいがよい。 |

【わからない・その他】

| 性別 | 年代 | 居住地区 | 意見 |
|----|-------|------|-----------------------|
| 女性 | 40 歳代 | 古井 | よく聞く言葉ですが内容がよくわかりません。 |
| 男性 | 70 歳代 | 蜂屋 | 事業団体みんな協定を結んでいます。 |

平成 23 年度
美濃加茂市市民満足度調査
自由意見報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431-1

TEL : 0574-25-2111

FAX : 0574-25-3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp

(1) 「すぐメールみのかも」の開始

タイプ IV

重要度得点 4. 0 7

満足度得点 3. 3 8

【調査項目】 平成23年4月1日から、緊急災害情報、防犯・防災情報、子育て情報など、暮らしに直接結びつく情報を携帯端末やパソコンへメールで配信する、「すぐメールみのかも」を始めました。

【考えや今後の取り組み】

すぐメールみのかもは、市民の皆さまが安全で安心な生活を過ごすことができるように、緊急災害情報、防犯・防災情報、子育て情報、健康情報など、暮らしに直接結びつく情報を、お手持ちの携帯電話やパソコンにメールで配信するサービスとしてスタートしました。

皆さまからは、「災害時に非常に有効」、「早い情報で非常に満足している」といったご意見をいただく一方で、「利用者が少ない」「知らなかった」など、PR不足のご指摘や、「携帯、パソコンが苦手で使えない」といったご意見もたくさんいただきました。

現在、美濃加茂市では、災害等がおこった際には、防災無線、すぐメールみのかも、携帯会社による緊急速報メール（エリアメール）、ホームページ、twitterによる情報発信に加え、携帯端末やパソコンをお持ちでない方にも、テレビ（CCNet）、ラジオ（FMらら）を通じて緊急情報をお伝えできる体制を取っております。

「すぐメールみのかも」も災害時における情報発信の重要な手段のひとつとして考えており、今後、ご利用いただいていない方々へのPRに力を入れていくことが必要だと考えております。

また、携帯電話の操作が苦手な方につきましては、市の職員が登録のお手伝いをいたします。受信する情報の分野を選択することも可能ですので、ぜひ登録をお願いしたいと思います。

回答課：市政情報課

(2) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用

タイプ III

重要度得点 3. 7 4

満足度得点 3. 1 9

【調査項目】 生涯学習センター（旧中央公民館）は、生涯学習を推進する拠点として、各種講座や活動及び会議などに活用されています。

【考えや今後の取り組み】

旧中央公民館は、市民の自発的な生涯学習活動による地域の交流や連携、市民協働によるまち

づくりを推進する拠点とするため、平成23年度から、生涯学習センターに移行しました。移行後は、これまでの行政側が企画する講座に加え、市民が自らの生涯学習の成果を活かし、企画から運営までを行う市民企画講座や、地域の課題を発見し、その課題を解決するために自身の知識や技術、経験を役立て、社会的生活の充実を図る「地域づくり型生涯学習」を実施しています。

一方、利用者の固定化や施設維持管理経費削減という課題も指摘されており、この状況を改善し、より多くの皆さまに利用していただけるよう、行政コストに基づいた使用料金体系の整備に努めます。

今後も、行政だけではなく、各種団体、さらには、周辺の自治体とも連携を図りつつ、また、民間企業などのノウハウを活用した講座や、従来の手法に捉われない新たな講座を開設する等、これまで以上に、市民ニーズに適応した、学習機会の充実を図ります。

回答課：生涯学習課

(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化

タイプ III

重要度得点 3. 5 4

満足度得点 2. 9 1

【調査項目】 各種スポーツの市民大会を開催し、スポーツの振興、市民の健康保持や住民間の親睦を図っています。(種目：バレーボール、水泳、バドミントン、陸上、卓球、ソフトバレーボール、野球、ソフトボール)

【考えや今後の取り組み】

スポーツの市民大会を開催することで、スポーツ振興はもとより、市民の皆さんの健康保持や親睦、さらには地域活性化が図られることを目的としております。

今後も市民の皆さんが楽しんで参加していただけるために、スポーツの種類や大会のあり方などについて、大会運営に協力していただいている美濃加茂市体育協会の各種目団体や美濃加茂市スポーツ推進委員協議会と協議を重ねながら開催していきたいと思っております。

また、定住自立圏協定締結町村とも連携を図り、より多くの方がスポーツに参加・親しんでいただけるように大会内容や周知方法についても検討していきたいと考えております。

回答課：スポーツ振興課

(4) 前平野球場の利用

タイプ III

重要度得点 3. 7 0

満足度得点 3. 1 4

【調査事項】 市を代表する前平野球場は、土のグラウンド(芝を張る必要がないグラウンド)のため高校野球など硬式野球はできませんが、スポーツ振興などの目的で、各種軟式野球大会やレクリエーション等に利用されています。

【考えや今後の取り組み】

前平野球場は、軟式野球のみではなく、ソフトボールやグラウンドゴルフ、駅伝大会のゴール、その他各種レクリエーション大会などに使用されています。

大会ごとに主催が違いますので、参加条件や周知方法が大会によって異なりますが、より多くの方にご参加いただけるように大会情報を収集し、発信方法も広報だけではなくホームページや情報誌など周知媒体を広げられるように検討していきたいと思います。

硬式野球については練習試合等での使用は可能としておりますが、全国高校野球大会岐阜県予選大会等の大きな大会は、芝以外にも広さやフェンスの高さなど複数の条件に適合しておりませんので開催することはできません。また、芝グラウンドにすると毎年の維持管理費用もさることながら養生のための使用制限を設けることになり、現在でも利用希望者が多いために調整・抽選で十分な利用ができない中、更に市民の皆さんの利用機会を減少させると推測できるため、慎重に検討していきたいと思います。

このため前平球場は老朽化に伴う修繕を行いながら美濃加茂市のメインスタジアムとして多目的に活用していきたいと考えています。また、使用料につきましては建設当初の価格で据え置いて参りましたものを年間維持経費、利用者負担割合等を参考に見直したいと考えております。

回答課：スポーツ振興課

(5) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化

タイプ III

重要度得点 4. 1 0

満足度得点 3. 3 3

【調査項目】 市民活動サポートセンターでは、ボランティア活動をする個人や団体と依頼者間の調整を行ったり、ボランティア養成講座を開いたりして、市民活動の活性化を図り、まちづくり活動への参加を促進する事業を行っています。

【考えや今後の取り組み】

ボランティア活動の活性化は、地域の活性化につながり、まちづくりの重要な要素のひとつであると考えています。今後も、こうした活動を支援し、自立した市民活動団体やNPO法人の育成を推進します。また、団体のネットワークづくりを目的とした講座の開設等、市民のまちづくり活動へ参加を促進する事業を展開し、新たな市民活動ニーズの掘り起こしに努めます。

一方、「市民活動サポートセンター」の認知不足が指摘されています。センターがどのような機関であり、また、どのような活動をしているのかを十分周知できるよう、さらに、積極的な広報活動を行います。

回答課：生涯学習課

(6) 自治会活動による住みよい地域づくり

タイプ III

重要度得点 4. 43

満足度得点 3. 39

【調査項目】 自治会は185あり、ゴミ集積場や防犯灯の管理、清掃活動のほか、子ども、高齢者への福祉活動や運動会、ソフトボール、野球などの体育振興活動により、住民が協力して、互いに支えあい、住みよい地域づくりがされています。

【考えや今後の取り組み】

東日本大震災をはじめ、大雨による被害などにより、市民の皆様の重要度が4. 43と非常に高くなっています。しかし、満足度としては及第点レベルの3. 39になっている点が課題と捉えています。

自治会活動は、地域が自主的に取り組む活動になりますが、活動促進のための自治会交付金などの交付や自治連合会における加入促進と合わせて、地域課題解決に向けた「まちづくり協議会」を促進し、自治会との連携により住みよい地域づくりを目指します。

回答課：地域振興課

(7) 企業誘致や雇用対策などの産業振興

タイプ I

重要度得点 4. 15

満足度得点 3. 22

【調査項目】 企業が市内に工場を新設、増設などをした場合の税金（固定資産税）や、その企業が市内従業員を10人以上（中小企業は5人以上）雇用している場合に奨励金を払い、企業誘致や雇用対策など産業振興を行っています。*そのほかにも交付対象には、要件があります。

【考えや今後の取り組み】

企業誘致を進める目的は、市内における雇用の拡大を最優先課題としています。雇用が発生することによって、経済的な活性化、人口の増加等の効果が望めます。

当市の奨励金制度は、事業所設置奨励金と雇用促進奨励金とがあり、事業所設置奨励金は固定資産税相当分を払い戻す制度であり、雇用促進奨励金は正社員の採用に対して奨励金を交付します。

現在、蜂屋町中蜂屋に「豊富な水資源」「安定した地盤」「便利な交通アクセス」を特色とした企業団地を造成して雇用の創出を目的として企業誘致に取り組んでおります。

企業にとって進出しやすい環境を形成することで市内の活性化につなげたいと考えております。

回答課：商工観光課

(8) 商店街実施イベントへの補助金交付

タイプ III

重要度得点 3. 4 4

満足度得点 2. 5 1

【調査項目】 中心市街地や駅前通りのにぎわいや活気を取り戻し、魅力あふれるまちなかにする目的で、商店街が行うイベントなどに対して補助金を交付しています。

【考えや今後の取り組み】

中心市街地での活気を取り戻してもらうことを目的に補助金制度を設けましたが、充分生かされていないと痛感しております。

市の政策として補助金の交付だけに頼らず、抜本的な活性化のための政策が必要と考えております。

時代の潮流により中心市街地のあり方が変化しておりますので、商業者と連携を取り消費者が求めているものを研究し活性化に繋がります。

回答課：商工観光課

(9) “おん祭みのかも”への助成

タイプ IV

重要度得点 4. 0 6

満足度得点 3. 5 5

【調査項目】 主催する実行委員会に市から補助金を出して、“おん祭みのかも”（「夏の花火大会」、「秋の中山道まつり」）を開催しています。

【考えや今後の取り組み】

おん祭みのかもは市を代表するお祭りとなりました。特に花火大会は楽しみにしてくれている方がたくさんみえて感謝いたします。

ご意見にありますように花火大会も中山道まつりも「マンネリ化」の傾向があります。楽しみにしてもらえている方には新鮮さを感じられ、またあまりお越しになられたことがない方にも魅力あるイベントを考えることで「おん祭みのかも」が地域の自慢できるイベントに成長できるよう努力をいたします。

回答課：商工観光課

(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付

タイプ II

重要度得点 4. 5 8

満足度得点 3. 4 6

【調査項目】 地域の防災力強化や自主防災組織の意識の高揚を図るため、自主防災組織、自治会、自警隊が行う防災訓練、防災器具庫の整備や防災設備の設置などに補助金を交付しています。

【考えや今後の取り組み】

東海・東南海・南海地震等の大地震が発生する恐れが日増しに高まっています。そのため、災害時に地域住民が互いに助け合うことができる連帯感や地域の自主防災力を強化することが大切になってきます。

また、自警隊や災害協力隊などの地域を中心とした自主防災組織の防災活動を活発にし、地域防災力を強化する必要があります。

市としましては、防災意識の高揚及び防災体制の充実を促進するため、自主防災組織や自治会が行う防災訓練、防災器具庫の整備や防災設備の設置に係る事業に対し補助金を交付しています。

今後も地域を中心とした地域の防災活動を活発にし、地域の防災力の強化を図っていきたくと考えておりますので、自主防災事業補助金を活用していただき、地域の防災力をより強化していただきたいと思っております。

回答課：防災安全課

(11) 地域の実情にあった防災訓練の実施

タイプ I

重要度得点 4. 5 5

満足度得点 3. 3 2

【調査項目】 地域の防災力を高めることを目的に、市民・地域が主体となって地域の防災訓練を計画し、地域の実情にあった防災訓練を市内8箇所で行いました。

【考えや今後の取り組み】

平成7年に発生した阪神・淡路大震災の経験などから多くの教訓を得て、防災力の向上に努め強化を図ってきましたが、東日本大震災により、今まで以上に災害についての備え・防災体制の確立が必要となりました。

また、近年、局地的で短時間の集中豪雨による豪雨災害や台風による大水害など、各地で想定以上の被害が発生しています。

このような中、市においても、今まで隔年で実施していた防災訓練をより効果的にするため、平成23年度から防災訓練を毎年実施することとし、市内8箇所で行いました。訓練の計画段階から地域で検討してもらい、地域の実情にあった防災訓練を計画・実施することで、約2,800人の参加を得ることができました。

東日本大震災では、日常的に訓練を実施していた地域やコミュニティーの密な地域の避難がうまくいった事例が多くあります。防災訓練を通じて、自治会、自主防災組織、消防団、各種団体が連携をより強化し、地域を中心とした地域防災活動を活発にするとともに地域の自主防災力を強化していきたいと考えます。

平成24年度の防災訓練の日を10月28日とし、市内全域で防災訓練を実施することにより、全市民の連帯感と市民一人ひとりの防災・減災の意識を高めていきたいと考えます。

回答課：防災安全課

(12) 防犯活動の物品購入に係る費用一部助成

タイプ I

重要度得点 4. 3 4

満足度得点 3. 3 1

【調査項目】 23年度から、市民・事業者・市が協働して犯罪を防止するため、自主的に防犯活動を実施する団体に対して、防犯活動の物品購入に係る費用の一部を助成しています。

【考えや今後の取り組み】

「安全で安心できるまち」の実現をめざすため、平成22年度に「みのかも防犯まちづくり推

進計画」が策定されました。

その計画を市民、事業者等及び市が協働して防犯活動を推進するため、自治会や自主防犯組織等の各団体で必要な活動物品や啓発物品に対して、購入費用の1/2以内かつ、1団体について1会計年度に5万円を限度として補助を行なっております。

今後は、防犯活動の紹介や補助可能な啓発物品のホームページ掲載、各自治会や市内で活動している団体との連携強化など、市民の皆さんにこの助成をもっと活用していただけるようPRに努め周知を図るとともに、「みのかも防犯まちづくり推進計画」で掲げた6つのプロジェクト事業により、防犯活動を推進してまいります。

回答課：防災安全課

(13) 防犯灯の維持管理費の一部補助

タイプ I

重要度得点4.68

満足度得点3.61

【調査項目】 防犯灯は、自治会の要望により市が設置し、維持管理は自治会で行っています。その維持管理費の一部（電気料の2/3）を市が自治会に補助しています。

【考えや今後の取り組み】

防犯灯については、前年度1年間の電気料の3分の2を自治会へ補助金として交付しています。平成23年度からは、新たに設置する防犯灯をLED型にすることにより、自治会の負担軽減を図っています。

また、今年度から、市で設置した防犯灯だけでなく、自治会で設置され、防犯灯電気料補助金交付規則に該当する防犯灯の電気料も同様に補助することとしました。

夜間の犯罪等を未然に防止するためには、防犯灯の設置は有効な手段のひとつであり、地域の安全を守るために、自治会（地域）と市が一体となって取り組んでいきたいと思っています。

今後も防犯灯電気料の補助を継続していきますので、自治会での防犯灯の維持管理に、ご理解とご協力をお願いします。

回答課：防災安全課

(14) 介護予防支援事業の実施

タイプ II

重要度得点 4. 5 5

満足度得点 3. 5 1

【調査項目】 高齢の方に住み慣れた地域で安心して生活していただくため、専門職員による「高齢者の総合相談」をはじめ、介護予防プラン作成など介護予防支援事業を実施しています。

【考えや今後の取り組み】

長寿支援センター（地域包括支援センター）は、高齢者のみなさんが、住み慣れた地域で安心して生活していただくために、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支援をする機関です。

総合相談支援では、高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつないだり、介護予防等に関する情報の提供をします。

高齢者等が地域生活に困難を抱えた場合には、地域の福祉関係者等と連携をとり、高齢者が地域で尊厳のある生活を維持できるよう、専門的・継続的な視点から支援を行います。

介護保険申請の結果、要支援と認定された方には、介護予防プランを作成し、状態に合わせた介護予防の支援をします。

こうした、高齢者の皆さんに直接支援するほかに、地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるよう支援や指導を行うとともに、より暮らしやすい地域にするため、医療機関を含め、様々な関係機関とのネットワーク作りにも力を入れています。

専門的な知識が必要とされることも多く、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職がこれらの支援をしています。

介護等相談したいことが身近におこった時、困ることなく長寿支援センター（地域包括支援センター）をご利用いただけるように、PR 活動に努め、事業費も十分考慮しながら、高齢者のみなさんが地域で自立して生活いただけるよう今後とも意見をお伺いしながら介護予防支援事業を実施してまいります。

回答課：長寿支援センター

(15) 75歳以上の方の健診費用無料化

タイプ II

重要度得点 4. 3 2

満足度得点 3. 6 2

【調査項目】 病気の予防、早期発見、治療につなげるために実施しているがんなどの健診の一部負担金を、75歳以上の方について無料にしています。

【考えや今後の取り組み】

平成22年度 美濃加茂市における死因別の割合を見てみますと、三大生活習慣病と言われる「がん」「脳卒中」「心臓病」の他いろいろな要因はありますが、がんが原因で亡くなった人は全体の25%を占めています。がん死亡者の年代では75歳以上が約52%を占めており早期発見、早期治療が鍵で、いかに受診率を上げるかが大きな課題となっています。

市では多くの人にがん検診を受診していただくため、40歳～60歳の特定年齢の人には、大腸がん、乳がん、肝炎ウイルス検診を、20歳～40歳の特定年齢の人には子宮頸がん検診を無料で受けていただけるよう個別に案内していますが、受診率はいずれも20%を下回る状況となっています。

がん検診等の受診率の向上は全国的な課題ではありますが、「健診費用無料化がなぜ受診率向上に結びつかないのか」その原因をさぐる事が先決と考えており、無料化の年齢拡大については今後の検討課題と考えています。

「自分の健康は自分で守る」を合言葉に、せっかくの検診機会を無駄にしないよう積極的に受診していただきますよう、ご協力をお願いします。

回答課：健康課

(16) 中学校卒業までの子どもの医療費無料化

タイプ II

重要度得点4. 21

満足度得点3. 64

【調査項目】 乳幼児医療費の無料化を中学校卒業までの子どもを対象に実施しています。無料化は、手軽に医療を受けられますが、病院では救急で医療が必要な方をすぐに診療できない事態も起きています。

【考えや今後の取り組み】

この事業は、すでに始まっている少子高齢化の時代を見据え、子育て世代に美濃加茂市に住んでもらい、将来のまちづくりの担い手である子どもたちを、安心して産み育ててもらえる重要な取り組みのひとつです。

現在の社会情勢の中で、経済的支援となるこの制度は、重要度を増しています。初期の適正な受診で大事に至らずに済むこともあることを考慮しつつ、不要不急の受診がないよう啓発に努めていきます。

回答課：福祉課

(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

タイプ III

重要度得点 3. 6 7

満足度得点 3. 0 6

【調査項目】 市内には、12箇所（266部屋）の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。

【考えや今後の取り組み】

入居に際しては、市営住宅入居者選考委員会で協議しておりますが、国の法律や市の条例に定められた基準により、住宅困窮度の高い方から入居できるよう決定しております。入居後も毎年収入申告をしていただき、税務調査を行った上で家賃を決定しております。

また、入居後に基準を上回る所得となった方は、退去していただくなどの措置を講じております。

維持管理費に関しては、住宅の老朽化が進んでいますが、入居者の方の生活上必要最低限の修繕を行っております。

民間賃貸住宅の空室の活用などは、既存住宅の維持管理も含めて効果的な方法を検討して参ります。

回答課：総務課

(18) 保育園での一時保育の実施

タイプ II

重要度得点 4. 5 5

満足度得点 3. 5 6

【調査項目】 保護者が就労や疾病などのため、家庭で保育できないお子さんを週3日程度、一時的に保育園でお預かりしています。（対象児童：生後8ヶ月から小学校就学前児童）
（実施場所：太田第一、山之上、明応保育園（定員各6名））

【考えや今後の取り組み】

現在、一時保育については、太田第一保育園及び山之上保育園の2ヶ所において、定員各8名で実施しています。

利用者の方のご希望にお応えしていると思っておりますが、今後利用者が増加し、頻繁に定員を超えるような状況になる場合は、他の保育園の定員を調整しながら、受入れを検討していきたいと思っております。

回答課：こども課

(19) 学童保育の実施

タイプ II

重要度得点 4. 5 7

満足度得点 3. 6 0

【調査項目】 学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童を対象に、放課後や長期休暇中などに、保護者に代わって保育を行っています。
(保育料は、月曜から金曜日利用の場合、月5, 000円です。)

【考えや今後の取り組み】

今年度は、試験的に夏休み期間中のみ小学4年生の児童の受け入れを実施しました。

来年度以降については、定員に余裕がある教室から順次、4年生児童の通年での受け入れ体制を整えるとともに、夏休み期間中については、5年生以上の児童の受け入れも検討したいと考えています。

回答課：教育総務課

(20) 「フロム0歳プラン」の推進

タイプ III

重要度得点 3. 8 2

満足度得点 3. 1 1

【調査項目】 市では、0歳から18歳までのロングスパンで、子どもを地域ぐるみで育てることに重点をおいた、「フロム0歳プラン」を進めています。

【考えや今後の取り組み】

0歳から18歳までの積み上げと幼保小中高連携を重視する「ロングスパン教育」、学習の場や他者との関わりの機会を広げる「面による教育」、学力向上のための「授業改革」を3本柱として、自己に厳しく、人にやさしく、たくましい子どもの育成をめざしている「フロム0歳プラン」です。

保育園や幼稚園、学校において実践される教育活動が基本的な活動ですので、保護者以外の市民の皆様には具体的な内容が伝わりにくいかもしれません。そこで、教育委員会ではリーフレットを作成し、いろいろな場で広報するよう心がけています。また、学校だよりや園だより、ホームページ等には3本柱を具現する子どもたちの姿が紹介されています。市民運動会などの市民行事において活躍する中学生ボランティアも、このプランの一環です。保護者以外の方も自由に授業参観ができるほほえみ参観日（各学校が毎月1回実施）等を利用して学校の様子を見ていただくと、このプランの一端をご理解いただけるかと思えます。また、少年の主張美濃加茂大会、みのかもの子どもをたくましく育てるつどい、子育て講演会などの行事はこのプランの一環として実施しています。

このプランにより次のような効果があると考えています。まず、子どもの育ちを保育園や小中

学校で分断するのではなく、教師や保育士、地域の人々が子どもの発達課題を共通理解し、情報交換等によってより多くの人に関わり、地域の子として連続的に育てることの教育効果は大きいととらえています。また、子ども達の学習の場を学校や家庭以外に広げ、幅広い知識や経験を持つ指導者から専門的な知識や技術、社会性、道徳心を学ぶことができます。そして、興味関心を高め、理解を深める授業の改善と家庭学習の積み上げにより、一人一人の学力を高めます。

10月27日には美濃加茂市において岐阜県PTA研究大会が開催されます。これを機に、母親代表による話し合いや家庭教育学級の推進等により、母親の交流を深めていこうと考えています。また、毎年実施しているF-0（フロム0歳プラン）公表会を、今年は11月2日に伊深小学校において行います。ぜひ、ご参観いただき、フロム0歳プランについて少しでもご理解いただけたらと願っています。

回答課：学校教育課

(21) 文化の森での小中学生や幼児の学習

タイプ IV

重要度得点 3. 99

満足度得点 3. 56

【調査項目】 文化の森では、小中学生や幼児を対象に文化の森の特長を生かした、博物館ならではの学習を、学校などとともに行っています。

【考えや今後の取り組み】

文化の森で行っている学習活動について、好意的な評価をいただいたと感じています。特に小中学生をもつご家庭からの重要度・満足度は高く、これまでの活動の成果だと考えられます。自由意見で学習内容について言及しているのは、事業を評価している11件のうち2件、評価していない11件のうち1件でした。「活動を楽しみにしています」「勉強になった」「面白くなかった」の意見があり、文化の森の学習活用に子どもたちは期待を寄せていることが確認できました。その他は、文化の森全体への意見として述べられていました。これは学習活用をする小中学生が家族にいない、もしくは家族との会話の中で文化の森が登場しない等、学習活用についてご存じない、もしくはご理解されていなかったからかもしれません。

学習活動の今後の課題は、学校教育とも連携しながら、更に充実した内容を検討、実施し、文化の森の学習活用について、もっと市民の皆様にも周知していくよう努めたいと考えております。文化の森全体の課題は、運営上の案内や公開について、迅速に行い、自然体験等の事業も多く取り入れていきます。

回答課：文化振興課

(22) 外国人児童・生徒への学習支援

タイプ III

重要度得点 3. 93

満足度得点 3. 29

【調査事項目】 小中学校に通学している外国人児童・生徒の就学意欲を維持するため、放課後に日本語学習や家庭学習を支援しています。(外国人児童・生徒1人が支援教室に1回参加するにつき、およそ230円を市が負担しています。)

【考えや今後の取り組み】

日本が批准した国際人権規約や子供の権利条約に明記されているように、国籍や民族の違いに関わらず、日本で暮らすすべての子どもは教育を受ける権利を擁しています。日本人児童生徒と違い、学習言語がわからず、また、にほんの教育制度に不慣れな外国人児童生徒を支援することにより、日本人児童生徒と同じように就学することが出来、学力向上につながるようにと考えます。

本事業は、市の予算と放課後学習支援教室に通う外国人児童・生徒の保護者の受益者負担で運営されています。地域の日本人ボランティアや同教室から高校に進学した外国人生徒も後輩たちの指導にあたっています。

今後は、こうした課題を広く市民の皆様とも周知・共有しながら、多文化共生事業に対する理解がより一層得られますよう努めてまいります。

回答課：地域振興課

(23) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施 タイプ III

重要度得点 3. 68

満足度得点 3. 18

【調査項目】 在住外国人の生活基盤の支援や社会参加を促進するため、「定住外国人自立支援センター」を21年7月に整備し、外国人の生活相談や就労支援、就業促進など各種事業を行っています。*所在地：加茂川町1丁目1-1

【考えや今後の取り組み】

「外国人の就労より、日本人の就労を」などといった厳しいご意見をいただきました。しかし、「雇用のミスマッチ」という言葉があるように、外国人が就労している業種には、労働条件が厳しいなどの理由により、残念ながら日本人は就労をしないという現実があります。一方、少子高齢化が進む日本では、今後もこうした外国人住民は増えつつあると思われまます。

最近では家を購入され、地域で暮らす生活者として増えつつあり、美濃加茂市に生活する外国人住民に、継続的に日本での社会生活を支援することにより、自治会加入や社会参加の促進につ

ながると考えます。

一方、定住外国人自立支援センターは、経済危機影響下における外国人住民の就労や生活支援を目的として、平成21年7月から23年度末までは、国の緊急経済対策事業として実施していました。

平成24年度からは、この地域に住む外国人が地域の一構成員となれるよう、地域定住化促進と日本語能力向上を目的として再スタートしました。毎日行っていた母国語による相談日を対応言語に応じて週2日とし、みのかも定住自立圏の協定を結ぶ町との連携により、予算も5分の1程度としました。

今後は、センターが持つ外国人自助組織や各種団体とのネットワークを活用し、外国人の自治会加入や社会参加を推進する事業も検討してまいります。

回答課：地域振興課

(24) 文化会館の活用

タイプ III

重要度得点 4.05

満足度得点 3.24

【調査項目】 文化会館は、音楽などを身近に感じてもらえるよう、800人収容のホールをはじめ、音楽スタジオ、会議室などで、コンサートや講演などの実施や各種団体の活動に利用されています。

【考えや今後の取り組み】

文化会館施設に関して、55.3%と半数以上の方が「重要」と答えていただいた一方で、満足度に関しては、26.9%と低い結果となっています。これは、自由意見の中で、「物足りない」とか「他市と比べると見劣りしてしまう」といった意見にも現れています。

また、収容人数が800人と他の自治体と比べると少ないといった意見もありましたが、現状の施設（800人収容のホール施設）をいかに活用していくかが今後の課題となっており、このアンケート結果からも、文化会館の活用に関する反省点であると同時にこの課題を解決すべき点であると思っています。

今後事業展開を進める上で、自由意見の中でも「入場者がとても少ない時があるため、PRしてほしい」とか、自主事業開催時に行っている文化会館のアンケート結果にも「大変満足したが、もっとPRしてほしい」といった意見が多く寄せられています。

これまで、近隣の自治体へもポスターやチラシをはじめ、チケット販売等も協力をお願いし、PRに努めています。文化会館が発信する情報を住民の一人でも多くの方に知っていただくことを第一に考え、今後は地域情報誌をはじめケーブルテレビやコミュニティFMを積極的に活用し

PRに努めていきます。また、文化会館施設を利用しない方にも、少しでも「文化・芸術」にふれていただくことを願って、「まちかどライブ演奏」など身近に音楽等にふれていただく機会を設けて、文化会館の活用につなげていきたいと思いをします。

回答課：文化振興課

(25) あい愛バスの運行

タイプ III

重要度得点 4.05

満足度得点 2.92

【調査項目】 高齢者をはじめとする移動に制約のある方の交通手段として、また、買い物やレジャーにご利用いただくため、2台のあい愛バス（市が運行する路線バス）が11路線で運行しています。

【考えや今後の取り組み】

美濃太田ー八百津線を除き、民間の営業バス路線が撤退する中で、高齢者を中心とした市民の皆様の公共交通利便性を高めるために事業を行っています。

高齢化社会を迎えるにあたって、重要度は4.05と非常に高く、事業の継続が求められていることがよく分かります。その一方で満足度は2.92と低く、ニーズと合っていない現状が数字となって現れています。

新たな対策として5月から古井循環線をタクシー車両による予約運行に切り替え、一日あたりの便数を6便に増発すると共に、以前から要望の高かったアピタ、東図書館及び文化会館など6か所のバス停を増やしました。

また、以前民間バス路線が運行していた伊深町から富加町への路線を「日本昭和村ー富加線」として運行させるなど、富加町へ週に4日乗入れるなどの取組を始めました。

回答課：地域振興課

(26) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良 タイプ I

重要度得点 4.32

満足度得点 3.09

【調査項目】 市税収入の減少や社会補償（医療や介護など生活を安定させるための給付）の増加、市民ニーズの多様化もあり、生活道路や側溝などの新設や改良、維持補修費は、限られた予算の範囲で優先箇所を選定して推進しています。

【考えや今後の取り組み】

今後、限られた予算の中で、自治会等からの要望・市民の皆さんからの要望にもとづいて、緊急度の高い箇所から、順次施工していきます。

又、橋梁、舗装等の長寿命化修繕計画を策定し、既設施設の計画的な修繕維持管理を進めていきます。

回答課：土木課

(27) 「かわまちづくり事業」の推進

タイプ III

重要度得点 3.63

満足度得点 3.09

【調査項目】 木曾川の景観や観光資源を生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。

【考えや今後の取り組み】

「かわまちづくり基本計画」に基づき、市民の皆さんはもとより、各方面からの観光客を誘致し、賑わいのある美濃加茂市もとりもどせるよう、関係各団体等の意見を伺いながら、市民の皆さんと一緒に、遂行していきます。

回答課：土木課

(28) ごみ袋料金に対する市の負担

タイプ II

重要度得点 4.65

満足度得点 4.09

【調査項目】 家庭から出る可燃ごみ1袋（6kg）の処理費用は、417円です。そのうちみなさんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残りの387円は市が負担しています。

（ごみ袋1枚の金額：可児市＝30円、関市＝60円、富加町＝50円、川辺町＝75円、八百津町＝100円、東白川村＝155円）

【考えや今後の取り組み】

現状は市民の皆様にごみの減量等にご協力いただいていることにより、現在の負担額（30円

／1枚)でごみ処理を行っております。多くの方にごみ処理負担額(ごみ袋の値段)を上げてもよいのでは、とのご意見をいただいておりますが、今後も近隣市町村や処分場の施設の状況を勘案しつつ、さらなるごみ減量及び循環型社会の形成につながる方策のひとつとして、より多くの皆様にご理解いただける適正なごみ料金について検討を続けてまいります。

回答課：環境課

(29) 生ごみ処理機などの購入補助

タイプ II

重要度得点 4. 18

満足度得点 3. 53

【調査事項】 家庭から出されるごみの減量化や環境への負荷を抑えるため、生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器や水きりバケツなどの購入者に補助をしています。(購入費の2分の1。上限あり)

【考えや今後の取り組み】

市では、家庭から出される生ごみ等を家庭において処理しごみの減量化を図っています。現在、補助制度の紹介をホームページや広報紙等で行っておりますが、今後は使用方法も掲載して行くに伴ってエコハウス等にも補助制度の紹介をしていきます。

将来的には、水切りバケツや生ごみ処理機の使用体験ができるような方法も考えて行けたらと思っております。

回答課：環境課

(30) 事前点検による安価で良質な公共工事の実施

タイプ II

重要度得点 4. 32

満足度得点 3. 51

【調査項目】 市が発注する工事について、安価で良質な公共工事を行うため、平成8年度における標準的な工法での建設コストに対して、10%以上の縮減を目標に、工事実施前に点検を行っています。

【考えや今後の取り組み】

安価で良質な公共工事を実施するため、引き続き事前点検を行っていきます。

平成23年度までの事前点検では、平成8年度における標準的な工法での建設コストを基準にしていますが、基準年が古いことから実情に合わない点も出始めましたので、平成24年度か

らは、基準年を平成23年度に改めて事前点検を実施していきます。

回答課：都市計画課

(31) 事業選択による借金残高の削減

タイプ II

重要度得点4.53

満足度得点3.48

【調査項目】 市では道路整備や下水道整備などの事業を借金をして推進してきました。現在は、将来世代の負担を軽減するため、事業を選択することにより、借金の返済を進め、借金残高を減らしています。

【考えや今後の取り組み】

市では、平成17年度末時点での市債残高（約475億円）を「10年間で100億円削減」することを、市の経営方針に掲げ健全な財政運営を推進しています。

このような状況の中、平成23年度末時点での市債残高は約418億円となり、6年間で約57億円削減しました。

今後も中長期的な視点に立って、収入と支出のバランスを考えた財政運営を行うことで将来世代の負担を軽減していきますが、限られた財源をどのように使えば皆さんの幸せにつながるのかを考え、節約ばかりでなく、事業選択によって今必要な事業や将来を考えた新たな事業も計画的に進めていきます。

回答課：行政経営課

(32) 「定住自立圏構想」の推進

タイプ II

重要度得点4.20

満足度得点3.43

【調査項目】 美濃加茂市が中心になり、加茂郡の7町村と協定を結び、それぞれの市町村が役割を分担して、ずっと暮らしたいと思える魅力的ある地域づくりをするために、「定住自立圏構想」（共同で事業を行う）を推進しています。

【考えや今後の取り組み】

みのかも定住自立圏共生ビジョンに取りかかり3年目になりましたが、8市町村が連携推進をはじめるとは平成24年度が1年目になります。不透明かつ不安定な日本社会全体の行方の中

で、どのような価値観を持って行動することが魅力的な圏域にすることにつながるか、定住自立圏の関係者が、改めて圏域の弱みと強みを把握できる地域力分析ブック【平成23年度版】を作成しました。これを基に再度計画を見直し、効果的な事業を進めてまいります。また、住民の方々にも関わってもらえるよう周知を図ってまいります。

回答課：地域振興課